



235		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成30年3月1日	から	活動の概要			
平成30年3月31日	まで	高速代			
経費の内容		金額	経費の内容		金額
鉄道・バス			宿泊料		
タクシー			食事代		
航空機			会費		
自家用車	@37 × km =	0			
リース車	@18 × km =	0			
有料道		7810			
駐車場			計		7810
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年5月29日
 決裁 平成30年6月1日
 処理 平成30年6月1日



申請番号 3221		経費項目 01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間 平成30年3月5日 から		活動の内容 調査活動			
平成 年 月 日 まで		予算特別委員会の質問に関する調査活動 ・サテライトオフィスの誘致関連事項 ・田園サイクリングコース関連事項等		自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-黒部IC -自宅	
県議会					
活動内容		金額		活動内容	
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車 @37 × 120 km =		4440			
リース車 @18 × km =		0			
有料道					
駐車場				計 4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成30年4月13日
 決裁 平成30年4月13日
 処理 平成30年4月16日

3222		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成30年3月13日	から	調査活動		
平成 年 月 日	まで	1. 田園サイクリングコースの起点・終点である上市駅を視察し、整備の現状を調査する。 2. 予算特別委員会の質問に関する調査活動・新年度事業である中山間地域集落の突態調査事業についての事項他	自宅—富山地方鉄道上市駅—県議会—魚津IC—朝日IC—自宅	
富山地方鉄道上市駅 県議会				
経費の内容		金額	経費の内容	金額
鉄道・バス			宿泊料	
タクシー			食事代	
航空機			会費	
自家用車	@37 × 130 km =	4810		
リース車	@18 × km =	0		
有料道				
駐車場			計	4810
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を枚し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
 (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
 (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 4 月 13 日
 決裁 平成 30 年 4 月 13 日
 処理 平成 30 年 4 月 16 日



報告番号	0223		経費項目	01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間	平成30年3月17日	から	活動の概要	講演会	
	平成 年 月 日	まで	富山県防火・防災推進大会において、 基調講演並びにパネルディスカッションを聴講する。	自宅→朝日IC→富山IC→ 県民会館→富山IC→黒部 IC→自宅	
活動場所	富山県民会館				
経費の内容	金額	経費の内容	金額		
鉄道・バス		宿泊料			
タクシー		食事代			
航空機		会費			
自家用車	@37 × 120 km =		4440		
リース車	@18 × km =		0		
有料道					
駐車場		計		4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は
主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 4 月 13 日
 決裁 平成 30 年 4 月 13 日
 処理 平成 30 年 4 月 16 日



管理番号	3224	経費項目	01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年3月19日 から 平成 年 月 日 まで	活動の概要	調査活動 常任委員会の質問に関する調査活動・ 富山県新世紀産業機構の業務内容の見直しに関する事項他
場所	原議会		自宅ー黒部ICー富山ICー 県議会ー富山ICー朝日IC ー自宅
経費の内容	金額	経費の内容	金額
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 120 km =	4440		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 4 月 13 日
 決裁 平成 30 年 4 月 13 日
 処理 平成 30 年 4 月 16 日



整理番号	236	経費項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
開始	平成30年4月2日	から		調査活動
終了	平成 年 月 日	まで		中山間地域対策のうち、高知県の集落単位の様々な活動例を調査する。(山村振興議員連盟で高知県を訪問する事前調査。)
趣向	県議会			自宅-黒部IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC -自宅
経費の内容	金額	経費の内容	金額	
鉄道・バス		宿泊料		
タクシー		食事代		
航空機		会費		
自家用車 @37 × 120 km =	4440			
リース車 @18 × km =	0			
有料道				
駐車場		計	4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年5月29日
 決裁 平成30年6月1日
 処理 平成30年6月1日



整理番号	237	使途項目	01_調査研究費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年4月4日 から 平成 年 月 日 まで	活動の概要	調査活動
場所	県議会 私立高朋高校	1. 6月1日開催予定の新川地域経済産業懇談会のテーマ等について調査する。 2. 高朋高校の須田理事長を訪問し、県立高校再編統合される水橋高校の跡地利用について意見交換すると共に野球部の新屋内練習場を視察する。	自宅-黒部IC-富山IC- 県議会-高朋高校-滑川IC-黒部IC-自宅
経費の内容	金額	経費の内容	金額
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 127 km =	4699		
荷一ス車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場		計	4699
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 5 月 29 日
 決裁 平成 30 年 6 月 1 日
 処理 平成 30 年 6 月 1 日



申請番号 <p style="text-align: center;">238</p>		経費項目 01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
実施期間 平成30年4月9日 から 平成 年 月 日 まで		実施の概要 勉強会	
実施場所 県議会		中山間地域対策に関する勉強会を開催。講師は、地域社会総合研究所所長の藤山 浩氏、演題は、「人口・所得の1%取戻し戦略、田園回帰を支える社会システム」。 自宅ー黒部ICー滑川ICー県議会ー富山ICー朝日ICー自宅	
経費の内容		金額	
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 5 月 29 日
 決裁 平成 30 年 6 月 1 日
 処理 平成 30 年 6 月 1 日

中山間地域の振興に関する講演会の開催について（案）

平成30年2月26日

1. 主催 自由民主党富山県議会議員会
2. 日程等 4月9日（月）
14:00～15:30 講演会
15:45～16:45 意見交換会
3. 講師 一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所 所長
藤山 浩 氏
4. 演題 (仮) 「人口・所得の1%取戻し戦略、田園回帰を支える社会システム」について
※詳細は講師と要調整
5. 出席者 自民党議員、県の関係部局職員、市町村の関係職員など



管理番号	239	使用項目	01_調査研究費 02_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年4月11日 から 平成30年4月12日 まで	活動の概要	視察
場所	高知県	県議会山村振興議員連盟で高知県を訪問し、中山間地域施策について調査すると共に先進地域を視察する。(この報告は、別途提出済み)	自宅-黒部IC-富山IC-富山空港-富山IC-黒部IC-自宅 (富山空港と高知県の往復、高知県内の移動等にかかる経費は別途精算)

経費の区分	金額	経費の内容	金額
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 110 km =	4070		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場	1200	計	5270

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を撤し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

富山空港有料駐車場

富山空港管理事務所 076-495-3055

領 収 証

入庫日時 2018年04月11日 09時02分
出庫日時 2018年04月12日 19時12分
No.02-000559 券No.01-003013

駐車料金(一般) 1200円
料金計 1,200円
投入現金 1,200円
釣銭額 0円

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30年 5月 29日
決裁 平成 30年 6月 1日
処理 平成 30年 6月 1日

富山県山村振興議員連盟県外視察日程(案)

第1日目

月日	場所	着	発	備考	移動手段
4月 11日 (水)	富山空港	9:00	9:40		ANA316
	羽田空港	10:45	11:25	1日目は中型バス (林業大学校に行く途中に狭い道があるため)	ANA563
	高知空港	12:50			
	(昼食)		13:20	空港内で各自⇒芸西観光バス(Tel.0887-33-3436)	借上バス 約30分
	高知県林業大学校 香美市土佐山田町大平80 (tel0887-52-0784)	14:00	15:00	○県立林業大学校(H30.4開校)について ○施設視察 ★窓口:塚本副校長、山下教務課長対応	約50分
	高知県中山間地域対策課 高知市丸ノ内1-2-20(議事棟3階 第4委員会室)(tel088-823-9528)	16:00	17:00	○中山間地域対策のための部局を超えた組織 (中山間地域対策課)の設置(経緯・成果) ○集落支援、生活支援の取組みについて ★窓口:議会事務局 沖 調査第二班長	↓
	宿舎	17:10		ホテルNo.1高知 (高知市廿代町16-8 Tel.088-873-3333)	↓
夕食	18:00		かこいのくら (高知市廿代町8-15 Tel.088-854-6335) 土佐のおきゃく飲み放題コース 5,000円	徒歩	

第2日目

月日	場所	着	発	備考	移動手段
4月 12日 (木)	宿舎		8:20	2日目は大型バス	借上バス 1時間30分
	梶原町環境モデル都市推進室 梶原町梶原1444番地1 (tel0889-65-1111)	9:50	10:50	○町産材やエネルギーを活用したまちづくり ○施設視察(梶原町総合庁舎) ★窓口:議会事務局 加藤さん	視察経費 1人1,000円 (現金)
	集落活動センター「ゆすはら西」 梶原町広野167-1	11:00	12:00	○集落ぐるみで取り組む鳥獣被害対策の実施 ○施設視察 ★担当: ██████████	視察経費 1人1,000円 (現金)
	昼食	12:15	12:50	雲の上のホテル 高知県高岡群梶原町太郎川3799-3 ★0889-65-1100 ████████様	↓ 13分 ↓高速 1時間50分
	高知空港	14:40	15:35		ANA568
	羽田空港	16:55	18:00	(宮本副会長は羽田空港まで)	ANA319
	富山空港	19:00			



管理番号	240	使用科目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年4月13日 から 平成 年 月 日 まで	活動の概要	要請活動・調査活動	
開催場所	県議会	1. 主要地方道朝日・宇奈月線の朝日町不動堂～横水間の道路「フレッシュアップ事業（側溝改良）」を道路課長に要請する。 2. 高知県で視察したジビエカーを活用した集落の活動について、より詳しく調査する。	自宅ー黒部ICー富山ICー 県議会ー富山ICー朝日IC ー自宅	
経費の内容		金額	経費の内容	
鉄道・バス			宿泊料	
タクシー			食事代	
航空機			会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440		
リース車	@18 × km =	0		
有料道				
駐車場			計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年5月29日
 決裁 平成30年6月1日
 処理 平成30年6月1日



管理番号	241		使途項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年4月17日	から	活動の概要	調査活動	
	平成 年 月 日	まで	1. 武部自然保護課長から、県内の登山道について、その整備の責任主体、整備や維持管理にかかる経費の補助内容についてヒヤリングを行う。 2. 青少年のインターネット使用に関する課題について調査する。	自宅ー魚津ICー富山ICー 県議会ー富山ICー朝日IC ー自宅	
所属	県議会				
経費の内容	金額	経費の内容	金額		
鉄道・バス		宿泊料			
タクシー		食事代			
航空機		会費			
自家用車 @37 × 120 km =	4440				
リース車 @18 × km =	0				
有料道					
駐車場		計		4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 5 月 29 日
 決裁 平成 30 年 6 月 1 日
 処理 平成 30 年 6 月 1 日



案内番号	Z42		事業種別	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年4月18日	から	活動の概要	調査活動	
		まで	1. 県内県立高校における定時制・通信制教育について、その生徒数、進路、課題等を調査する。 2. 県内の特別支援教育におけるICT環境の実態を調査する。	自宅ー魚津ICー富山ICー県議会ー富山ICー朝日ICー自宅	
開催場所	県議会				
経費の内容	金額	経費の内容	金額		
鉄道・バス		宿泊料			
タクシー		食事代			
航空機		会費			
自家用車	@37 × 120 km =	4440			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場		計		4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年5月29日
 決裁 平成30年6月1日
 処理 平成30年6月1日



管理番号	243	区分項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年4月24日 から	活動の概要	調査活動	
	平成 年 月 日 まで	1. 新川森林組合の黒瀬組合長を訪問し、管内の木材の需給状況や製材所の現状等についてヒヤリングをさせて頂く。	自宅—新川森林組合—自宅	
参加者	新川森林組合			
経費の内容	金額	経費の内容	金額	
鉄道・バス		宿泊料		
タクシー		食事代		
航空機		会費		
自家用車 @37 × 38 km =	1406			
リース車 @18 × km =	0			
駐車場		計	1406	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 5 月 29 日
 決裁 平成 30 年 6 月 1 日
 処理 平成 30 年 6 月 1 日



244		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間	平成30年4月25日 から	活動の概要	調査活動		
	平成 年 月 日 まで	1. 県における国際会議やインセンティブ旅行の誘致の状況について調査する。 2. 県立施設内のトイレの障害者対応の整備状況について障害福祉課からヒヤリングを行う。		自宅-朝日IC-富山IC-県議会-富山IC-魚津IC-自宅	
活動場所	県議会				
経費の内容	金額	経費の内容	金額		
鉄道・バス		宿泊料			
タクシー		食事代			
航空機		会費			
自家用車	@37 × 120 km = 4440				
リース車	@18 × km = 0				
駐車場		計	4440		
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 5 月 29 日
 決裁 平成 30 年 6 月 1 日
 処理 平成 30 年 6 月 1 日



案内番号	245		経費項目	01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間	平成30年4月26日	から	活動の概要	部会活動	
	平成 年 月 日	まで		経済建設部会において、代表質問項目や今年度の活動方針等について意見交換を行う。	
場所	県議会		自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC-自宅		
経費の内容		金額	経費の内容		金額
鉄道・バス			宿泊料		
タクシー			食事代		
航空機			会費		
自家用車	@37 ×	120 km =	4440		
リース車	@18 ×	km =	0		
駐車場			計		4440
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数(Km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 5 月 29 日
 決裁 平成 30 年 6 月 1 日
 処理 平成 30 年 6 月 1 日

活動番号	246		活動項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間	平成30年4月27日	から	活動の概要	視察、ヒヤリング		
	平成 年 月 日	まで	にいかわ総合支援学校を訪問し、保護者の皆さんから教育環境の充実改善に関する要望事項をお聴きすると共に、完成した津波避難階段を視察した。	自宅ーにいかわ総合支援学校ー自宅		
場所	県議会					
経費の内容			金額	経費の内容		金額
鉄道・バス				宿泊料		
タクシー				食事代		
航空機				会費		
自家用車	@37 ×	45 km =	1665			
リース車	@18 ×	km =	0			
駐車場				計		1665
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>						

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
 (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
 (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

届出 平成30年5月29日
 決裁 平成30年6月1日
 処理 平成30年6月1日

報告者* 

整理番号	247		
債務項目	03_広聴広報費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費
		03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費
		05_会議費 10_人件費	
内容	かくま正一通信NO. 34発行費及び同通信郵送費		
領収書貼付欄 (領収書貼付枠)	通信NO. 34発行費	94500	
	通信NO. 34郵送費	16708	
	合計	111208	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を微し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

收受 平成 30 年 5 月 29 日
 決裁 平成 30 年 6 月 1 日
 処理 平成 30 年 6 月 1 日

939-0742
富山県下新川郡朝日町沼保977-1

鹿熊後援会事務所

御中

002114

納品書

平成30年 4月27日 伝票No: 12130



Heartfull Communication

株式会社すがの印

〒938-0802 富山県黒部市若栗21

TEL (0765) 54-0112(代) FAX (0765) 54-4C

区分	商品コード	商品名	数量	単位	単価	金額	備考
売上	0214	かくま通信 No.34 制作費	1	式		40,000	消費税率: 8.0%
売上	0214	印刷・製本費 A4×4P	350	部		47,500	消費税率: 8.0%
*		上記の取引の消費税等				7,000	外税品計 87,500円
摘要						合計	94,500

振込金受取書(兼振込手数料受取書)
~~預金払戻請求書~~による振込受付書(兼振込手数料受取書)
~~現金口座振替~~
(該当しない方を二条線により抹消する。)

お願い

●振込依頼書は、なるべく午後2時までにお待ちください。この時刻以降のお受付分は、翌営業日のお取扱いとなることもありますのでご了承ください。

ご注意

- 電信送の場合には、受取人名等をカナ文字で送付いたします。
- ご記入相違などの不備がありました場合には、照会等のために、振込が遅延することがあります。
- やむを得ない事由による通信機器回線の障害等によって振込が遅延することがあります。当金庫は責任を負いません。

定期的に、決まった先へ決まった金額をお振込になる場合には、「自動送金システム」をご利用頂くと大変便利です。どうぞ取扱店窓口までお申し出ください。

振込金として現金または有価証券(当座小切手等)を受領した場合は、「振込金受取書(兼手数料受取書)」、預金払戻請求書による場合は、「振込受付書(兼手数料受取書)」として使用しています。

収入印紙

金額が5万円以上50万円未満の場合
 5000円
 金額が50万円以上100万円未満の場合
 10000円
 金額が100万円以上の場合
 20000円



にいかお信用金庫

取扱店

当金庫をご利用くださりましてありがとうございます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

ご依頼日	30年 01月 07日	振込先	にいかお 信用金庫 銀行 桜井支店
振込先	にいかお 信用金庫 銀行 桜井支店	金額	¥94,500
振込種目	1.普通 2.当座 3.口座振替 4.貯蓄 9.その他	手数料	324
口座番号	010114	振込金額	¥94,500
フリガナ	おなまえ	フリガナ	エダシマ
おなまえ	株式会社すがの印刷 様	おなまえ	熊正会 様
おところ	電話 (0765) 54-0112	おところ	電話 (0765) 82-1333
黒部市若栗 2630		朝日町沼保 977-1	

手数料には消費税が含まれています。

領収書

毎度ありがとうございます

様

[別納引受]		
区内特別基 (定)		29.0g
082	136通	¥11,152
小計		¥11,152

第一種定形		22.5g
082	24通	¥1,968
小計		¥1,968

第一種定形		29.0g
092	39通	¥3,588
小計		¥3,588

郵便物引受合計通数		199通
課税計		¥16,708
(内消費税等)		¥1,237)
非課税計		¥0

合計		¥16,708
お預り金額		¥20,000
おつり		¥3,292

印紙税申告納
付につき趣町
税務署承認済



〒100-8798 日本郵便株式会社
東京都千代田区霞が関1-3-2
取扱日時：2018年 5月 1日 15:32
担当：[REDACTED]
発行No. 180501A3720 端N03箱01
連絡先：朝日桜町郵便局
TEL:0765-83-0911



今日あしたに責任を持つ政界

かく書正通信

(発行日) 平成30年4月 (発行所) 自由民主党岡山県連合議員会
 (印刷所) 〒939-0742 下新川原町10番地977-1
 (TEL) 0765-82-1333 (FAX) 0765-82-2113
 (URL) http://kakuma-masakazu.jp (E-Mail) masakazu@kakuma.net

特集

中山間地域振興に関する予算特別委員会での質疑

中山間地域における集落の持続可能な運営は、岡山県の大きな課題です。私選、自民党議員会は、産業振興と生活機能の維持の両面から中山間地域を支える条例づくりに取り組んでいます。その一環として、私は、去る2月議会で、中山間地域振興策を巡り様々な角度から質問いたしました。その概要を報告いたします。

な交通制度を整備する等、本条例の一層の活用策を問う。

国 石井知事

社会情勢の急変を踏まえ、市町村と連携しながら、施策の充実に努めてまいりたい。例えば、岡山道村地域に關心を持つ地域外の人材等と集落との多様な関わりや結びつきが一層深まるよう、「受入地域」と地域に貢献したいという「地域外の人材の思い」をマッチングできるコーディネート育成等。

※関係人口とは—「定住人口」でも「交流人口」でもなく、その地域との様々な関わりにより、地域に愛着や關心を持ち、その地域を応援しているという人達

II 田園サイクリングコースの整備について
 III サイクリングは、エコ・アンド・ヘルスツーリズムとして益々普及しており、岡山道村の活性化にも寄与することから、「田園サイクリングコース」を上市町から県東部への延伸を急ぐべきと考えますが、方針を問う。

I 都市との交流による岡山道村地域の活性化に関する条例について

都市との交流による岡山道村活性化条例施行から15年経過するが、これまでの成果を問う。

岡 芝田農林水産部長

本条例に基づき、県内12市町47地域を重点地域に指定し、都市住民との交流活動や交流に必要な施設等の整備、人材育成等を支援してきた。この取組みにより、例えば、
 ①都市の小学校からの修学旅行等の受入れは、平成20年度の105名から平成29年度は2,001名に増加した。

②「とやま博覧会」による田舎暮らし体験には延べ1,273名が参加し、うち35名が本県への移住につながった。

③「とやま岡山道村インテンションシップ」の取組みでは、高知大学の大学を中心に3年間で7地域において延べ107名が地域の活力再生に向けた提言を行なった。

II 条例施行後の新たな潮流—岡山道村における多様なツーリズムの普及や「関係人口(※)」の増加や外国人の地方への関心の高まり等—に対応するため、新たな

XI サテライトオフィスの誘致について
 中山間地域でのサテライトオフィスは、田舎の生活を満喫しながら都市の会社の仕事やグローバルな仕事ができる魅力がある。その積極的推進を問う。

岡 石井知事

サテライトオフィスは、企業にとっては、人材確保や生産性向上が期待でき、受け入れ市町村にとっては、IT企業など魅力的な雇用創出による移住促進、空き家や地産地消の活用等が期待される。僕は、平成30年度、サテライトオフィスの設置を希望する首長等への企業と受け入れに積極的な自治体とのマッチングイベントに市町村が出展する場や現地視察会を市町村が主催する場合のその経費等に対し補助を行うこと等、意欲ある市町村と連携し、サテライトオフィスの誘致に積極的に取り組んでまいりたい。

X とやま型水田スマート農業推進事業について
 平成30年度新採事業の「とやま型水田スマート農業推進事業」の中の「中山間地域振興型モデル」の普及方法と支援方針を問う。

岡 芝田農林水産部長

中山間地域振興型モデルとは、①水管理を遠隔操作できる自動給水機、②重労働を軽減する省力作業を促進する除草ロボット、③効率的な水管理ができる経営管理システム、等のモデルである。これを普及していくため、中山間地域にモデル農場を設置し普及の拠点とするとともに、人材育成や連化する農業機械の情報収集等を通じていく。今後、実用性が確かめられた農業用ドローン、除草ロボット、自動給水機等の導入に当たり、国の補助事業の活用にも努め、中山間地域農業の維持、発展に取り組んでまいりたい。

高知から中山間地域対策はここから

4月11日、岡山県議会山形議員(会長：藤野)は、高知県庁を訪問し、中山間振興・交通部の中山間地域対策課から高知県の取組みをヒヤリングし、とて参考になりました。ポイントはその通りです。

■昭和35年から5年毎に定期的に集落調査を行っている。

▶岡山県は、平成30年度に、初めて集落調査を行う。

■平成24年度から、知事を本部長とする「中山間総合対策本部」が設置され、対策の本格化が図られた。その目指す方向は、「誰もが一定の収入を得ながら、安心して暮らし続けられることができる仕組みづくりの推進」を目標とし、「生活を守る」と「産業をつくる」の2つを柱とした中山間対策の総合的な施策を推進すること。

▶岡山県は、平成30年度に、ようやく地域振興課に「地域活力・中山間支援班」が新設された。岡山県の主導により、60名体制の地域支援企画課を置き、原則、全ての市町村に配属し、「地域の振興、活性化に向けた支援」と「県と地域をつなぐパイプ役」の2つの役割を担う。

▶岡山県は、このような制度はない。

■農業活動センターの仕組み。地域住民が主体となっており、地域内外の人材を活用しながら、生活、福祉、産業、防災等の活動について、地域ぐるみで取り組む仕組みであり、高知県内の28市町村の46集落で活動している。

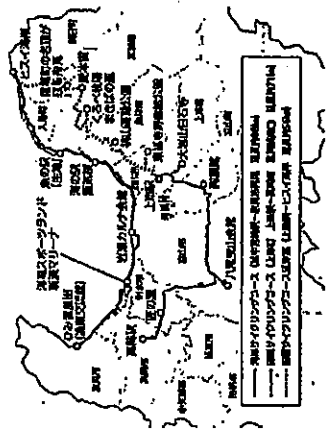
▶岡山県では、一部の自治体で、このような活動がある。



高知県の担当者と意見交換会

Ⅷ 加藤土木部長

「田園サイクリングコース」の県東部への延伸については、中山間地域の観光振興を巡り、迫力ある山々の景色や山頂から高山湖の眺望を楽しむことができる大変魅力的なコースである。県道以外のルートもあり、関係市町等と十分相談し、なるべく早く整備できるように検討したい。



Ⅲ 中山間地域対策に関する県庁の総合窓口の新設について

県庁機構改革で地域振興課に新設される「地域活力・中山間支援班」は、どのような役割を担うのか問う。

Ⅷ 石井知事

平成30年度に新設の「地域活力・中山間支援班」は、各部署にまたがる中山間地域対策の総合的な窓口としての機能を果たせたい。中山間地域の振興策を効果あるものとするには、集落のリーダー等と意見交換を重ねる等、地域の状況や課題を十分に把握することが重要であり、職員が積極的に現場に向いて、地域のニーズを丁寧にきき取りたいと考えている。その上で、関係局や市町、関係団体等が十分に連携し、農林水産業も含めた産業政策、買い物や交通、福祉といった生活機能などを総合的にサポートすることにより、集落機能の維持・活性化に努めたい。

Ⅳ 集落の実態調査事業について

平成30年度の新設事業である「中山間地域における集落調査事業」について、調査の取組方法や調査項目、調査結果の活用策を問う。

Ⅷ 芝田農林水産部長

県内の中山間地域の全集落（892集落）を対象に、市町の協力も得て、集落の代表者へアンケートを配布し、回答内容を集計、分析することにより実施したい。また、調査項目は、①産物品の購入方法やその際の交通手段、②地域での見守りや防災等の地域活動の状況とその継続性の見込み、③集落の話し合いの状況、④次世代を担う人材の有無等を考えている。

また、結果については、中山間地域の住民や市町に還元し、現状についての共通認識を持ってもらうことにも、今後の産業政策や地域振興政策の企画立案に活かしてまいりたい。

集落調査の実施に当たっては、関係市町村とのすり合わせが極めて重要であるが、その対応方針を問う。

Ⅷ 芝田農林水産部長

市町との連携が不可欠であり、調査の実施に当たっては、調査項目を事前に市町に照会しその意見を反映する。また、調査結果についても、集落毎の課題把握や活性化策の検討等に活用できるように市町と十分連携していきたい。

調査結果を集落にフィードバックし、集落の住民が当事者意識を持って集落の運営や将来を考えていくことが重要であるが、その話し合いや合意形成をサポートする人材をどのように養成していくのか問う。

Ⅷ 芝田農林水産部長

知財おこし協力隊やNPO職員等を対象としたアシリエーション研修などの集落の研修会を開催し、20名程度の地域サポート人材の育成を図る方針である。

V 中山間地域における地域包括ケア体制の構築について

中山間地域における地域包括ケア体制の構築に向けた取組方針について問う。

Ⅷ 前田厚生部長

中山間地域では、在宅医療や介護サービス基盤の整備等をよりきめ細かに推進する必要がある。中山間地域の実情に応じた在宅医療・介護の充実が重要であり、訪問看護ステーションのサービス提供地域を拡げるためのサテライトの設置等の機能強化やテレワーク導入支援に取り組んでいる。また、あさひ総合病院等の病院看護師と訪問看護師との連携強化を図るための研修支援に取り組んでいる。また、平成30

年度は、在宅医療支援病院等の充実強化に必要な施設整備支援として、あさひ総合病院への支援（24時間365日体制で往診や訪問看護の実施、緊急時に入院できる病棟の確保等）に取り組むこととしている。

Ⅵ 集落における伝統行事や祭りの継承について

集落における伝統行事や祭りを大人から子どもへも継承する活動を支援することにも、伝統文化を保存継承する機運を育成、確保する必要があると考えられている。集落の伝統行事等の現状調査と伝承・育成・確保に対する支援方針を問う。

Ⅷ 渋谷教育長

平成30年度に、平成13年度調査の追跡調査を実施し、その結果を踏まえ、市町村教育委員会や関係団体と連携し、伝統行事等の伝承と後継者の育成・確保に取り組んでまいりたい。

Ⅶ 中山間地域における土砂災害対策・河川氾濫対策について

集落浸水の浸透の引き金となりうる自然災害から集落を守るためには、土砂災害対策や中小河川氾濫対策が重要であるが、対策の現状と今後の方針を問う。

Ⅷ 加藤土木部長

本県の土砂災害危険箇所全体の整備率は34%（H28年度末）、河川整備率は56%（H28年度末）で、全国平均よりは高いものの、未だこの水準である。昨年7月の九州北部豪雨を受けた国土交通省の「中小河川緊急治水対策プロジェクト」により、本県では朝日町石谷川等の16河川で過渡型砂防堤等の整備を推進する。今後とも、予算の確保に努め、土砂災害対策や河川氾濫対策にしっかりと取り組んでまいりたい。

Ⅷ 有喜尾対策について

有喜尾対策として、避難型侵入防止壁は、早急に必要なと考えられるが、設置の現状と各町からの設置要望の増延長、積算費、今後の整備方針を問う。

Ⅷ 芝田農林水産部長

国の交付金や県単独予算等を活用して、これまでに7市町、21.6kmが設置されている。平成30年度以降の設置要望については、8市町から総延長55km、総事業費1億5,400万円の要望が寄せられている。果は、農作物被害の広域化、深刻化を踏まえ、耐震型侵入防止壁の整備が着実に進むよう、国の予算確保と十分な配分を国に働きかけていきたい。また、国交付金の対応については、県単独事業費が一定の条件を整えた市町協議会に対し高効率化等地域の実情を勘案して支援することとしている。

Ⅷ 中山間地域における再生可能エネルギーの推進について

中山間地域における、小水力発電や木質バイオマス発電等、再生可能エネルギーの推進方針を問う。

Ⅷ 石井知事

県内の小水力発電の導入は、全国トップレベルであり、平成30年度には45箇所程度以上を目標としている（H30.2月末で42箇所）。また、地元企業と住民との協働による会社が小水力発電を導入し、売電益を文化財の維持管理や観光振興等に充てている例もある。県は、そのような動きを通して地域づくりを促進することとしている。

また、集落を対象とした小規模な木質バイオマス発電の推進には課題（※）があるが、今後、県産材の計画的な利用のもと、コスト等も考慮し、実現可能な範囲で積極的な導入を図ることとしている。

※集落での木質バイオマス発電の課題とは、①エネルギー変換効率が低い、②材の収集に手間がかかる、③材の加工が必要なことや運搬の自動化が困難なこと等

報告者* 

	248		
03_広聴広報費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費
			04_要請陳情等活動費 09_事務費
			05_会議費 10_人件費
ホームページホスティング料 4月分			

ホームページホスティング料4月	8467	/	80%

合計			
		8467	

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を微し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領 収 証 005610

鹿熊 正一 様 平成 30 年 5 月 14 日

¥ 10,584 -

但し、HPホスティング料(4月分)
上記の金額正に領収いたしました。

株式会社 味の印 印刷
代表取締役 鹿熊 正一
〒530-0022 大阪府大阪市東淀川区西淀川5-2-10

收受 平成 30 年 5 月 29 日
 決裁 平成 30 年 6 月 1 日
 処理 平成 30 年 6 月 1 日



経費種別	249	経費項目	01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費 06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費
内容	新聞代金 (4月分) 北陸経済研究所平成30年度賛助会費 (月刊北陸経済研究購読料)		
品名	金額 (円)	備 考	
富山新聞	3060	/	
北日本新聞、日経新聞	7072	/	
読売新聞	3093	/	
月刊北陸経済研究購読料	10000	/	
(合 計)	23225		

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)



領収書

区 域	全 戸 数	お問い合わせ先
34	85,000	1899

お名前 鹿熊 正一様

殿町1495

30年 4 月分

銘 柄	部 数	金 額
1 読売新聞	1	3,093
2		
3		
合 計		3,093 円

84-8305

◇左記の通り領収しました

領収日 30年 4月 29日

便利な自動振替受付中！手数料はいりません

Y C 泊

富山県下新川郡朝日町泊318



※裏面もあわせて内容を十分お読みください。

收受 平成 30 年 5 月 29 日
 決裁 平成 30 年 6 月 1 日
 処理 平成 30 年 6 月 1 日

3 30-05-01 | 新聞代金 |
4 30-05-02

*7,072
*3,060 トマソン



領 収 証

鹿 熊 正 一 様

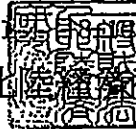
★ ￥10,000 ★

但し、平成30年度賛助会費として

上記正に領収いたしました

平成 30 年 4 月 13 日

富山県富山市丸の内
一般財団法人 北陸植生研究所



北陸 経済研究

講演

東洋大学教授・慶應義塾大学名誉教授 竹中平蔵 氏
第4次産業革命と日本経済

定例調査：01

北陸のQE推計
北陸の四半期経済速報

定例調査：02

北陸の産業天気図



株式会社 エコシステム

企業紹介

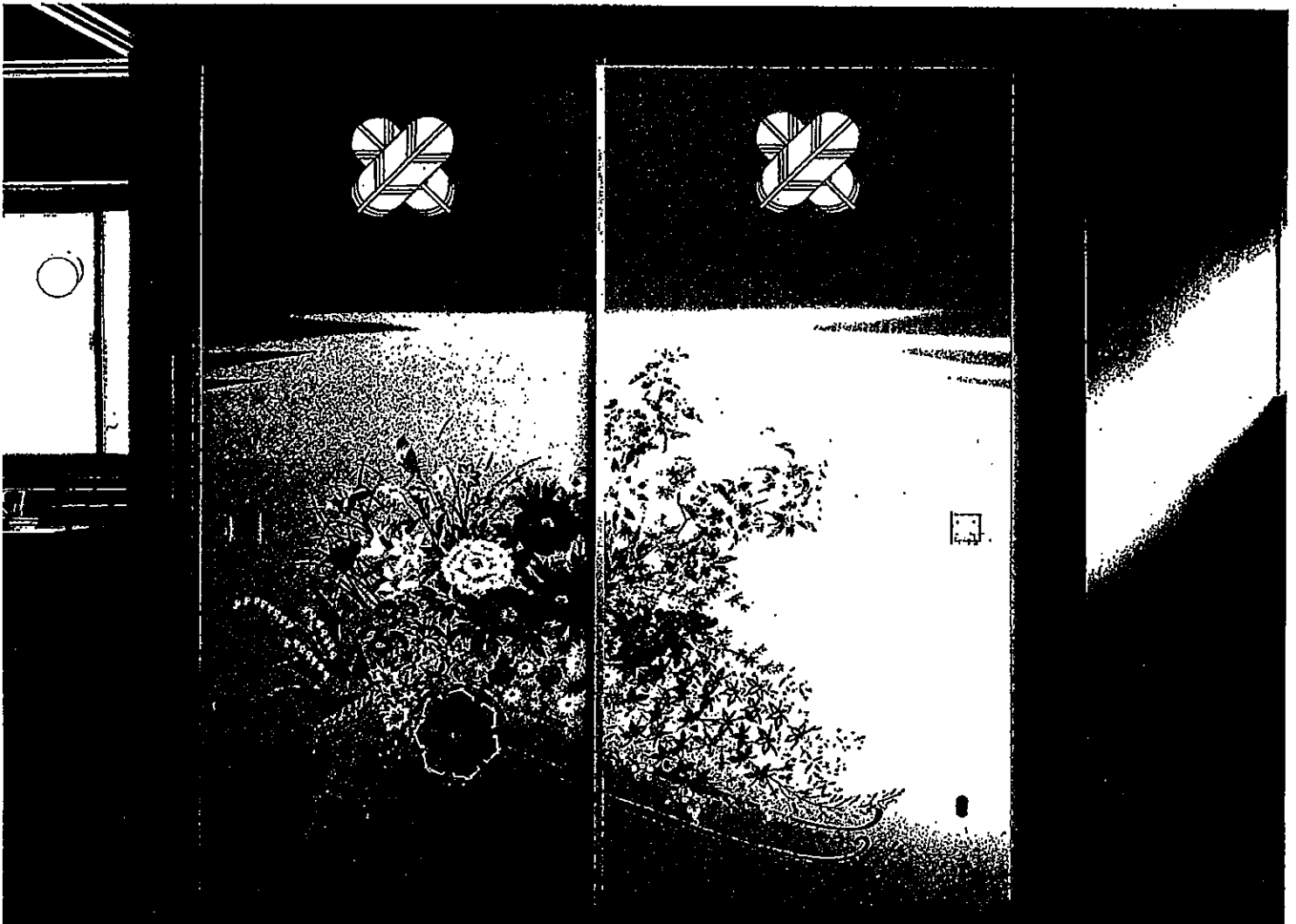
一般財団法人 北陸予防医学協会

経営コーナー

確定拠出年金制度の現状

【花嫁のれん 花車】

加賀友禅の伝統的な柄である花車に世界各国の花々をのせて世界中から訪れるゲストに楽しんでもらえるようデザインしました。



事業番号	250	
使途種別	08_事務所費	
	01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費 06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費	
用途	電気料金 (4月分) 事務所賃借料 (4月分、5月分)	
	金額 (円)	比率 (%)
電気料金 (4月分)	1798	50%
事務所賃借料 (4月分)	15000	50%
事務所賃借料 (5月分)	15000	50%
	31798	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)		

收受 平成 30 年 5 月 29 日
 決裁 平成 30 年 6 月 1 日
 処理 平成 30 年 6 月 1 日

しんきんオンライン

ネットキャッシュサービス取扱票
(ご利用明細票)

お取扱日	取扱金庫	店番	通番
30-05-07			
口座番号			
*****-*****-*****			
お取引金額			
003000000000	¥30,000*		
お取扱内容	お取引後の金額		
お振込	¥0		
手数料	¥0	ページ	硬貨
時刻	09:42	おつり	
様 5月分 カクママサカス コウインカイ様 TEL0765-82-1333			
印紙税申告納 付につき厚簿 料残弊承認済	ご利用ありがとうございます ございました。		

この取扱金額とお取引金額をお確かめください。
お振込の金額は口座残高を超過してはなりません。

● にいかお 信用金庫

しんきんオンライン

ネットキャッシュサービス取扱票
(ご利用明細票)

お取扱日	取扱金庫	店番	通番
30-04-02			
口座番号			
*****-*****-*****			
お取引金額			
003000000000	¥30,000*		
お取扱内容	お取引後の金額		
お振込	¥0		
手数料	¥0	ページ	硬貨
時刻	09:42	おつり	
様 4月分 カクママサカス コウインカイ様 TEL0765-82-1333			
印紙税申告納 付につき厚簿 料残弊承認済	ご利用ありがとうございます ございました。		

この取扱金額とお取引金額をお確かめください。
お振込の金額は口座残高を超過してはなりません。

● にいかお 信用金庫

3 D30- 5-11 電気料金

3,597 株式会社リョウ

鹿熊正一事務所の経費按分に関する覚書について

政務調査活動に係る事務所経費について、鹿熊正一後援会と鹿熊正一の経費按分の内、鹿熊正一の負担割合は次の通りとする。

1. 事務所賃借料、電気料、コピー経費、事務消耗品費、人件費 50%
2. ホームページ管理費 80%

平成 30 年 5 月 1 日

甲 富山県下新川郡朝日町殿町 1495

富山県議会議員 鹿熊正一



乙 富山県下新川郡朝日町沼保 977-1

鹿熊正一後援会



事務所賃貸料覚書

富山県議会議員 鹿熊正一（以下「甲」という）と鹿熊正一後援会（以下、「乙」という）とは、事務所の賃貸料について、次の条項により覚書を締結する。

第1条 甲と乙は、賃貸人 [REDACTED]（以下、「丙」という）からの借受物件は、これを共同して使用するものとする。

第2条 甲と乙は、本物件を、富山県議会議員 鹿熊正一事務所兼鹿熊正一後援会事務所として使用し、その他の用途には使用しないものとする。

第3条 使用貸借の期間は、平成27年6月1日から平成28年5月31日までとする。以降においても、甲乙及び丙から申し出がなければ、1年間ずつ更新するものとする。

第4条 賃貸料は、月30,000円とする。

第5条 甲は、前条に定める賃貸料の2分の1を負担し、乙は、その残額の全てを負担する。丙に対する支払いは、乙が一括してこれを行うものとする。

第6条 甲は、乙に対し、前条に定める賃貸料15,000円を毎月10日までに支払うものとする。

第7条 この契約に定めのない事項については、必要に応じ甲乙協議して定めるものとする。

この覚書の締結を証するため、この覚書2通を作成し、両者記名押印のうえ、各自1通を保管するものとする。

平成27年6月1日

甲 富山県下新川郡朝日町殿町1495

自由民主党富山県議会議員

鹿熊正一 [REDACTED]

乙 富山県下新川郡朝日町沼保977-1

鹿熊正一後援会 [REDACTED]

建物賃貸借契約書（事務用）

賃貸人 [REDACTED]（以下「甲」と）と、賃借人 鹿熊正一後援会（以下「乙」）は、建物の賃貸借に関し、次のとおり契約（以下「本契約」）を締結した。

（賃貸借の目的物）

第1条 甲は、乙に対し、次条以下の条件により、次に表示する物件（以下「本建物」）を賃貸する。

所在地 富山県下新川郡朝日町沼保 977-1

（使用目的）

第2条 乙は、本建物を事務所の目的にのみ使用する。

（契約期間）

第3条 本契約の期間は、平成27年 6月 1日より、平成28年 5月31日までの1カ年間とする。ただし、契約期限の2カ月前までに甲乙双方より特段の意思表示がないときは、自動的に同一条件で1年間契約が更新されるものとする。

（賃料）

第4条 賃料は1カ月金 3万円とする。

（賃料等の支払時期及びその方法）

第5条 毎月10日までに振込口座「[REDACTED]」に振込入金とする。賃料と諸費用（以下「賃料等」）の当月分を甲の指定する方法により甲に支払う。なお、契約月の賃料等は1カ月を30日とした日割計算とする。

（賃料等の改訂）

第6条 甲は、賃料等が経済事情及び公租公課の変動または近隣の賃料等との比較により不相当となった場合、契約期間中であっても、賃料等の増額を請求することができる。

（公租公課）

第7条 本建物に関する公租公課は、甲が支払う。

（公共料金）

第8条 電気、ガス、水道等公共料金は、乙が支払う。

(少修繕義務)

第9条 本建物の部分的な小修繕は、乙がその費用を負担して行う。

(本建物等の破損等による損害賠償義務)

第10条 乙は、自己又は乙の同居者等の故意・過失により、本建物及び設備を破損・毀損、滅失、故障等させたときは、その損害を甲に賠償しなければならない。

2 乙が甲の承諾なく本建物に変更を加えたときは、甲はただちにこれを現状に回復させ、又は損害を賠償させることができる。

(契約解除)

第11条 甲は、乙が次の各号の一に該当したときは、催告その他の法定の手続きによらず、ただちに本契約を解除できる。

- 一 賃料を2カ月分以上滞納したとき
- 二 2カ月以上不在となり、本契約の継続意思がないと認められるとき
- 三 その他本契約に違反したとき

(行方不明の場合の措置)

第12条 前条第2号の場合、甲は連帯保証人その他立会人の立ち会いの上、乙の家財その他の所有物(以下「所有物等」)を適当な方法により任意の場所に保管し、その後1カ月を経過しても引取人のないときは、乙は所有物等に関する一切の権利を放棄する。

(契約の即時終了)

第13条 本契約は、次の各号のいずれかに該当する場合は、甲は乙に通知することなく、即時に終了する。

- 一 本建物が火災、地震等の災害その他の理由により滅失したとき
- 二 本建物の全部又は一部が公権力等により買い上げ、収容又は使用されることが判明したとき

(延滞損害金)

第14条 乙は、本契約により生じる金銭債務の支払いを遅滞したときは、延滞損害金として支払日までの利息年率10%を支払う。

(賃貸人の立入り)

第15条 甲は、緊急事態の発生及び本建物の維持管理上必要があると認められるときは、本建物内へ立入ることができる。

(建物の明渡し)

第16条 乙は、本建物の明渡しに際し、乙の保有する所有物等をすべて収去しなければ

ならない。

2 甲の承諾なく本建物に加えた変更については、本契約時の原状に復し、甲の立ち会いのもと本建物の引渡しを行う。

3 乙は、本契約終了時に、本建物の明渡しをしない間は、その開始月より月割で賃料等相当額の損害金を支払う。

4 乙は、本建物の明渡しに際し、甲に対して移転料その他の名目で金銭を請求することはできない。

(訴訟管轄)

第17条 本契約に関する訴訟は、本建物所在地の管轄裁判所とする。

[特約事項]

以上、本契約の成立を証するため、この契約書を2通作成して、当事者署名捺印の上、甲乙各1通を保有する。

平成 27 年 6 月 / 日

甲 (賃貸人) 住所 [REDACTED]

氏名 [REDACTED]

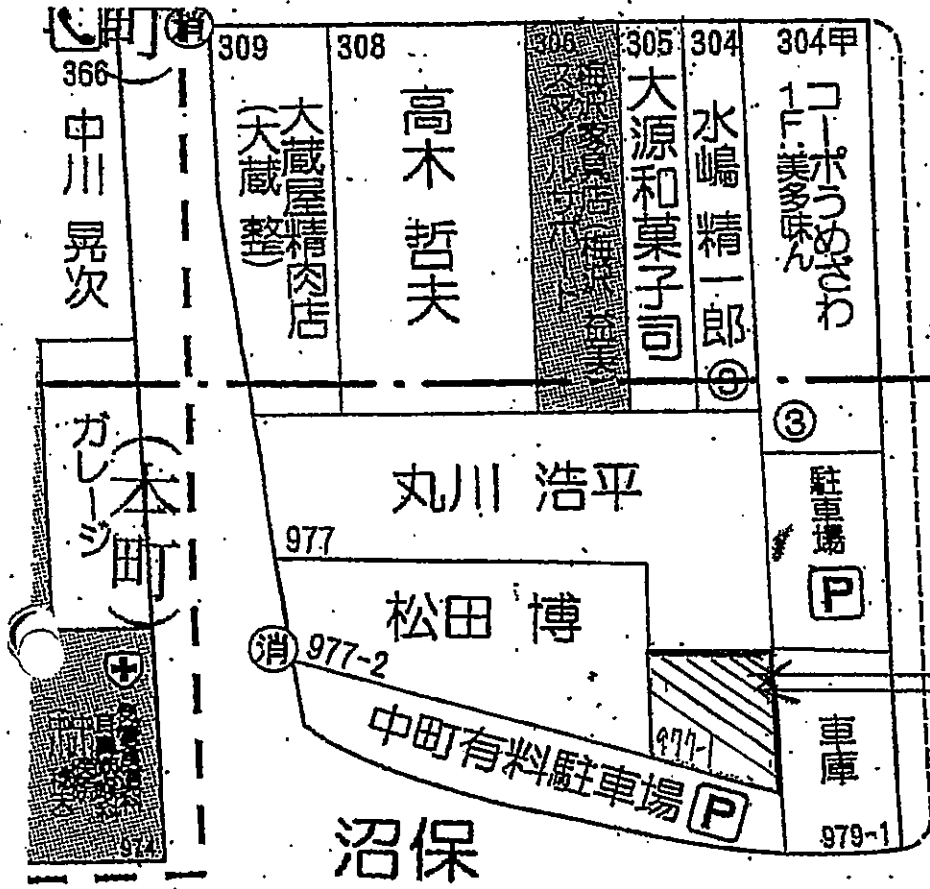
乙 (賃借人) 住所 富山県下新川郡朝日町沼保977-1

氏名 鹿熊正一 後援会 [REDACTED]

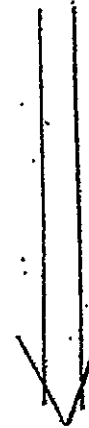
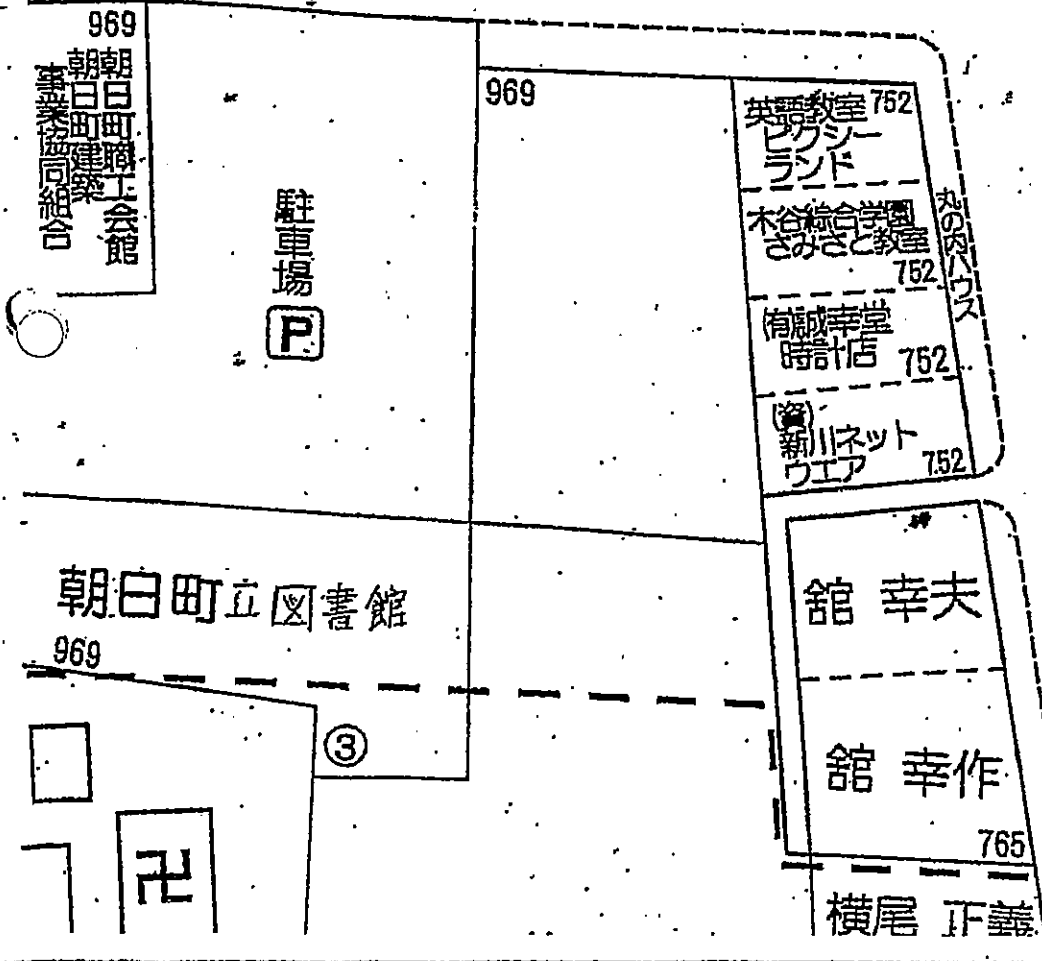
あまひ総合病院



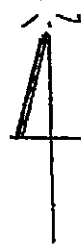
鉄筋コンクリート3階建の1階
21.5坪



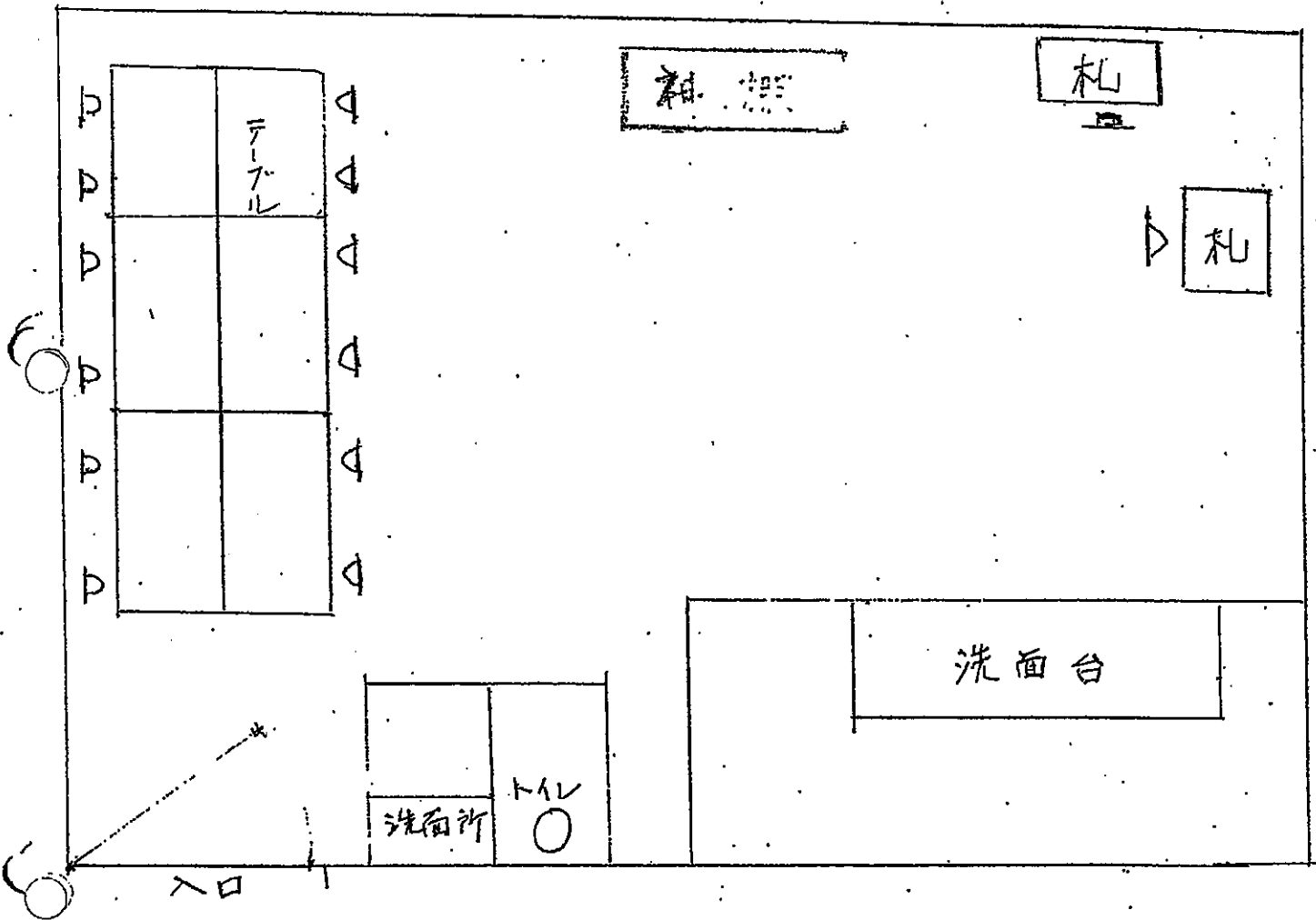
沼保



国道8号線



事務所平面図



1枚用紙代

領収証
近くて便利の、その先へ



コメリハードアンドグリーン朝日店
0765-83-9025
2018年4月22日(日)17:08 0832-0001
7720
28*コピ-用紙 A4 ¥298
28*コピ-用紙 B5 ¥248

小計	¥546
(内消費税 8%)	¥40
商品計	2点

合計 ¥546
お預り ¥1,046
お釣り ¥500

2P



領収証
近くて便利の、その先へ



コメリハードアンドグリーン朝日店
0765-83-9025
2018年6月7日(月)10:06 0832-0001
0017
28*コピ-用紙 A4 ¥1,490
(6個 x @298)
まとめ値引BS 1回 -210

小計	¥1,280
(内消費税 8%)	¥94
商品計	6点

合計 ¥1,280
お預り ¥1,300
お釣り ¥20

5P



546 + 1280 = 1826

インカートリッジ代

領収証
近くて便利の、その先へ



コメリハードアンドグリーン朝日店
0765-83-9025
2018年4月29日(日)18:11 0832-0001
7792
28 キャノインカートリッジ BC-340 ¥1,780
28 キャノインカートリッジ BC-341 ¥1,980

小計	¥3,760
(内消費税 8%)	¥278
商品計	2点

合計 ¥3,760
お預り ¥4,000
お釣り ¥240

17P



領収証

No 06644

熊正会様

金額	百	千	百	拾	円
		7	8	6	40

但し11コーイン 2本

上記金額正に領収いたしました

平成30年5月2日

(有)坂東電器

富山県下新川郡朝日町栄町150-1

TEL 83-0066

FAX 83-1174

本領収証に取扱者印のないもの、金額を訂正したものは無効。

収入
印紙

領収金額に含まれる消費税	
金額	円
区分	金額
現金	円
小切手	
手形	
振込	
振替	
計	

取扱者印



3760 + 8640 = 12400

〒939-0742
富山県下新川郡朝日町
沼保977-1

熊正会

御中

1 / 1

0022058



〒261-7108
千葉県千葉市美浜区中瀬2丁目6-1
WBGマリブイースト棟8階
日立キャピタルNBL株式会社
資産管理部 満了担当
お問合せTEL 043-333-7200



再リースのお知らせ兼再リース料のご請求書

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、先日「リース期間満了に伴う契約手続きのお知らせ」にてご案内申し上げましたお客様とのリース契約につきまして、ご契約条件に基づき、再リース契約の手続きをさせていただきましたのでお知らせいたします。本書をもって再リース料の請求書とさせていただきます。なお、ご契約内容は下記の通りとなりますので、ご確認をお願い申し上げます。

敬具

記

<再リース契約のご内容>

契約番号	7701-3699-3000-01	再リース料 (年額)	27,960 円		
再リース期間	2018年04月04日より1年間	消費税等	2,236 円		
お支払日	2018年05月07日	お支払額	30,196 円		
物件番号	物件名	メーカー名	型式	台数	設置場所
001-00	デジタル複合機 富士ゼロックス	-	DC-3 3000F	1	富山県下新川郡朝日町
002-00	デジタル複合機 富士ゼロックス	-	SC-3 2000F	1	富山県下新川郡朝日町

※表示文字数を越えた部分は省略しております。予めご了承ください。

<お支払方法>

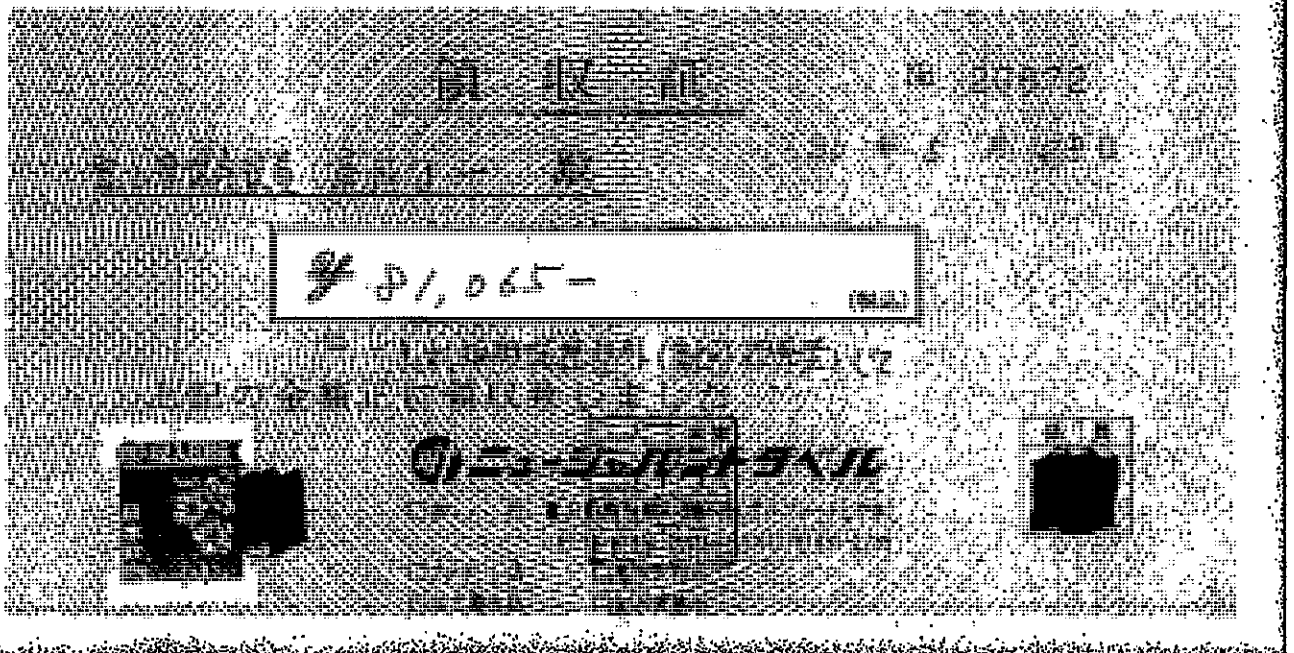
お支払日	2018年05月07日	お支払額	30,196 円
金融機関		支店名	
お引落 (お振込) 口座		口座名義人	

【ご注意】

お支払方法は、原契約が口座振替のお客様は上記指定金融機関より自動引落しとなります。前営業日までにご準備をお願いいたします。また、ご指定いただいたお支払口座と当社に対する他のお支払いに係る口座が同一のときは、当社は、これらの代金を合算した金額で金融機関に対して口座振替の依頼をさせていただくことがあります。

原契約が銀行振込のお客様は、上記指定口座へお支払日までにご送金いただきますようお願い申し上げます。なお、恐れ入りますが、振込手数料はお客様ご負担にてお願いいたします。

364		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成30年4月11日	から	山村振興議員連盟 県外視察（高知）			
平成30年4月12日	まで	(内容)			
高知県林業大学校 高知県中山間地域対策課 梶原町環境モデル都市推進室 集落活動センター「ゆずはら西」		別紙のとおり			
鉄道・バス		宿泊料		5,620	
タクシー		食事代		4,200	
航空機	57,160	視察料 2か所		2,000	
自家用車 @37 ×	km = 0	貸切バス代 (大型)		11,745	
リース車 @18 ×	km = 0				
有料道	340				
駐車場		計		81,065	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					



- 主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキ口数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 年 月 日
 決裁 平成 年 月 日
 処理 平成 30 年 5 月 28 日

山形振興議員連盟県外視察（平成30年4月11日～12日）決算

H30. 5. 17

参加者	会派	交通費				ホテル				食事代				視察料		自己負担額	全合計	備考(自己負担の内容)
		飛行機	JR	貸切バス 代等	有料道路	ホテルNO1 高知(4/11泊)	ホテルNO1 高知(4/11朝食)	かこいのくら (4/11夕食)	2次会費 (4/11)	星の上のホテル (4/12朝食)	星の上のホテル (4/12昼食)	検定料 (4/12)	検定料 (4/12)	検定料 (4/12)	検定料 (4/12)			
1 高橋会長	自民	57,160		11,745	340	5,620	700	2,000					1,500	1,000	1,000	81,057	0	
2 宮本副会長	自民	57,160	3,640	17,360	332	5,620	700	2,000					1,500	1,000	1,000	81,057	20,940	
3 中川監事	自民	57,160		11,745	332	5,620	700	2,000					1,500	1,000	1,000	81,057	0	
4 龜山議員	自民	57,160		11,745	332	5,620	700	2,000					1,500	1,000	1,000	81,057	0	
5 酒井議員	自民	57,160		11,745	332	5,620	700	2,000	3,000	5,150	520		1,500	1,000	1,000	81,057	8,670	山形県事務所外
6 川島議員	自民	57,160		11,745	332	5,620	700	2,000					1,500	1,000	1,000	81,057	0	
7 山崎議員	自民	57,160		11,745	332	5,620	700	2,000					1,500	1,000	1,000	81,057	0	
8 藤田議員	自民	57,160		11,745	332	5,620	700	2,000					1,500	1,000	1,000	81,057	0	
9 浅岡議員	自民		3,660													0	3,660	航空機燃料
10 藤井議員	自民	57,160		11,745	332	5,620	700	2,000					1,500	1,000	1,000	81,057	0	
11 藤岡議員	自民	57,160		11,745	332	5,620	700	2,000					1,500	1,000	1,000	81,057	0	
12 滝沢理事	社民・維新派		3,660													0	3,660	航空機燃料
13 井加田監事	社民・維新派	57,160		11,745	332	5,620	700	2,000					1,500	1,000	1,000	81,057	0	
14 島村議員	社民・維新派	57,160		11,745	332	5,620	700	2,000					1,500	1,000	1,000	81,057	0	
15 澤谷議員	社民・維新派	57,160		11,745	332	5,620	700	2,000					1,500	1,000	1,000	81,057	0	
16 岡崎議員	社民・維新派	57,160		11,745	332	5,620	700	2,000					1,500	1,000	1,000	81,057	0	
17 火爪議員	日本共産党	57,160		11,745	332	5,620	700	2,000					1,500	1,000	1,000	81,057	0	
18 吉田議員	公明	57,160		11,745	332	5,620	700	2,000					1,500	1,000	1,000	81,057	0	
小計		914,560	10,660	187,920	5,320	49,920	11,200	32,000	3,000	5,150	520		24,000	16,000	16,000	1,295,920	36,880	
合計		925,220	14,320	204,940	5,320	55,840	12,900	64,000	6,000	10,670	1,020		26,520	17,000	17,000	1,333,810	1,333,810	

平成30年5月15日

富山県議会山村振興議員連盟 様

(株)ニュージャパントラベル
富山市奥田新町1番1号
TEL (076) 441-2000

請 求 書

「高知県内視察」に係った費用を、下記の通りご請求いたします。

旅行日 平成30年4月11日(水)～4月12日(木)
人 数 16名様

ご請求金額 金1,333,810円

項 目	内 容	単 価	数 量	合 計	備 考
航空券代	富山～羽田～高知 往復	57,160	15名	857,400	
航空券代	富山⇒羽田⇒高知⇒羽田	57,870	1名	57,870	宮本様
JR代	東京⇒富山	17,360	1名	17,360	宮本様
航空券取消料	発券後取り消し	3,660	2名	7,320	菅沢様、浅岡様
航空券変更料	発券後変更	2,830	1名	2,830	宮本様
貸切バス代	2日間利用	187,920	1台	187,920	
有料道路代		5,320	1台	5,320	
宿泊ホテル代	ホテルNO1高知	5,620	16名	89,920	
宿泊ホテル朝食代	ホテルNO1高知	700	16名	11,200	
食事代	4/11 夕食 (高知市内)			35,000	
"	4/12 昼食 (梶原町)			24,520	
立替物	4/12 梶原町視察費	1,000	16名	16,000	
"	4/12 集落活動センター	1,000	16名	16,000	
"	4/11 2次会費			5,150	
総合計				1,333,810	

誠に勝手ながら、平成30年5月28日迄に、ご入金いただきますようお願い申し上げます。

尚、銀行振り込みの場合は下記までお願いします。

銀行名 : 北陸銀行奥田支店
口座番号: 当座 4038850
口座名 : (株)ニュージャパントラベル

県外・海外政務活動報告書

平成30年4月17日

富山県山村振興議員連盟

整理番号		会派・議員名
活動名称	富山県山村振興議員連盟県外視察	
目的	森林面積比率全国1位高知県での県立林業大学校の役割や、部局を超えた組織(中山間地域対策課)設置、集落支援・生活支援の取組み、町産材やエネルギーを活用したまちづくりの取組み、集落ぐるみで取り組む鳥獣被害対策の実施状況など、山村地域の抱えている課題や施策を学び視察を行った。	
日程	平成30年4月11日(水)～平成30年4月12日(木)	
場所 〔国名・都市名、施設名、訪問先等〕	高知県香美市土佐山田町大平80 高知県林業大学校 高知県高知市丸の内1-2-20 高知県中山間地域対策課 高知県高岡郡梶原町梶原1444番地1 梶原町環境モデル都市推進室 高知県高岡郡梶原町広野167-1 集落活動センター「ゆすはら西」	
相手方等 〔主催者、対応者、参加者、同行者等〕	高知県林業大学校 塚本副校長 山下教務課長 高知県中山間地域対策課 課長代理生活支援担当チーフ 竹本永子さん 議会事務局 沖調査第二班長 梶原町環境モデル都市推進室 議会事務局 加藤さん 集落活動センター「ゆすはら西」 氏	
行程・活動内容 別ぞえ報告書のとおり		

※日帰りの政務活動を含む。



高知県立林業大学校視察

【視察日時】4月11日(木)

【現地対応者】高知県立林業大学校 林業人材育成推進監・副校長 塚本愛子氏

* 大学校パンフレットをもとに学校概要等について説明を受け、その後、大学校の建築概要について校舎内見学を含め説明を受ける。

【学校概要】* 平成27年4月先行開校。

* 平成30年4月から専攻課程を加え、高知県立林業大学校として本格開校する。

* 林業、木材産業、木造建築の分野で基礎から専門的な技術までしっかり学べる学校。

* 高知県の林業を担う素晴らしい人材を育てることを目的とする。

【校長】隈 研吾校長挨拶の一文:高知県は人々の暮らしと森がこれほど深く、暖かくつながっている地域は世界でも希ではないか。こうした林業を振興することは、高知県にとって重要であるということだけではなく、日本全体にとっても極めて重要なことであり、この強い思いから本校の校長に就任する決意をした。全国の個性豊かな若者たちが集い、学ぶことで林業再生に向けた画期的なアイデアが生まれ、新しい森の文化、森の技術が熟成し、全国に広まり、更に世界に発信できる林業大学になればと考えている。

【教育理念】* 林業再生を担う若者たちのプラットフォーム。

* 木の世紀をリードする志ある人材を育成。

* 現場に学ぶ実学主義。

【教育体系】①基礎課程:林業に携わる上で必要な知識、技術を学び、即戦力となる人材を養成する。

②短期課程:作業道解説などの小規模林業者向け研究や特用林産物の生産などさま

さまざまな技術を習得し、地域で活躍する人材を養成する。

③専攻課程(平成30年4月開校)

- * 森林管理コース: 森林 GIS の活用方法や森林施業プラン書の作成技術等を習得し、林業経営の中核を担う人材を養成する。
- * 林業技術コース: 高性能林業機械のメンテナンスや架線技術などを習得し、林業技術のエキスパートを養成する。
- * 木造住宅から中大規模木造までの設計技術などを習得し、木造建築のプロデューサーを養成する。

【特徴】①体験重視のカリキュラム: 技術の体験のために豊富な実習時間を確保した実践型のカリキュラムとなっている。

: 実際に現場で仕事を体験することにより、知識や技術の向上と併せて、職場の理解を深めることができる。

②充実した学習環境: 平成30年4月の本格開校に合わせて、新校舎や大型実習棟が完成する。さらに充実した学習環境のもと、林業や木造建築から実践まで、幅広く学ぶことができる。新校舎は高知県が需要拡大に努めている新建材「CLT」などを活用して建築中。

③全国から林業を志す仲間が結集: 高知県内はもとより、全国各地から幅広い年代の研修生が集う当校は研修生の約3割が県外出身者で、年齢は18歳から50歳まで幅広いのが特徴。

群馬県:1人、東京都:3人、神奈川県:1人、京都府:1人、大阪府:2人、兵庫県:1人、香川県:1人、愛媛県:2人、福岡県:1人、宮崎県:1人、高知県:39人

【サポート】①親身な支援で就職率100%: 就職率の高さが自慢。研修生一人ひとりの希望に合わせて、きめ細かな就職指導を実施。インターシップによる職場体験なども積極的に行われている。

②最大165万円(年間)を給付: 当校では最大165万円(年間)の給付金を整備しており、安心して研修に専念することができる。

【高知県】尾崎正直知事挨拶の一文: 高知県は森林率日本一で豊富な森林資源をダイナミックに活用し、森林振興を進めていくことは重要な課題である。そのため、高知県産業振興計画の中でも森林振興をしっかりと位置づけ、原木産業の拡大をはじめ大型製材工場や木質バイオマス発電などの整備を進め、さらには新たな木材需要が期待されるCLTについても全国に先駆けて取り組みを進めている。こうした林業振興の取組みを進めるうえで、その要となるのは担い手の確保、育成であることから、高知県立林業大学校を開校し、次世代の林業・木材産業をけん引する優れた人材を育成することとした。

【高知県の森林の現状】

* 森林面積: 約60万 ha、森林率84%(全国第1位) * 人工林面積: 約39万 ha

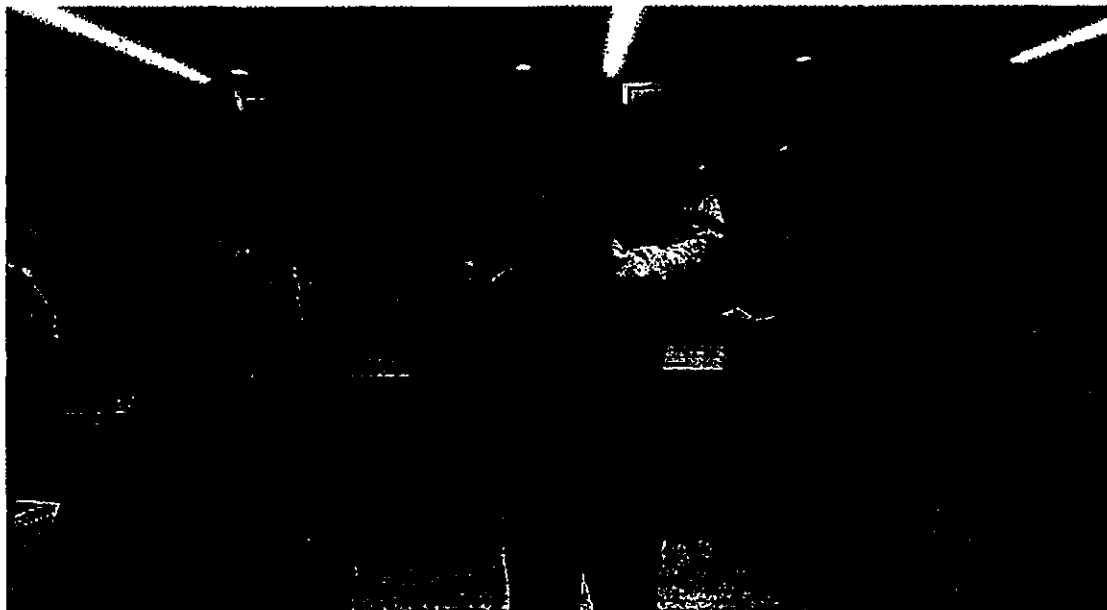
(全国第2位) *人工林総蓄積量:約1億6,300万m³(全国第2位)

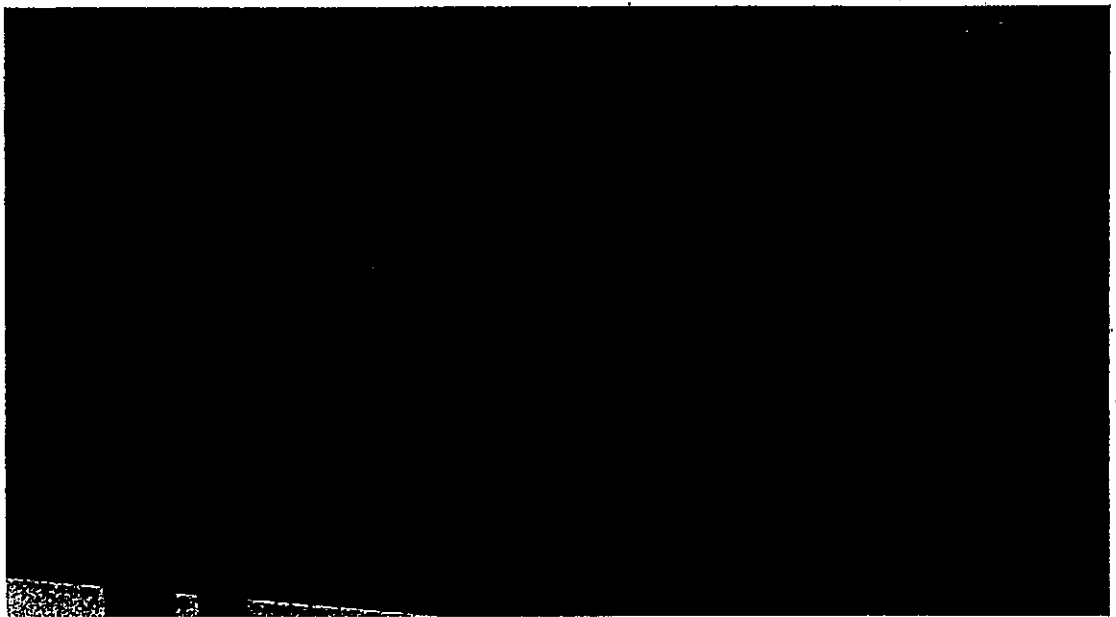
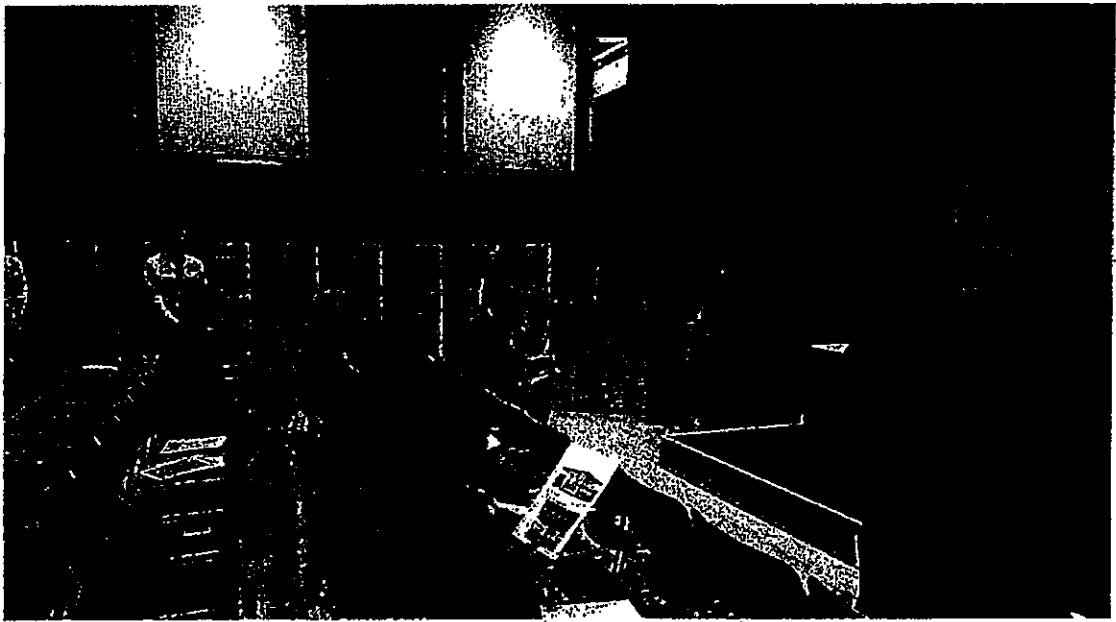
*年間成長量:約370万m³(年間原木生産量の約6倍)

【林業組合の取組み】

これまでに構築した川上から川下までの仕組みを生かして、「森の資源」を余すことなく活用する。

- ①原木生産のさらなる拡大:生産性の向上による原木の増産。持続可能な森林づくり等。
- ②加工体制の強化 :製材工場の強化。高次加工施設の整備等。
- ③流通・販売体制の確立 :流通の統合・効率化。販売先の拡大等。
- ④告示需要の拡大 :CLTなどの普及促進。木質バイオマスの利用拡大等。
- ⑤担い手の育成・確保 :林業大学校の充実・強化。きめ細かな担い手確保の強化。小規模林業の推進。事業体の経営基盤の強化。





【山村振興議連 視察報告～平成 30 年 4 月 11～12 日】

日 時: 4 月 11 日 (水) 午後 4 時～午後 5 時

場 所: 高知県中山間地域対策課

対応者: 課長代理 生活支援担当チーフ 竹本永子さん

議会事務局 沖調査第二班長

高知県は、人口 728,276 人(全国 45 位)で高知市と南国市に 385,172 人で県人口の 52.9%が集中し、森林面積が県土の 84%を有する森林県です。県全体の 93%が中山間地域に位置付けられ、その中山間地域に約 40%の人口が生活をしています。30 年間で過疎地域の生産人口が半減し、高齢化は 41.7%を超え、全国で 2 番目の高齢化が深刻な状況を示しています。平成 23 年に徹底した集落実態調査(2,537 集落対象)を行い、地域(集落)への「愛着」や「誇り」を感じている【93%】、今後も住み続けたい【76.7%】の声を受けて、中山間総合対策本部を設置し、中山間政策(過疎対策)の抜本強化に尾崎知事を本部長にして力強く押し進めていくこととしています。中山間地域で誰もが一定の収入を得ながら、安心して暮らし続ける仕組みづくりを推進していく約 70 人体制の中山間地域対策課を設置して、県内 7 ブロックに地域産業振興監(副部長級)7 名、地域支援企画員総括(課長補佐級)18 名、地域支援企画員 39 名を市町村に配置し、市町村と一体となって、地域の生活支援策、産業政策をきめ細かく遂行しています。平成 30 年 4 月現在で、28 市町村・46 カ所で集落活動センターを開設しており、目標は 80 カ所を目指し、小さな拠点に対しての補助制度や支援制度を充実させています。

質問 1: 地域支援員の身分は、どのようになっているのか?

答弁 1: 約 3 年の任期で、市町村に派遣され、職員各自の経験を活かした地域支援策を推進している。4 年間出向していた竹本さんは、始めのころは、出向先の自治体から歓迎されていない印象を受けていたが、時間を追うごとに、県の本気度を捉えていただき、一緒になって政策を推進していくことが自治体にとっても利益になると感じていただけてきたようであります。

質問 2: 自治体側の裏負担などの歓迎されない部分の解消を、どのように進めていかれたか。

答弁 2: 尾崎知事が 3 年間かけて全ての自治体を廻り、本施策の意義や重要性を直接訴えてきたことが大きいのと、むしろ地域支援企画員を使えば使うほど市町村にはメリットが大きいということが浸透してきたこと。

高知県では、中山間地域支援政策が最重要政策との位置付けがしっかりしており、本県においては、まずは中山間地域実態調査を徹底し、対策の前の土台(情報収集)を固め、高知県の先行事例を参考に、富山型の地域支援政策の中長期プランを策定していく必要がある。





00

00

富山県山村振興議員連盟視察報告

場所: 高知県梶原町(ゆすはらちょう) 自然エネルギーによる町づくり 視察

梶原町(ゆすはらちょう)は、高知県西部、愛媛県境に接し、四万十川の源流となる中国山地の山間地帯に位置する。「雲の上」がキャッチフレーズ。

町の91%が林野で主要産業は林業。

自然エネルギーを積極的に取り入れることで、知名度や交通アクセス等のマイナス面をプラスに転換し、低炭素で持続可能な環境モデル都市として地域づくりに取り組んでいる。

取り入れている自然エネルギー等は、①風力発電 ②太陽光発電 ③小水力発電 ④間伐材ペレット ⑤BDF ⑥RDF(ゴミの固形燃料) ⑦し尿や生ごみを堆肥化など、多岐にわたる。

① 風力発電

設置風車2基、年平均発電量 2,778MWh 利用率 27.4%

売電単価 19.25 円/kWh

総工費 4 億4500万円

② 太陽光発電

設置公共施設 31 施設、発電出力 550.9kWh

一般家庭設置戸数 152 戸 発電出力 659kW

街路灯等を地域住民が太陽光パネルを作成し、教材や地域参加として役立てている。

③ 小水力発電(まちづくり交付金事業)

落差 6m 最大取水量 1.2 m³/sec 最大出力 53kWh

年間発電量 185~310MWh

総工費2億円

昼は梶原学園中学校棟の電力 90%を、夜は街路灯 82 基の電源としている。

④ 木質ペレット工場(地域バイオマス利活用交付金事業)

使用原料は主に間伐材とおがくず等の木質廃棄物

総事業費2.5億円

生産能力 1t/h 1,800t/年 使用原料 3,900t/年

運営は第三セクターゆすはらペレット(株)

運営母体は森林組合で従業員 2 名

石油小売価格の変動により、石油が高値になるとペレットが売れる。

石油価格が下がるとペレット出荷量が下がる。

一般家庭や農家等では、石油機器とペレットストーブ両方設備し、燃料費が安い方を選択している状況。

⑤ BDF

工場廃油や廃食用油を利用しバイオディーゼル燃料を生産。
月産 270 リットルをゴミ収集車に利用。

⑥ RDF(ゴミの固形燃料化)

処理能力 6t/日 790t/年

⑦ し尿の堆肥化

地域バイオマス利活用事業

総工費 4.8 億円 生産量 700t/年 し尿量 1 千 t/年 運営費 2 千万円
販売額 100 万円

環境モデル都市として平成 21 年に内閣総理大臣から認定を受ける。

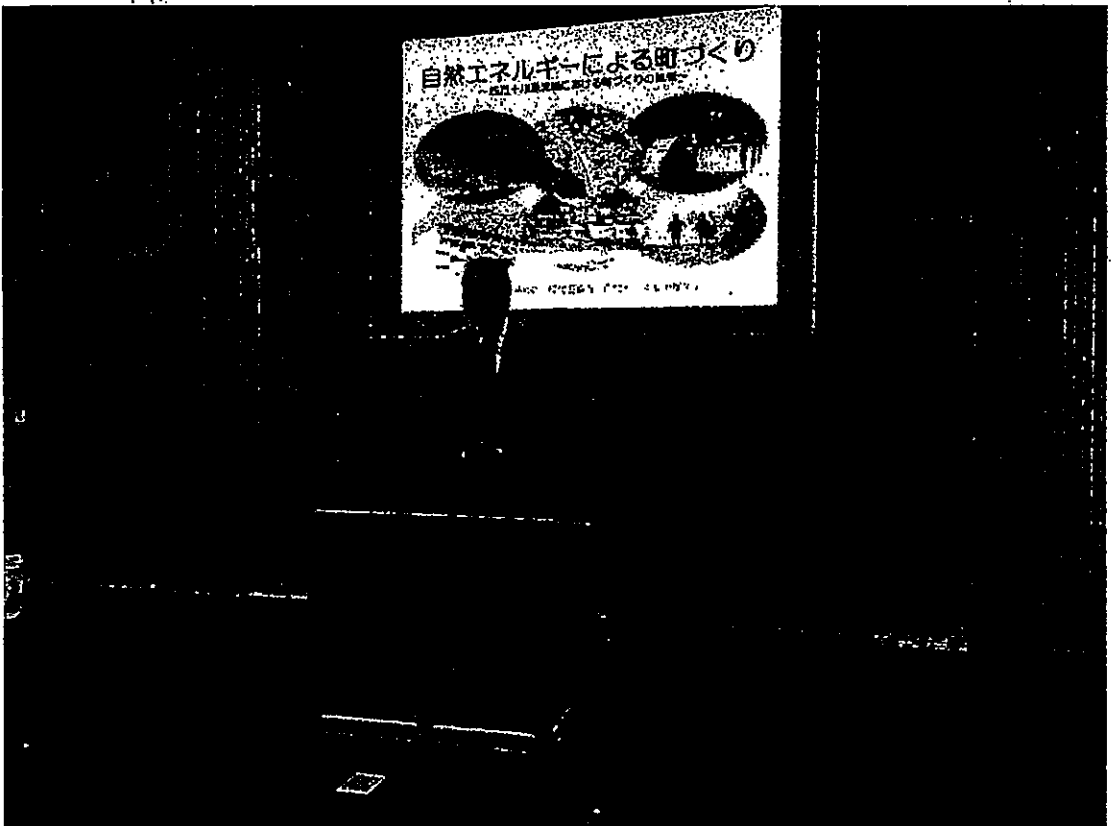
温室効果ガスの排出量削減等、低炭素まちづくりを推進

環境に取り組む事で町のイメージや性格が位置付けられ、若い世代の社会増が期待できる。

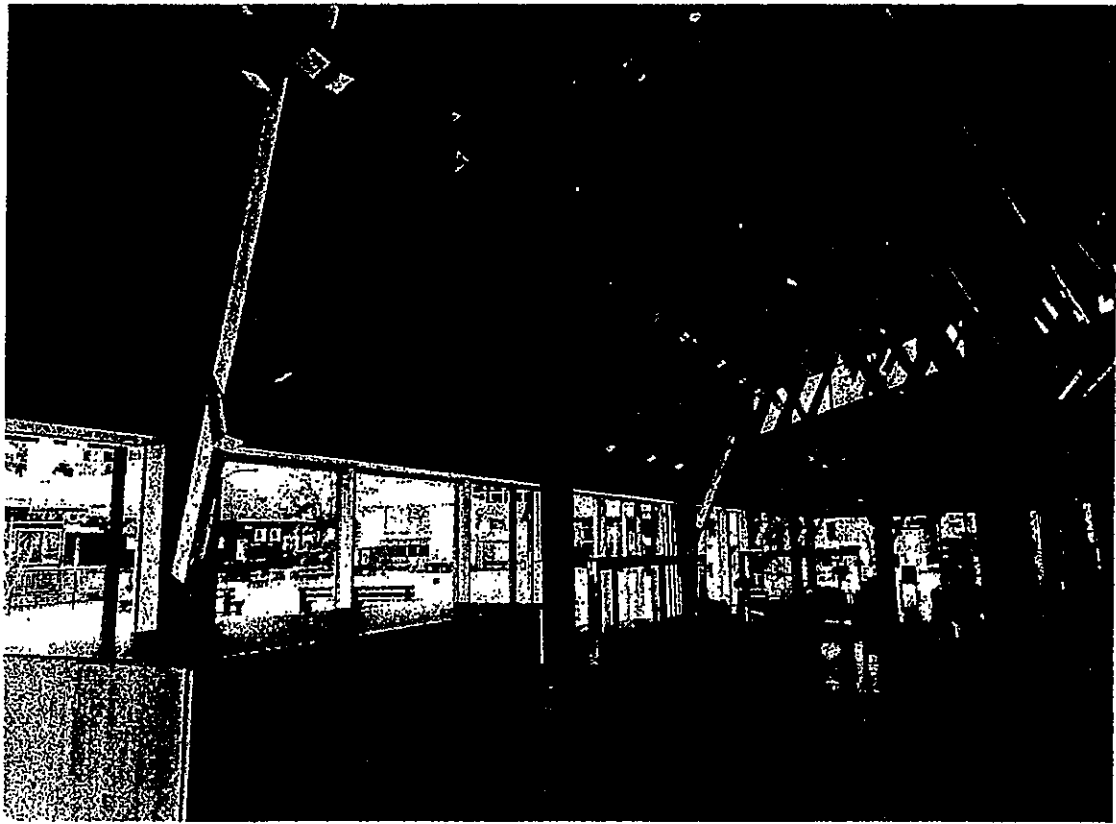
交通の便が悪い部分を自然エネルギーの活用によって町内で完結でき、エネルギー的に持続可能なまちづくりを目指している。

多くの施設は、過疎債が財源の中心となっている。









【集落活動センター「ゆすはら西」】

4月12日(木)11:00~12:00

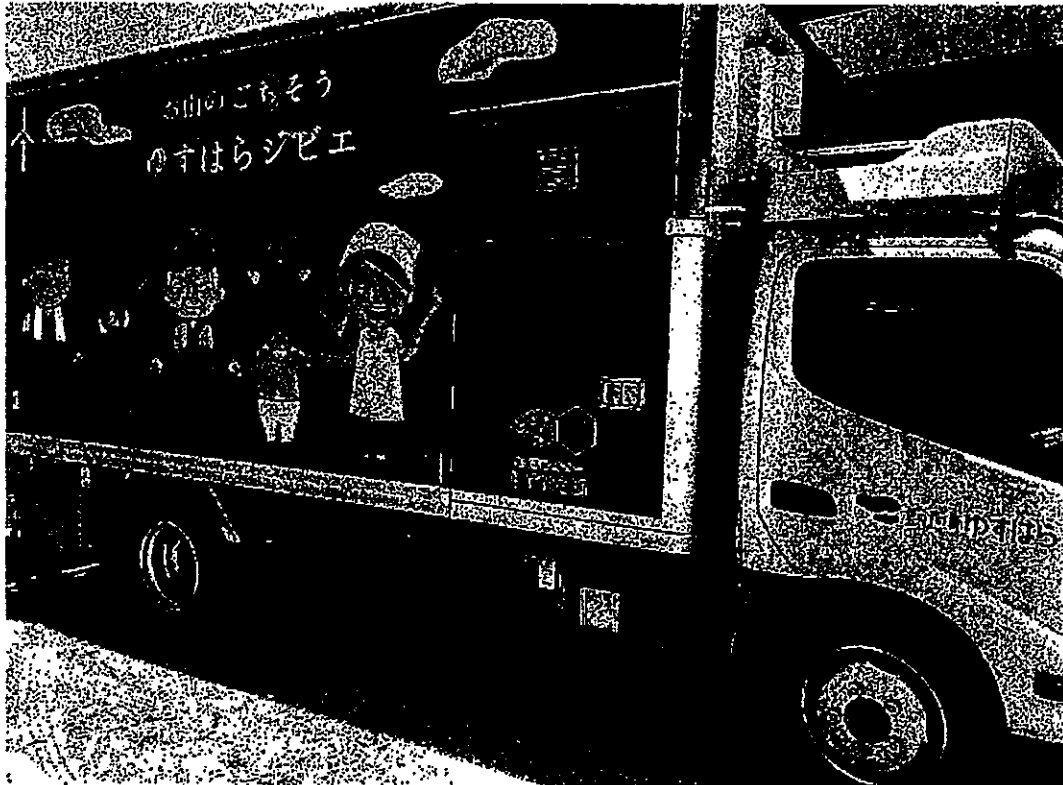
【現地対応者】NPO 法人ゆすはら西・ゆすはらジビエの里 XXXXXXXXXX 氏

国が掲げる小さな拠点、地域運営組織として平成29年3月19日に集落活動センター「ゆすはら西」が立ち上がり、これを母体としてNPO 法人ゆすはら西を設置した。

集落生活圏での生活を維持していくために地域住民で何が出来るか住民が行政と一緒に考え、それぞれの特徴を活かして活動するのが集落活動センターの主旨。ガソリンスタンドやレストラン、合宿所など、それぞれ地元の特性に適した事業展開をしているが、西地区ではジビエカーの運行と解体処理施設を運営することで地域の活性化を図っている。

西地区がジビエ活用に特化した理由は以下の2点

- ・町内96名の猟師のうち17%16人が西区内に住み、イノシシの5割、シカの3割を駆除している実績を持つ。
- ・直近8年間でイノシシは10倍、シカは50倍に激増し、駆除の需要が高まると判断。駆除というマイナスイメージから「産業資源」としての視点に変えることで将来にわたり安定的な資源確保が見込まれる。



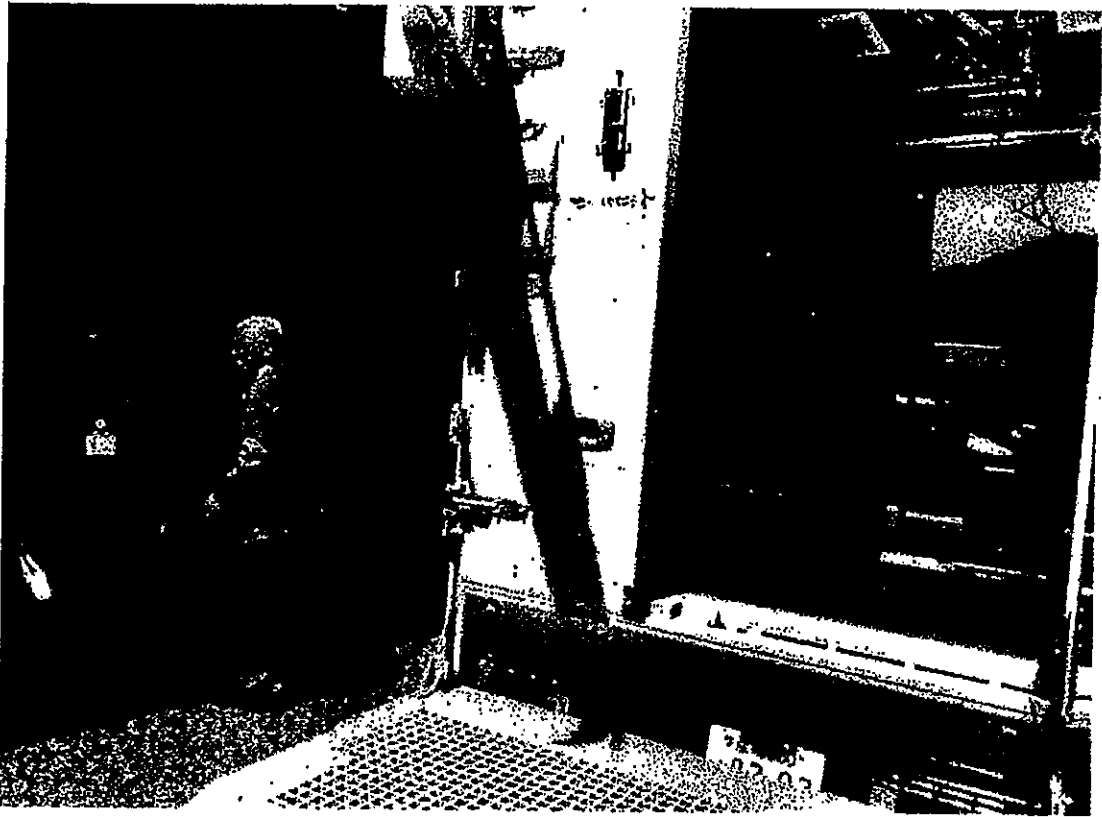


ジビエを取り巻く環境は近年、格段に良くなっている。取扱う店舗数は全国で881、処理加工施設数は552と鳥獣被害の拡大と需要の増加によって、消費者のジビエに対する抵抗感が低下、ニーズが上昇してきている。しかし、まだまだ全国的には利用率は低く、全国平均で5%程度。捕獲現場からの搬出に苦勞しているのが現状である。梶原町では過去の実績から安定捕獲頭数を1200頭とし、その3割をジビエ利用することを目標としている。しかし、点在する捕獲箇所から如何に安定的に利用可能な状態で個体搬入を行い、利用率を上げるかがポイントであり、そういう意味もあってジビエカーの導入がなされた。

ジビエカーは、梶原町が購入(長野トヨタから22百万円程度、高知県鳥獣被害防止総合対策整備事業55%補助)し、NPO法人が無償貸与を受けている。ジビエカーは「ゆすはら西」から1時間以上かかる松原地区に週3回(水、金、日)運行している。松原地区はシカの5割、イノシシの3割を捕獲しており、西地区、松原地区を合わせると町全体の8割を超える。その他、近隣の初瀬地区や四万川区、越知面地区などについても逐次個体回収に活用することとしている。

現在、一番頭を悩ませる課題はジビエ商品の販路の拡大。町内消費をメインとしたいがそれだけでは収入が足りないので(株)良品計画や長野トヨタ(株)、森林組合、商工会などを通して町外への販売促進を図ったり、学校給食への提供を企画したりして需要の掘り起こしを行っている。

食肉に適しない部位などはどうしているか、との質問に対し、①ペットフードに加工、②犬の餌などとして冷凍肉、③皮は兵庫県などでなめし皮として活用しているとのことであった。



富山県にないもの高知県立林業大学校は、林業管理コース・林業技術コース・木造建築のプロデューサーを養成するコースがあり、即戦力となる人材を養成している。また、前進の林業学校は、親身な支援で就職率 100%と就職率の高さが自慢である。インターンシップによる職場体験なども、積極的に行われている。次世代の林業・木材産業をけん引する優れた人材を育成しています。

高知県中山間地域対策課は、部局を超えて編成で、富山県と違い県庁職員地域支援企画員が市町村に派遣され、職員各自の経験を活かした地域支援策を自治体と一緒に進めている。

高知県梶原町は、地域環境を活かし、「雲の上の町ゆすはら」として、自然エネルギーによる町づくりにとりくんでいる。先に述べたように、環境モデル都市として内閣総理大臣から認定を受けるなど、エネルギー的に持続可能な町づくりを目指しています。

集落活動センター「ゆすはら西」では、国が掲げる小さな拠点、地域運営組織として、地域住民が行政と一緒にガソリンスタンドやレストランなど運営している。富山県内市町村の課題でもある有害鳥獣対策も、全国に先駆けてジビエカーを導入している。各地区に出向き、個体搬入をおこなっている。消費者のジビエに対する抵抗感を低下させて、ジビエ商品の販路拡大に努めている。

富山県山村振興議員連盟県外視察日程(案)

第1日目

月日	場所	着	発	備考	移動手段
4月 11日 (水)	富山空港	9:00	9:40		ANA316
	羽田空港	10:45	11:25	1日目は中型バス (林業大学校に行く途中に狭い道があるため)	ANA563
	高知空港	12:50			
	(昼食)		13:20	空港内で各自⇒芸西観光バス(Tel.0887-33-3436)	借上バス 約30分
	高知県林業大学校 香美市土佐山田町大平80 (tel0887-52-0784)	14:00	15:00	○県立林業大学校(H30.4開校)について ○施設視察 ★窓口:塚本副校長、山下教務課長対応	約50分
	高知県中山間地域対策課 高知市丸ノ内1-2-20(議事棟3階 第4委員会室)(tel088-823-9528)	16:00	17:00	○中山間地域対策のための部局を超えた組織 (中山間地域対策課)の設置(経緯・成果) ○集落支援、生活支援の取組みについて ★窓口:議会事務局 沖 調査第二班長	↓
	宿舎	17:10		ホテルNo.1高知 (高知市廿代町16-8 Tel.088-873-3333)	↓
夕食	18:00		かこいのくら (高知市廿代町8-15 Tel.088-854-6335) 土佐のおきやく飲み放題コース 5,000円	徒歩	

第2日目

月日	場所	着	発	備考	移動手段
4月 12日 (木)	宿舎		8:20	2日目は大型バス	借上バス 1時間30分
	梶原町環境モデル都市推進 室 梶原町梶原1444番地1 (tel0889-65-1111)	9:50	10:50	○町産材やエネルギーを活用したまちづくり ○施設視察(梶原町総合庁舎) ★窓口:議会事務局 加藤さん	視察経費 1人1,000円 (現金)
	集落活動センター「ゆすはら西」 梶原町広野167-1	11:00	12:00	○集落ぐるみで取り組む鳥獣被害対策の実施 ○施設視察 ★担当: ██████████	視察経費 1人1,000円 (現金)
	昼食	12:15	12:50	雲の上のホテル 高知県高岡群梶原町太郎川3799-3 ★0889-65-1100 ████████様	↓ 13分 ↓高速 1時間50分
	高知空港	14:40	15:35		ANA568
	羽田空港	16:55	18:00	(宮本副会長は羽田空港まで)	ANA319
	富山空港	19:00			

富山県議会山村振興議員連盟県外視察 参加者名簿

4/11~4/12 高知県

役職名	議員名	会派	備考
会長	かくま まさかず 鹿熊 正一	自由民主党	
副会長	みやもと, みつあき 宮本 光明	自由民主党	
理事	すがさわ ひろあき 菅沢 裕明	社民党・無所属議員会	欠席
監事	なかがわ ただあき 中川 忠昭	自由民主党	
監事	い か だ 井加田 まり	社民党・無所属議員会	
	しまむら すすむ 島村 進	社民党・無所属議員会	
	おかざき しんや 岡崎 信也	社民党・無所属議員会	
	さわたに きよし 澤谷 清	社民党・無所属議員会	
	かめやま あきら 亀山 彰	自由民主党	
	さかい たつし 酒井 立志	自由民主党	
	かわしま くに 川島 国	自由民主党	
	やまざきむねよし 山崎 宗良	自由民主党	
	やぶた えいじ 薮田 栄治	自由民主党	
	よしだ つとむ 吉田 勉	公明党	
	あさおかひろひと 浅岡 弘彦	自由民主党	欠席
	ふじい ひろひさ 藤井 裕久	自由民主党	
	ぎゃくしふ じお 瘡師富士夫	自由民主党	
	ひづめ ひろこ 火爪 弘子	日本共産党	

計18名 16名



管理番号	510		活動期間	01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間	平成30年4月1日	から	活動内容	高速代			
	平成30年4月30日	まで					
経費内容	金額		経費内容	金額			
鉄道・バス			宿泊料				
タクシー			食事代				
航空機			会費				
自家用車	@37 ×	km =	0				
リース車	@18 ×	km =	0				
有料道			15370				
駐車場			計			15370	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>							

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年6月29日
 決裁 平成30年7月4日
 処理 平成30年7月4日

カード番号	利用種別	金額	回数	種別	ETC	地域	車種
8 4 2	ETC通行料金	1440	1回	☆	ETC	富山	朝日 普通車
8 4 2	ETC前納・マイル超過	110	1回	☆	ETC	黒部	富山 普通車
8 4 4	ETC通行料金	660	1回	☆	ETC	清川	黒部 普通車
8 4 4	ETC通行料金	1210	1回	☆	ETC	黒部	富山 普通車
8 4 9	ETC通行料金	660	1回	☆	ETC	黒部	清川 普通車
8 4 9	ETC通行料金	1440	1回	☆	ETC	富山	朝日 普通車
8 4 11	ETC通行料金	1210	1回	☆	ETC	黒部	富山 普通車
8 4 12	ETC通行料金	1210	1回	☆	ETC	富山	黒部 普通車
8 4 13	ETC通行料金	1440	1回	☆	ETC	富山	朝日 普通車
8 4 13	ETC通行料金	1210	1回	☆	ETC	黒部	富山 普通車
8 4 17	ETC通行料金	1440	1回	☆	ETC	富山	朝日 普通車
8 4 17	ETC通行料金	950	1回	☆	ETC	魚津	富山 普通車
8 4 17	ETC通行料金	1440	1回	☆	ETC	富山	朝日 普通車
8 4 17	ETC通行料金	950	1回	☆	ETC	魚津	富山 普通車

** 今回ご利用金額合計 **

20870

** ご請求金額合計 **

20870

ポイント:今回ポイント獲得対象のご利用に☆等を表示。※お支払方法:お支払方法またはお支払回数を表示(ポ-1:ボーナス1回払い、ポ-2:ボーナス2回払い)、※今回返済:今回のお支払いが何回目かを表示。
 ※請求:ボーナス払いのお支払い月など一部のご利用についてのご説明(※外でのご利用には現貨通貨・通貨時替・換算レート)を表示。○は支払方法を変更できます。ただし一部ご要望にお応えできない場合がございます。

ご案内
 TS3CARDは各優サービスなど特典が満載のカードです。
 特典の詳細はご入会時にお送りした「総合ガイド」または「活用BOOK」やTS3CARDモール
 (<http://ts3card.com>)でご確認ください。
 ※一部のカードはTS3CARDモールの提供サービス内容が異なる場合もございます。

カードの紛失・盗難後の不正利用が増えています!
 駐車中の車や、飲食店、電車内等でのカードの紛失・盗難による不正使用が、多発しております。カードの保管・管理には十分ご注意ください。また、カードの紛失・盗難に気づかれた際は、速やかに弊社までご連絡ください。



案内番号	238	経費項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年4月2日 から	活動の概要	調査活動	
	平成 年 月 日 まで	中山間地域対策のうち、高知県の集落単位の様々な活動例を調査する。(山村振興議員連盟で高知県を訪問する事前調査。)	自宅ー黒部ICー富山ICー 県議会ー富山ICー朝日IC ー自宅	
所属	県議会			
経費の内容	金額	経費の内容	金額	
鉄道・バス		宿泊料		
タクシー		食事代		
航空機		会費		
自家用車 @37 × 120 km =	4440			
リース車 @18 × km =	0			
有料道				
駐車場		計	4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年5月29日
 決裁 平成30年6月1日
 処理 平成30年6月1日



管理番号	207	経費項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年4月4日 から 平成 年 月 日 まで	活動の概要	調査活動	
場所	県議会 私立高朋高校	1. 6月1日開催予定の新川地域経済産業懇談会のテーマ等について調査する。 2. 高朋高校の須田理事長を訪問し、県立高校再編統合される水橋高校の跡地利用について意見交換すると共に野球部の新屋内練習場を視察する。	自宅-黒部IC-富山IC- 県議会-高朋高校-滑川IC-黒部IC-自宅	
経費の内容	金額	経費の内容	金額	
鉄道・バス		宿泊料		
タクシー		食事代		
航空機		会費		
自家用車 @37 × 127 km =	4699			
リース車 @18 × km =	0			
有料道				
駐車場		計	4699	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
 (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
 (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 5 月 29 日
 決裁 平成 30 年 6 月 1 日
 処理 平成 30 年 6 月 1 日



経費番号	138	経費項目	01_調査研究費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間	平成30年4月9日 から 平成 年 月 日 まで	活動の概要	勉強会	
活動場所	県議会	中山間地域対策に関する勉強会を開催。講師は、地域社会総合研究所所長の藤山 浩氏、演題は、「人口・所得の1%取戻し戦略、田園回帰を支える社会システム」。	自宅ー黒部ICー滑川ICー 県議会ー富山ICー朝日IC ー自宅	
経費の内容		金額	経費の内容	金額
鉄道・バス			宿泊料	
タクシー			食事代	
航空機			会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440		
リース車	@18 × km =	0		
有料道				
駐車場			計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を微し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年5月29日
 決裁 平成30年6月1日
 処理 平成30年6月1日



管理番号	239	使途項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年4月11日 から 平成30年4月12日 まで	活動の概要	視察	
場所	高知県	原議会議長山村振興議員連盟で高知県を訪問し、中山間地域施策について調査すると共に先進地域を視察する。(この報告は、別途提出済み)	自宅-黒部IC-富山IC-、-富山空港-富山IC-黒部IC-自宅(富山空港と高知県の往復、高知県内の移動等にかかる経費は別途精算)	

経費の内容	金額	経費の内容	金額
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 110 km =	4070		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場	1200	計	5270

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

富山空港有料駐車場

富山空港管理事務所 076-495-3055

領 収 証

入庫日時 2018年04月11日 09時02分
出庫日時 2018年04月12日 19時12分
No.02-000559 券No.01-003013

駐車料金(一般) 1200円
料金計 1,200円
投入現金 1,200円
釣銭額 0円

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数(Km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30年 5月 29日
決裁 平成 30年 6月 1日
処理 平成 30年 6月 1日



管理番号	240	経費項目	01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年4月13日 から 平成 年 月 日 まで	活動の概要	要請活動・調査活動
実施機関	県議会	1. 主要地方道朝日・宇奈月線の朝日町不動堂～横水間の道路「フレッシュアップ事業（側溝改良）」を道路課長に要請する。 2. 高知県で視察したジビエカーを活用した集落の活動について、より詳しく調査する。	自宅ー黒部ICー富山ICー県議会ー富山ICー朝日ICー自宅
経費の内容	金額	経費の内容	金額
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 120 km =	4440		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成30年5月29日
 決裁 平成30年6月1日
 処理 平成30年6月1日



整理番号	241		経費項目	01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間	平成30年4月17日	から	活動の概要	調査活動	
	平成 年 月 日	まで	1. 武部自然保護課長から、県内の登山道について、その整備の責任主体、整備や維持管理にかかる経費の補助内容についてヒヤリングを行う。 2. 青少年のインターネット使用に関する課題について調査する。	自宅ー魚津ICー富山ICー 県議会ー富山ICー朝日IC ー自宅	
場所	県議会				
経費の内容	金額	経費の内容	金額		
鉄道・バス		宿泊料			
タクシー		食事代			
航空機		会費			
自家用車 @37 × 120 km =	4440				
リース車 @18 × km =	0				
有料道					
駐車場		計		4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 30年 5月 29日
 決裁 平成 30年 6月 1日
 処理 平成 30年 6月 1日



管理番号	242		活動種別	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間	平成30年4月18日	から		調査活動		
		まで		1. 県内県立高校における定時制・通信制教育について、その生徒数、進路、課題等を調査する。 2. 県内の特別支援教育におけるICT環境の実態を調査する。		
場所	県議会			自宅ー魚津ICー富山ICー 県議会ー富山ICー朝日IC ー自宅		
経費の内容		金額		経費の内容		金額
鉄道・バス				宿泊料		
タクシー				食事代		
航空機				会費		
自家用車	@37 ×	120 km =	4440			
リース車	@18 ×	km =	0			
有料道						
駐車場				計		4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)						

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は、主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成30年5月29日
 決裁 平成30年6月1日
 処理 平成30年6月1日



511		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成 30 年5月8日	から	調査活動			
平成 年 月 日	まで	代表質問項目について調査 教育環境の県内整備状況等		- I C T	自宅-黒部IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日 IC-自宅
県議会					
経費の内訳		金額		経費の内訳	
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場				計	
				4440	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は
主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 6 月 29 日
 決裁 平成 30 年 7 月 4 日
 処理 平成 30 年 7 月 4 日

512		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成 30 年5月10日	から	調査活動等			
平成 年 月 日	まで	1. 新川広域圏事務所で今年の新川地域推進協議会の活動方針について協議 2. 役員会で県の国への重要要望事項についてヒヤリング 3. 代表質問項目について調査 一青少年のインターネット適正利用等		自宅一朝日IC-魚津IC-新川広域圏事務所-魚津IC-富山IC-県議会-富山IC-朝日IC-自宅	
新川広域圏事務所 県議会					
鉄道・バス		宿泊料			
タクシー		食事代			
航空機		会費			
自家用車	@37 × 127 km =	4699			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場		計		4699	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 30 年 6 月 29 日
 決裁 平成 30 年 7 月 4 日
 処理 平成 30 年 7 月 4 日



513		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費			
平成 30 年5月14日 から		調査活動等					
平成 年 月 日 まで		代表質問項目について調査 — ①高校再編に伴う諸課題について②新しい時代に求められる高校教育について等		自宅—朝日IC—富山IC—県議会—魚津IC—朝日IC—自宅			
県議会							
経費の内容		金額		経費の内容		金額	
鉄道・バス				宿泊料			
タクシー				食事代			
航空機				会費			
自家用車 @37 × 120 km =		4440					
リース車 @18 × km =		0					
有料道							
駐車場				計		4440	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を数し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>							

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 6 月 29 日
 決裁 平成 30 年 7 月 4 日
 処理 平成 30 年 7 月 4 日

管理番号	514	経費項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
開始日	平成30年5月17日	から		調査活動等	
終了日	平成 年 月 日	まで			
原簿	県議会 ホテルグランミラージュ		1. 代表質問項目について調査 ① 事業承継に係る国税制改正と県の対応について②種子法廃止に伴う県の影響と対応について等 2. 職業能力開発 大学校（ポリテクカレッジ）教育振興 会総会に出席し、当大学校と新川地域 との連携強化について意見交換を行 う。	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-魚津IC -ホテルグランミラージュ- 魚津IC-朝日IC-自宅	
経費の内容		金額	経費の内容		金額
鉄道・バス			宿泊料		
タクシー			食事代		
航空機			会費		
自家用車	@37 × 125 km =	4625			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場			計		4625
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は
主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 6 月 29 日
 決裁 平成 30 年 7 月 4 日
 処理 平成 30 年 7 月 4 日

平成30年度
第38回定時総会

- 日時 平成30年5月17日(木)
18:00~20:30
■場所 ホテル グランミラージュ

北陸職業能力開発大学校
新川地区振興会

校長からのメッセージ



校長 野瀬 正照 (工学博士)

科学技術立国日本におけるものづくりの重要性は衆目の一致するところですが、科学技術振興に関する話題というと大学の研究力強化や大学教育のグローバル化などが採り上げられるばかりで、我が北陸職業能力開発大学校を含む全国の職業能力開発大学校の活動に対する一般社会の認知度は依然として低いままのように思われます。

当大学校の教育目標や育成する技術者像は、研究者養成を頂点とする文部科学省傘下の一般大学のそれらとは若干異なります。当大学校では、実践技術者や高度実践技術者を育成しております。この実践技術者とは「技能と技術の両者を身につけているだけでなく、既存の先端技術を駆使し、組み合わせ、具体的な形にして、問題を解決できる人材」と考えております。

当大学校では地元企業が望む実践技術者等を輩出するため、基盤技術はもちろんのこと、先端技術を含む高度な技術の教授に力を入れてまいりました。ただ、昨今は多くの企業が、より高度な先端技術に関する教育や技術協力を望まれるようになってきたと感じております。そのような時代の流れや地元企業のご要望に沿うべく、当

大学校では、優れた教員たちが日本の将来を担うべき若者を育てるために、教育研究に日夜努力を重ねております。

校中の使命は単に実践技術者等の育成だけではありません。社会への貢献も重要な職務のひとつです。また、一般の大学とは異なり、当大学校の教員は学会などの研究活動だけでなく、産業界との連携も、むしろ企業や自治体との共同研究、委託研究など第一等を通じた産業界等への直接的な貢献を旨としており





調査番号	515	経費項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
開始日	平成30年5月18日	から	調査活動等	
終了日	平成 年 月 日	まで	1. 代表質問項目について調査 ① 県内建設業界の人手不足の現状について②企業局の10カ年戦略について等 2. 県内の骨材供給の現状について調査	
実施場所	県議会		自宅-県議会	
経費の内容	金額	経費の内容	金額	
鉄道・バス		宿泊料		
タクシー		食事代		
航空機		会費		
自家用車 @37 × 60 km =	2220			
リース車 @18 × km =	0			
有料道				
駐車場		計	2220	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>				

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年6月29日
 決裁 平成30年7月4日
 処理 平成30年7月4日



516		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費			
平成30年5月21日 から		意見交換					
平成 年 月 日 まで		自民党政調会5部会と友好団体との意見交換会		自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-自宅			
県議会							
経費の内容		金額		経費の内容		金額	
鉄道・バス				宿泊料			
タクシー				食事代			
航空機				会費			
自家用車 @37 × 120 km =		4440					
リース車 @18 × km =		0					
有料道							
駐車場				計		4440	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>							

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年6月29日
 決裁 平成30年7月4日
 処理 平成30年7月4日

管理番号	517	経費項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
発起期間	平成30年5月23日 から	活動の概要	調査活動	
終了期間	平成 年 月 日 まで	代表質問について調査 ――①医療と介護との連携を巡る課題について ② 富山物質循環フレームワークの実践状況について等	自宅―黒部IC―富山IC― 県議会―富山IC―黒部IC ―自宅	
備考欄	県議会			
経費の内容	金額	経費の内容	金額	
鉄道・バス		宿泊料		
タクシー		食事代		
航空機		会費		
自家用車 @37 × 120 km =	4440			
リース車 @18 × km =	0			
有料道				
駐車場		計	4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 30 年 6 月 29 日
 決裁 平成 30 年 7 月 4 日
 処理 平成 30 年 7 月 4 日



578		04_要請陳情等活動費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費			
平成30年5月24日 から		活動の概要		要望活動			
平成 年 月 日 まで		1. 朝日町笹川地区の要望活動に同行する。2. 新川広域圏事務所で新川地域推進協議会の県要望について打合せを行う		自宅-入善土木事務所-新川農林振興センター-新川広域圏事務所-自宅			
入善土木事務所 新川農林振興センター 新川広域圏事務所							
経費の内容		金額		経費の内容		金額	
鉄道・バス				宿泊料			
タクシー				食事代			
航空機				会費			
自家用車 @37 × 62 km =		2294					
リース車 @18 × km =		0					
有料道							
駐車場				計		2294	
《領収書貼付枠》		(原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年6月29日
 決裁 平成30年7月4日
 処理 平成30年7月4日

新川土木センター入善土木事務所

所長 酒徳 鋼一 殿

要 望 書

平成30年5月24日

笹川自治振興会

新川農林振興センター
所長 飯田 恒 殿

要 望 書

平成30年5月24日

笹川自治振興会

経理番号	579	経費項目	01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
発着日	平成30年5月29日 から	活動の概要	調査活動等
発着日	平成 年 月 日 まで	1. 自民党政調会ブロック会議で、市町村支部の政策責任者と予算化状況等について意見交換を行う。2. 代表質問について調査 ――自転車社会の構築に関し各県の取組状況を調査する	自宅―朝日IC―富山IC― 県議会・県民会館―富山IC― 朝日IC―自宅
場所	県議会 県民会館		
経費の内容	金額	経費の内容	金額
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 120 km =	4440		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年 6月29日
 決裁 平成30年 7月4日
 処理 平成30年 7月4日



経理番号	520	経費項目	01_調査研究費 02_研修費 03_広聴広報費 04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年5月30日 から 平成 年 月 日 まで	活動の概要	調査活動等 衆議院法制局の橋局長を訪問し、国会における憲法改正論議の内容や論点、今後の見通し等について、ヒヤリングを行う。
場所	衆議院法制局		自宅-黒部宇奈月温泉駅 -東京駅-衆議院法制局 -東京駅-黒部宇奈月温泉駅-自宅
経費の内容	金額	経費の内容	金額
鉄道・バス	23720	宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 30 km =	1110		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場	500	計	25330
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			
<p>領収書 鹿野正一様</p> <p>Receipt 鹿野正一様</p> <p>領収年月日 2018.5.30</p> <p>金額 ¥23,720 (消費税等込み)</p> <p>上記金額確かに領収いたしました</p> <p>購入商品 JR乗車券類 JR tickets (10267,4枚)</p> <p>西日本旅客鉄道株式会社</p> <p>黒部宇奈月温泉駅</p> <p>黒部宇奈月MK2発行 20268-01</p> <p>印紙税申告納付につき大淀税務署承認済</p>		<p>□□□□□□□□□□□□□□□□</p> <p>□ 黒部市営新津線駅第1駐車場 □</p> <p>□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □</p> <p>領収証</p> <p>入庫日時 2018年05月30日 11時10分</p> <p>出庫日時 2018年05月30日 22時51分</p> <p>No.01-000204 券No.01-035755</p> <p>駐車料金(一般) 500円</p> <p>料金計 500円</p> <p>投入現金 1,000円</p> <p>釣銭額 500円</p>	

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
 (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
 (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 6 月 29 日
 決裁 平成 30 年 7 月 4 日
 処理 平成 30 年 7 月 4 日

県外・海外政務活動報告書

平成30年6月29日

整理番号	520	会派・議員名	徳熊
活動名称	調査活動		
目的	国会における憲法論議の実相を把握し、地方での憲法改正論議の参考にすることを目的とする。		
日程	平成30年5月30日(水)～平成 年 月 日()		
場所	衆議院法制局(代田区和田町)		
相手方等	衆議院法制局長 橋幸信氏		
行程・活動内容	<p>◎ 能毛→豊洲朝温泉駅→東京駅→衆議院法制局 →麹町駅→豊洲朝温泉駅→能毛</p> <p>◎ 橋局長より、憲法調査会・憲法審査会での議論の内容について 比較可能な点、改正事項とされている項目についての参考資料を 頂く。</p>		

※日帰りの政務活動を含む。

自衛隊の明記について

基本想定問答

目次

1 総論

- 【Q1】 今回の立法の趣旨（改正の必要性）は …………… 1
- 【Q2】 自衛官の「誇りと自信」という情緒的な理由で憲法改正をすべきではないのではないか …………… 3

2 各論

各論①：9条2項削除論

- 【Q3】 現在、党の公式の案である平成24年草案にあるように、9条2項を削除し、「戦力」や「交戦権」などの9条をめぐる積年の懸案を解消すべきではないか …………… 4
- 【Q4】 平成24年草案を前提にしてフルスペックの集団的自衛権が憲法上可能になったからといって、何でもやるわけではない …………… 6
- 【Q5】 自衛隊の行動を「ポジティブリスト方式」で縛るべきではなく、「ネガティブリスト方式」で規定すべき …………… 7
- 【Q6】 今こそ、独立国家にふさわしい憲法を作るべき …………… 8
- 【Q7】 9条2項削除論について、国民の理解は必ずや得られる …………… 9

各論②：自衛隊明記論

（「自衛隊」明記・本論）

- 【Q8】 自衛隊明記の趣旨 …………… 10
- 【Q9】 2項維持案では、2項と矛盾するのでは …………… 11
- 【Q10】 「自衛隊」という固有名詞を憲法に明記すると、自衛隊と防衛省の上下関係が逆転するのでは …………… 12
- 【Q11】 砂川判決（設置目的・任務の書き方について①） …………… 14

「自衛隊の明記」に関する条文イメージ(たたき台素案)の ミニ・コンメンタール

(1項関係)

- 1 「我が国の平和と独立……安全を保つため」の意味・立法例…………… 1
- 2 「……ために必要な自衛の措置」の意味…………… 2
- 3 「前条の規定は……妨げず」とした趣旨…………… 3
- 4 「そのための(実力組織)」の指し示す内容…………… 4
- 5 「法律の定めるところにより」とは…………… 5
- 6 「内閣の首長たる……」の意味…………… 6
- 7 「自衛隊」という固有名詞明記の問題点…………… 8
- 8 「保持する」という表現を用いた趣旨…………… 11

(2項関係)

- 9 「法律の定めるところにより」…………… 13
- 10 「その他の統制」の具体例…………… 14

【条文イメージ(たたき台素案)】

第九条の二 前条の規定は、我が国の平和と独立を守り、国及び国民の安全を保つために必要な自衛の措置をとることを妨げず、そのための実力組織として、法律の定めるところにより、内閣の首長たる内閣総理大臣を最高の指揮監督者とする自衛隊を保持する。

- ② 自衛隊の行動は、法律の定めるところにより、国会の承認その他の統制に服する。(※第9条全体を維持した上で、その次に追加)

緊急事態対応について

基本想定問答

目次

1 総論

- 【Q1】 今回の立法の趣旨（改正の必要性）は …………… 1
【Q2】 有事・大規模テロ・内乱などあらゆる緊急事態を対象とすべき …… 2

2 緊急政令

- 【Q3】 緊急事態においても、内閣による緊急政令ではなく、国会が定める法律で対応すべき …………… 3
【Q4】 どのような場合に緊急政令を定めることができるのか …………… 4
【Q5】 明治憲法の緊急勅令でさえ、帝国議会の閉会中に限定し、帝国議会の承諾がなければ失効するとされているが、このような縛りが必要ではないか …………… 5
【Q6】 あらかじめ定める法律はどのような内容か …………… 6
【Q7】 この規定によって現行憲法下でできることと何が変わるのか …… 9
【Q8】 緊急政令だけではなく、内閣が緊急の予算措置をとれるようにすべき …………… 10
【Q9】 政令によって緊急事態に対応するための人権制限ができるのか …… 11
【Q10】 地方の首長が躊躇せずに権限を行使できるようにすべき …………… 12

3 国会議員の任期特例

- 【Q11】 被災地では公選法の繰延投票で対応すればよいのであって、憲法改正は不要ではないか …………… 13
【Q12】 衆議院議員の任期満了の場合も参議院の緊急集会で対応すればよいのであって、任期延長は不要ではないか …………… 15
【Q13】 どのような場合に任期を延長できるのか …………… 17

教育充実について

基本想定問答

目次

1 第26条第3項関係

- 【Q1】なぜ憲法第26条を改正する必要があるのか。…………… 1
- 【Q2】国が教育環境の整備に努めるべきことについては、憲法改正によらずとも、立法措置や予算措置で実現することが可能なのではないか。…………… 3
- 【Q3】「教育環境の整備」とは、具体的に何を指すのか。…………… 5
- 【Q4】憲法改正に伴い、どのような法律を制定・改正するのが議論がないまま、第26条を改正するのは拙速ではないか。…………… 6
- 【Q5】「教育が国民一人一人の人格の完成を……であることに鑑み」の意味は何か。…………… 8
- 【Q6】「各個人の経済的理由にかかわらず……を含め」の意味は何か。 9
- 【Q7】教育環境整備の名の下に、憲法が国家による教育への介入の手掛かりに使われる危険があるのではないか。…………… 10
- 【Q8】我が国は、高等教育の漸進的無償化に関する規定を含む、経済的、社会的及び文化的権利に関する国際規約（A規約）を批准しており、憲法を改正する必要はないのではないか。…………… 12
- 【Q9】なぜ教育無償化を改正案に明記しなかったのか。…………… 14

2 第89条関係

- 【Q10】第89条で「公の支配に属しない」を「公の監督が及ばない」に改めた趣旨は何か。…………… 15



管理番号	521	経費項目	01_調査研究費 02_研修費 03_広聴広報費 04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年5月31日 から 平成 年 月 日 まで	活動の概要	調査活動、講演会
場所	県議会 カナルパークホテル	1. 代表質問について調査 ― 県内の観光消費額の現状について等 2. 「海洋を巡る情勢と今後の課題」(中国の海洋進出と今後の課題)をテーマとする講演会 別紙	自宅―県議会―カナルパークホテル―自宅
経費の内容	金額	経費の内容	金額
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 123 km =	4551		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場		計	4551
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を枚し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数(Km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成30年6月29日
 決裁 平成30年7月4日
 処理 平成30年7月4日

「自衛隊富山地方協力本部陸友会」記念講演会のご案内

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、自衛隊富山地方協力本部陸友会の運営にあたり、格別のご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、この度、当会行事の一環として記念講演会を開催することになりました。講師には、元海上幕僚長 杉本 正彦 氏をお迎えいたしております。

なお講演会に引き続き懇親会を計画しております。

ご多用中とは存じますが、何卒ご臨席賜りますようお願い申し上げます。

謹白

平成三十年五月廿日

自衛隊富山地方協力本部陸友会会長

各位

記

一 日 時 平成三十年五月三十一日(木) 一六四五～二〇三〇

二 場 所 カナルパークホテル富山(富山市牛島町十一番一号)

三 内 容

・一六四五～一八三〇 記念講演会(風風東の間)

講師 元海上幕僚長 杉本 正彦 氏(富山県氷見市出身)

演題 「海洋を巡る情報と今後の課題」

・一八三〇～二〇三〇 懇親会(風風西の間)

懇親会に参加される方は、お手数ですが会費として八千円を徴収させていただきます様お願い申し上げます。

追伸：お手数ですが、ご出席の可否について五月二十三日(水)までに同封の葉書でご連絡を賜ります様お願いいたします(必着)。

連絡先

〒九三〇-1085 富山市牛島新町六十二四

自衛隊富山地方協力本部陸友会担当

電 話 〇七六-1441-13371

F A X 〇七六-1441-13373

「海洋を巡る情勢と今後の課題」
(中国の海洋進出と今後の課題)

1 はじめに

海上自衛官として 38 年 4 月 (舞鶴 勤務 1 年)

陸上配置 22 年 4 月 海上配置 16 年 指揮官配置 9 年 6 月 30 配置

2 海洋の役割と海洋国家日本

海洋の役割

わが国の特性

世界に広がるわが国の海上輸送路 99.7%が海上貿易

中東からの原油輸入の現状 中東から約87%輸入

3 自衛隊の存在意義

自衛隊の存在意義

海上防衛力の特性及び役割

4 海洋を巡る情勢

中国海軍による活動の変遷

海軍戦略

中国の南シナ海における進出

西沙諸島(パラセル諸島)地形開発状況

南沙諸島(スプラトリー諸島)の占拠状況

南沙諸島(スプラトリー諸島)の地形開発による安全保障の影響

南シナ海における戦略的トライアングル

東シナ海における歴史的経緯

東シナ海における主要事象

5 今後の課題

わが国の戦略:

中国への対応方針

「法の支配」の強化及び国際世論の形成

「シャングリラ・ダイアログ・イニシアティブ(SDI)」の実現

具体的方策

防衛力の整備

海上保安庁の装備の近代化と増強

各国の能力構築支援

522					
03_広聴広報費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費
ホームページホスティング料 5月分					
ホームページホスティング料5月		8467			80%
		8467			

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を撤し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領 収 証 005612

鹿熊正一 様 平成 30年6月12日

¥ 10,584 -

株式会社 印刷

代表取締役 鹿熊正一

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

収受 平成 30年6月29日
 決裁 平成 30年7月4日
 処理 平成 30年7月4日

報告者* 

事業番号	523	事業名称			
経費科目	08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費
内容	電気料金5月分 事務所賃借料6月分				
経費の概要	金額(円)	比率			
電気料金5月分	1890	/	50%		
事務所賃借料6月分	15000	/	50%		
合 計	16890				
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

収受 平成30年6月29日
 決裁 平成30年7月4日
 処理 平成30年7月4日

14 D30- 6- 8 電気料金


3,780 株式会社三井住友銀行

ネットキャッシュ

ネットキャッシュサービス取扱票
(ご利用明細票)

お取扱日	30-06-01	取扱金庫	店番	通番
口座番号				
*****-*****				
お取扱金額	003000000000	お取引金額		
お取扱内容		お取引後の金額		
お振込	¥0			
手数料	¥0	ページ	硬貨	
時刻	13:15	おつり		
[Redacted]				
[Redacted]				
カクマサカス コウイソカイ様				
印紙税申告納	TEL0765-82-1333			
*併送者点検	ご利用ありがとうございました。			
*他送者点検	*****			

三井住友銀行 においかお信用金庫

報告者* 

	524																			
07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費	03_広聴広報費	04_要請陳情等活動費	05_会議費 10_人件費															
		07_資料購入費	08_事務所費	09_事務費																
新聞代金 5月分																				
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>品名(内容)</th> <th>金額(円)</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高山新聞</td> <td>3060</td> <td>/</td> </tr> <tr> <td>北日本新聞、日経新聞</td> <td>7072</td> <td>/</td> </tr> <tr> <td>読売新聞</td> <td>3093</td> <td>/</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>13225</td> <td>/</td> </tr> </tbody> </table>						品名(内容)	金額(円)		高山新聞	3060	/	北日本新聞、日経新聞	7072	/	読売新聞	3093	/	合 計	13225	/
品名(内容)	金額(円)																			
高山新聞	3060	/																		
北日本新聞、日経新聞	7072	/																		
読売新聞	3093	/																		
合 計	13225	/																		

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)



領収書

区 域	全 戸 数	お問い合わせ先
34	85.00	1899

お名前 鹿熊 正一様

殿町1495

30年 5月分

84-8305

経 柄	部 数	金 額
1 読売新聞	1	3,093
2		
3		

◇左記の通り領収しました

合 計 3,093 円

領収日 30年 6月 1日

便利な自動振替受付中！手数料はいりません

Y C 泊

富山県下新川郡朝日町泊318

0765-82-0971



※裏面もあわせて内容を十分お読みください。

10 30-05-31 新聞代金

*7,072

11 30-06-04

*3,060

トヤマシンプン

收受 平成 30 年 6 月 29 日
 決裁 平成 30 年 7 月 4 日
 処理 平成 30 年 7 月 4 日

管理番号	526	事業年度	
使途項目	10_人件費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費
		03_広報広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費
		05_会議費 10_人件費	
内容	人件費 5月分		
上記事業に要した経費	経費の名称	金額	割合
	人件費 5月分	20662	50%
	合 計	20662	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

收受 平成 30 年 6 月 29 日
 決裁 平成 30 年 7 月 4 日
 処理 平成 30 年 7 月 4 日

給料計算書(●)

平成30年

月	日	曜日	就業時間	実勤h	月	日	曜日	就業時間	実勤h
5	1	火			5	16	水	8:30~14:30	5
	2	水				17	木		
	3	木				18	金		
	4	金				19	土		
	5	土				20	日		
	6	日				21	月	8:30~14:30	5
	7	月	8:30~14:30	5		22	火		
	8	火				23	水	8:30~14:30	5
	9	水	8:30~12:00	3.5		24	木		
	10	木				25	金	8:30~14:30	5
	11	金	8:30~14:30	5		26	土		
	12	土				27	日		
	13	日				28	月		
	14	月	8:30~14:30	5		29	火		
	15	火				30	水	8:30~14:30	5
						31	木		
			小計	18.5				小計	25
								合計	43.5
				(時給)	(時間)				
				950	43.5	41,325			
				円	時間	円			

領収証

自由民主党富山県議会議員
鹿熊正一様

20,662 円

平成30年 6月 / 日

上記金額正に領収いたしました



雇用契約書

1 雇用日 平成 30 年 5 月 7 日

2 雇用期間 定め無し

3 勤務場所 自由民主党富山県議会議員 鹿熊正一事務所

4 業務内容

- (1) 政務調査に関すること
- (2) 後援会に関すること
- (3) その他に関すること

5 賃金

当月分の賃金を、翌月の1日(土日・祝日・休業日等の場合はその後の日)に、時給 950 円で支給するものとする。

6 守秘義務

業務上知り得た事を漏らしてはいけない。

7 その他

上記雇用条件について雇用者甲と被雇用者乙との合意に基づき雇用契約を締結し、信義に従って誠実に履行するものとする。

平成 30 年 5 月 7 日

甲 雇用者

自由民主党富山県議会議員

鹿熊正一

乙 被雇用者

鹿熊正一事務所の経費按分に関する覚書について

政務調査活動に係る事務所経費について、鹿熊正一後援会と鹿熊正一の経費按分の内、鹿熊正一の負担割合は次の通りとする。

1. 事務所賃借料、電気料、コピー経費、事務消耗品費、人件費 50%
2. ホームページ管理費 80%

平成 30 年 5 月 1 日

甲 富山県下新川郡朝日町殿町 1495
富山県議会議員 鹿熊正一

乙 富山県下新川郡朝日町沼保 977-1
鹿熊正一後援会



案内番号	856	係名	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
開始日	平成30年5月1日	から		
終了日	平成30年5月31日	まで	高速代	
経費の内容		金額	経費の内容	
鉄道・バス			宿泊料	
タクシー			食事代	
航空機			会費	
自家用車	@37 × km =	0		
リース車	@18 × km =	0		
有料道		13700		
駐車場			計	13700
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年7月31日
 決裁 平成30年8月3日
 処理 平成30年8月3日

鹿熊 正一様

(8) 518 ETC通行料金	1440	1回払	1	1440 ETC	高山	朝日	普通車
(8) 518 ETC通行料金	1210	1回払	1	1210 ETC	黒部	高山	普通車
(8) 510 ETC通行料金	650	1回払	1	650 ETC	朝日	魚津	普通車
(8) 510 ETC通行料金	1440	1回払	1	1440 ETC	高山	朝日	普通車
(8) 510 ETC通行料金	950	1回払	1	950 ETC	魚津	高山	普通車
(8) 514 ETC通行料金	650	1回払	1	650 ETC	魚津	朝日	普通車
(8) 514 ETC通行料金	1440	1回払	1	1440 ETC	朝日	高山	普通車
(8) 517 ETC通行料金	950	1回払	1	950 ETC	高山	魚津	普通車
(8) 517 ETC通行料金	650	1回払	1	650 ETC	魚津	朝日	普通車
(8) 517 ETC通行料金	1440	1回払	1	1440 ETC	朝日	高山	普通車
(8) 529 ETC通行料金	1440	1回払	1	1440 ETC	高山	朝日	普通車
(8) 529 ETC通行料金	1440	1回払	1	1440 ETC	朝日	高山	普通車
※※ 今回ご利用金額合計 ※※	22280			22280			
※※ ご請求金額合計 ※※				22280			

ポイント: 今回ポイント獲得対象のご利用に☆印を表示。※お支払方法はお支払方法またはお支払回数を表示(ホ-1-ボーナス1回払い/ホ-2-ボーナス2回払い)。※今回回数: 今回のお支払いが何回目かを表示。
 特典: ボーナス払いのお支払い月など一部のご利用についての説明(海外でのご利用には現地通貨額・通貨相場・換算レート)を表示。○は支払方法を変更となります。ただし一部ご変更にお応えできない場合がございます。

ご案内
 TSSCARDは各種サービスなど特典が満載のカードです。
 特典の詳細はご入会時にお送りした「活用ガイド」または「活用BOOK」やTSSCARDメール
 (<http://ts3card.com>)でご確認ください。
 ※一部のカードはTSSCARDメールの提供サービス内容が異なる場合もございます。

「ポイント還元率」を高めるにはご利用が重要です!

※ご利用の回数や金額に応じてポイント還元率が異なります。

※ご利用の回数や金額に応じてポイント還元率が異なります。

※ご利用の回数や金額に応じてポイント還元率が異なります。



整理番号	511	経費項目	01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間	平成30年5月8日 から 平成 年 月 日 まで	活動内容	調査活動	
実施機関	県議会	代表質問項目について調査 教育環境の県内整備状況等	ICT	自宅-黒部IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日 IC-自宅
経費の内容	金額	経費の内容	金額	
鉄道・バス		宿泊料		
タクシー		食事代		
航空機		会費		
自家用車 @37 × 120 km =	4440			
リース車 @18 × km =	0			
有料道				
駐車場		計	4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は
主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年6月29日
 決裁 平成30年7月4日
 処理 平成30年7月4日

活動番号	512	使途番号	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年5月10日 から	活動の名称	調査活動等	
	平成 年 月 日 まで		1. 新川広域圏事務所で今年の新川地域推進協議会の活動方針について協議 2. 役員会で県の国への重要要望事項についてヒヤリング 3. 代表質問項目について調査 一青少年のインターネット適正利用等	自宅一朝日IC一魚津IC一 新川広域圏事務所一魚津IC一富山IC一県議会一富山IC一朝日IC一自宅
活動場所	新川広域圏事務所 県議会			
経費の内容		金額	経費の内容	金額
鉄道・バス			宿泊料	
タクシー			食事代	
航空機			会費	
自家用車	@37 × 127 km =	4699		
リース車	@18 × km =	0		
有料道				
駐車場			計	4699
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>				

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 6 月 29 日
 決裁 平成 30 年 7 月 4 日
 処理 平成 30 年 7 月 4 日



案件番号	513		経費項目	01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
発起期間	平成30年5月14日	から	発起の趣意	調査活動等	
	平成 年 月 日	まで		代表質問項目について調査 一 ①高校再編に伴う諸課題について②新しい時代に求められる高校教育について等	
発起機関	県議会			自宅-朝日IC-富山IC-県議会-魚津IC-朝日IC-自宅	
経費の内容		金額	経費の内容		金額
鉄道・バス			宿泊料		
タクシー			食事代		
航空機			会費		
自家用車	@37 ×	120 km =	4440		
リース車	@18 ×	km =	0		
有料道					
駐車場			計		4440
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成30年 6月29日
 決裁 平成30年 7月4日
 処理 平成30年 7月4日

通番号	514	経費項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年5月17日 から 平成 年 月 日 まで	活動の概要	調査活動等	
開催地	県議会 ホテルグランミラージュ	1. 代表質問項目について調査 ① 事業承継に係る国税制改正と県の対応 について②種子法廃止に伴う県の影響 と対応について等 2. 職業能力開発 大学校（ポリテクカレッジ）教育振興 会総会に出席し、当大学校と新川地域 との連携強化について意見交換を行 う。	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-魚津IC -ホテルグランミラージュ- 魚津IC-朝日IC-自宅	
経費の内容	金額	経費の内容	金額	
鉄道・バス		宿泊料		
タクシー		食事代		
航空機		会費		
自家用車 @37 × 125 km =	4625			
リース車 @18 × km =	0			
有料道				
駐車場		計	4625	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、置ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は
主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 30 年 6 月 29 日
 決裁 平成 30 年 7 月 4 日
 処理 平成 30 年 7 月 4 日



経費種別	519	経費項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年5月29日 から 平成 年 月 日 まで	活動の概要	調査活動等	
開催地	県議会 県民会館	1. 自民党政調会ブロック会議で、市町村支部の政策責任者と予算化状況等について意見交換を行う。2. 代表質問について調査 ――自転車社会の構築に関し各県の取組状況を調査する	自宅―朝日IC―富山IC― 県議会・県民会館―富山IC ―朝日IC―自宅	
経費の内容		金額	経費の内容	金額
鉄道・バス			宿泊料	
タクシー			食事代	
航空機			会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440		
リース車	@18 × km =	0		
有料道				
駐車場			計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年 6月29日
 決裁 平成30年 7月4日
 処理 平成30年 7月4日



857		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成30年6月1日	から	意見交換会			
平成 年 月 日	まで	新川地域経済産業懇談会を開催し、3市2町の商工会議所、商工会の役員と県議との意見交換を行う。別紙		自宅-朝日IC-魚津IC-ホテルグランミラージュ-自宅	
ホテルグランミラージュ					
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車	@37 ×	53 km =	1961		
リース車	@18 ×	km =	0		
有料道					
駐車場				計	
				1961	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成30年7月6日
 決裁 平成30年8月3日
 処理 平成30年8月3日



報告番号	258	活動科目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年6月5日 から	活動の概要	意見交換	
活動場所	平成 年 月 日 まで 国交省黒部河川事務所	6月の代表質問に関連して、古本所長と黒部川の連携排砂に関し意見交換を行う。	自宅—国土交通省黒部河川事務所—自宅	
経費の内訳	金額	経費の内訳	金額	
鉄道・バス		宿泊料		
タクシー		食事代		
航空機		会費		
自家用車 @37 × 48 km =	1776			
リース車 @18 × km =	0			
有料道				
駐車場		計		1776
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
 (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
 (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 7 月 21 日
 決裁 平成 30 年 8 月 3 日
 処理 平成 30 年 8 月 3 日



備考欄	859	経費科目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
期	平成30年6月7日	から	調査活動	
期	平成 年 月 日	まで	1. 県内製薬企業及び県研究機関の見学会 2. 県医師会との懇談会	自宅-県議会-自宅
期	県議会 県民会館			
経費の内容		金額	経費の内容	金額
鉄道・バス			宿泊料	
タクシー			食事代	
航空機			会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440		
リース車	@18 × km =	0		
有料道				
駐車場			計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成30年7月31日
 決裁 平成30年8月3日
 処理 平成30年8月3日

平成30年5月15日

自由民主党富山県議会議員会
所属議員各位

自由民主党富山県議会議員会
政務調査会 会長 武田 慎一
自由民主党 薬業問題調査会
会長 五十嵐 務

県内製薬企業 及び 県研究機関の見学会の開催について

標記のことについて、下記のとおり開催することとなりましたので、各位にご案内いたします。

つきましては、参加者を取りまとめる必要がありますので、別紙「出欠確認票」を5月24日(木)までに控室へ提出されるようお願いします。

記

1 日時(予定)

平成30年6月7日(木)

午後1時(議事堂出発)～午後5時(議事堂到着)

2 場所

- ・ダイト株式会社 : 午後1時30分から1時間30分程度
- ・県薬事総合研究開発センター : 午後3時30分から1時間程度

3 その他

移動については中型バスを使用。

午後6時30分より医療問題調査会総会(県民会館8階)

以上

平成30年5月10日

自由民主党 富山県議会議員会 医療問題調査会
所属議員 各位

自由民主党 富山県議会議員会
医療問題調査会 会長 鹿熊 正一

富山県医師会との懇談会の開催について

標記のことについて、下記のとおり開催することとなりましたので、
会員各位にご案内いたします。

つきましては、当調査会の参加者を取りまとめる必要がありますので、
別紙「出欠確認票」を5月24日(木)までに控室へ送付されるようお
願いたします。

記

1 日時

平成30年6月7日(木)

意見交換会：午後7時から1時間程度

懇親会：午後8時から1時間程度

2 場所

県民会館8階 富山電気ビルレストラン県民会館店 バンケットホール

住所：富山市新総曲輪4番18号 電話：076-432-4110

3 会費

調査会において負担

※ 参考 当日のスケジュール (予定)

18:30 自民党 医療問題調査会 総会

19:00 富山県医師会との意見交換会

20:00 // 懇談会



860		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成30年6月8日 から		調査活動			
平成 年 月 日 まで		1. 新川農林振興センターにおいて、管内の土地改良事業の実態について調査すると共に、土地改良法改正について調査する。2. 県議会において、代表質問項目の確認を行う。		自宅-朝日IC-魚津IC-新川農林振興センター-県議会-自宅	
新川農林振興センター 県議会					
経費の内容		金額		経費の内容	
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車	@37 × 125 km =	4625			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場				計	
				4625	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を微し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年7月31日
 決裁 平成30年8月3日
 処理 平成30年8月3日



861		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費			
平成30年6月12日	から	意見交換会					
平成 年 月 日	まで	平成30年度MOA議員連盟・明社会定例会を開催し、別紙の通り意見交換等を行う。		自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-魚津IC-朝日IC- 自宅			
県議会							
経費の内容		金額		経費の内容		金額	
鉄道・バス				宿泊料			
タクシー				食事代			
航空機				会費			
自家用車	@37 × 120 km =	4440					
リース車	@18 × km =	0					
有料道							
駐車場				計		4440	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>							

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成30年7月31日
 決裁 平成30年8月3日
 処理 平成30年8月3日

平成30年6月12日

平成30年度MOA議員連盟・明社会定例会

司会：宮本光明 事務局長

13:30 1、開会

(1) 開会の挨拶

- ① 中川忠昭 代表幹事
- ② [REDACTED] 明社会北陸支部長

- 1. MOA議員連盟事務局
- 2. 地域連携推進部
- 3. 定年 MOA 健康生活館の活用
- 4. MOA議員連盟と地域連携
7/23
- 5. 郵便活動

13:40 2、行政懇談

(1) 有機農業の推進について

① 進捗状況

- a) 農業技術課 課長 川口祐男
- b) " 主幹・エコ農業推進係長 坂下昭紀
- c) " エコ農業推進係 副係長 中村茂将
- d) 農村振興課 課長補佐・農村活性化係長 伴 義人

橋本智子 氏 支援

② 質疑応答

14:10 3、統合医療の推進について

- (1) 3月26日の東京都MOA議員連盟総会における、武見敬三参議院議員・自
民党政策審議会議長の講演（約20分）のDVD

14:35 (2) 第11回 自由民主党 統合医療推進議員連盟 総会「報告書」について

14:50 4、報告事項

- (1) 昨年9月4日～5日 MOA議員連盟研修（掛川市、MOA美術館視察）に
ついて
- (2) 今年4月29日～5月1日 高岡市、国宝瑞龍寺における紅白梅図屏風レプ
リカを展示しての「美術セミナー」開催について
- (3) 第6回ふれあい健康まつり（9月23日10時～ 富山国際会議場）
- (4) 金沢療院「事例集」について
- (5) MOA美術館児童作品展について
- (6) その他

15:20 5、閉会

以上



報告番号	862	経費種別	01_調査研究費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年6月14日 から 平成 年 月 日 まで	活動の名称	調査活動
実施機関	県議会	活動の概要	平成28年度の県内の観光客等の動向について調査する。調査項目は、①外国人観光客の宿泊者数及び消費額 ②国内観光客の宿泊者数 及び消費額 ③ 修学旅行で富山県訪問の実態
経費の内訳		経費の内訳	
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 120 km =	4440		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場		計	4440
(領収書貼付枠) (原則、領収書を微し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年7月31日
 決裁 平成30年8月3日
 処理 平成30年8月3日



活動番号	863	活動種別	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年6月18日 振興	活動の概要	調査活動	
活動内容	平成 年 月 日 まで	1. 中山間地域振興条例(仮称)検討PTで南砺市視察・ヒヤリング 別紙 2. 砂原次長から新川地域の2つの観光施策推進組織についてヒヤリングを行う。	自宅-朝日IC-富山IC-県議会-富山IC-朝日IC-自宅(県議会と南砺市の往復は別途調達バスで)	
活動場所	県議会 南砺市			
経費の内容	金額	経費の内容	金額	
鉄道・バス		宿泊料		
タクシー		食事代		
航空機		会費		
自家用車 @37 × 120 km =	4440			
リース車 @18 × km =	0			
有料道				
駐車場		計	4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数(Km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年7月21日
 決裁 平成30年8月3日
 処理 平成30年8月3日

中山間地域振興条例(仮称)検討PT
南砺市視察・ヒアリング

○日 時：6月18日(月) 13:15～(議事堂出発 11:15)

○場 所：南砺市地域包括ケアセンター
(南砺市北川166-1(旧井波町))

○参加者：自民党県議会議員 20名
(うちバス乗車12名、昼食要15名)
執行部(地域振興課、農村振興課) 4名
調査課 3名
合計 27名

○日 程

11:15 議事堂出発(借上バス)

12:00 昼食(そば処 茶ぼ〜ず(富山県南砺市井波3613))
※「おろしそば」と「おにぎり」のセットになります。

13:00 南砺市地域包括ケアセンター着

13:15 ①南眞司政策顧問から南砺市型地域包括ケアに
関する説明
②南砺で暮らしません課から小規模多機能自治に
関する説明

14:15 地域包括ケアスタッフ(保健師、社会福祉士等含む)、
小規模多機能自治スタッフとの意見交換

14:45 地域包括ケアセンターおよび南砺市民病院(1階
介護福祉支援センター)視察

15:15 視察終了、南砺市地域包括ケアセンター発

16:00 議事堂到着

※ 南顧問、南砺で暮らしません課からの説明は60分、南砺市スタッフとの
意見交換は30分、地域包括ケア関係施設視察は30分程度を想定



864		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成30年6月20日 振興		調査活動			
平成 年 月 日 まで		1. 建築住宅課長から住宅セイフティ ネット事業についてヒヤリングを行 う。 2. 新川文化ホール敷 地内に設置されている防災井戸を視察 する。		自宅ー県議会ー新川文化 ホールー自宅	
県議会 新川文化ホール					
経費の内容		金額		合計	
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車 @37 × 120 km =		4440			
リース車 @18 × km =		0			
有料道					
駐車場				計 4440	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は
主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 7 月 31 日
 決裁 平成 30 年 8 月 3 日
 処理 平成 30 年 8 月 3 日



865		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成30年6月21日 振興		勉強会			
平成 年 月 日 まで		富山県自衛隊支援議員連盟による勉強会 別紙		自宅-県議会-自宅	
県議会					
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車 @37 × 120 km =		4440			
リース車 @18 × km =		0			
有料道					
駐車場				計 4440	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年7月31日
 決裁 平成30年8月3日
 処理 平成30年8月3日

富山県自衛隊支援議員連盟勉強会

と き 平成30年6月21日(木)

12時20分～

ところ 第3委員会室

1 開 会

2 講 演

(1) テーマ「我が国の防衛について」

講 師 自衛隊富山地方協力本部

本部長 一等陸佐 ^{やまうち} 山内 ^{かつみ} 克己 氏

(2) 質疑応答・意見交換

3 閉 会



866		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成30年6月22日 撮興		調査活動			
平成 年 月 日 まで		6月26日開催の経済建設委員会の質問について調査する。調査テーマは、 ①魚津市にあるポリテクカレッジと県との連携に関し、連携内容と連携時期について ②県と全国ちんたい支部との災害協定締結の見込みについて		自宅-黒部IC-富山IC- 県議会-富山IC-黒部IC -自宅	
県議会		公益社団法人 全国賃貸住宅経営者協会連合会			
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場				計 4440	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成30年7月31日

決裁 平成30年8月3日

処理 平成30年8月3日

災害時における民間賃貸住宅の被災者への提供に関する協定(例)

〇〇県（以下「甲」という。）及び公益社団法人全国〇〇〇連合会（以下「乙」という。）は、災害時に甲及び乙が相互に協力して行う民間賃貸住宅の提供に関して、次の条項により協定を締結する。

(目的)

第1条 この協定は、〇〇県において災害が発生した場合において、甲が、災害により住宅を滅失し自己の資力によっては居住する住宅を確保できない被災者（以下単に「被災者」という。）のための応急的な住宅（以下「応急借上げ住宅」という。）として、民間賃貸住宅を提供するため、乙に協力を求めるに当たり、基本的な事項を定めるものとする。

(協力要請)

第2条 甲は、災害が発生し必要と認める場合、乙に対し、応急借上げ住宅として被災者に提供可能な民間賃貸住宅の情報提供及びその円滑な提供に向けた協力を要請できるものとする。

(協力)

第3条 乙は、前条の規定に基づく甲からの要請があった場合、応急借上げ住宅として提供可能な民間賃貸住宅に関する情報提供及びその円滑な提供に向けて、甲に可能な限り協力するものとする。

(甲の役割)

第4条 甲は、応急借上げ住宅の提供に関する次の各号に掲げる事務を行う。

- 一 応急借上げ住宅として提供する民間賃貸住宅の募集に関すること
- 二 応急借上げ住宅の借上げに関すること
- 三 応急借上げ住宅入居者の入居許可及び退去に関すること
- 四 応急借上げ住宅の賃料等の支払いに関すること
- 五 その他関係者との調整に関すること

2 甲は、前項に掲げる業務の一部を、乙に委託することができる。

(乙の役割)

第5条 乙は、第3条に基づき甲に協力するため、応急借上げ住宅の提供に関する次の各号に掲げる事務を行う。

- 一 応急借上げ住宅の制度の事前周知並びに民間賃貸住宅の所有者及び転貸を目的とする賃借人に対する応急借上げ住宅としての提供依頼及び意向確認に関すること
- 二 応急借上げ住宅として甲が借り上げようとする民間賃貸住宅の被災後の使用の適否に係る確認に関すること
- 三 応急借上げ住宅として活用可能な民間賃貸住宅の情報提供に関すること
- 四 甲からの委託を受けた業務に関すること
- 五 その他関係者との調整に関すること

(協議)

第6条 この協定の実施に関し必要な事項等については、甲及び乙の協議の上定めるものとする。

(雑則)

第7条 この協定は、平成〇年〇月〇日から適用する。

この協定を証するため、本書2通を作成し、甲、乙記名押印のうえ、各自1通を保有する。

平成 年 月 日

甲 〇〇県知事 〇〇 〇〇 印

乙 公益社団法人 全国〇〇〇連合会
会長 〇〇 〇〇 印



経理番号	867	経費項目	01_調査研究費 02_研修費 03_広聴広報費 04_要請陳情等活動費
発起年月日	平成30年6月23日	振興	
活動期間	平成 年 月 日 まで	活動の内容	調査活動
宿泊先	ホテルグランテラス	活動の内容	富山県南米協会の総会に出席し、富山県と南米との交流事業の現状について調査する。具体的には、①ポルトガル語教室の開催事業②県費留学生及び海外技術研修員の受入事業③現地の日本語の普及事業④県内在住の南米出身者への支援事業等。また、県費留学生等4名の南米出身者と交流する機会を持つ。
活動内容		経費	自宅ー黒部ICー滑川ICーホテルグランテラスー滑川ICー黒部ICー自宅
経費の内訳		金額	
鉄道・バス			宿泊料
タクシー			食事代
航空機			会費
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場			計 4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 7 月 31 日
 決裁 平成 30 年 8 月 3 日
 処理 平成 30 年 8 月 3 日

定期総会次第

平成30年6月23日(土) 13:30

ホテルグランテラス富山 3階 清風の間

1. 開 会

2. 会 長 挨 拶

3. 来 賓 祝 辞

富山県知事
富山県議会議長
国会議員

4. 県費留学生、海外技術研修員及び国際交流員の紹介

5. 議 事

議案第1号 平成29年度事業報告の件

議案第2号 平成29年度収支決算の件

監査結果の報告

議案第3号 平成30年度事業計画案の件

議案第4号 平成30年度収支予算案の件

議案第5号 役員の一部改選の件

報告等

その他

6. 閉 会

平成30年度

県費留学生(4月2日 来県)

国名	姓名	性別	留学科目	留学先

海外技術研修員(6月19日 来県)

国名	姓名	性別	研修科目	研修先

多文化共生推進研修員(6月21日 来県)

国名	姓名	性別	研修科目	勤務先

ポルトガル語 国際交流員(平成28年4月～)

国名	姓名	性別	卒業大学等	勤務先
	マルセロ 知明 吉村	男		県国際課 (公財)とやま国際センター



経理番号	868	経費項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年6月28日 振興	活動の概要	講演会	
	平成 年 月 日 まで	北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出する富山県地方議員連盟総会に出席し、福井県立大学教授の島田洋一氏より「拉致問題はどうか」のテーマで講演を聴く。	自宅ーボルファートとやまー自宅	
場所	ボルファートとやま			
経費の内容	金額	経費の内容	金額	
鉄道・バス		宿泊料		
タクシー		食事代		
航空機		会費		
自家用車 @37 × 120 km =	4440			
リース車 @18 × km =	0			
有料道				
駐車場		計		4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 7 月 31 日
 決裁 平成 30 年 8 月 3 日
 処理 平成 30 年 8 月 3 日

平成30年度

北朝鮮に拉致された日本人を早期
に救出する富山県地方議員連盟総会

とき 平成30年6月28日(木)
午後3時30分～午後5時

ところ ホテルアートとやま
4階 琥珀(こはく)

北朝鮮に拉致された日本人を早期
に救出する富山県地方議員連盟

総 会 次 第

1. 開 会

2. 開会の挨拶

3. 来賓挨拶

4. 議長選出

5. 議 事

- (1) 規約の改正について
- (2) 平成29年度事業実績報告について
- (3) 平成29年度収支決算報告について
- (4) 役員を選任について
- (5) 平成30年度事業計画(案)について
- (6) 平成30年度収支予算(案)について
- (7) その他

6. 閉 会

記 念 講 演

演 題 「拉致問題はどうか」

講 師 福井県立大学教授
北朝鮮に拉致された日本人を救出するための
全国協議会副会長

島田 洋一 氏



管理番号	869	債権項目	01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
実施期間	平成30年6月29日 から	活動の名称	調査活動
実施場所	県議会	実施の概要	6月29日午後4時から行う、国土交通省北陸地方整備局への要請活動と意見交換会に関して、要請項目や意見交換内容について調査・確認を行う。具体的には、昨年秋に発足した北アルプス横断道路構想推進会議の取組み状況、国道8号の富山・新潟県境間の整備状況等。
実施の目的		実施の場所	自宅-朝日IC-富山IC-県議会
実施の内容	金額	実施の内容	金額
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 60 km =	2220		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場		計	2220
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年7月3日
 決裁 平成30年8月3日
 処理 平成30年8月3日



北陸地方整備局長との「要望・意見交換」及び「懇親会」について

○開催日時：平成30年6月29日(金)

開催場所：北陸地方整備局、ホテルイタリア軒(新潟市)

出 発：富山県議会議事堂 12時30分(発)

県連車乗：6名乗車「四方県議、鹿熊県議、上田県議、宮本県議、中川県議、」

- 参加者：北陸地方整備局
- | | | | |
|------|-------|--------|--------|
| 局長 | 小俣 篤 | 河川部長 | 伊藤 和久 |
| 次長 | 佐々木 宏 | 道路部長 | 岩見 吉輝 |
| 企画部長 | 渡辺 学 | 港湾空港部長 | 小池 慎一郎 |
| 建設部長 | 牧野 浩志 | 企画調査官 | 安井 辰哉 |
- 富山県議会議員会
- | | | | |
|------|-------|------|-------|
| 常任顧問 | 米原 蕃 | 幹事長 | 上田 英俊 |
| 常任顧問 | 四方 正治 | 総務会長 | 宮本 光明 |
| 議員会長 | 鹿熊 正一 | 政調会長 | 武田 慎一 |
| 前幹事長 | 中川 忠昭 | | |
- 北陸富山会支部
自民党富山県連
- 顧問 
事務局長 

- 次第：《要望・意見交換》
- | | | |
|-------|---------|-------|
| 司会進行 | ：「企画調査官 | 安井 辰哉 |
| 要望書手交 | ：「議員会長 | 鹿熊 正一 |
| 挨拶 | ：「議員会長 | 鹿熊 正一 |
| 要望説明 | ：「政調会長 | 武田 慎一 |
| 挨拶総括 | ：「局長 | 小俣 篤 |
| | (意見交換) | |
| 閉会挨拶 | ：「幹事長 | 上田 英俊 |
- 《意見交換・懇親会》
- | | | |
|-----|--------|-------|
| 挨拶 | ：「常任顧問 | 米原 蕃 |
| 乾杯 | ：「北整局長 | 小俣 篤 |
| | (懇談) | |
| 中締め | ：「常任顧問 | 四方 正治 |

- 日程(案)：12:30 富山県議会議事堂 (発)
- 15:50 北陸地方整備局 (着)
- 16:00 北陸地方整備局長への要望・意見交換
- 17:00 終了
- 17:20 ホテルイタリア軒 (着) ※チェックイン
- 18:00 意見交換・懇親会
- 19:30 中締め
- 「ホテルイタリア軒(泊)」
- 08:30 ホテルイタリア軒 (発) ※チェックアウト
- 12:00 富山県議会 (着)



870		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成30年6月30日	振興	講演会			
平成 年 月 日	まで	立山黒部自然環境保全・国際観光促進協議会平成30年度総会において、一般財団法人砂防・地すべり技術センター専務理事の大野宏之氏より、「世界に拡がる日本の砂防」のテーマで講演を聴く。		県議会一富山IC一魚津IC 一パレス扇寿一自宅	
黒部 パレス扇寿					
経費の内容		金額	経費の計算		金額
鉄道・バス			宿泊料		
タクシー			食事代		
航空機			会費		
自家用車	@37 × 62 km =	2294			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場			計		2294
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30年 7月 31日
 決裁 平成 30年 8月 3日
 処理 平成 30年 8月 3日

立山黒部自然環境保全・国際観光促進協議会

(愛称：立山黒部を愛する会)

講演会



演題 世界に広がる日本の砂防

講師 一般財団法人 砂防・地すべり技術センター

専務理事 おおの ひろゆき
大野 宏之 氏

【講師紹介】 一般財団法人 砂防地すべり技術センター専務理事兼砂防技術研究所長。砂防技術に関する調査・研究、自然災害に関する危険管理対応の経験を多く持つ。近年多く発生する豪雨、火山、地震による土砂災害の災害調査に参加し、対策から避難体制のあり方まで幅広く調査・研究を行っている。
現職の他、富山県立大学客員教授、東京大学非常勤講師、政策研究大学院大学非常勤講師なども務める。

日時 6月30日(土) 14:10~15:30 【入場無料】

会場 パレス扇寿 2階 喜寿

(黒部市北新 37-2 Tel0765-52-4110)

お問い合わせ

黒部市役所企画政策課内事務局
Tel 0765-54-2115

報告者* 

871	
03_広聴広報費	01_調査研究費 ・02_研修費 ・03_広聴広報費 ・04_要請陳情等活動費 ・05_会議費 06_資料作成費 ・07_資料購入費 ・08_事務所費 ・09_事務費 ・10_人件費
ホームページホスティング料 6月分 6月議会代表質問写真撮影代	
ホームページホスティング料	8467 / 80%
写真撮影代	12960
	21427

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を微し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領 収 証 005614

鹿熊正一様 平成30年7月12日

¥ 10,584-

株式会社 鹿熊印刷

代表取締役 鹿熊正一

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112

E-MAIL: info@kaguma.co.jp

收受 平成30年7月12日
 決裁 平成30年8月3日
 処理 平成30年8月3日

タニカフオスタジオ

〒930-0816 富山市上赤江町 2-3-11

TEL・FAX 076-442-7002

鹿熊 正一 様

下記のとおり納品いたしました

品名	数量	単価	金額 (税抜・税込)	摘要
1 6/13 富山県議会				
2 代表質問 撮影	1		¥12,000-	
3				
4				
5				
6				
7				
合計			¥12,000-	

税率	8%	消費税等	¥960-	税込合計金額	¥12,960-
----	----	------	-------	--------	----------

コクヨ U-333

振込日 300627

振込依頼書 (兼 預金払戻請求書)

電信報

銀行名(漢字) 左つめてご記入ください。 富山信用 〇〇〇〇〇

支店名(漢字) 左つめてご記入ください。 赤江

姓と名の間に1マスあけて左つめてご記入ください。
タニカフ イチ

法人の場合は、カ) 等略称でご記入ください。記入しきれない場合は、下記「備考」欄に続けてご記入ください。
おなまえ(漢字) 谷中健一 様

普通|当座|貯蓄|その他 〇 左つめてご記入ください。
〇〇〇〇〇〇 0139261

振込金額 十位 百 千 万 十 万 万 千 百 十 円
12960

姓と名の間に1マスあけて左つめてご記入ください。
カクマ マサカズ

法人の場合は、カ) 等略称でご記入ください。記入しきれない場合は、下記「備考」欄に続けてご記入ください。
おなまえ(漢字) 鹿熊 正一 様

日中のご連絡先 (076-431-5244)

当行をご利用いただきありがとうございます。
今後ともよろしくご依頼申し上げます。

株式会社 北陸銀行

店

印 紙

振込金+手数料
5万円以上貼付
ただし、自らの依頼
人本人口座への振込
は定額を超過する貼付
不可

30. 6. 27

北陸 銀行内
6-1

振込金額のうち
未決済小切手
万一小切手が決済されなかった場合はその金額の振込を
取り消し、小切手は当店においてお返しいたします。

○振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のため振込が遅延することがあります。
○やむを得ない事由による通信機器・回線の障害等によって振込が滞ることがありますのでご了承ください。
○この振込は、振込規定により取り扱います(振込規定ご入用の方はお申し出ください)。
○振込依頼書は、なるべく午後2時までにお持ちください。この時間以降のお受付分は、翌営業日のお取扱いとなることあります。
○相戻・訂正依頼に際しては、当行所定の手数料をいただきます。

		3万円 未満	3万円 以上	その他
振込手数料 (消費税込)	本店	324	540	
	他行	648	864	



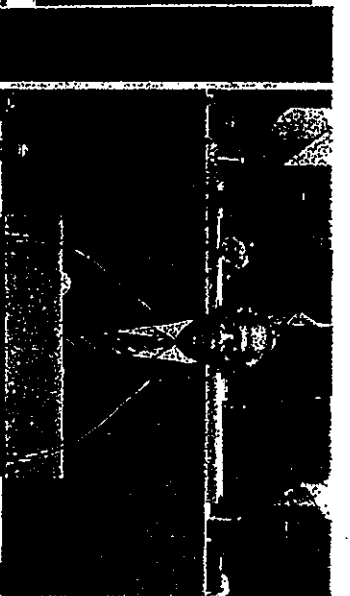
IMG_7506.jpg



IMG_7514.jpg



IMG_7523.jpg



IMG_7531.jpg



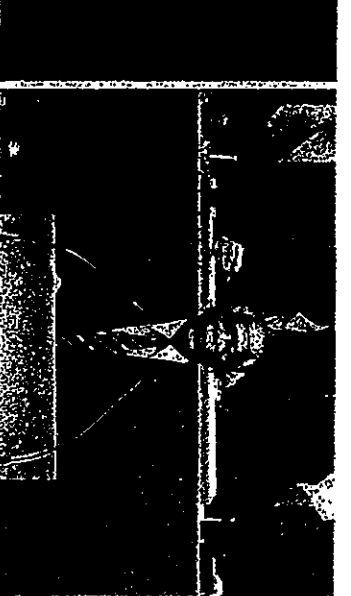
IMG_7507.jpg



IMG_7516.jpg



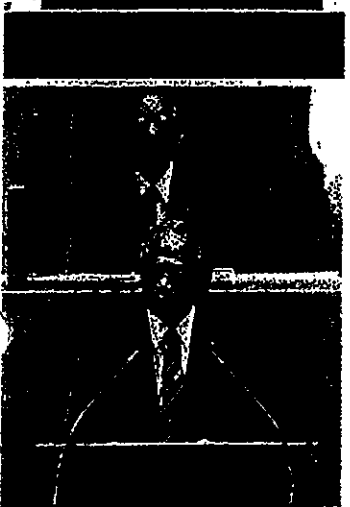
IMG_7526.jpg



IMG_7533.jpg



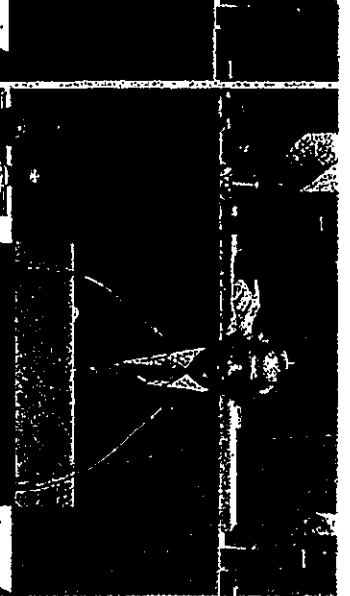
IMG_7513.jpg



IMG_7522.jpg



IMG_7529.jpg



IMG_7543.jpg



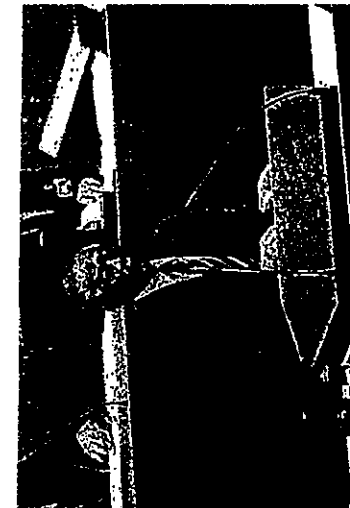
IMG_7542.jpg



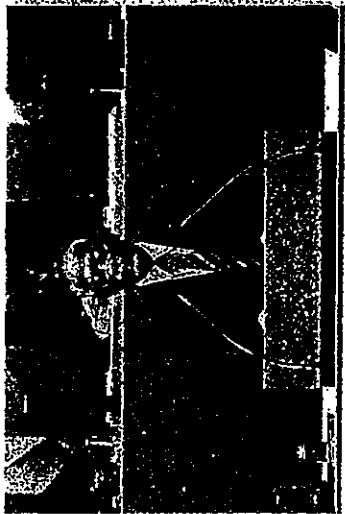
IMG_7552.jpg



IMG_7556.jpg



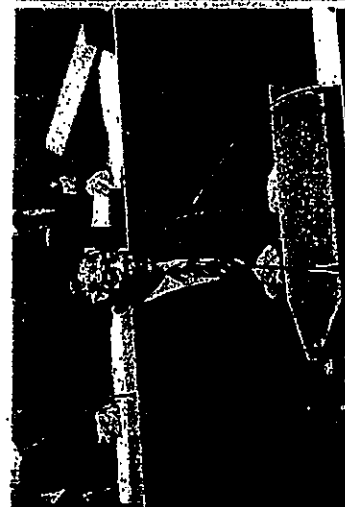
IMG_7559.jpg



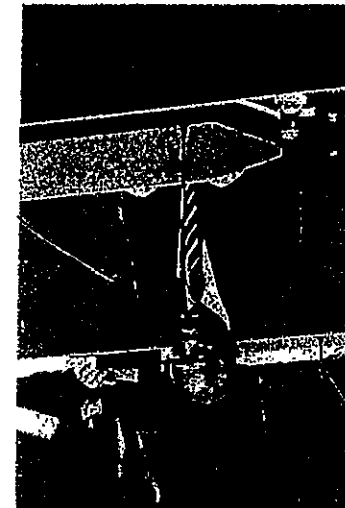
IMG_7548.jpg



IMG_7553.jpg



IMG_7557.jpg



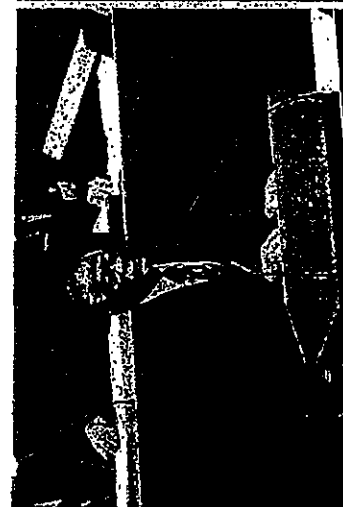
IMG_7560.jpg



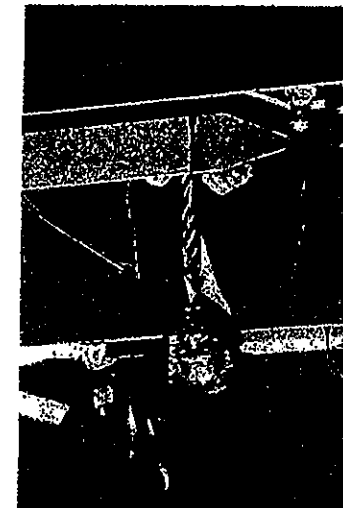
IMG_7551.jpg



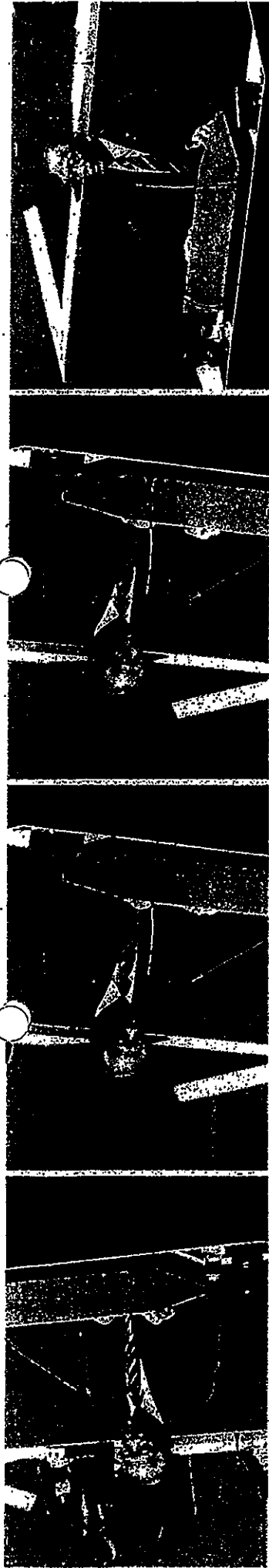
IMG_7554.jpg



IMG_7558.jpg



IMG_7564.jpg



IMG_7555.jpg

IMG_7574.jpg

IMG_7582.jpg

IMG_7581.jpg



IMG_7571.jpg

IMG_7578.jpg

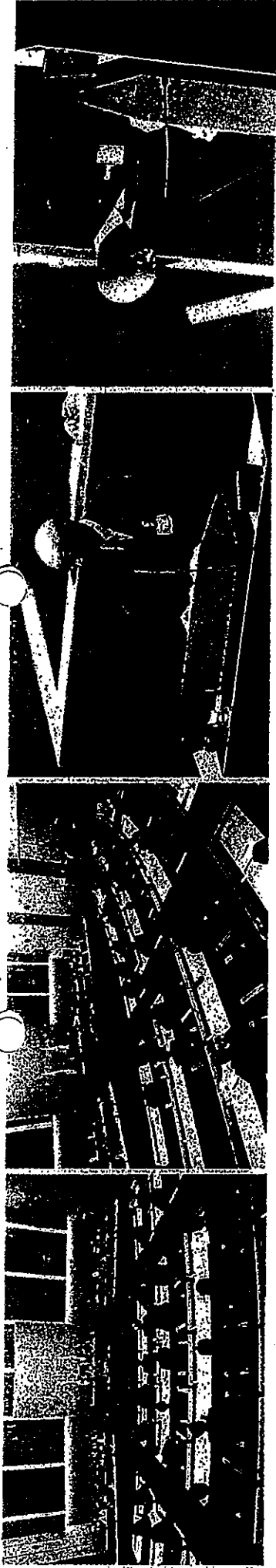
IMG_7584.jpg



IMG_7573.jpg

IMG_7579.jpg

IMG_7589.jpg

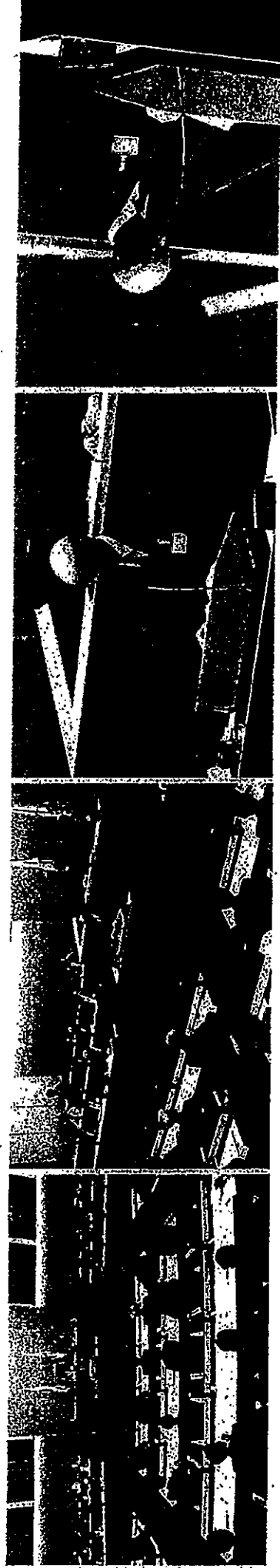


IMG_7604.jpg

IMG_7607.jpg

IMG_7623.jpg

IMG_7649.jpg



IMG_7605.jpg

IMG_7608.jpg

IMG_7624.jpg

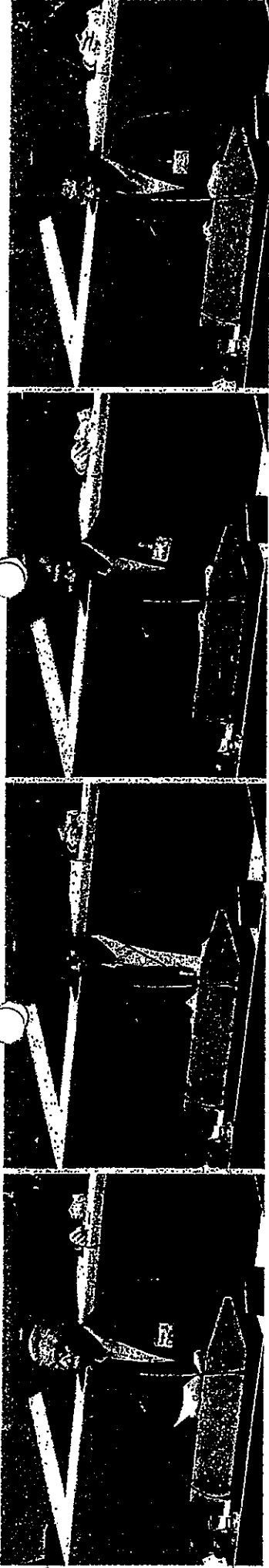
IMG_7650.jpg



IMG_7606.jpg

IMG_7610.jpg

IMG_7625.jpg



IMG_7658.jpg

IMG_7672.jpg

IMG_7689.jpg

IMG_7704.jpg



IMG_7663.jpg

IMG_7674.jpg

IMG_7694.jpg

IMG_7705.jpg



IMG_7668.jpg

IMG_7674.jpg

IMG_7695.jpg

IMG_7716.jpg

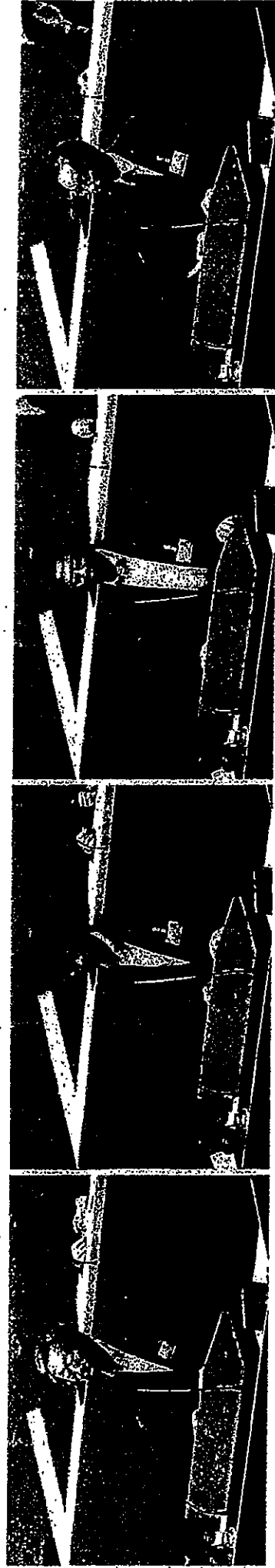


IMG_7724.jpg

IMG_7738.jpg

IMG_7747.jpg

IMG_7754.jpg

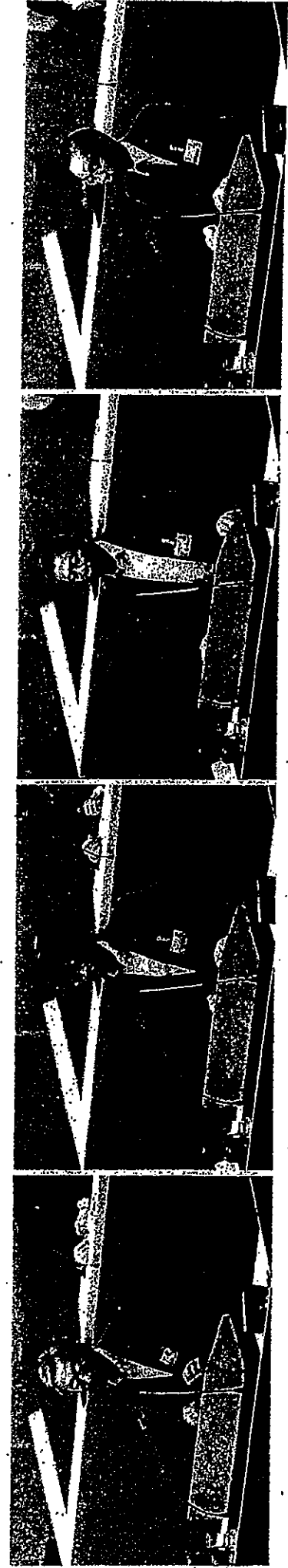


IMG_7726.jpg

IMG_7741.jpg

IMG_7749.jpg

IMG_7759.jpg



IMG_7730.jpg

IMG_7742.jpg

IMG_7752.jpg

IMG_7759.jpg



IMG_7772.jpg



IMG_7788.jpg



IMG_7776.jpg



IMG_7791.jpg



IMG_7785.jpg



IMG_7796.jpg

872		
07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費
	03_広聴広報費	04_要請陳情等活動費 08_事務所費
	05_会議費	09_事務費 10_人件費
新聞代金 6月分		
富山新聞	3060	/
北日本新聞、日経新聞	7072	/
読売新聞	3093	/
	13225	

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を撤し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)



領収書

区 域	全 戸 数	お問い合わせ先
34	85.00	1899

お名前 鹿熊 正一 様
殿町1495

30 年 6 月分

84-8305

品 名	部 数	金 額
1 読売新聞	1	3,093
2		
3		
合 計		3,093 円

◇左記の通り領収しました

領収日 30年6月29日

便利な自動振替受付中！手数料はいりません

Y C 泊

富山県下新川郡朝日町泊 318
0765-82-0971



*両面もあわせて内容を十分お読みください。

730-07-02

新聞代金

*7,072

930-07-02

*3,060

トヤマシンフン

収受 平成 30 年 7 月 31 日
決裁 平成 30 年 8 月 3 日
処理 平成 30 年 8 月 3 日



	873		
08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費
			04_要請陳情等活動費 09_事務費
			05_会議費 10_人件費
電気料金6月分 事務所賃借料7月分			
(単位:円)			
電気料金6月分	1672		50%
事務所賃借料7月分	15000 /		50%
	16672		

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を撤し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

D30-7-10 電気料金 3,345 株式会社リョウ



お取扱日	取扱金額	店番	通番
30-07-02			
口座番号			
*****-****-*****			
万円	千円	百円	円角
003	00000000	000	000
お取扱内容			¥30,000*
お振込			¥0
手数料	¥0	ページ	回数
時刻	13:30		おつり



カクヨロサカシ コウエイカイ様
印刷係申請 TEL0765-82-1333
*印紙を貼付
*印紙を貼付

ご利用ありがとうございました。
にいかお信用金庫

收受 平成30年7月31日
決裁 平成30年8月3日
処理 平成30年8月3日

	875				
	10_人件費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費
	人件費 6月分				
	人件費 6月分		28500		50%
			28500		
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

收受 平成 30 年 7 月 31 日
 決裁 平成 30 年 8 月 3 日
 処理 平成 30 年 8 月 3 日

給料計算書 (●)

平成30年

月	日	曜日	就業時間	実勤h	月	日	曜日	就業時間	実勤h
6	1	金	8:30~14:30	5	6	16	土		
	2	土				17	日		
	3	日				18	月	8:30~14:30	5
	4	月				19	火		
	5	火				20	水	8:30~14:30	5
	6	水	8:30~14:30	5		21	木		
	7	木				22	金	8:30~14:30	5
	8	金	8:30~14:30	5		23	土		
	9	土				24	日		
	10	日				25	月	8:30~14:30	5
	11	月	8:30~14:30	5		26	火		
	12	火				27	水	8:30~14:30	5
	13	水	8:30~14:30	5		28	木		
	14	木				29	金	8:30~14:30	5
	15	金	8:30~14:30	5		30	土		
			小 計	30				小 計	30
								合 計	60

(時給) (時間)

950 60

円 時間

(給与)

57,000

円

領 収 証

自由民主党富山県議会議員
鹿熊正一様

28,500円

平成30年 7月 2日

上記金額正に領収いたしました





経理番号	1121	経費項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年6月1日 から 平成30年6月30日 まで	活動の形態	高速代	
経費の内容		金額	経費の内容	
鉄道・バス			宿泊料	
タクシー			食事代	
航空機			会費	
自家用車	@37 × km =	0		
リース車	@18 × km =	0		
有料道		10010		
駐車場			計	10010
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年8月29日
 決裁 平成30年8月3日
 処理 平成30年8月3日



経費番号	857	使用科目	01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
発起期間	平成30年6月1日 から	活動の名称	意見交換会	
期間	平成 年 月 日 まで	活動の内容	新川地域経済産業懇談会を開催し、3市2町の商工会議所、商工会の役員と県議との意見交換を行う。別紙	自宅-朝日IC-魚津IC-ホテルグランミラージュ-自宅
経費の内容	金額	経費の内容	金額	
鉄道・バス		宿泊料		
タクシー		食事代		
航空機		会費		
自家用車 @37 × 53 km =	1961			
リース車 @18 × km =	0			
有料道				
駐車場		計	1961	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>				

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年7月31日
 決裁 平成30年8月3日
 処理 平成30年8月3日



860		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成30年6月8日	から	調査活動			
平成 年 月 日	まで	1. 新川農林振興センターにおいて、管内の土地改良事業の実態について調査すると共に、土地改良法改正について調査する。2. 県議会において、代表質問項目の確認を行う。	自宅-朝日IC-魚津IC-新川農林振興センター-県議会-自宅		
新川農林振興センター 県議会					
経費の内容		金額	経費の内容		金額
鉄道・バス			宿泊料		
タクシー			食事代		
航空機			会費		
自家用車	@37 × 125 km =	4625			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場			計		4625
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成30年7月31日
 決裁 平成30年8月30日
 処理 平成30年8月3日



調査番号 <p style="text-align: center; font-size: 2em;">861</p>		用途 01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
実施期間 平成30年6月12日 から		活動の概要 意見交換会			
平成 年 月 日 まで		平成30年度MOA議員連盟・明社会定例会を開催し、別紙の通り意見交換等を行う。		自宅ー黒部ICー富山ICー 県議会ー魚津ICー朝日IC ー自宅	
県議会					
経費の内容		金額		経費の用途	
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車 @37 × 120 km =		4440			
リース車 @18 × km =		0			
有料道					
駐車場				計 4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成30年 7 月 2 / 日
 決裁 平成30年 8 月 3 日
 処理 平成30年 8 月 3 日



862		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成30年6月14日	から	調査活動	
平成 年 月 日	まで	平成28年度の県内の観光客等の動向について調査する。調査項目は、①外国人観光客の宿泊者数及び消費額 ②国内観光客の宿泊者数及び消費額 ③修学旅行で富山県訪問の実態	自宅ー黒部ICー富山ICー県議会ー魚津ICー朝日ICー自宅
県議会			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km = 4440		
リース車	@18 × km = 0		
有料道			
駐車場		計	4440
(領収書貼付枠) (原則、領収書を微し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年7月2日
 決裁 平成30年8月3日
 処理 平成30年8月3日



申請番号 <p style="text-align: center; font-size: 1.2em;">863</p>		使途項目 01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間 平成30年6月18日 振興	活動の概要 調査活動				
	平成 年 月 日 まで	1. 中山間地域振興条例（仮称）検討PTで南砺市視察・ヒヤリング 別紙 2. 砂原次長から新川地域の2つの観光施策推進組織についてヒヤリングを行う。		自宅-朝日IC-富山IC-県議会-富山IC-朝日IC-自宅（県議会と南砺市の往復は別途調達バスで）	
県議会 南砺市					
経費の内容 鉄道・バス		金額	経費の内容 宿泊料		金額
タクシー			食事代		
航空機			会費		
自家用車 @37 × 120 km =	4440				
リース車 @18 × km =	0				
有料道					
駐車場			計		4440
《領収書貼付枠》（原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。）					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年7月31日
 決裁 平成30年8月3日
 処理 平成30年8月3日



569		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成30年6月29日 から		調査活動			
平成 年 月 日 まで		6月29日午後4時から行う、国土交通省北陸地方整備局への要請活動と意見交換会に関して、要請項目や意見交換内容について調査・確認を行う。具体的には、昨年秋に発足した北アルプス横断道路構想推進会議の取組み状況、国道8号の富山・新潟県境間の整備状況等。		自宅-朝日IC-富山IC-県議会	
県議会					
調査の内容		金額		合計	
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車 @37 × 60 km =		2220			
リース車 @18 × km =		0			
有料道					
駐車場				計 2220	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数(Km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成30年7月31日
 決裁 平成30年8月3日
 処理 平成30年8月3日



申請番号	870	活動種別	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
開催期	平成30年6月30日 振興	活動の種別	講演会	
開催日	平成 年 月 日 まで	開催場所	立山黒部自然環境保全・国際観光促進協議会平成30年度総会において、一般財団法人砂防・地すべり技術センター専務理事の大野宏之氏より、「世界に広がる日本の砂防」のテーマで講演を聴く。	県議会ー富山ICー魚津ICーパレス扇寿ー自宅
開催場所	黒部 パレス扇寿			
経費の内容		金額	経費の内容	
鉄道・バス			宿泊料	
タクシー			食事代	
航空機			会費	
自家用車	@37 × 62 km =	2294		
リース車	@18 × km =	0		
有料道				
駐車場			計	2294
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を敬し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30年 7 月 31 日
 決裁 平成 30年 8 月 3 日
 処理 平成 30年 8 月 3 日



1122		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成30年7月2日	から	意見交換会			
平成 年 月 日	まで	富山県出向者との中央省庁における意見交換会(別紙)		自宅-黒部宇奈月温泉温泉駅-東京駅-経済産業省・国土交通省等-東京駅-富山駅-泊駅-自宅	
経済産業省 国土交通省					
鉄道の取捨		金額		内容	
鉄道・バス		33780		宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車	@37 × 23 km =	851			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場				計	
				34631	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 8 月 29 日
 決裁 平成 30 年 8 月 30 日
 処理 平成 30 年 8 月 30 日

領 収 書 藤 正 一 様

Receipt
領収年月日 2018.-7.-1
金額 ￥32,820 (消費税等込み)

上記金額確かに領収いたしました

購入商品 JR乗車券類 JR tickets

(30094 4枚)
西日本旅客鉄道株式会社
黒部宇奈月温泉線
黒部宇奈月MK2発行 40095-02

印紙税申告納
付につき大淀
税務署承認済

黒部温泉駅

↓
東京駅

↓
富山駅

32,820
960

計 33,780

領収書

藤 正 一 様

ご利用日付 2018年7月2日

時刻 23時18分

券番号: 3074

取引内容: 乗車券類購入 金960円

印紙税申告納
付につき富山
税務署承認済

伝票番号: 40991

●ご利用ありがとうございます。

富山駅 券口4発行

あいの風とやま鉄道株式会社

富山駅

↓
泊駅

県外・海外政務活動報告書

平成30年8月29日

整理番号	1122	会派・議員名	鹿熊
活動名称			
目的	富山県に決向経験のある中、有方の等との意見交換会を行い、新しい情報収集や国の諸施策の動向等について視察を広める。		
日程	平成30年7月2日() ~ 平成 年 月 日()		
場所	経済産業省, 国土交通省		
相手方等	経済産業省 藤木副官他 別紙		
行程・活動内容	<p>行程・活動内容</p> <p>能 車 → 豊前津月沼駅 → 新幹線 → 東京駅 →</p> <p>国土交通省、経済産業省 → 東京駅 → 新幹線 → 富山駅 → 富山県印子鉄道 →</p> <p>沼駅 車 → 能</p> <p>11:30 国土交通省 野村正史国土政策局長(南砺市出身)との懇談</p> <p>13:30 経済産業省本県出向者との意見交換</p> <p>15:00 国土交通省本県出向者との意見交換</p> <p>18:30 本県出向者と自民党県議の意見交換会(ルポール麹町)</p>		

※日帰りの政務活動を含む。

7月2日(月) 11:30~12:00

場所: 国土交通省 国土政策局長室

【国土交通省側】

野村 正史 国土交通省 国土政策局長

中川 雅章 国土交通省 国土政策局 広域地方政策課長

紺谷 信長 国土交通省 国土政策局 広域地方政策課 広域制度企画官

○部会より意見要望等

1. 国土強靱化と地方創生のための「日本海国土軸」の形成について
2. 北陸新幹線の整備促進について
3. 富山きととき空港における航空ネットワークの充実と冬季就航率の向上について
4. 地域におけるバス路線等の維持・確保のための支援の充実について
5. 地方創生や国土強靱化に向けた道路整備の促進について
6. 日本海側の「総合拠点港」伏木富山港の機能強化等について

○意見交換

- ・北陸新幹線の開業効果は大きい。大阪までの早期の開業を願う。
- ・しかし、北海道新幹線、九州新幹線もあり、山陰、四国も力が入っている中、中々厳しくなるもの
と考える。
- ・国土政策局が国土庁の頃、経済が右肩上がりの時代に国土総合計画を策定したが、今や人口減少が
明らかで、取り巻く状況も変化している中、国土形成計画という名前で、開発より保全、質的に充実
させて行こうという動きである。
- ・平成20年に最初の国土形成計画が策定された。第2次計画が平成27年に策定。
- ・対流促進型の国土を作っていこうという考えで、ブロックごとに地方整備計画を策定している。北
陸は北陸3県での策定。
- ・北陸圏広域地方計画の中では、日本海国土軸は位置づけられており、東海北陸自動車道4車線化、
北陸新幹線の整備などとともに、太平洋側のリダンダンシーの確保を叫んでいる。
- ・北陸3県のみでなく、隣接圏域との連携も書いており、様々な施策を連携させて行こうとしている。
- ・地方整備局にも専任の担当を配置し、進捗管理にもしっかりと取り組んでいる
- ・公共事業予算は下げ止まったが、増えてはいないので、まだまだ予断は許さない状況。
- ・来年の消費税引き上げを前に、増税の影響で経済の中折れ防止のため、31年度予算には経済対策分
も当初予算から盛り込んでいくことになろう。
- ・富山県は大型プロジェクトが終わりに近づきつつあるが、直轄がなくなるわけではない。
- ・有効求人倍率などをみると富山県は比較的堅調にきている。

・中山間地域など町村部は、人が居なくなる心配があるが、安心安全なふるさととして地域を守る必要がある。

・政府挙げて、東京一極集中の是正に取り組む方針が示された。予算にも反映されるはず。大いに活用していただきたい。

・公共投資については、防災など土砂災害系は先行投資が大きな効果がある。公共投資に関して理解が変わってきている感じがする。

・国土に血管の様に道が走り、隅々まで人が住むことが、地域を守ることにつながると感じるが。

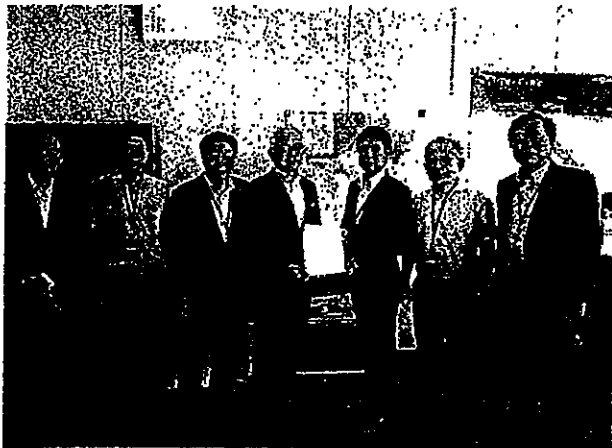
・地方ごとに拠点の整備が大事でないか。冬場だけでも集住をすすめるとか。すべての地域を守るといのは不可能。

・無電柱化については、法律もできたが、埋める側の理解が必要。

・北陸管内の高速道路で雨量規制で通行止めになるのが一番多いのが親不知。しかし地域の声あまり国へ届いていないらしいが。

○ 広域地方計画協議会の中で、色々と意見を頂いていると思うが、検討させてほしい。

・港湾は選択と集中を施した。日本海側はアジアとのゲートウェイ。山陰側に比べると富山はまだ恵まれているのではないか。道路と港湾の連携がまだまだ必要だと思う。



7月2日(月) 13:30~14:30

場所: 経済産業省 商務情報政策局 商務・サービス審議官室

【経済産業省側】

藤木 俊光 経済産業省 商務情報政策局 商務・サービス審議官

戸高 秀史 特許庁 総務部 総務課長

佐野 究一郎 内閣官房 日本経済再生総合事務局 参事官

亀井 明紀 経済産業省 産業技術環境局 環境政策課 環境経済室長

○部会より意見要望等

1. 地方発イノベーションによる産業の高度化について
2. 新たなエネルギー資源の開発促進について
3. 環日本海・アジア地域等との経済交流及び物流の活性化について

○意見交換

・日本医療研究開発機構(AMED)の研究開発支援制度については、朝日町のアムノスが取り組んでいる。2次の募集があるはずなので、支援していきたい。

・IT導入補助金については、国全体で500億円の十分な予算を確保している。2次募集が8月初めまでであるので、積極的に活用願いたい。全国で9200件余りのうち、富山県も84件の利用がある。

・地熱資源開発については、立山弥陀ヶ原で「独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)」の補助金を使って、県企業局が取り組んでいるところ。

・水素ステーションについては、1か所5億円かかる。日本海側で是非ということだと思うが、何とか支援していきたい。

・メタンハイドレートについては、取り出し方が難しいと聞いている。担当部署からは順序を追って頑張るとの回答であった。

・海外への販路拡大については、バイヤー招聘事業の拡大に力点を置きたい。海外見本市に日本製品を持っていっても買ってもらえていない現実。

・水素ステーションは、富山はポテンシャルがあると思う。関係者は来年度ぐらいに富山でも設置したいと思っている。水素は、自動車のみならず他の産業利用も図れるので盛り上げてほしい。

・トヨタのミライの生産が追いついていないのが大問題

・物流について企業のデータを統一してどこかで把握して、運送会社と連携するようなシステムができないものか。

・データの中身も書式も統一されておらず、ゼロからのスタートとなる事が課題。

・荷主側の努力も必要。運送側は荷主の意向を尊重せざるを得ない。人手不足が進む中、大事な問題である。

・ベンチャー企業のラクスルの創業者は、富山出身。頑張っている。

・特許の出願するのに40万かったものが、来年から半額になる。ベンチャー企業が出願したら、これまでは9か月程度かかったものが、1か月になる。特にベンチャー系には有利な制度になるので、活用してもらいたい。

・本社機能の地方移転についての動きはどうか。

・昔のような何でもという動きはなくなっている。地方にとっては、給料も高い企業の本社機能が来てもらっては、ごっそりそちらに行ってしまう逆に困ることになるという意見もある。

・〇〇機構とかに地方へ行ってもらいたい。テレワークもあるし。

・キャッシュレスについての動きはどうか。

・日本は現在20%、2025年で40%にしようとしている。次は80%を目指す。

・韓国は90%、クレジットカードを使うと20%所得控除がある。アンダーグラウンドのお金対策として導入されている。

・中国はアリペイ、ウィチャットペイ。アリペイの手数料は0.5%。日本の5~10%に比べると安い。

・日本は重いシステムしかなく、軽いシステムの導入が必要。法律の見直しも必要。みずほ銀行やベンチャー企業でも動きが出始めている。

・キャッシュレス化の利点は、データが残る事。それに基づき戦略が立てられる事が大きい。また、レジを締める必要がない。

・電子タグを付ければ、物が今どこにどのくらいあるか分る。これに基づき物流もスムーズにできる。

・キャッシュレスも使ってくれないと意味がない。薬手帳の役割なんかも必要なくなる。

・アリペイのデータは中央政府に送られているのは、中国人は皆知っていて利用している。かえって、そのほうが安心との認識である。日本もこれから間違いなく進んでいく。



7月2日(月) 15:00~16:20

場所: 国土交通省国会連絡室 会議室

【国土交通省から本県へ出向されていた方】

日野 祥英 国土交通省大臣官房 危機管理官

中橋宗一郎 国土交通省国会連絡室 室長

○部会より意見要望等

1. 国土強靱化と地方創生のための「日本海国土軸」の形成について
2. 北陸新幹線の整備促進について
3. 富山きときと空港における航空ネットワークの充実と冬季就航率の向上について
4. 地域におけるバス路線等の維持・確保のための支援の充実について
5. 地方創生や国土強靱化に向けた道路整備の促進について
6. 日本海側の「総合拠点港」伏木富山港の機能強化等について

○意見交換

- ・北陸新幹線は2022年度に敦賀まで延伸されるが、環境アセスメントに4年ぐらいかかる。この期間は避けられない。
- ・その先が課題である。財源の議論を前に進める時期ではない。引き続き地方から声を上げることが大事。
- ・サンダーバードの乗り継ぎの問題が大きい。敦賀乗り継ぎの利便性を高める事を強くJRに申し出たほうが良い。
- ・2030年札幌延伸と同時に大阪まで何としても実現させたい。
- ・財源の問題は、JRへの貸付料の取り扱いは30年間でその先は決まっていないため、ここ4~5年の間に動きが出てくるであろう。
- ・新幹線の時速は最大で260km/hだが、もっとスピードアップはできないのか。
- ・環境アセスを260kmでやっている。騒音対策も同様。東北新幹線は320kmだが、盛岡を過ぎると落ちている。
- ・JR東日本が買い取っているから可能なわけで、鉄道運輸機構から借りている間は難しいだろう。
- ・富山羽田便は朝晩に特化したため、日中の便が無く困る。
- ・料金も安い。往復23000円程のものもあり、新幹線と変わらない。
- ・JALが富山便を撤退したのも値段が安すぎたせい。片道1万円ほどではもうからない。
- ・富山きときと空港は長野県への国際線の売り込みをもっとやったら良い。
- ・県管理空港だからもっと思い切った割引制度なども考えもよいのでは。
- ・空港の民営化(運営権売却コンセッション方式)も検討に値すると思う。

- ・来年、富山県で日台観光サミットが予定されているが、富山から台湾への旅行者が台湾からの1/4。1/3ぐらいにしないと。
- ・富山県のパスポート保有率が5%ほど（全国平均20%）修学旅行がないのも一つの原因かも。修学旅行は航空会社にとっても大きい。確実に見込める。
- ・富山県の普通科高校が修学旅行に行くようにすべきである。



平成 30 年 6 月 22 日

自由民主党富山県連
経済建設部会所属議員 各位

自由民主党富山県支部連合会
経済建設部会長 永森 直人

中央省庁本県出向者と農林水産部会との意見交換会及び
「ふくらぎ会」の開催について

標記の件に関し、下記の日程で確定いたしましたので、ご連絡申し上げます。

つきましては、交通機関及び事前の宿泊確認「ホテルルポール麹町」で宿泊希望の先生方「○印」については準備をいたします。個人手配される先生方の往路、復路の交通機関及び宿泊は各自で手配をお願いいたします。なお、交通費は政務活動費対応となりますが、懇談会費¥5,000円と翌日の政務活動実績が無い場合は、宿泊も政務活動費対象外となりますのでお願いいたします。

■日程：7月2日（月）

かがやき 504号	はくたか 554号
08:06 富山駅(発)	07:36 新高岡駅(発)
	07:46 富山駅(発)
	07:59 黒・宇駅(発)
10:20 東京駅(着)	10:36 東京駅(着)

※交通機関のチケットは各自にて手配

11:20 (集 合)：国土交通省入口(着)

11:30 (懇 談)：国土交通省国土政策局長と懇談

国土交通省国土政策局長 野村 正史 氏(南砺市出身)

13:30 (意見交換)：経済産業省での意見交換

「場 所」

「対応者」

15:00 (意見交換)：国土交通省での意見交換

「場 所」

「対応者」

17:30 ホテルルポール麹町(着)「各自 チェックイン」

18:30 (懇談会)：ふくらぎ会

「場 所」：ホテルルポール麹町 2階「サファイアの間」

「出席者」：県選出国會議員、中央省庁本県出向者、県庁関係者

20:20 (終 了)

■日程：7月3日（火）

09:30 (勉強会)：国交省との勉強会

「場 所」：衆議院第1議員会館 地下1階 第7会議室

「テーマ」：自動運転について

農林水産部会所属議員	7月2日（月）				7月3日（火）	
	意見	懇親	宿泊	交通手段（往復路）	意見	交通手段（復路）
部会長 永森 直人	○	○	○	(個人対応)	○	(個人対応)
副部会長 井上 学	○	○	○	(個人対応)	○	(個人対応)
山本 徹	○	○	○	(個人対応)	○	(個人対応)
稗苗 清吉	×	○	×	(個人対応)	×	(個人対応)
中川 忠昭	○	○	○	(個人対応)	○	(個人対応)
鹿熊 正一	○	○	—	(個人対応)	○	(個人対応)

1123		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成30年7月3日 から		調査活動			
平成 年 月 日 まで		県政報告会のための資料として、若者の県内定着につながる、県内大学の魅力化・活性化や本社機能の富山県移転の状況について調査する。		自宅ー入善ICー富山ICー県議会ー滑川ICー朝日ICー自宅	
県議会					
経費の内容		金額		合計	
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車 @37 × 120 km =		4440			
リース車 @18 × km =		0			
有料道					
駐車場				計 4440	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年8月29日
 決裁 平成30年8月30日
 処理 平成30年8月30日



1124		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成30年7月4日	から	研修会、講演会			
平成 年 月 日	まで	1. 平成30年度富山県土地改良区理事長会議 別紙 2. 日中友好富山県地方議員連盟総会における記念講演会 別紙		自宅-県民会館県議会富山第一ホテル-自宅	
県民会館 富山第一ホテル					
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場				計	
				4440	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年8月29日
 決裁 平成30年8月30日
 処理 平成30年8月30日



平成30年度 富山県土地改良区理事長会議

日 時：平成30年7月4日（水） 10：00～11：30
場 所：富山県民会館304号室

（次 第）

- 1 開 会
- 2 換 拶
- 3 農業農村整備・農村振興の推進に関して （別紙 A3）
- 4 平成30年度農業農村整備事業予算について
- 5 土地改良法の改正について
- 6 報告事項
 - （1）県単独事業におけるゼロ県債制度の導入について
 - （2）農業用排水路などの事故防止対策
 - （3）・「元気とやま」むらづくり推進大会
・とやま水土里フォーラムの案内
 - （4）その他
- 7 意見交換
- 8 閉 会

平成30年度

日中友好富山県地方議員連盟総会

とき 平成30年7月4日(水)

午後2時00分～

ところ 富山第一ホテル 3階 白鳳の間

日中友好富山県地方議員連盟

総 会 次 第

1. 開 会

2. 開会の挨拶

3. 来賓挨拶

4. 議長選出

5. 議 事

(1) 平成29年度事業実績報告

(2) 平成29年度収支決算報告

(3) 役員の選任

(4) 平成30年度事業計画 (案)

(5) 平成30年度収支予算 (案)

(6) その他

6. 閉 会

〈 記 念 講 演 〉

「最近の中国事情および中日関係について」

講 師

中華人民共和国駐日本国大使館

参事官 倪 健 氏



1125		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成30年7月5日 から		調査活動			
平成 年 月 日 まで		1. 北陸新幹線駅へのアクセス路線バス等運行支援事業の状況と今後の事業継続性について調査する。 2. 県内小中学校における、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置について調査する。		自宅ー入善ICー富山ICー県議会ー富山ICー朝日ICー自宅	
県議会					
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車 @37 × 120 km =		4440			
リース車 @18 × km =		0			
有料道					
駐車場				計 4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年8月29日
 決裁 平成30年8月30日
 処理 平成30年8月30日



1126		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成30年7月10日 から		調査活動			
平成 年 月 日 まで		1. あさひ野小学校において、ICT教育の現場を視察する。2. 高校跡地利用の検討に関する県の補助要綱について調査する。		自宅—あさひ野小学校—黒部IC—富山IC—県議会—滑川IC—朝日IC—自宅	
あさひ野小学校 県議会					
鉄道・バス		宿泊料			
タクシー		食事代			
航空機		会費			
自家用車	@37 × 120 km =	4440			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場		計		4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年8月29日
 決裁 平成30年8月30日
 処理 平成30年8月30日



1127		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成30年7月11日 から		講演会、調査活動			
平成 年 月 日 まで		1. 富山新港開港50周年記念式典並びに記念講演 別紙 2. 県政報告会の資料として、高知県における集落活動センターの活動事例について調査する。		自宅-朝日IC-滑川IC-第一イン新湊-県議会-富山IC-朝日IC-自宅	
第一イン新湊 県議会					
鉄道・バス		宿泊料			
タクシー		食事代			
航空機		会費			
自家用車	@37 × 155 km =	5735			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場		計		5735	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を敬し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年8月29日
 決裁 平成30年8月30日
 処理 平成30年8月30日

富山新港開港 50 周年記念事業

式次第

日時 平成30年 7月11日[木] 9:50～記念式典 12:10～レセプション

場所 第一イン新湊 (富山県射水市善光寺18-4 TEL 0766-82-4111)

記念式典

1. 開式
2. 主催者挨拶
3. 地元代表挨拶
4. 祝辞
5. 感謝状贈呈
6. 記念講演 手嶋 龍一氏 / 分家 静男氏
7. 閉式

イベントの予定

海王丸パークスタンプラリー 平成30年7月14日[土]～16日[月・祝]

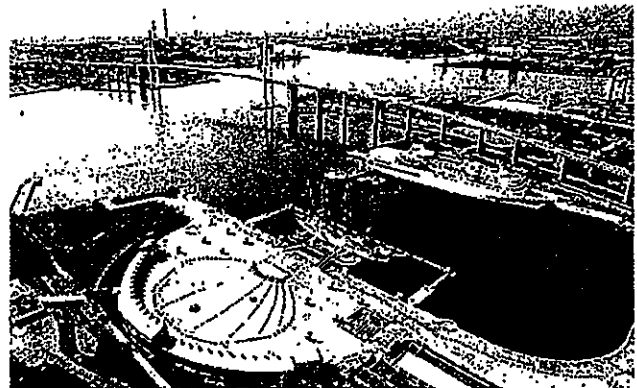
海上見学会～海から見る富山湾～ 平成30年7月14日[土]

国際物流ターミナル見学会 平成30年7月15日[日]

新湊大橋の“てっぺん”を歩こう 平成30年9月23日[日・祝]



平成29年4月撮影



平成30年5月撮影



経理年度	1/28	経費項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年7月13日 から	活動の概要	調査活動	
	平成 年 月 日 まで	1. 県内における耐震型侵入防止柵の設置状況と市町村からの要望状況について調査する。2. 東京都23区から他県市町村への介護事業の委託の事例について調査する。	自宅-黒部IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC -自宅	
	県議会			
		金額	経費の内容	金額
鉄道・バス			宿泊料	
タクシー			食事代	
航空機			会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440		
リース車	@18 × km =	0		
有料道				
駐車場			計	4440
《領収書貼付枠》		(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)		

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30年 8月 29日
 決裁 平成 30年 8月 30日
 処理 平成 30年 8月 30日

1129		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成30年7月17日 から		要望活動		
平成 年 月 日 まで	朝日町の県への30年度要望活動に同行する。別紙	自宅ー黒部ICー富山ICー 県議会ー富山ICー朝日IC ー自宅		
県議会				
経費項目	金額	経費の内訳	金額	
鉄道・バス		宿泊料		
タクシー		食事代		
航空機		会費		
自家用車 @37 × 120 km =	4440			
リース車 @18 × km =	0			
有料道				
駐車場		計	4440	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。持内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>				

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成30年8月29日
 決裁 平成30年8月30日
 処理 平成30年8月30日

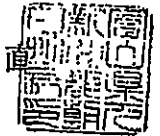


平成30年7月10日

富山県議会議員

鹿熊正一様

朝日町長 笹原靖



平成31年度国県予算に対する富山県への要望実施について

このことについて下記のとおり実施しますので、ご出席をお願い申し上げます。

記

- 1 日 時 平成30年7月17日(火)
午前8時30分
- 2 場 所 富山河川国道事務所(富山市奥田新町2番1号)
※午前8時25分までに現地へご参集をお願いいたします。
- 3 日 程 別添巡回スケジュール参照

<< 平成31年度国県予算に対する重要要望事項要望巡回スケジュール >>

No.	訪問先	担当者連絡先	訪問先	確定時間	訪問時間
1	富山河川国道事務所	076-443-4717	所長	8:30~8:40	10
移動					
2	あいの風とやま鉄道	076-444-1304		8:45~8:55	10
移動					
3	観光・交通・地域振興局	076-444-3114	観光・交通・地域振興局長	9:05~9:20	15
4	総合政策局	076-444-9605	総合政策局長	9:25~9:55	30
5	知事	076-444-2174	知事	10:00~10:15	15
6	副知事	076-444-9693	副知事	10:15~10:30	15
7	商工労働部	076-444-3243	商工労働部長	10:40~10:50	10
8	教育長	076-444-3430	教育長	10:55~11:15	20
9	経営管理部	076-444-3162	経営管理部長	11:20~11:35	15
10	農林水産部	076-444-9622	農林水産部長	11:40~12:00	20
昼食(富山県民会館8階(2F)レストラン) 12:00~13:00					
11	生活環境部 議会事務局 (企業局) ※要望なしのため、訪問のみ		生活環境部長 議会事務局長 企業局長	13:00~14:00	60
12	厚生部	076-444-3196	厚生部長	14:00~14:10	10
13	土木部	076-444-3307	土木部長	14:15~14:45	30
移動(富山)					
14	新川農林振興センター	22-9136	所長	15:35~15:55	20
移動					
15	新川土木センター	22-9114	所長	15:55~16:15	20
移動					
16	黒部河川事務所	52-1122	所長	16:30~16:50	20
移動					
17	入善土木事務所	72-1133	所長	17:05~17:25	20

※富山河川国道事務所への訪問が、8:30であることから、役場出発は7:30としたい。



管理番号	1130	経費項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年7月19日 から 平成 年 月 日 まで	活動の概要	調査活動等	
活動	新川広域圏事務局 入善町議会事務局 県議会	1. 新川広域圏事務局で新川地域推進協議会の県への要望事項について打合せを行う。2. 入善町議会事務局で下新川海岸整備促進議員連盟の総会に向けての打合せを行う。3. 介護事業の自治体連携について調査する。	自宅-朝日IC-魚津IC-新川広域圏事務局-入善町議会事務局-朝日IC-富山IC-県議会-滑川IC-朝日IC-自宅	
		金額	経費の内容	金額
鉄道・バス			宿泊料	
タクシー			食事代	
航空機			会費	
自家用車	@37 × 148 km =	5476		
リース車	@18 × km =	0		
有料道				
駐車場			計	5476
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
 (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
 (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年8月29日
 決裁 平成30年8月30日
 処理 平成30年8月30日

報告者* 

1131		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成30年7月23日 から		調査活動等			
平成 年 月 日 まで		1. 経済建設部会で9月代表質問事項について意見交換を行う。2. 朝日滑川国道バイパス建設促進期成同盟会総会他2総会の開催		自宅-朝日IC-富山IC-県議会-ホテルグランミラージュ-自宅	
県議会 ホテルグランミラージュ					
		金額		内容	
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車 @37 × 120 km =		4440			
リース車 @18 × km =		0			
有料道					
駐車場				計 4440	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年8月29日
 決裁 平成30年8月30日
 処理 平成30年8月30日

FAX済

平成30年7月19日

自由民主党政務調査会
経済建設部会会員各位

自由民主党政務調査会
経済建設部会長 永森 直人

経済建設部会の開催について

このことについて、下記のとおり開催しますので、ご出席願います。

記

- 1 日 時 平成30年7月23日(月) 9:00~
- 2 場 所 議事堂 2階 自民党議員控室内会議室
- 3 協議事項
 - (1) 9月定例会代表質問項目について
 - (2) その他

※ 欠席の場合は、自民党控室へご連絡願います。(TEL076-431-5244)



報告番号	1132	使途種別	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年7月24日 から 平成 年 月 日 まで	活動の概要	意見交換等	
会場	入善うるおい館 ホテルグランテラス	1. 新川地域推進協議会を開催し、県に要望する新川地域の共通課題について意見交換を行う。2. 斜面防災対策技術協会富山県支部役員と自民党議員会役員と地すべり対策等の課題について意見交換を行う。	自宅ーうるおい館ー入善ICー富山ICーホテルグランテラスー富山ICー朝日ICー自宅	
		金額	経費の内容	金額
鉄道・バス			宿泊料	
タクシー			食事代	
航空機			会費	
自家用車	@37 × 123 km =	4551		
リース車	@18 × km =	0		
有料道				
駐車場			計	4551
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成30年8月29日
 決裁 平成30年8月30日
 処理 平成30年8月30日

平成 30 年 6 月 26 日

富山県議会議員 鹿熊正一 様

新川地域推進協議会
会長

新川地域推進協議会の開催について

このことについて、下記のとおり開催しますので、ご出席下さいますようお願い
します。

記

- 1 日 時 平成 30 年 7 月 24 日 (火) 午後 3 時 10 分から
- 2 場 所 入善まちなか交流施設うるおい館 2 階 多目的ホール
(下新川郡入善町入膳 5232-5)
- 3 内 容
 - ・平成 29 年度事業報告及び決算について
 - ・役員を選任について
 - ・平成 30 年度事業計画 (案) 及び予算 (案) について
 - ・県への要望について

以上

事務担当 : 新川広域圏事務組合
総務課 河崎 拓也
TEL 0765-23-1024
FAX 0765-24-2953



報告書番号	1133	経費項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年7月30日 から	活動の概要	調査活動等	
	平成 年 月 日 まで	1. 自民党農業問題調査会で現地視察 別紙 2. 自民党中山間地域振興条例PT 勉強会で舟橋町長の講演	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-(砺波市・南砺市 視察)-県議会-富山IC- 入善IC-自宅	
場所	砺波市・南砺市 県議会			
		金額	経費の内容	金額
			鉄道・バス	宿泊料
			タクシー	食事代
			航空機	会費
	自家用車 @37 × 120 km =	4440		
	リース車 @18 × km =	0		
	有料道			
	駐車場		計	4440
(領収書貼付枠) (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は
主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成30年8月29日
 決裁 平成30年8月30日
 処理 平成30年8月30日

FAX 済

平成30年7月19日

自由民主党富山県議会議員会
関係議員各位

自民党農業問題調査会
会長 中川 忠 昭

農業法人視察 (7/30) における服装等について

下記の視察では、**「作業服」着用、ノーネクタイ**でお願いします。

なお、現時点での出席者名簿 (交通手段) 及び視察先の地図を別紙のとおり添付
します。

記

<日 程>

月日	行程
7/30 (月)	
9:30 発	議事堂正面 バス出発
10:15 着	○ <u>有限会社梅香園</u> (砺波市庄川町天正 408)
10:45 発	Tel. 0763-82-7021 6次産業化実践経営体 観光イチゴ農園、カフェ経営、種籾、たまねぎ、鉢花の複合経営
11:00 着	○ <u>農事組合法人高堀集落営農組合</u> (南砺市高堀 234-2)
11:30 発	Tel. 0763-22-3659 とやま型モデル実践事業実施経営体 水稻、大麦、そば、たまねぎ、にんじんの複合経営型集落営農法人
11:45 着	○ <u>有限会社ファームズエンジニア福光</u> (南砺市福光 428-1)
12:15 発	Tel. 0763-52-0410 大規模稲作経営体 200ha 超 平成29年度ライスセンター新築、水稻、大麦、大豆、おおかぶ
12:30 着	○ <u>意見交換会 <昼食 (地元食材料理) 付き></u>
13:30 発	会場:「桜ヶ池クアガーデンレストラン」(南砺市立野原東 1514) Tel. 0763-62-8181
14:30 着	議事堂着

担当: 議会事務局調査課 松下 (2254)

平成30年7月5日

自由民主党富山県議会議員会
所 属 議 員 各 位

中山間地域振興条例（仮称）検討プロジェクトチーム
座 長 宮 本 光 明

中山間地域の振興に関する講演会の開催について

このことについて、下記のとおり開催しますので、ご案内します。

記

1. 日程等 7月30日（月）
16:00～（質疑応答含め1時間程度）
※議員総会終了後
2. 会 場 県議会議事堂2階大会議室
3. 講 師 立山町長 舟橋 貴之 氏
（全国中山間地域振興対策協議会 会長）
4. 演 題 （仮題）全国中山間地域振興対策協議会の要望について
5. 出席者 自民党県議会議員

（参考）7/30（月）当日のスケジュール

8:30	議会運営委員会	210会議室
9:30	自民党農業問題調査会県内視察（～14:30）	砺波市、南砺市
14:45	自民党役員会	特別室
15:15	自民党議員総会	第2委員会室
16:00	中山間地域の振興に関する講演会	大会議室



管理番号	1134	資金項目	01_調査研究費 02_研修費 03_広聴広報費 04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年7月31日 から	活動の概要	調査活動等
	平成 年 月 日 まで	1. 県内の小学・中学・高校の冷房施設設置の現状について調査する。2. 日本の伝統文化である「能」の若者への普及について県芸文協と意見交換を行う。	自宅—入善IC—富山IC— 県議会—富山IC—朝日IC— 自宅
県議会			
		金額	経費の内容
鉄道・バス			宿泊料
タクシー			食事代
航空機			会費
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場			計
			4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数・(km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 8 月 29 日
 決裁 平成 30 年 8 月 30 日
 処理 平成 30 年 8 月 30 日

政務活動費対象事業実績報告書

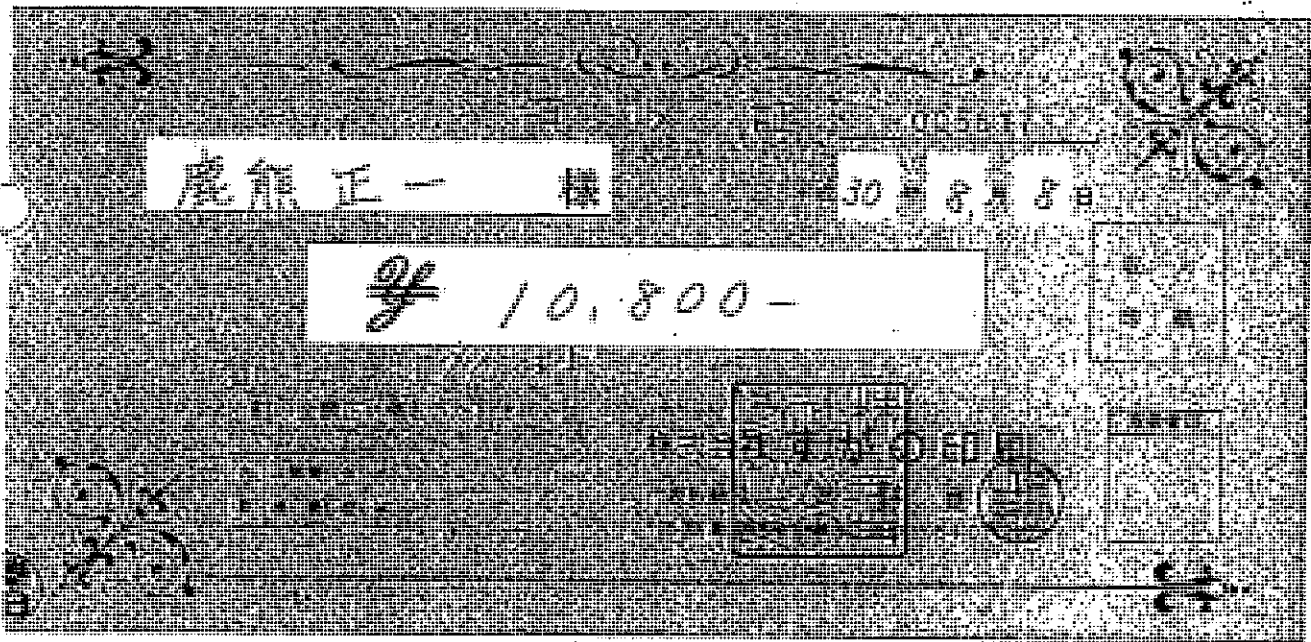
報告日* 平成 30年 8月 29日

報告者*



1135			
03_広聴広報費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費
			04_要請陳情等活動費 09_事務費
			05_会議費 10_人件費
ホームページホスティング料7月分 ドメイン料			
ホームページホスティング料	8467	/	80%
ドメイン料	8640	/	80%
	17107	/	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

收受 平成 30年 8月 29日
 決裁 平成 30年 8月 30日
 処理 平成 30年 8月 30日



1136	07_資料購入費	01_調査研究費	02_研修費	03_広聴広報費	04_要請陳情等活動費	05_会議費
		06_資料作成費	07_資料購入費	08_事務所費	09_事務費	10_人件費
新聞代金 7月分						

新聞社名	金額	備考
富山新聞	3060	/
北日本新聞、日経新聞	7072	/
読売新聞	3093	/
	13225	

《領収書貼付枠》



領収書

区 域	全 戸 数	お問い合わせ先
34	86-00	1899

※別紙に整理すること。)

お名前 鹿熊 正一様
殿町1495

30年 7月分	銘 柄	部 数	金 額
1	読売新聞	1	3,093
2			
3			
合 計			3,093 円

84-8305
◇左記の通り集収しました

領収日 30年 8月 29日

便利な自動振替受付中！手数料はいりません
Y C 泊
富山県下新川郡朝日町泊318



*裏面もあわせて内容を十分お読みください。

28 30-07-31	新聞代金	*7,072	
24 30-08-02		*3,060	トヤマシフカン

收受 平成 30年 8月 29日
決裁 平成 30年 8月 30日
処理 平成 30年 8月 30日

報告者* 

	1137					
	08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費
	電気料金 7月分 事務所賃貸料8月分					
	電気料金	1755	/	50%		
	事務所賃借料	15000	/	50%		
		16755	/			
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)						

收受 平成30年8月29日
 決裁 平成30年8月30日
 処理 平成30年8月30日

しんきんオンライン

ネットキャッシュサービス取扱票
(ご利用明細票)

お取扱日	取扱金額	店番	通番
30-08-01			
口座番号			
*****-*****-*****			
お取扱金額	お取引金額		
00300000000000	¥30,000*		
お取扱内容		お取引後の金額	
お振込		¥0	
手数料	¥0	ページ	履歴
時刻	10:11	おつり	
カクマリアカス コウインカイ様 TEL0765-82-1333 ご利用ありがとうございました。			

この取扱票は、ネットキャッシュサービスのご利用に際して発行されるものであり、現金書留等による送付は行いません。また、この取扱票は、ネットキャッシュサービスのご利用に際して発行されるものであり、現金書留等による送付は行いません。

いしかわ信用金庫

8月分家賃

報告者* 

申請番号	1138	事業種別	
経費科目	09_事務費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費
		03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費
		05_会議費 10_人件費	
富士ゼロックストアータルサービス料金(コピー使用料)			
品名	金額	比率	
コピー使用料	13529	50%	
合計	13529		


(領収書貼付枠) (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

23 D30- 8-23

27,059 SMBC(セゾン)



收受 平成 30 年 8 月 29 日
 決裁 平成 年 月 日
 処理 平成 年 月 日

報告者* 

1139			
10_人件費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費
	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費	
人件費 7月分			
人件費	23037		50%
合	23037		
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

收受 平成 30 年 8 月 29 日
 決裁 平成 30 年 8 月 30 日
 処理 平成 30 年 8 月 30 日

給料計算書(島)

平成30年

月	日	曜日	就業時間	実勤h	月	日	曜日	就業時間	実勤h
7	1	日			7	16	月		
	2	月	8:30~14:30	5		17	火		
	3	火				18	水	8:30~14:30	5
	4	水	8:30~14:30	5		19	木		
	5	木				20	金	8:30~14:30	5
	6	金	8:30~14:30	5		21	土		
	7	土				22	日		
	8	日				23	月	8:30~14:30	5
	9	月				24	火		
	10	火				25	水		
	11	水	8:30~14:30	5		26	木		
	12	木				27	金	8:30~12:00	3.5
	13	金	8:30~14:30	5		28	土		
	14	土				29	日		
	15	日				30	月	8:30~14:30	5
						31	火		
			小 計	25				小 計	23.5
								合 計	48.5

	(時給)	(時間)		(給与)
	950	48.5		46,075
	円	時間		円

領 収 証

自由民主党富山県議会議員
鹿熊正一様

23,037円

平成30年 8月 / 日

上記金額正に領収いたしました





1846		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成30年7月1日	から	活動の概要			
平成30年7月31日	まで	高速代			
経費の内容		金額		経費の内容	
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車	@37 × km =	0			
リース車	@18 × km =	0			
有料道		21120			
駐車場				計	
				21120	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成30年9月25日
 決裁 平成30年9月27日
 処理 平成30年9月27日

鹿 野 正 一 様

(8.7.3) ETC通行料金	☆	900	1回払	1	900 ETC	清川	朝日	普通車
(8.7.3) ETC通行料金	☆	1330	1回払	1	1330 ETC	入替スマ	富山	普通車
(8.7.5) ETC通行料金	☆	1440	1回払	1	1440 ETC	富山	朝日	普通車
(8.7.5) ETC通行料金	☆	1330	1回払	1	1330 ETC	入替スマ	富山	普通車
(8.7.10) ETC通行料金	☆	900	1回払	1	900 ETC	清川	朝日	普通車
(8.7.10) ETC通行料金	☆	1210	1回払	1	1210 ETC	黒部	富山	普通車
(8.7.11) ETC通行料金	☆	900	1回払	1	900 ETC	朝日	清川	普通車
(8.7.11) ETC通行料金	☆	1440	1回払	1	1440 ETC	富山	朝日	普通車
(8.7.13) ETC通行料金	☆	1440	1回払	1	1440 ETC	富山	朝日	普通車
(8.7.13) ETC通行料金	☆	1210	1回払	1	1210 ETC	黒部	富山	普通車
(8.7.17) ETC通行料金	☆	1210	1回払	1	1210 ETC	黒部	富山	普通車
(8.7.17) ETC通行料金	☆	1440	1回払	1	1440 ETC	富山	朝日	普通車
(8.7.19) ETC通行料金	☆	660	1回払	1	660 ETC	清川	黒部	普通車
(8.7.19) ETC通行料金	☆	650	1回払	1	650 ETC	朝日	黒部	普通車
(8.7.19) ETC通行料金	☆	1210	1回払	1	1210 ETC	黒部	富山	普通車
(8.7.30) ETC前納、マイレージ超過	☆	1080	1回払	1	1080 ETC	富山	入替スマ	普通車
(8.7.31) ETC通行料金	☆	1440	1回払	1	1440 ETC	富山	朝日	普通車
(8.7.31) ETC通行料金	☆	1330	1回払	1	1330 ETC	入替スマ	富山	普通車

** 今回ご利用金額合計 **

26370

** ご請求金額合計 **

26370

※ポイント: 今回ポイント獲得対象のご利用に☆印を表示。※お支払方法: お支払方法はまたはお支払回数を表示(ポ-1=ポ-ナ1回払い、ポ-2=ポ-ナ2回払い)。※今回回数: 今回のお支払いが何回目かを表す。
 ※領票: ポ-ナのお支払い月など一部のご利用についてのご説明(海外でのご利用には現地通貨額・通貨種別・換算レート)を表示。○は支払方法を変更致します。ただし一部ご要望にお応えできない場合がございます。

ご案内
 TSSCARDは各種サービスなど特典が満載のカードです。
 特典の詳細はご入会時にお送りした「総合ガイド」または「活用BOOK」やTSSCARDモール
 (http://ts3card.com)でご確認ください。
 ※一部のカードはTSSCARDモールの提供サービス内容が異なる場合がございます。

※ポイント: 今回ポイント獲得対象のご利用に☆印を表示。※お支払方法: お支払方法はまたはお支払回数を表示(ポ-1=ポ-ナ1回払い、ポ-2=ポ-ナ2回払い)。※今回回数: 今回のお支払いが何回目かを表す。
 ※領票: ポ-ナのお支払い月など一部のご利用についてのご説明(海外でのご利用には現地通貨額・通貨種別・換算レート)を表示。○は支払方法を変更致します。ただし一部ご要望にお応えできない場合がございます。

翌月一括払いを除き、商品の瑕疵や後発の未提供などを理由に支払を停止することができる場合があります。



1123		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成30年7月3日 から		調査活動			
平成 年 月 日 まで		県政報告会のための資料として、若者の県内定着につながる、県内大学の魅力化・活性化や本社機能の富山県移転の状況について調査する。		自宅ー入善ICー富山ICー 県議会ー滑川ICー朝日IC ー自宅	
県議会					
鉄道・バス		宿泊料			
タクシー		食事代			
航空機		会費			
自家用車	@37 × 120 km =	4440			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場		計		4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を枚し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年8月29日
 決裁 平成30年8月30日
 処理 平成30年8月30日



1125	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成30年7月5日 から	調査活動	
平成 年 月 日 まで	1. 北陸新幹線駅へのアクセス路線バス等運行支援事業の状況と今後の事業継続性について調査する。 2. 県内小中学校における、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置について調査する。	自宅ー入善ICー富山ICー県議会ー富山ICー朝日ICー自宅
県議会		
鉄道・バス		宿泊料
タクシー		食事代
航空機		会費
自家用車 @37 × 120 km =	4440	
リース車 @18 × km =	0	
有料道		
駐車場		計 4440
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>		

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年8月29日
 決裁 平成30年8月30日
 処理 平成30年8月30日



1/25		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費・03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成30年7月10日	から	調査活動	
平成 年 月 日	まで	1. あさひ野小学校において、ICT教育の現場を視察する。2. 高校跡地利用の検討に関する県の補助要綱について調査する。	自宅-あさひ野小学校-黒部IC-富山IC-県議会-滑川IC-朝日IC-自宅
あさひ野小学校 県議会			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 8 月 29 日
 決裁 平成 30 年 8 月 30 日
 処理 平成 30 年 8 月 30 日



1127		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成30年7月11日 から		講演会、調査活動			
平成 年 月 日 まで		1. 富山新港開港50周年記念式典並びに記念講演 別紙 2. 県政報告会の資料として、高知県における集落活動センターの活動事例について調査する。		自宅-朝日IC-滑川IC-第一イン新湊-県議会-富山IC-朝日IC-自宅	
第一イン新湊 県議会					
鉄道・バス		宿泊料			
タクシー		食事代			
航空機		会費			
自家用車	@37 × 155 km =	5735			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場		計		5735	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年8月29日

決裁 平成30年8月30日

処理 平成30年8月30日



1/28		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成30年7月13日	から	調査活動			
平成 年 月 日	まで	1. 県内における耐震型侵入防止柵の設置状況と市町村からの要望状況について調査する。2. 東京都23区から他県市町村への介護事業の委託の事例について調査する。		自宅ー黒部ICー富山ICー 県議会ー富山ICー朝日IC ー自宅	
県議会					
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場				計 4440	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 8 月 29 日
 決裁 平成 30 年 8 月 30 日
 処理 平成 30 年 8 月 30 日



1129		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成30年7月17日 から		要望活動			
平成 年 月 日 まで		朝日町の県への30年度要望活動に同行する。別紙		自宅-黒部IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC -自宅	
県議会					
鉄道・バス		宿泊料			
タクシー		食事代			
航空機		会費			
自家用車 @37 × 120 km =		4440			
リース車 @18 × km =		0			
有料道					
駐車場		計		4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成30年8月29日
 決裁 平成30年8月30日
 処理 平成30年8月30日



1130		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成30年7月19日 から		調査活動等			
平成 年 月 日 まで		1. 新川広域圏事務局で新川地域推進協議会の県への要望事項について打合せを行う。2. 入善町議会事務局で下新川海岸整備促進議員連盟の総会に向けての打合せを行う。3. 介護事業の自治体連携について調査する。		自宅-朝日IC-魚津IC-新川広域圏事務局-入善町議会事務局-黒部IC-富山IC-県議会-滑川IC-黒部IC-自宅	
新川広域圏事務局 入善町議会事務局 県議会					
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車	@37 × 148 km =	5476			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場				計 5476	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成30年 8 月 29 日
 決裁 平成30年 8 月 30 日
 処理 平成30年 8 月 30 日



1/33		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間	平成30年7月30日 から	活動の概要	調査活動等		
	平成 年 月 日 まで	1. 自民党農業問題調査会で現地視察 別紙 2. 自民党中山間地域振興条例PT 勉強会で舟橋町長の講演	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-(砺波市・南砺市 視察)-県議会-富山IC- 入善IC-自宅		
	砺波市・南砺市 県議会				
		金額	内容	金額	
鉄道・バス			宿泊料		
タクシー			食事代		
航空機			会費		
自家用車	@37 × 120 km =	4440			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場			計	4440	
《領収書貼付枠》		《原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。》			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は
主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年8月29日
 決裁 平成30年8月30日
 処理 平成30年8月30日



1134		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費	
平成30年7月31日 から		調査活動等		03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成 年 月 日 まで		1. 県内の小学・中学・高校の冷房施設設置の現状について調査する。2. 日本の伝統文化である「能」の若者への普及について県芸文協と意見交換を行う。		自宅ー入善ICー富山ICー県議会ー富山ICー朝日ICー自宅	
県議会					
鉄道・バス		宿泊料			
タクシー		食事代			
航空機		会費			
自家用車 @37 × 120 km =		4440			
リース車 @18 × km =		0			
有料道					
駐車場		計		4440	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 8 月 29 日
 決裁 平成 30 年 8 月 30 日
 処理 平成 30 年 8 月 30 日

管理番号	1347	経費項目	01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年8月1日 から 平成 年 月 日 まで	活動の概要	調査活動等
場所	県議会	1. 小水力発電による売電益に関する新たな会計処理について南農村整備課長からヒヤリングを行う。2. 平成30年度富山県日中友好団体連合会総会に出席し、県担当部局より、富山県と中国との最近の経済交流、観光交流、航空路線の利用状況等についてヒヤリングをし、意見交換を行う。	自宅-黒部IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC- 自宅
経費の内容	金額	経費の内容	金額
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 120 km =	4440		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数(Km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成30年9月25日
 決裁 平成30年9月27日
 処理 平成30年9月27日

整理番号	1348	経費項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年8月2日 から 平成 年 月 日 まで	活動の概要	調査活動等	
場所	新川広域圏事務局	8月27日に知事等に行う、新川地域推進協議会の平成31年度要望に係る事項について、とりまとめをする新川広域圏事務局のスタッフと協議検討を行った。	自宅ー黒部ICー魚津ICー新川広域圏事務局ー自宅	
経費の内容	金額	経費の内容	金額	
鉄道・バス		宿泊料		
タクシー		食事代		
航空機		会費		
自家用車 @37 × 52 km =	1924			
リース車 @18 × km =	0			
有料道				
駐車場		計	1924	
<p>(領収書貼付枠) (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>				

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年9月25日
 決裁 平成30年9月27日
 処理 平成30年9月27日

平成30年6月4日

富山県日中友好団体連合会
副会長 鹿熊 正一 様

富山県日中友好団体連合会
会 長

平成30年度富山県日中友好団体連合会総会の
開催について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、富山県日中友好団体連合会の平成30年度総会を下記のとおり開催いたしますので、ご多用の折とは存じますが、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

- 1 日 時 平成30年8月1日(水) 午前10時から
- 2 場 所 富山県民会館 3階 302号室
- 3 議 事 (1) 役員を選任について
(2) 平成29年度事業実績報告について
(3) 平成29年度収支決算報告について
(4) 平成30年度事業計画(案)について
(5) 平成30年度収支予算(案)について
(6) その他

(お問い合わせ先) 富山県議会事務局調査課 小笠原

TEL 076-444-3413 FAX 076-444-3471



整理番号	1349	使途項目	01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年8月3日 から 平成 年 月 日 まで	活動の概要	講演
場所	ホテルグランテラス	日中平和友好条約締結40周年記念講演会&祝賀会において、講師のNHK解説委員、加藤青延氏より「中国一帯一路構想と東アジア」のテーマで講演を聴く。別紙	自宅-朝日IC-富山IC-ホテルグランテラス-富山IC-朝日IC-自宅

経費の内容	金額	経費の内容	金額
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 120 km =	4440		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場		計	4440

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年 9月25日
 決裁 平成30年 9月27日
 処理 平成30年 9月27日

日中平和友好条約締結 40 周年記念

講演会 & 祝賀会

- 日時 2018年8月3日(金)午後
- 会場 富山市桜橋通り2-28 ホテルグランテラス富山
- 講演会(無料) 14:00(開場13:30) 4階 祥雲の間
- 祝賀会(5000円) 16:00~18:00 3階 薫風の間



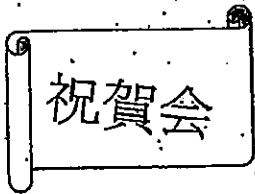
講演会(入場無料)

演題『中国一帯一路構想と東アジア』

講師 NHK解説委員 加藤青延 先生

早稲田大学政治経済学院 非常勤講師
 日中関係学会 副会長
 武蔵野大学法学部政治学科 特任教授
 東京外国語大学経営協議会 委員

(お招きする方々)



- 富山県知事
- 富山県議会議員
- 日中友好富山県地方議員連盟
- 富山県武術太極拳連盟
- 中国駐名古屋総領事
- 富山県華僑華人会
- 富山県中国人留学生



- ★ Attraction
- 京劇・孫悟空(陳建強)
- 太極拳(県武術太極拳連盟)
- 長拳(同連盟 Junior Team)
- 中国民族舞踊(とやま漢服会)



お問合せ

- 〒930-0855 富山市赤江町1-7
富山県中小企業研修センター5F
特定非営利活動法人(NPO) 富山県日中友好協会
- TEL. 076-433-8060 or FAX. 076-433-8065

整理番号	1050	係余項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年8月5日 から 平成30年8月8日 まで	活動の概要	視察 日中友好富山県地方議員連盟は、日中平和友好条約締結40周年を記念して中国遼寧省を訪問した。その報告は別紙により報告済み。 自宅-黒部IC-富山IC-富山空港-中国-富山空港-富山IC-朝日IC-自宅(富山空港発から同空港着までの運賃等は別に精算)	
訪問先	遼寧省、瀋陽及び大連			
経費の内容	金額	経費の内容	金額	
鉄道・バス		宿泊料		
タクシー		食事代		
航空機		会費		
自家用車 @37 × 115 km =	4255			
リース車 @18 × km =	0			
有料道				
駐車場	2400	計		6655
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				
<p>□□□□□□□□□□□□□□□□ 富山空港有料駐車場</p> <p>富山空港管理事務所 076-495-3055 □□□□□□□□□□□□□□□□</p> <h3>領 収 証</h3> <p>入庫日時 2018年08月05日 05時59分 精算日時 2018年08月08日 11時33分 No.04-000312 券No.01-012790</p> <p>駐車料金(一般) 2400円</p> <p>料金計 2,400円</p> <p>投入現金 2,500円 釣銭額 100円</p>				

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
 (注2) 自家用車は利用距離数(Km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
 (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成30年9月25日
 決裁 平成30年9月27日
 処理 平成30年9月27日

整理番号	1857	使用項目	01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
開始日	平成30年8月9日	から	
終了日	平成 年 月 日	まで	
活動の概要	調査活動、講演		
場所	県議会、ホテルグランテラス	1. 高校再編の実施計画策定に関し、校名や校歌、教育方針等についてどのような手続きで決めていくのか、当局からヒヤリングを行う。2. シアターオリムピックスに関する勉強会を行い、劇団SCOT主宰の鈴木忠志氏の講演を聴く。別紙	自宅ー黒部ICー富山ICー県議会・ホテルグランテラスー自宅
経費の内容	金額	経費の内容	金額
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 120 km =	4440		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年9月25日
 決裁 平成30年9月27日
 処理 平成30年9月27日

平成30年7月10日

自由民主党 富山県議会議員会
所属議員 各位

自由民主党 富山県議会議員会
政務調査会長 武田 慎一

シアター・オリムピクスに関する勉強会等の開催について

このことについて、下記のとおり開催することといたしましたので、ご参加をお願いいたします。

なお、参加者を取りまとめる必要があることから、別紙の「出欠確認票」を7月20日(金)までに控室へご提出くださるようお願いいたします。

記

- 1 日時 平成30年8月9日(木)午後5時から7時まで
(勉強会 午後5時から6時まで)
(懇親会 午後6時から7時まで)
- 2 場所 ホテルグランテラス富山 3階
(勉強会 薫風の間)
(懇親会 緑風の間)
- 3 内容 「文化と地方創生」
- 4 講師 劇団SCOT主宰 鈴木 忠志 氏
- 5 その他 懇親会の経費については政務活動費の対象とならないため、後日精算します。(1人あたり6千円)

※ 連絡先	自民党控室	電 話	076-431-5244
		フックス	076-441-8421



整理番号	1352	経費項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
	平成30年8月10日	から	活動の概要	調査活動
		まで	1. 中山間地域振興対策推進本部会議を開催し、条例制定PTのこれまでの検討状況について報告を受け意見交換を行う。2. 自民党農業問題調査会と富山県農業法人協会等との意見交換会を行う。	自宅ー県議会・県民会館ー富山ICー朝日ICー自宅
場所	県議会、県民会館			
経費の内容	金額	経費の内容	金額	
鉄道・バス		宿泊料		
タクシー		食事代		
航空機		会費		
自家用車 @37 × 120 km =	4440			
リース車 @18 × km =	0			
有料道				
駐車場		計	4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年 9月25日
 決裁 平成30年 9月27日
 処理 平成30年 9月27日

平成30年8月2日

自由民主党富山県議会議員会
中山間地域振興対策推進本部員 各位

自由民主党富山県議会議員会
会長 鹿熊 正一

第3回中山間地域振興対策推進本部会議の 開催について

このことについて、下記のとおり開催しますので、ご出席願います。

記

- 1 日 時 平成30年8月10日(金)午後2時から
(PT会議終了後)
- 2 場 所 議事堂 3階 中会議室
- 3 協議事項 (1) 新たな中山間地域振興施策の概要(案)について
(2) 今後のスケジュール(案)について
(3) その他

※ご欠席の場合は控室へ連絡願います。(TEL 076-431-5244)

(参考) 当日のスケジュール

13:00	第9回中山間地域振興条例(仮称)検討PT	中会議室
14:00	<u>第3回中山間地域振興対策推進本部会議</u>	<u>中会議室</u>
15:00	自民党農業問題調査会役員会	中会議室
15:30	自民党農業問題調査会と富山県農業法人協会等との 意見交換会	県民会館401号室
17:30	自民党農業問題調査会と富山県農業法人協会等との 懇親会	富山第一ホテル

自 民 党 農 業 問 題 調 査 会
県農業法人協会・県企業稲作経営者協会
意 見 交 換 会 次 第

日時：平成 30 年 8 月 10 日 (金) 午後 3 時 30 分から
場所：富山県民会館 401 会議室

1. 開 会

2. 農業関係諸情勢の報告 (農林水産部)

- ・「富山県農業の力強い成長に向けた提言 (H29. 11. 17 知事申し入れ)」の
対応状況について
- ・主要作物の作付け及び生育状況について
- ・富富富の取組状況について

3. 農政に対する意見・提言 (農業法人協会・企業稲作経営者協会)

4. 現下の主要課題に関する意見交換

(1) 富山県の米戦略について

※富富富のブランド戦略、海外 (中国等) への精米輸出に向けた取組みなど

(2) スマート農業の推進について

※ I C T 技術・ロボット・人工知能 (A I) の活用及び導入に向けた課題など

(3) 人材の育成・確保について

※新たな農業教育システムの構築、農福連携の推進、外国人就農者の受入れなど

(4) 園芸生産の振興について

※戦略品目の見直しや施設整備・栽培技術の改善に取り組む担い手への支援など

5. 閉 会

1053		使途項目		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成30年8月13日 から		活動の概要		調査活動	
県議会		まで		NTT光回線の県内における整備状況並びに未整備の際に整備するための必要な要検討について調査する。その目的は、サテライトオフィスの誘致やスマート農業実践のためにはNTT光回線の整備が必要であり、実態等を調査した。	
場所				自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-魚津IC-朝日IC -自宅	
経費の内容		金額	経費の内容		金額
鉄道・バス			宿泊料		
タクシー			食事代		
航空機			会費		
自家用車	@37 × 120 km =	4440			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場			計		4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 9 月 25 日
 決裁 平成 30 年 9 月 27 日
 処理 平成 30 年 9 月 27 日



整理番号	1054	使途項目	01_調査研究費 02_調査研究費 03_広聴広報費 04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年8月20日 から まで	活動の概要	調査活動等
場所	県議会、黒部市役所	1. 主要地方道朝日宇奈月線及び黒部朝日公園線の整備状況と今後の整備計画について担当課からヒヤリングを行い、黒部市役所で開催の両線の期成同盟会総会に出席する。	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-魚津IC -黒部市役所-自宅
経費の内容	金額	経費の内容	金額
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 123 km =	4551		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場		計	4551
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年 9 月 25 日
 決裁 平成30年 9 月 27 日
 処理 平成30年 9 月 27 日



平成30年7月31日

富山県議会議員

鹿熊 正一 殿

(主)黒部朝日公園線改良促進期成同盟会
会長 入善町長 笹島 春

平成30年度(主)黒部朝日公園線改良促進期成同盟会総会の開催について

盛夏の候 貴職におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
日頃より本期成同盟会の事業促進に格段のご尽力を賜り、厚く感謝お礼申し上げます。
つきましては、平成30年度の総会を下記のとおり開催いたしますので、ご多用の折
りとは存じますが、ご出席賜りたくご案内申し上げます。
なお、出欠の回答を別添ハガキにて8月10日(金)までご返送頂ければ幸いです。

記

- 1 日時 平成30年8月20日(月) 午後3時30分～
- 2 場所 黒部市役所2階 201・202・203会議室
【住所】黒部市三日市1301 【電話】(0765)54-2111
- 3 議題 (1)平成29年度事業報告及び歳入歳出決算について
(2)平成30年度事業計画(案)及び歳入歳出予算(案)について
- 4 その他 入善土木事務所より事業の概要説明

事務担当：入善町建設課 一島・越野

TEL：0765(72)3824

FAX：0765(74)2108

平成 30 年 8 月 1 日

富山県議会議員
鹿熊 正一 殿

主要地方道朝日宇奈月線改良促進期成同盟会
会 長 黒部市長 大野 久 芳

平成 30 年度主要地方道朝日宇奈月線改良促進期成同盟会総会の開催に
ついて

大暑の候 貴殿におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
日頃より、本同盟会の事業促進に格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。
つきましては、標記総会を下記のとおり開催いたしますので、ご多忙の折とは存じ
ますが、ご出席を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 日 時 平成 30 年 8 月 20 日(月) 午後 3 時 30 分～
2. 場 所 黒部市役所 2 階 201・202・203 会議室
3. 議 事
 - (1) 平成 29 年度事業報告について
 - (2) 平成 29 年度歳入歳出決算報告について
 - (3) 役員の改選について
 - (4) 平成 30 年度事業計画(案)について
 - (5) 平成 30 年度歳入歳出予算(案)について
 - (6) その他

※ なお、誠に恐縮ですが、出欠のご都合を別添のはがきにて、8月10日(金)まで
にご報告くださいますようお願いいたします。

事務局：〒938-8555

黒部市三日市 1301

黒部市建設課 尾崎

TEL 0765-54-2111 (内線 2131)

1055		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成30年8月21日	から	調査活動等	
	まで	1. 8月26日に開催される癡師県議の女性部総会での県政報告に必要な事項について調査する。2. 県内の小中高のエアコンの設置状況と設置助成制度について調査する。	自宅-朝日IC-富山IC-県議会-魚津IC-朝日IC-自宅
県議会			
往の内容	金額	往の内容	金額
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 120 km =	4440		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年9月25日
 決裁 平成30年9月27日
 処理 平成30年9月27日



整理番号	1056	使金項目	01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動の期間	平成30年8月22日 から まで	活動の概要	要請活動 自民党議員会が、県の重要案件について、農林水産省、文部科学省、国土交通省等に要請活動を行う。
場所	東京		自宅ー黒部宇奈月温泉駅ー自宅（黒部宇奈月温泉駅から東京往復については、別途精算）
経費の内容	金額	経費の内容	金額
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 35 km =	1295		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場		計	1295
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 9 月 25 日
 決裁 平成 30 年 9 月 27 日
 処理 平成 30 年 9 月 27 日

党本部・各関係省庁「要望活動日程」(案)

○ 日程：平成 30年 8月22日 (水)

作成日：平成30年 8月 20日 (月) 21:00 現在

8月22日(水) 日程		場 所
09:45 発	(往路) 「はくたか」552号 06:37 富山駅(発) 09:20 東京駅(着) (往路) 「かがやき」502号 07:19 富山駅(発) 09:32 東京駅(着) ※ 09:45 「東京駅 丸の内北口からジャンボタクシーにて移動」	(同行者) タクシー会社：すばる交通 TEL 03-9857-2211 運転手：[REDACTED]、携帯：[REDACTED] 車種：ハイエース 足立300 い 424
10:10 着	○ 10:10 「自民党本部」(着) ■ 10:30 岸田 文雄 政調会長 (15分間) 10:50 (発)	○ 党本部 6階 政調会長室
10:55 着	○ 10:55 「農林水産省」(着) ■ 11:00 技術会議 別所事務局長 (10分間) ■ 11:10 農振局 室本局長 (10分間) ■ 11:20 経営局 大澤局長 (10分間) ■ 11:30 大臣・副大臣・政務官 (10分間) ■ 11:40 生産局 枝元局長 (10分間) ■ 11:50 政策統括官 天羽統括官 (10分間) 12:00 (発)	○ 農林水産省「6階 室」 ○ 農林水産省「5階 室」 ○ 農林水産省「4階 室」 ○ 農林水産省「3階 室」 ○ 農林水産省「2階 室」 ○ 農林水産省「2階 室」
12:10 着	○ 12:10 「昼食 12:10~12:45/場所：第1議員会館 1階 特別室(和室)」	○ 第1議員会館 1階 特別室(和室)
13:00 着	○ 13:00 「文部科学省」(着) ■ 13:10 平井 明成 文教施設企画部長 (15分間) 浅野 教行 施設助成課長(同席) 00:00 (発)	○ 文部科学省「 階 室」
13:50 着	○ 13:50 「自民党本部」(着) ■ 14:00 竹下 亘 総務会長 (15分間) ■ 14:30 二階 俊博 幹事長 (15分間) 14:50 「自民党本部」(発)	○ 党本部 6階 総務会長室 ○ 党本部 4階 総裁広接室
14:55 着 (仮)	○ 14:55 「国土交通省」(着) ■ 15:15 牧野たかお 副大臣「鉄道局/水管理・国土保全局」(15分間) ■ 15:30 高橋 克法 政務官「道路局/港湾局」(15分間) ■ 15:45 森 昌文 事務次官 (15分間) ■ 16:05 下可弘之 港湾局長 or 浅輪宇亮 技術参事官 (10分間) ■ 16:15 池田 豊人 道路局長 (10分間) ■ 16:30 塚原 浩一 水管理・国土保全局長 (10分間)	○ 国土交通省「 階 室」
16:50 着	○ 常任顧問会議「山の茶屋」(着) 17:00 常任顧問会議 (120分間) 19:00 (発)	○ 山の茶屋

役職	氏名	10:30	11:00	11:10	11:20	11:30	11:40	11:50	12:15	13:10	14:00	14:30	15:15	15:30	15:45	16:05	16:15	16:30	17:00
		岸田 政調会長 (党本部)	技術 会議	農振 局	経営 局	政務 三役	生産 局	政策	「昼食」 (第1階)	平井 総務会長 (文部省)	竹下 総務会長 (党本部)	二階 幹事長 (党本部)	副大臣	政務官	事務 次官	局長 参事官 (国土省)	局長 参事官	局長	局長
副会長	宮腰 光寛 衆議院議員	×			×				×	×	×	×				×			×
会長	野上浩太郎 参議院議員	×			×				×	×	×	×				×			○
常任顧問	橋 廣一郎 衆議院議員	×			×				×	×	×	×				×			×
常任顧問	田畑 裕明 衆議院議員	×			×				○	○	○	○				○			○
常任顧問	堂故 茂 参議院議員	○			○				○	×	○	○				○			○
常任顧問	山田 俊男 参議院議員	×			×				×	×	×	×				×			○
常任顧問	米原 善 衆議院議員	×			×				×	×	×	×				×			×
常任顧問	四方 正治 衆議院議員	○			○				○	○	○	○				○			○
副会長	鹿熊 正一 衆議院議員	○			○				○	○	○	○				○			○
幹事長	上田 英俊 衆議院議員	○			○				○	○	○	○				○			○
総務会長	宮本 光明 衆議院議員	○			○				○	○	○	○				○			○
政調会長	武田 慎一 衆議院議員	○			○				○	○	○	○				○			×
	[REDACTED]	○			○				○	○	○	○				○			○

交通手段・宿泊	8月21日(火)		8月22日(水)		8月23日(木)
	往路	宿泊	往路	復路	宿泊
常任顧問 米原 善 衆議院議員					
常任顧問 四方 正治 衆議院議員					(赤坂会館)
副会長 鹿熊 正一 衆議院議員					
幹事長 上田 英俊 衆議院議員					
総務会長 宮本 光明 衆議院議員	富山駅 15:10 「はくたか 568」	赤坂エクセル東急ホテル		20:12 「はくたか 577」	
政調会長 武田 慎一 衆議院議員					
[REDACTED]	富山駅 15:10 「はくたか 568号」	赤坂エクセル東急ホテル		20:12 「はくたか 577」	

管理番号	1357		経費項目	01_調査研究費 02_研修費 03_広聴広報費 04_要請陳情等活動費	
期	平成30年8月24日	から	活動の概要	調査活動	
場所	県議会	まで	9月補正予算に関する企画委員会(8月30日)に向けて役員会を開催し、政調会のヒヤリング結果を基に折衝項目について検討する。	自宅-黒部IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC- 自宅	
経費の内容	金額	経費の内容	金額		
鉄道・バス		宿泊料			
タクシー		食事代			
航空機		会費			
自家用車 @37 × 120 km =	4440				
リース車 @18 × km =	0				
有料道					
駐車場		計		4440	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年9月25日
 決裁 平成30年9月27日
 処理 平成30年9月27日

整理番号 1358		使途項目 04_要請陳情等活動費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成30年8月27日 から		活動の概要 要請活動			
県議会		新川地域推進協議会が知事等に対し、平成31年度予算・事業の要望活動を行う。別紙。		自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC- 自宅	
場所					
経費の内容		金額	経費の内容		金額
鉄道・バス			宿泊料		
タクシー			食事代		
航空機			会費		
自家用車	@37 × 120 km =	4440			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場			計		4440
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 30 年 9 月 25 日
 決裁 平成 30 年 9 月 27 日
 処理 平成 30 年 9 月 27 日

新川地域推進協議会 県要望日程

平成30年8月3日現在

1 期 日 平成30年8月27日(月)

2 日 程

要望先	担当課(案)	時間	部屋
集 合		10:00	210会議室 (議事堂2階)
総合政策局長 蔵堀 祐一	企画調整室 防災・危機管理課	10:10~10:25 (15分)	局長室 (本館3階)
厚生部長 前田 彰久	医務課 厚生企画課 高齢福祉課	10:30~10:40 (10分)	部長室 (本館2階)
富山県教育長 渋谷 克人	生涯学習・文化財室 県立学校課 教職員課	10:45~11:00 (15分)	教育長室 (南別館4階)
生活環境文化部長 須河 弘美	自然保護課	11:05~11:15 (10分)	部長室 (南別館3階)
農林水産部長 芝田 聡	農村整備課 農村振興課 森林政策課 水産漁港課	11:20~11:35 (15分)	部長室 (南別館2階)
富山県知事 石井 隆一	地域振興課	11:45~12:00 (15分)	知事応接室 (本館3階)
商工労働部長 伍嶋 二美男	立地通商課	12:05~12:15 (10分)	部長室 (東別館3階)
集 合		12:45	210会議室 (議事堂2階)
富山県議会議長 高野 行雄		12:50~13:00 (10分)	議長室 (議事堂3階)
観光・交通・地域振興局長 猪俣 明彦	観光振興室 総合交通政策室	13:05~13:15 (10分)	局長室 (本館3階)
土木部長 水口 功	道路課 河川課 砂防課 港湾課	13:20~13:40 (20分)	部長室 (本館4階)



経理番号	1359	経費項目	01_調査研究費 02_研修費 03_広聴広報費 04_要請陳情等活動費	
期	平成30年8月28日	活動の概要	調査活動	
場所	県議会	内容	1. 9月補正予算に関する企画委員会(8月30日)に向け、役員会を開催し県単独事業の重点項目等について意見交換を行う。2. 交通安全施設業協会役員と自民党役員と意見交換を行う。3. 富山県における大学合宿誘致の現状と助成策について担当よりヒヤリングを行う。	
	から		自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC- 自宅	
	まで			
経費の内容	金額	経費の内容	金額	
鉄道・バス		宿泊料		
タクシー		食事代		
航空機		会費		
自家用車 @37 × 120 km =	4440			
リース車 @18 × km =	0			
有料道				
駐車場		計	4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数(Km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年9月25日
 決裁 平成30年9月27日
 処理 平成30年9月27日

管理番号	1360	使金項目	01_調査研究費 02_研修費 03_広聴広報費 04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年8月30日 から	活動の概要	調査活動
	まで	1. 9月補正予算に関する企画委員会を開催し、石井知事に自民党議員会の重要政策について提言し、県単独予算について折衝を行う。	自宅ー黒部ICー富山ICー 県議会ー富山ICー朝日IC ー自宅
場所	県議会		
経費の内容	金額	経費の内容	金額
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 120 km =	4440		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 9 月 25 日
 決裁 平成 30 年 9 月 27 日
 処理 平成 30 年 9 月 27 日

報告者* 

経理番号	1361	
区分	03_広聴広報費	01_調査研究費 02_研修費 03_広聴広報費 04_要請陳情等活動費 05_会議費 06_資料作成費 07_資料購入費 08_事務所費 09_事務費 10_人件費
内容	ホームページホスティング料 8月分	
	経費の内容	金額(円)
	ホームページホスティング料8月	8467
	(合 計)	8467

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を微し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領 収 証

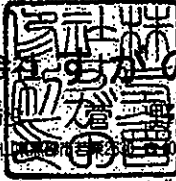
005618


鹿熊正一 様

平成30年 9月12日

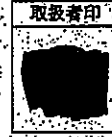
¥ 10,584 -

但し HPホスティング料(8月分)
上記の金額正に領収いたしました。

株式会社  印刷


代表取締役 

〒938-0002 富山県富山市 054-0121

取扱者印 

内	印刷物代金	¥
取	消費税	¥

收受 平成30年9月25日
 決裁 平成30年9月27日
 処理 平成30年9月27日

報告者* 

管理番号	1062	
経費項目	07_資料購入費	01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費 06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費
内容	新聞代金 8月	
	種別(内容)	金額(円)
	北日本新聞、日経新聞	7072
	富山新聞	3060
	読売新聞	3093
	合計	13225

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

 領収書

区域	全戸No	お問い合わせ先
34	85.00	1899

お名前 鹿熊 正一様
殿町1495

30年 8月分

84-8305

結 核	部 数	金 額
1 読売新聞	1	3,093
2		
3		
合計		3,093 円

◇左記の通り領収しました

領収日 30年 9月 / 日

便利な自動振替受付中！手数料はいりません

Y C 泊

富山県下新川郡朝日町泊318
0765-82-0971



※裏面もあわせて内容を十分お読みください。

5 30-08-31	新聞代金	*7,072
7 30-09-03		*3,060 トマシフアン

收受 平成 30年 9月 25日
決裁 平成 30年 9月 27日
処理 平成 30年 9月 27日



経費項目	金額(円)	比率
08_事務所費	16727	50%
01_調査研究費		
02_研修費		
03_広報広報費		
04_要請陳情等活動費		
05_会議費		
06_資料作成費		
07_資料購入費		
08_事務所費		
09_事務費		
10_人件費		
電気料金 8月分	1727	50%
事務所賃借料 9月分	15000	50%
合計	16727	

《領収書貼付枠》

030-9-7 電気料金

3,454 ネットバンク

しんきんオンライン

ネットキャッシュサービス取扱票
(ご利用明細票)

お取扱日	30-09-05	取扱金額	店番	通番
口座番号	[Redacted]			
お取引金額	003000000000000000 ￥30,000			
お取扱内容	お取引後の金額			
お振込	¥0			
手数料	¥0	ページ	[Redacted]	
時刻	09:26	おつり		
カクマザカス"コウインカイ様 TEL0765-82-1333				
ご利用ありがとうございました。				

にいがた信用金庫

收受 平成 30 年 9 月 25 日
 決裁 平成 30 年 9 月 27 日
 処理 平成 30 年 9 月 27 日

報告者* 

案内番号	1364	事業概要	
経費項目	09_事務費	01_調査研究費 06_資料作成費	・02_研修費 ・07_資料購入費 ・03_広聴広報費 ・08_事務所費 ・04_要請陳情等活動費 ・09_事務費 ・05_会議費 ・10_人件費
内容	コピー用紙購入費 インク代金		
	内容	金額(円)	割合
立証書類を添付した経費	コピー用紙購入費	227	50%
	インク代	1360	50%
	(合計)	1587	
<p>【領収書貼付枠】 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>			

收受 平成30年9月25日
 決裁 平成30年9月27日
 処理 平成30年9月27日

MEIBUNDO

明文堂書店 朝日店
Tel : 0765-83-3223
2018/09/22(土) 11:30
担当 : XXXXXXXXXX

■ 金額引当正 ■

文具 454
2002000004932

合計 ¥454
お預り ¥1,000
(消費税等 ¥34)
(お買上げ点数 1)

お釣り ¥546

レシートNo. 00185543 店 4213-01



000042130100185543

100満ポルト

領収書兼お買上明細

ご来店誠に有難うございます
ポイント特典と5年間長期修理
保証特典がついた100満ポルト
カード会員募集中!!
詳しくは店頭係員まで

発行日 2018年09月21日(金) 16:54
店 : 20129 100満ポルトWAO富
山店

電話 076-492-8800

担当者 : XXXXXXXXXX

No. 20129-001-724452 POS : 001
取引種別 : 持帰

プリンタ消耗品
キヤノン
BC-340XL
4960999782287 1 ¥2,721
合計金額 ¥2,721
(内消費税 ¥201)

現金領収額 ¥2,721

お預り ¥5,721

お釣り ¥3,000

今回ポイント 76ポイント
このポイントは100満ポルトカード
IDカード会員様のみ有効です。

商品の返品・交換につきましては
必ずこのレシートをお持ち下さい。
お持ちでないとは対応致しかねます。

株式会社 サンキュー
(作成地) 福井県福井市新保北一丁目801番地



経費番号	1365		
使途項目	10_人件費	01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費 06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費	
内容	人件費 8月分		
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備 考
	人件費 8月分	20662	
	《合 計》	20662	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

收受 平成 30年 9月 25日
 決裁 平成 30年 9月 27日
 処理 平成 30年 9月 27日

給料計算書 (副)

平成30年

月	日	曜日	就業時間	実勤h	月	日	曜日	就業時間	実勤h
8	1	水	8:30~14:30	5	8	16	木		
	2	木				17	金	8:30~13:30	4
	3	金	8:30~14:30	5		18	土		
	4	土				19	日		
	5	日				20	月	8:30~14:30	5
	6	月	8:30~14:30			21	火		
	7	火				22	水	8:30~14:30	5
	8	水				23	木		
	9	木				24	金	8:30~14:30	5
	10	金	9:00~14:30	4.5		25	土		
	11	土				26	日		
	12	日				27	月		
	13	月				28	火		
	14	火				29	水	8:30~14:30	5
	15	水				30	木		
						31	金	8:30~14:30	5
			小 計	14.5				小 計	29
								合 計	43.5
				(時給)			(給与)		
				950	(時間)	43.5		41,325	
				円	時間			円	

領 収 証

自由民主党富山県議会議員

鹿 熊 正 一 様

20,662 円

平成30年 9 月 5 日

上記金額正に領収いたしました



報告者* 鹿熊正一

1563		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成30年8月5日	から	日中友好富山県地方議員連盟 訪中	
平成30年8月8日	まで	詳細別紙	
大連・瀋陽			
鉄道・バス	51,578	宿泊料	37,000
タクシー		食事代	4,000
航空機	126,020	会費	
自家用車 @37 × km =		通訳・ガイド代	16,500
リース車 @18 × km =	0		
駐車場			
有料道		計	235,098
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 年 月 日
 決裁 平成 年 月 日
 処理 平成 30 年 10 月 19 日

日中友好富山県地方議員連盟 訪中

月 日 平成30年8月5日(日)～8月8日(水)

参加者 米原 鹿熊 宮本 武田 浅岡 永森 井上議員 (7名)

項目	内容	単価	数	小計
航空券代	富山⇒羽田・成田⇒大連⇒富山	116,000	6	696,000
	富山⇒羽田・成田⇒大連	87,000	1	87,000
空港税等	空港保険料	900	6	5,400
	空港税 (成田2,610、中国1,510)	4,120	6	24,720
	燃油サージャージ	5,000	6	30,000
	航空保険料	450	1	450
	空港税 (成田2,610)	2,610	1	2,610
	燃油サージャージ	2,500	1	2,500
交通費	空港間バス 羽田空港⇒成田空港 貸切バス	95,040	1	95,040
	現地バス 現地専用バス 4日間貸切	196,000	1	196,000
	高速バス 大連～瀋陽 往復	9,000	6	54,000
宿泊代	大連～瀋陽 片道	4,500	1	4,500
	大連 フラマホテル(個室) 2泊2朝食	13,000	6	156,000
	大連 フラマホテル(個室) 1泊1朝食	13,000	1	13,000
	瀋陽 今旅酒店 (個室) 1泊1朝食	11,000	7	77,000
	8/5 大連:富山ファン倶楽部 宴会	7,000	7	49,000
食事代	8/5 大連:富山ファン倶楽部 宴会 (陳志峰)	7,000	1	7,000
	8/7 大連:夕食	5,700	6	34,200
	8/7 大連:講師 夕食招待	5,700	1	5,700
	4日間同行	110,000	1	110,000
通訳ガイド代	Wi-Fi通信料 返却手数料	8,696	1	8,696
	FAX 通信料	860	1	860
その他				1,659,676

6名	
政務活動費	個人負担
116,000	
900	
4,120	
5,000	
13,578	
29,000	
9,000	
4,500	
13,000	
11,000	
2,000	5,000
	1,000
2,000	3,700
	950
16,500	
	1,360
235,098	12,016
247,114	

武田議員	
政務活動費	個人負担
87,000	
450	
2,610	
2,500	
13,572	
22,000	
4,500	
13,000	
11,000	
2,000	5,000
	1,000
11,000	
169,632	7,360
176,992	

※ 宿泊費は、1泊 15,500円を上限とする

領収証

No. 22027

白中反谷富山県地方議員連盟 殿

30年 10月 19日

¥ 1,859,676 -

(税込)

但し白中反谷の収入印紙40円を記帳申請料として

上記の金額正に領収致しました



【領収証内訳】

- ① 米原、鹿熊、宮本、浅岡、永森、井上議員(6名)
1人あたり、247,114円
- ② 武田議員 176,992円

日中友好富山県地方議員連盟 様

富山市奥田新町8番1号ホルファートとやま
株式会社ニュージャパントラベル
TEL(076)441-2000 FAX(076)431-2735

請 求 書

日中平和友好条約締結40周年記念訪中国に係った費用を下記にご請求いたします。

- 1、期 日 平成30年8月5日(日)～8月8日(水)
- 2、方 面 中国(大連、瀋陽)
- 3、人 員 7名様(米原、鹿熊、宮本、武田、浅岡、永森、井上 様)

ご請求金額 金1,659,676円

項 目	実 績 額 (円)		小 計	
1、航空券代	6名様 富山⇒羽田・成田⇒大連⇒富山 武田様 富山⇒羽田・成田⇒大連	@116,000 × 6名 @87,000 × 1名	696,000 87,000	783,000円
2、空港税等	航空保険料 空港税(成田2,610、中国1,510) 燃油サーチャージ 【武田 様】 航空保険料 空港税(成田2,610) 燃油サーチャージ	@900 × 6名 @4,120 × 6名 @5,000 × 6名 @450 × 1名 @2,610 × 1名 @2,500 × 1名	5,400 24,720 30,000 450 2,610 2,500	65,680円
3、交通費	空港間バス 羽田空港⇒成田空港 貸切バス 現地バス 現地専用バス 4日間貸切 高速鉄道 大連～瀋陽 往復 大連～瀋陽 片道(武田 様)	@95,040 × 1台 @196,000 × 1台 @9,000 × 6名 @4,500 × 1名	95,040 196,000 54,000 4,500	349,540円
4、宿泊代	大連:フラマホテル東館(6名様・個室利用) 大連:フラマホテル東館(武田様・個室利用) 瀋陽:今旅酒店(7名様・個室利用)	@13,000 × 2泊 × 6名 @13,000 × 1泊 × 1名 @11,000 × 1泊 × 7名	156,000 13,000 77,000	246,000円
5、食事代 ※朝食はホテル代に含む	8/5 大連:富山ファン倶楽部 宴会 8/5 大連:富山ファン倶楽部 宴会(陳志峰 様) 8/7 大連:夕食 8/7 大連:講師 夕食招待	@7,000 × 7名 @7,000 × 1名 @5,700 × 6名 @5,700 × 1名	49,000 7,000 34,200 5,700	95,900円
6、通訳ガイド代	4日間 同行	@110,000 × 1名	110,000	110,000円
7、その他	Wi-Fi 通信料、返却手数料 FAX 通信料	@8,696 × 1式 @860 × 1式	8,696 860	9,556円
総合計				1,659,676円

誠に勝手ながら平成30年10月5日迄に、ご入金いただきますようお願いいたします。尚、銀行振り込みの場合は下記までお願いします。

銀行名 : 北陸銀行奥田支店
口座番号: 当座 4038850
口座名 : ㈱ニュージャパントラベル

日中平和友好条約締結 40 周年記念
日中友好富山県地方議員連盟訪中団

概 要 報 告 書

平成 30 年 8 月 5 日（日）～ 8 日（水）

日中友好富山県地方議員連盟

顧 問 米原 蕃
会 長 鹿熊正一
副会長 宮本光明
監 事 武田慎一
理 事 浅岡弘彦
会 員 永森直人
会 員 井上 学

日中友好富山県地方議員連盟
日中平和友好条約締結40周年 訪中日程(案)

大連・瀋陽 4日間

日	出発地	乗り方	時刻	現地時間	備考
8/5 (日)	富山空港		6:20	富山空港集合(全日空カウンター前)	富麗華酒店(東館) 大連市中山区 人民路60号 0411-8263-0888
	富山空港	航空機	7:10	全日空312便にて羽田へ 到着。成田空港へ移動	
	羽田空港		8:15		
	成田空港		12:15	結団式(友好代表団、経済訪問団と合同)	
	成田空港	航空機	13:25	中国南方航空630便にて大連へ 到着	
大連空港	15:35				
	大連市内	専用車	19:30-21:00	◆富山ファン倶楽部大連分会 【大連 泊】	
8/6 (月)	大連市内		8:00	◆大連市長との懇談(大連フラマホテル)	今旅酒店 瀋陽市和平区 中華路68号 024-2341-2288
			10:30-11:00	◆中国南方航空大連分公司との懇談(大連フラマホテル)	
			11:00-13:00	◆富山-大連便就航20周年記念式 ・観光説明会 ※昼食付き(同ホテル)	
	大連駅	列車	13:52	高速鉄道(G8053)にて瀋陽へ 到着	
	瀋陽駅		15:52		
	瀋陽市内	専用車	18:00-20:30	◆遼寧省政府表敬訪問、歓迎夕食会 (時間調整中) 【瀋陽 泊】	
8/7 (火)	瀋陽市内	専用車	9:00	◆何氏眼科病院視察(交流協定調印式)	高野議長合流
			11:30	◆遼寧省人民代表大会表敬訪問・昼食会	
	瀋陽駅	列車	14:37	高速鉄道(G8056)にて大連へ 到着	富麗華酒店(東館) 大連市中山区 人民路60号 0411-8263-0888
	大連駅		16:22		
	大連市内	専用車	夕刻	◆大連富麗華国際旅行社代表と意見交換 【大連 泊】	
8/8 (水)	大連空港	航空機	7:40	ホテルチェックアウト後、空港へ 中国南方航空613便にて富山へ 到着	
	富山空港		10:55		

【現地旅行社】

■大連富麗華国際旅行社

住所:大連市中山区港湾街20号 名仕財富中心A座1410室

0411-8282-7171

■現地通訳ガイド名

氏名: [REDACTED]

携帯: [REDACTED]

【備考】

・武田議員:8/7離団 15時瀋陽発北京行き飛行機。14時までには瀋陽桃仙国際空港へ

何氏眼科—真正会富山病院 友好提携病院調印式及び病院視察

日時：平成30年8月7日（火）9:00～10:30

場所：遼寧省何氏眼科病院

富山県側：高野議長、米原顧問、鹿熊会長、宮本副団長、武田監事、浅岡理事、永森議員、井上議員、ほか

在瀋陽日本国総領事館首席領事 泉正史

真正会富山病院 院長 [REDACTED]

// 眼科センター主任 [REDACTED] ほか

遼寧省側：遼寧省外事事務所副主任 吳世坤

何氏眼科集団取締役 [REDACTED]

遼寧何氏医学院院長 [REDACTED]

何氏眼科集団副社長 [REDACTED] ほか

[REDACTED] 副社長

- ・ようこそ何氏眼科病院へ。何氏眼科は日本の多くの病院と連携している。
- ・23年間、国内医療の発展、技術の向上、人材育成に取り組んできた。
- ・この度の真正会富山病院との連携を嬉しく思う。

吳副主任

- ・何氏眼科病院は、社会的責任を第一義として、医学、教育、研究の拠点として、中国の発展に寄与してきた。
- ・国家の命題として、眼科の人材育成機関として大きな役割を果たしてきた。
- ・9つの委員会により、眼科医療プロジェクトを担っている。
- ・目の健康に積極的に取り組んでおり、国家的な意義がある。
- ・遼寧省と富山県の連携にも少なからず貢献している。
- ・遼寧省は中国東北地方の発展のリーダーである。
- ・今回の友好提携が富山県と遼寧省、日本と中国の友好関係発展に繋がることを期待している。

高野議長

- ・本日の友好提携、お祝いを申し上げます。
- ・今年は日中友好40周年、来年は富山県と遼寧省友好35周年、また今年は大連富山便就航20周年の年。遼寧省と富山県はますます交流発展している。
- ・何氏眼科病院と真正会富山病院との連携は、大いに意義があり、今後の両県の発展に期待している。

[REDACTED]
・真正会富山病院の眼科は、最先端の機器を導入し、日本でもトップレベルの技術を誇っている。

・中国でトップレベルを誇る何氏眼科病院と友好提携できることをうれしく思

- ・富山県との幅広い交流においてすばらしい成果を収めている。
- ・富山ファン倶楽部の会員数が 380 名以上となっている。
- ・富山ファン倶楽部が将来富山県と遼寧省との友好交流の架け橋になることを期待している。

○劉紡大連市人民政府外事弁公室副主任

- ・20 年前に「富山—大連便」の初便で富山県を訪れた。
- ・大連市は遼寧省と富山県の最前線であり、Win-Win の構築のためには今後とも積極的な交流が大切である。

○高野富山県議会議長（乾杯）

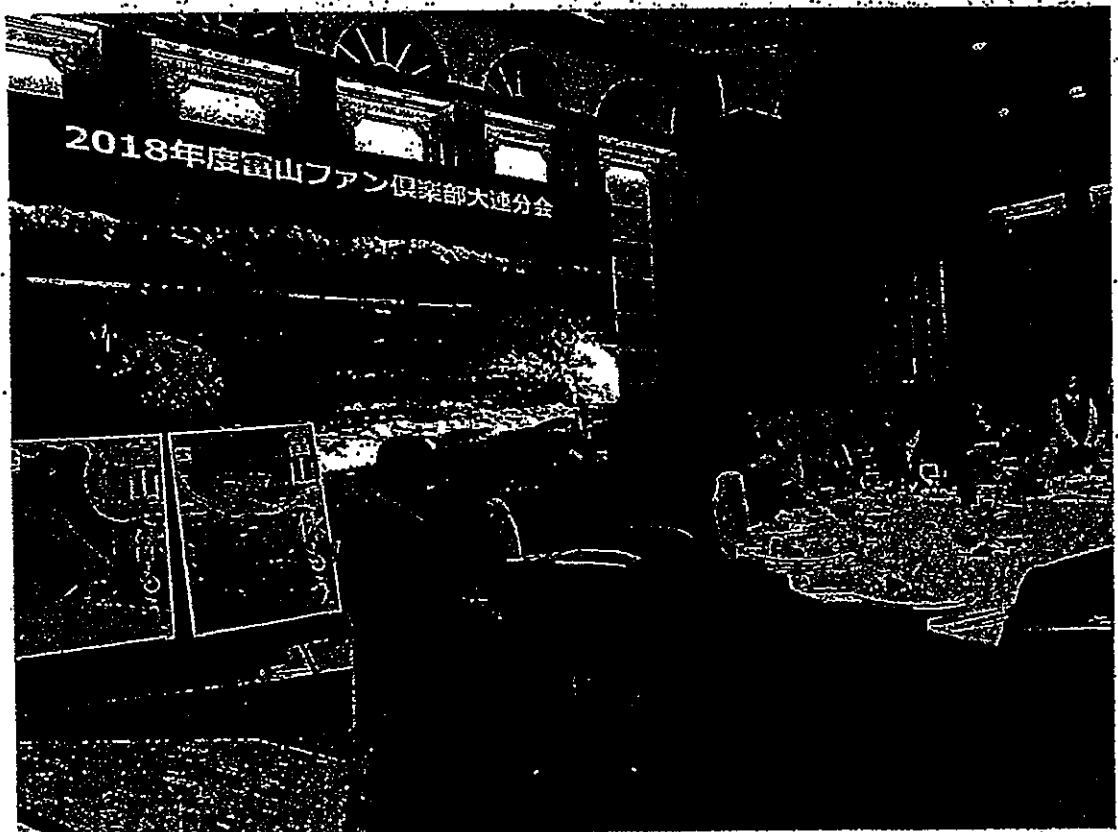
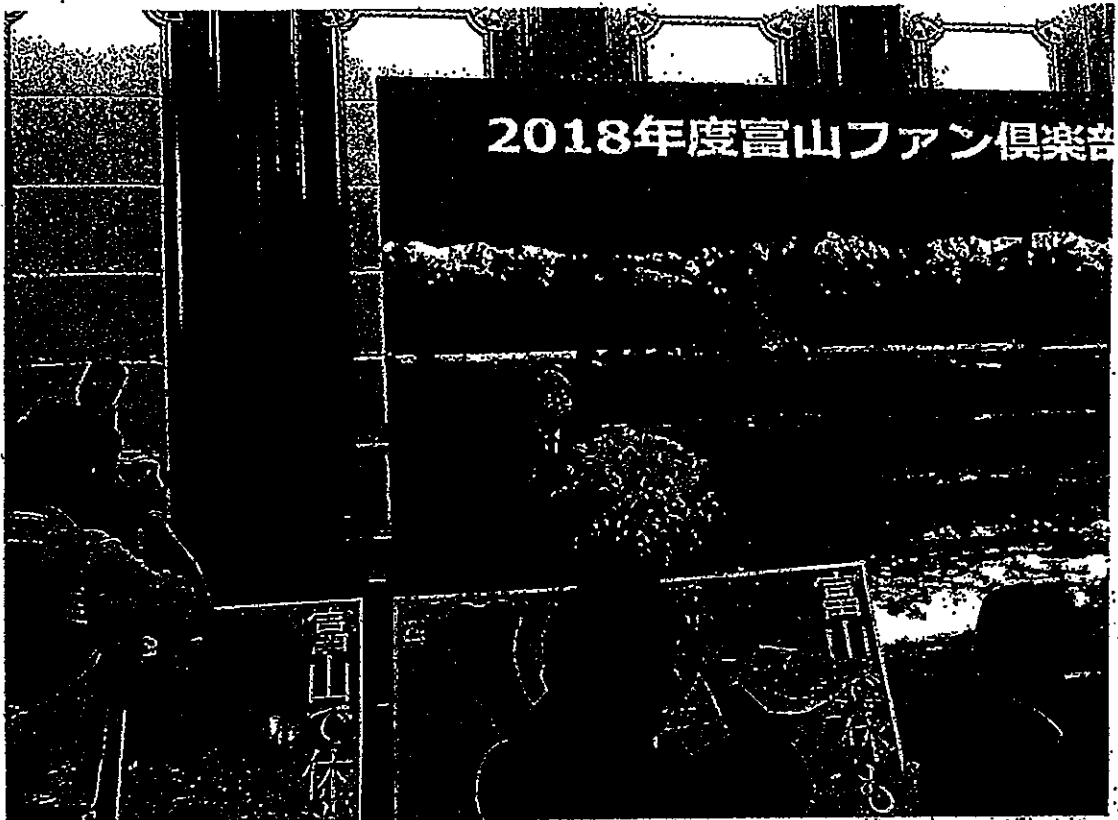
- ・ファン倶楽部の方々に歓迎いただいた。感謝する
- ・これからも富山ファン倶楽部会員の方と手を取り合って協力していこう。

○丸山在瀋陽日本国総領事館在大連領事事務所長（乾杯）

- ・日中友好のためには地方間交流が極めて大事である。
- ・富山県が 2004 年に大連事務所を設置し経済交流を積極的に進めてきたことに敬意を表す。

○鹿熊日中友好富山県地方議員連盟訪中団長（閉会挨拶）

- ・来年に遼寧省人民代表大会との友好協定 15 周年を迎える。
- ・地方議員間の交流に努めるとともに、富山県と遼寧省との友好交流が促進されるように、しっかりサポートしていきたい。



2018年度高山ファンブック



大連市政府との懇談・朝食会

日 時：平成30年8月6日（月）（懇談）8:00～8:30、
（朝食会）8:30～9:00

場 所：大連フラマホテル 2F 天波府

富山県側：議員訪問団（鹿熊会長含め7名）・友好代表団（石井知事、高野議長含め12名）

相手方：譚成旭（たんせいきよく）市長、郝明（かくめい）副市長含め4名

【内 容】

○譚成旭市長

- ・富山県の友好代表団及び日中友好議連訪中団を歓迎するとともに、今回「富山―大連便」が就航20周年を迎え、記念式・観光説明会が開催されることをお祝いする。
- ・大連市民は日本旅行が好きで昨年は、7万人が日本旅行を楽しんだ。
- ・今年5月にはアカシア祭りの開催と同時に、海外では初となる北前船フォーラムが大連市で開催された。
- ・毎年、日本語弁論大会が大連で行われており、大連市には優秀な日本語人材が多い。

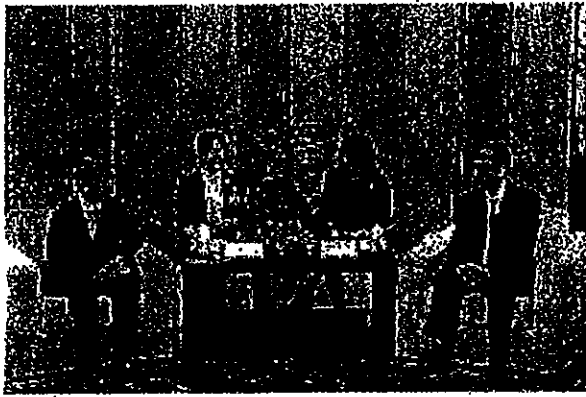
○石井知事

- ・大連市への訪問が5回目となり、訪問するたびに大連が発展しており大変心強く思う。
- ・富山県は3年5か月前の新幹線開業効果などにより、観光、企業立地、富山県への移住増など、様々なよい状況がみられ、地方の中では活気のある県である。
- ・今年が日中平和友好条約締結40周年、来年が遼寧省との友好提携35周年の節目の年であり、大連市をはじめ遼寧省との密接な交流関係を強化したい。
- ・将来の関係強化のためにも、「富山―大連便」の週3便への増便が必要であり、譚成旭市長からも南方航空に対して増便の働きかけを是非お願いしたい。

○譚成旭市長

- ・知事の「富山―大連便」の増便の提案には大賛成であり、早速、南方航空の責任者に対して増便の働きかけを行いたい。
- ・5月に開催された日中首脳会談のあと、日中双方の努力により日中友好が以前にも増して進んでいると感じており、富山県と大連市も含めた遼寧省との友好交流が未来に向けて、さらに発展することを望んでいる。

懇談後には大連市長主催の歓迎朝食会が催された。



00

00

中国南方航空大連分公司との懇談

日 時：8月6日(月) 10:30～11:00

場 所：大連フラマホテル2階 天波府

富山県側：鹿熊日中友好議員連盟会長 外 議員訪問団6名

石井知事 外 富山県友好代表団11名

蔵堀総合政策局長(秘書長) 今村室長 外 随員13名

相手方：中国南方航空大連分公司 顔 慶祥 総経理 楊 涛 副総経理 外4名

【内容】

○顔総経理

・中国南方航空の運航する富山一大連便は、1998年6月18日に就航して以来20年経った。この間様々な状況変化があったものの、県や旅行業界、企業及び富山県民の皆さんから大きな支持をいただき、経営が徐々に安定してきており、大変感謝している。

・富山一大連便は路線開設から20年に渡り、遼寧省及び大連市と富山県の友好交流の架け橋として、両地域の経済・貿易・文化等の交流活動に大きな役割を果たしてきた。富山県及びご臨席の皆様から引き続き多大なご支持をいただき、南方航空の運航する富山一大連便がますます発展することで、富山県と遼寧省、ひいては日本と中国との架け橋と絆の役割を担い、両地域の交流に大きな貢献ができるよう心から願っている。

・富山一大連便の開設以来の経営は、我々自身の努力はもちろんのこと、旅行業界の皆さんからのご協力や富山県のご支援、そして県内各界のみなさまのご利用、御支持をいただいていた。これからの20年、さらに発展していくためには、我々としても努力をしていくつもりであるが、富山県の皆さんのご協力も頂かなければならない。

・私たちは、富山一大連便が遼寧省と大連市と、富山県との間の様々な交流に貢献したいと考えているが、今日は石井知事一行と将来的な南方航空の経営について、さらに深い内容で相談させていただきたい。石井知事をはじめとした各界を代表する皆様方から率直なご意見、ご提言を頂きたい。

○石井知事

・大連訪問は3年10か月ぶりであり、顔総経理、楊副総経理にお会いできて大変うれしく思う。

・6月には富山空港での富山・大連便就航20周年記念の祝賀会に出席するため、楊副総経理に富山にご来県いただいたことにあらためて感謝申しあげる。

・1984年に遼寧省と友好県省を締結して以来、様々な分野で交流を積み重ねてきており、日中間でも高い評価を受けている。

・2009年5月に私が人民大会堂において当時の李克強副総理(現國務院総理)にお会いした際には、「日中自治体間交流の模範」とのお言葉を頂いた。

・富山一大連便はその交流を支える大変重要な基盤であり、今後も交流を維持発展させるため欠かせない路線である。

・本年5月に、北海道・札幌市で開催された「日中知事省長フォーラム」に出席した際に、同じくフォーラムに参加された遼寧省の唐一軍（とう いちぐん）省長とその前日午後にバイ会談を行い、今後の友好提携の充実や大連便の増便など幅広い連携協力について協議を行ったほか、同じ前日夕方の歓迎レセプションにおいて、李克強（り こっきょう）総理ともお話しさせていただき、「中国との交流を経済面や文化面などで進めていることは良いことだ。遼寧省を今後も大切にしてほしい」との言葉を頂き、光栄なことと思っている。

・来年、本県と遼寧省との友好県省提携35周年となるが、今後とも色々な面において交流を深めて、相互の連携強化を図っていきたいと考えているので、富山一大連便については是非とも週3便への増便を実現していただきたい。

①高野県議会議員

・富山便について、遼寧省との間で様々な交流や経済活動が行われているが、週2便だと不便な点があり、増便による効果は2倍、3倍、4倍となる。

②鹿熊日中友好富山県地方議員連盟団長

・これまで22回にわたり訪中しているが、1984年以降は必ず、大連、瀋陽を訪問している。

・富山一大連便は経済・文化・環境・教育・スポーツ等の様々な交流を支える大変重要な交流基盤であることから、利便性を向上させることが重要であり、是非増便を実現していただきたい。

③高木富山県商工会議所連合会会長

・中国からの訪日観光客は増加しているが、来年はラグビーのワールドカップの開催、2年後はオリンピック、パラリンピックの開催と世界中から人の集まるイベントが目白押しだが、首都圏の成田・羽田の両空港の発着枠が一杯なので、南方航空としても富山便を週3便にすることで、オリンピックなどの需要を取り込むこととしてはどうか。

④松田日本旅行業協会中部支部富山地区副委員長

・20年前から南方航空とともに富山一大連便に関わってきたが、この路線の維持発展には週3便に増便して利便性を増すことが必要だ。

・富山支店長と一緒に北陸全体を営業に回り利用促進を図りたい。

○顔総経理

・「知事をはじめとして富山県を代表する皆様から、富山一大連便に対する強い思いを聞かせていただき、心から感謝する。

・富山一大連便は南方航空大連分公司にとって初めての国際路線であり、また日本への就航でも一番最初の路線であることから、大連分公司としても大切にしている。

・20周年を迎えたこの路線の今後の発展には皆様方からのご支援が欠かせない。

・揚副総経理が富山を訪問した際に週3便への増便を検討するとお伝えしていたが、その後、市場調査を行い副総経理クラスが富山一大連便の週3便への増便について全員が同意した。

- ・冬季ダイヤで増便を実現するには、民用航空局等に対し増便の手続きが必要だが、中国南方航空として冬季ダイヤ期間中に週3便へと増便する運航計画を民用航空局に申請し、申請が認められれば、早ければ2019年1月頃から月曜日に増便運行したい。
- ・この申請が認められるよう、富山県のサポートをお願いしたい。

○石井知事。

- ・ただ今、「現在の週2便から週3便に増便する運行計画について、民用航空局に申請することを中国南方航空として決定した」と表明いただき感謝申しあげる。
- ・富山―大連便の週3便以上での運航が実現すれば、週5便で運航していた2012年10月27日以来であり、約1年間の運休期間を含め6年2か月ぶりとなる。
- ・今回の南方航空の決断に心から感謝したい。ビジネスや観光面で利便性が大幅に向上することから、県としても中国南方航空の増便申請が中国民用航空局で認可されて実現するようサポートしたい。
- ・他路線と比較した大連便の外国人利用者の特徴は、ビジネス、留学・研修、知人訪問、帰省など、ビジネス・生活路線として活用されている点であり、さらに近年利用者が伸びている要因は、観光の利用が増加していることによるとされている。
- ・本日、観光説明会を開催するが、ビジネス・生活路線としての強みを活かしつつ、日本人・外国人双方の観光需要の掘り起しに取り組みたい。
- ・富山県内の大連進出企業に対しアンケート調査を実施したところ、週2便では使い勝手が悪いとの声が多く、週3便を望む声が多かった。
- ・また、運航を希望する曜日も月、水、土の週3便を望む声が大半だった。成田経由など他路線に流れている。日本人のビジネス客ニーズもしっかり取り込みたい。
- ・本日出席の皆さんは、富山県の各界を代表する皆さんであり、皆さん方とも協力して、富山―大連便の一層の利用促進に取り組み、週3便にして経営が良くなったとなるよう県としても協力したい。
- ・また、中国の国内手続きについては、中国南方航空さんは有力企業でもあり力もお持ちだが、県としても微力ながら全力を尽くしたい。
- ・増便が実現した際には、増便初便に乗っていただいて、是非、顔給経理に富山にお越しいただきたい、心より歓迎申し上げます。



富山一大連便就航 20 周年記念式・観光説明会

日 時：8月6日（月）11:00～13:00

場 所：大連フラマホテル2階「天波府」

富山県側：富山県友好代表団、観光訪問団、日中議連訪問団、マスコミ、
県随員 32 名

相手方：郝明 大連市副市長、遼寧省外事弁公室副主任、中国南方航空、
現地旅行会社、メディアなど 33 名

【内容】

○石井知事

- ・日中平和友好条約が締結されてから40年を迎える大きな節目に、こうして皆様に富山県の観光の魅力をご紹介できることを、大変嬉しく思う。
- ・富山一大連便は1998年6月に就航して以来、本県と遼寧省をはじめ中国東北地域との盛んな交流を支える極めて重要な路線として、延べ42万人もの方々に利用されてきた。
- ・今年6月には楊濤副総経理をはじめ中国南方航空の皆様をお迎えして、富山きときと空港で富山一大連便就航20周年記念式典を開催したところだが、本日、こうして大連市においても皆様と一緒に富山一大連便の就航20周年の節目を祝うことができることは大変嬉しく思う。
- ・先程、南方航空大連分公司の顔総経理から富山一大連便を従来の2便から3便に増便するとの南方航空の方針を決定したとの旨明を頂き誠に嬉しく思っている。
- ・中国からの訪日外客数は、2017年に735万人となり、国別では最も多く、また、富山県においても、中国からの観光客数は年々増加している。
- ・富山県には、世界的な山岳景観を誇る立山黒部アルペンルートや黒部峡谷といった美しく雄大な自然、世界遺産の五箇山合掌造り集落をはじめとする多彩な歴史・文化、新鮮な海の幸・山の幸、温泉など、魅力的な観光資源が豊富にある。
- ・また、富山湾は、2014年にユネスコが支援する「世界で最も美しい湾クラブ」への加盟が承認され、加盟5周年となる来年には、湾クラブ総会の本県開催が決定している。
- ・本日は、こうした国内外に誇る新たな観光資源も紹介したい。
- ・参加の旅行会社の皆様には、今回の観光説明会を機に、富山県へのご理解をより一層深めていただき、引き続き、さらに多くのお客様をご送客していただくようお願いしたい。

○中国南方航空大連分公司の顔慶祥総経理

- ・富山一大連便は、南方航空大連分公司として最初に就航した国際路線であり、この20年で多くの方々にご利用いただき、富山県と遼寧省の友好の証として経済・文化等の各種交流を促進してきた。
- ・週3便化の方針を決定したが、今後、さらに経営が安定するよう努力する必要がある、より多くの資源を投入してサービスを強化していくと同時に、両国、両地域の各界の皆さんに一層ご利用いただき、経済交流をさらに進めていただきたい。

○郝明大連市副市長

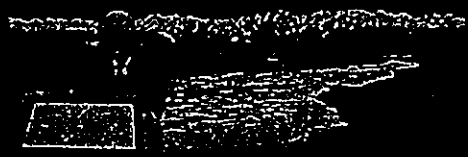
- ・富山ー大連便の就航20周年を心からお祝いしたい。
- ・富山県からは大連に多くの企業が進出しており、経済的には深い結びつきがある。
- ・富山県には世界的な観光地が数多くあるが、大連も中国・東北地方のゲートウェイとして観光ツアーの充実やインフラ整備などに力を入れている。
- ・日中平和友好条約締結40周年、そして富山ー大連便就航20周年を契機に、観光も含めて、ますますの友好・互恵関係を構築していきたい。

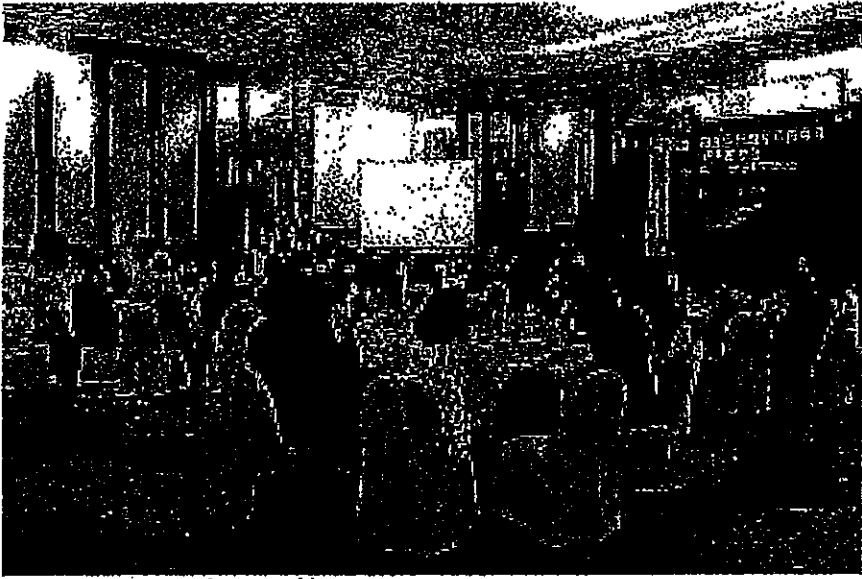
○引き続き、石井知事、顔総経理、高野議長、郝明副市長、高木会長、丸山大連領事事務所長が参加して記念のくす玉割りが行われた。

○次に、同じ会場において観光説明会が行われた。現地のプレゼンターから、パワーポイントにより、①立山黒部、黒部峡谷、五箇山合掌造り集落等に加え、20世紀の世界的名画を展示したり、デザイン、工芸などの魅力で多くの来場者を集めている富山県美術館、日本海側トップクラスの来園者が訪れる富岩運河環水公園、「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟した富山湾、ユネスコ無形文化遺産に登録された3つの曳山行事など、四季を通じた魅力的な観光資源が豊富にあること、②鋳物や和紙など富山の伝統工芸、自然体験、海外でも人気のドラえもん ترامムなど、体験型観光も近年人気を集めていること、③さらに、富山ならではの海の幸を味わう富山湾鮭、多彩な温泉地、ショッピングなども含めた、富山ー大連便を利用した広域モデルコースなどについて、紹介と説明が行われた。

富山-大连航班通航20周年庆祝典礼 暨观光推介会

富山-大连便就航20周年記念式・観光説明会





遼寧省長表敬訪問

日 時：平成 30 年 8 月 6 日（月）（表敬）18:00～18:30

場 所：友誼賓館 1 号楼 会見庁

富山県側：議員訪問団（鹿熊会長含め 7 名）友好代表団（石井知事、高野議長を含め 1 2 名）、（横井裕駐中華人民共和国特命全権大使、石塚在瀋陽日本国総領事が同席）

相手方：唐一軍（とういちぐん）省長、陳緑平（ちんりょくへい）副省長
含め 1 4 名

【内 容】

○唐一軍省長

- ・遼寧省中国共産党委員会及び遼寧省政府を代表して、富山県訪問団を歓迎する。
- ・去る 5 月に続き石井知事に再会でき大変嬉しい。
- ・石井知事の遼寧省訪問が 5 回目となり遼寧省の本当の「老朋友（ラオボンヨウ、中国語で「昔から友人」）」である。
- ・1984 年の友好提携以来、相互の努力と協力により交流範囲が広がり着実な成果をあげている。
- ・今回は「交流と協力の深化に関する覚書」の締結が予定されており、今後、経済・貿易や人材育成などの分野での協力を行っていきたい。

○石井知事

- ・去る 5 月の日中知事省長フォーラム以来の唐一軍省長との再会を大変嬉しく思う。
- ・今年は日中平和友好条約締結 40 周年記念、加えて来年が友好県省締結 35 周年記念のそれぞれ節目の年であることから、今回、友好代表団、経済訪問団、観光訪問団、日中友好議連訪中団の総勢 37 名で遼寧省を訪問した。
- ・去る 5 月の日中知事省長フォーラムにおいてもかつて遼寧省書記も務められた李克強國務院総理から「これからも富山県と遼寧省との交流関係を大切にしてほしい」旨のことばをいただき光栄に感じた。
- ・6 日午前中国南方航空の顔総経理とも懇談を行い、「富山一大連便」の週 3 便化に向けた要望を行ったところ、今般、来年 1 月からの週 3 便化を南方航空として決定し、今後、国に申請を行うこととしている旨の回答が得られた。
- ・また、増便を実現するためには中国民用航空局の認可が必要であることから、唐一軍省長からも民用航空局等への働きかけをお願いしたい。
- ・さらに、今後、50 年、100 年と、富山県と遼寧省が Win-Win の関係で共に発展できるよう、友好交流、経済交流等の推進に努力したい。

○横井大使

- ・今年 5 月の李克強國務院総理の訪日は実りの多いもので、①安倍総理の年内訪中に向けて大使館としても調整をしている。
- ・習近平国家主席の訪日についても期待が高まっている。

・日中関係が改善に向かう中、富山県の訪問団が遼寧省を訪問することは大変喜ばしく、自分は大使として日本国政府を代表する立場であるが、石井知事は高校の先輩であり、また、身も心も富山県人であることから、今回、石井知事をはじめとする富山県友好代表団等の遼寧省長表敬に同席できたことを大変嬉しく思っている。

・富山県と遼寧省との交流について大使館としても最大限サポートを行う。

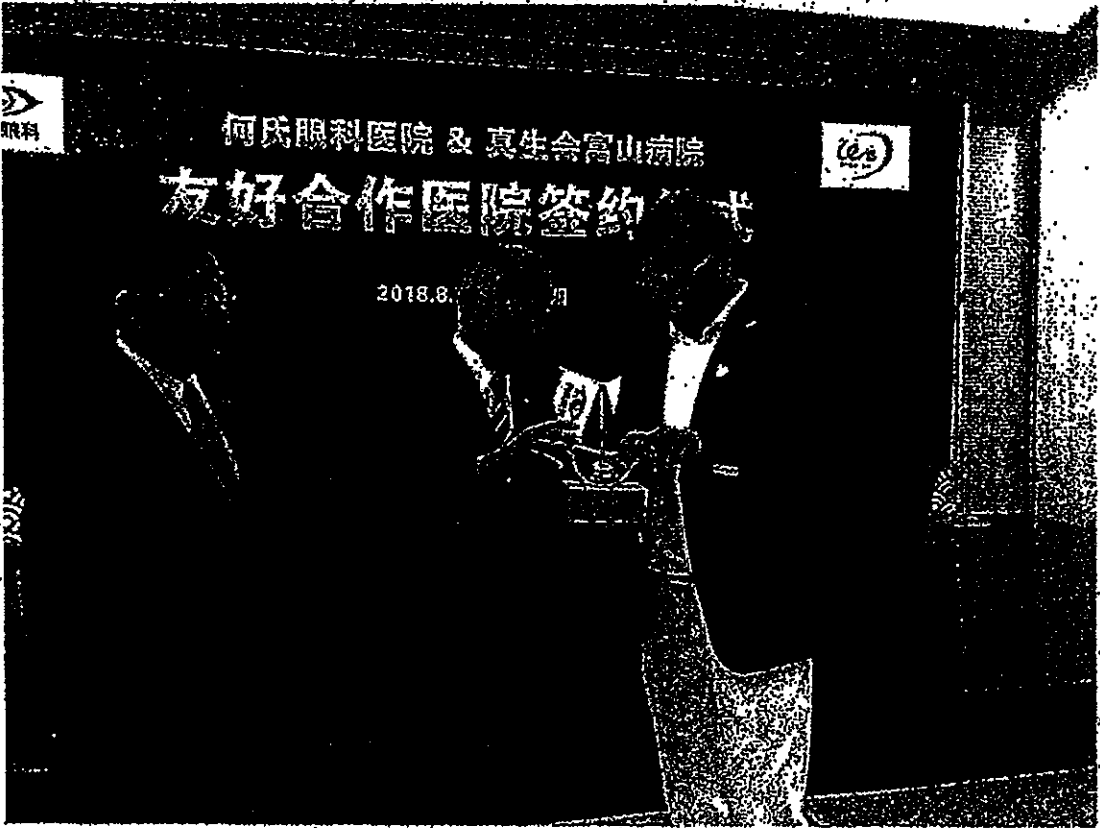


行省
深化友好交流与合作备忘录
签字仪式









遼寧省人民代表大会 表敬訪問

日時：平成 30 年 8 月 7 日 (火) 11:30～12:00

場所：遼寧省人民ビル

富山県側：高野議長、米原顧問、鹿熊会長、宮本副団長、武田監事、浅岡理事、永森議員、井上議員、ほか

遼寧省側：遼寧省人民代表大会常任委員会 副主任 康捷
遼寧省人民代表大会常任委員会 委員 刑恩先 ほか

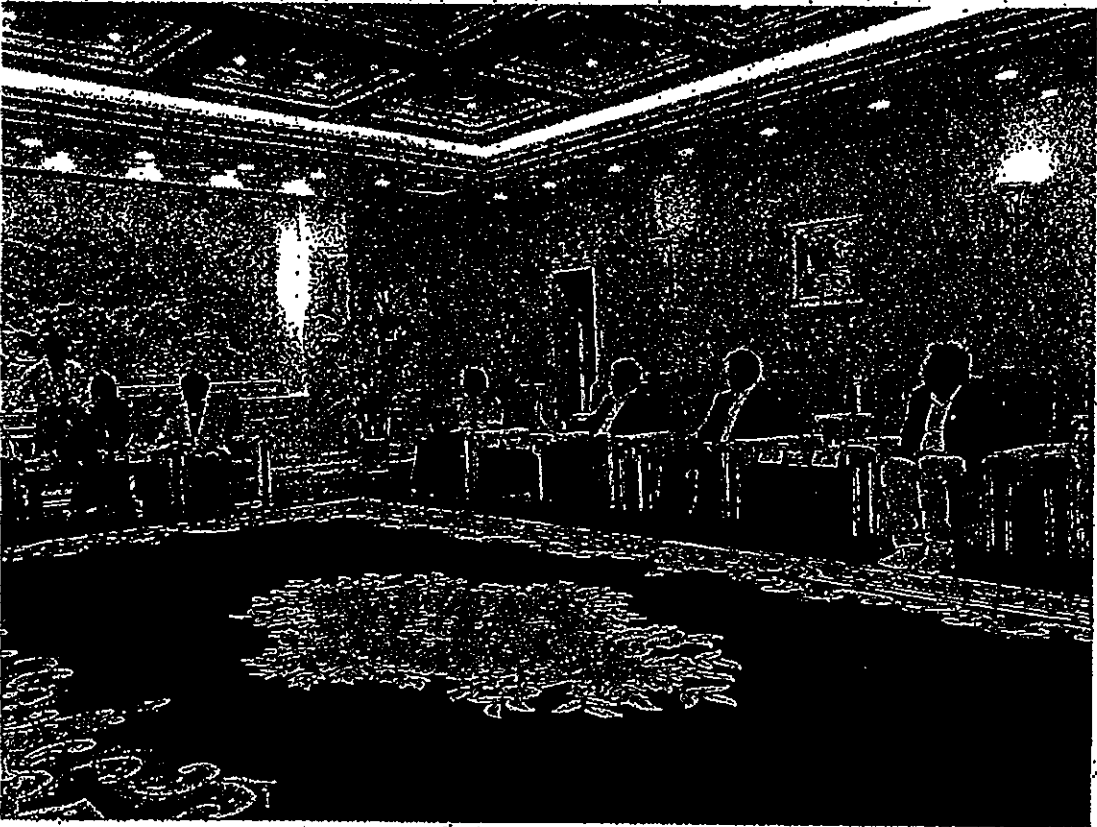
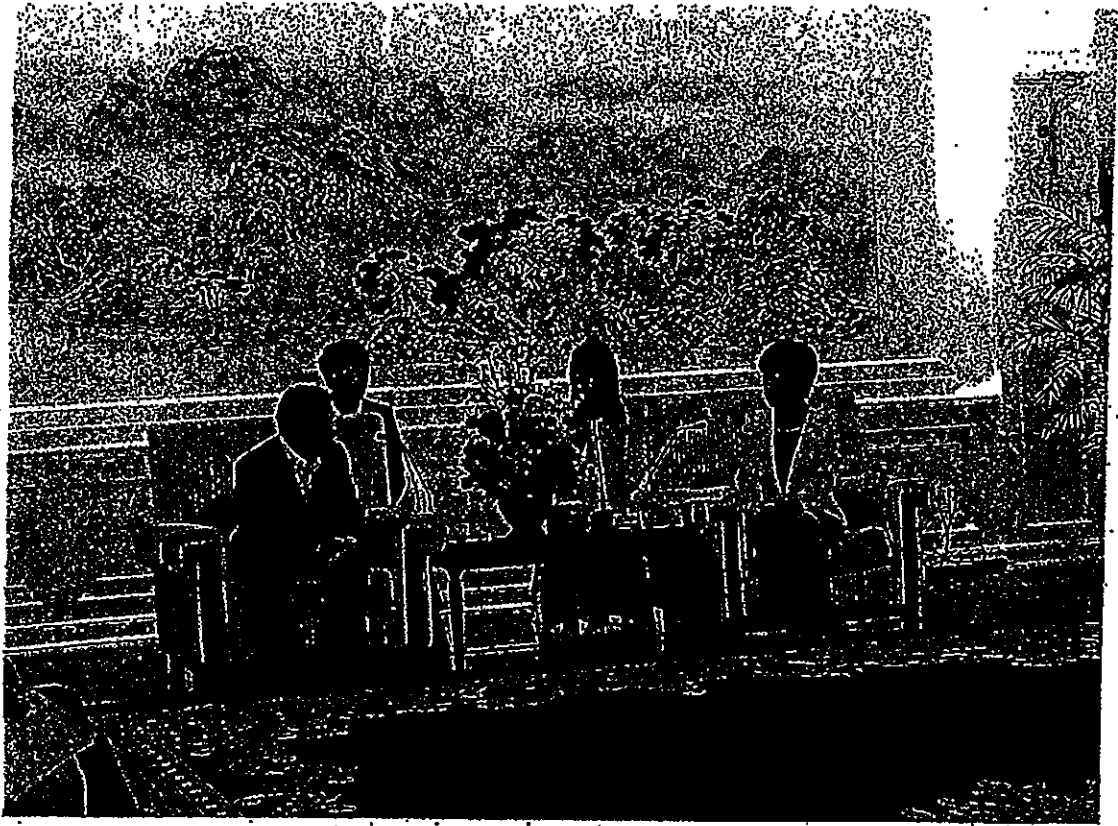
康 副主任

- ・ようこそ遼寧省へ。日中友好 40 周年、遼寧省富山県友好 35 周年、各分野の交流が進展し、両国民のために実質的な利益をもたらした。
- ・習近平主席は安倍首相と何度も会談を行い、両国の友好をどのように発展させていくかという共通認識に立った。
- ・今年の 5 月、李克強首相が来日し、指導者のハイレベルな交流により、両国間の長期的、健全かつ安定した発展のためには、地方間の連携が基礎であることを確認した。
- ・遼寧省は日本の 19 の県市と友好交流をしているが、富山県とは最も長い歴史がある。各分野での交流と協力により著しい成果が上がった。
- ・2004 年、遼寧省人民代表大会と富山県議会が友好協定を結び、15 年の歴史がある。
- ・協定では、①両県省間訪問を通して友好関係を促進、②多分野での交流、③民間交流の促進。が載っている。
- ・これに則り、富山県から 2 回、遼寧省からも 2 回の訪問団の実績がある。
- ・政府間の友好関係を進化させつつ、両省県の関係も強化できるように頑張りたい。
- ・お互いの努力でさらに友好が深まるよう、日頃の交流を深めていきたい。

高野議長

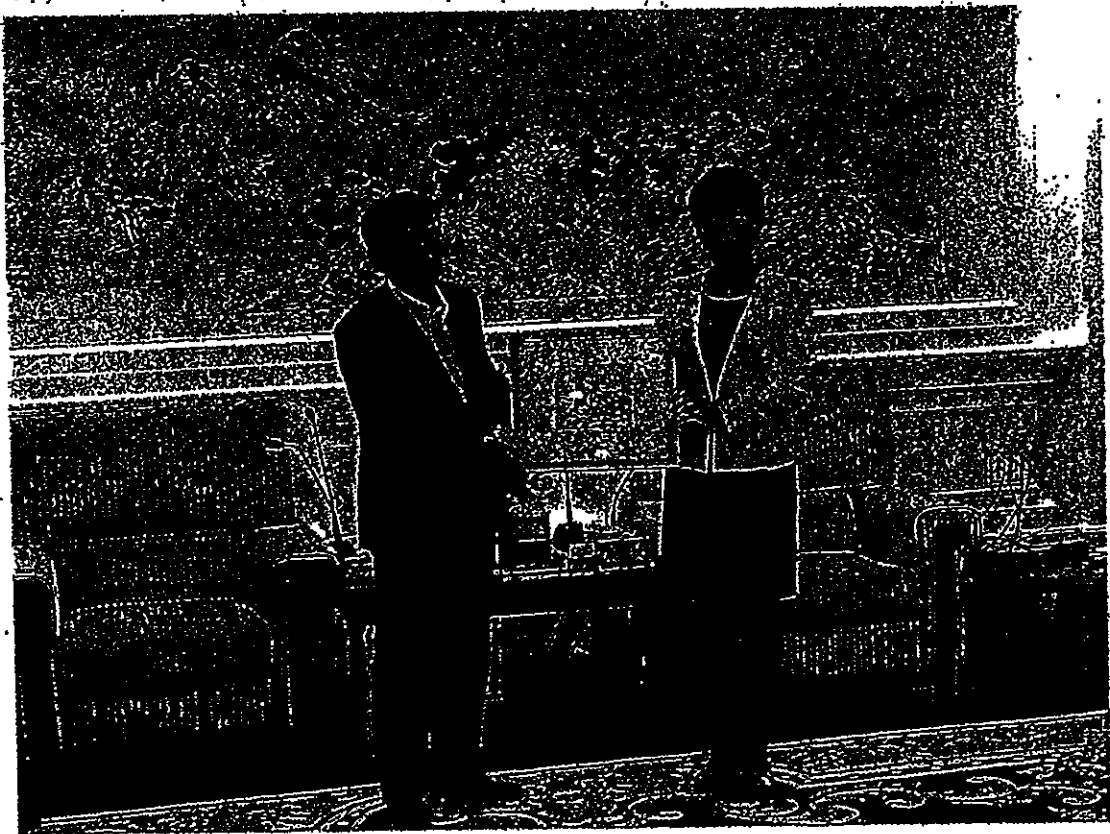
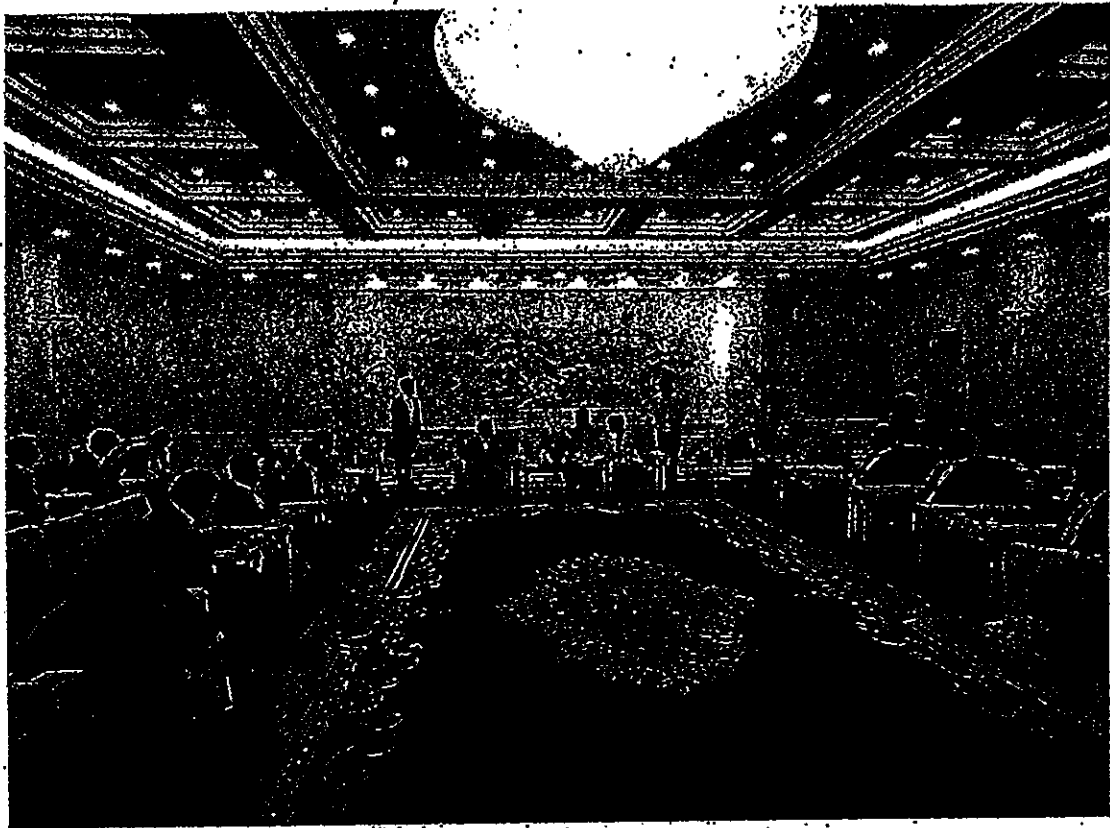
- ・日中友好 40 周年の節目に来られたことは光栄である。大歓迎頂き感謝する。
- ・両省県は、経済、観光等で切磋琢磨して成長してきた。
- ・今後もさらに高めていきたい。
- ・何氏眼科病院と真正会富山病院との友好提携、光栄である。
- ・国全体の交流も大事だが、地方同志の交流が基盤だと考える。両県省の交流をもっと深めていきたい。
- ・富山県日中友好議員連盟は、2 年に一度訪中しているが、今年は間の年であり、県議 7 名のみで訪問した。来年はもっと多くの議員で訪問したい。
- ・交流は続けることが大事である。日本と中国の友好が未来へつながることを期待する。

- ・中国の発展のスピードと規模には驚かされる。日本の新幹線全線の延長を、一年で整備されたと聞く。素晴らしい。日本も学んで行きたい。
- ・今後とも、友好協力関係を深め、仲良く手を取り合って進めていきたい。



50

50





管理番号	1639	使途項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間	平成 30年8 月1 日 から	活動の概要	高速代		
	平成 30 年8 月31 日 まで				
場所					
経費の内容		金額	経費の内容		金額
鉄道・バス			宿泊料		
タクシー			食事代		
航空機			会費		
自家用車	@37 × km =	0			
リース車	@18 × km =	0			
有料道		23250			
駐車場			計		23250
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 30年 10月 29日
 決裁 平成 30年 10月 30日
 処理 平成 30年 10月 31日

ご利用年月日	ご利用店名	ポイント	ご利用金額(円)	お支払方法	回数	今回ご請求金額(円)	概要
			産 藤 正 一 様				
18.8.1	ETC通行料金	☆	1440	1回払	1	1440 ETC	富山 朝日 普通車
18.8.1	ETC通行料金	☆	1210	1回払	1	1210 ETC	黒部 富山 普通車
18.8.2	ETC通行料金	☆	1420	1回払	1	1420 ETC	黒部 魚津 普通車
		☆					
		☆					
18.8.3	ETC通行料金	☆	1440	1回払	1	1440 ETC	富山 朝日 普通車
18.8.3	ETC通行料金	☆	1440	1回払	1	1440 ETC	朝日 富山 普通車
18.8.5	ETC特別割引	☆	850	1回払	1	850 ETC	黒部 富山 普通車
18.8.8	ETC通行料金	☆	1440	1回払	1	1440 ETC	富山 朝日 普通車
18.8.9	ETC特別割引	☆	850	1回払	1	850 ETC	黒部 富山 普通車
18.8.10	ETC特別割引	☆	1010	1回払	1	1010 ETC	富山 朝日 普通車
18.8.13	ETC通行料金	☆	1650	1回払	1	1650 ETC	魚津 朝日 普通車
18.8.13	ETC通行料金	☆	1440	1回払	1	1440 ETC	朝日 富山 普通車
		☆					
		☆					
		☆					
		☆					
18.8.24	ETC通行料金	☆	1210	1回払	1	1210 ETC	黒部 富山 普通車
18.8.24	ETC通行料金	☆	1440	1回払	1	1440 ETC	富山 朝日 普通車
		☆					
		☆					
18.8.27	ETC通行料金	☆	1440	1回払	1	1440 ETC	朝日 富山 普通車
18.8.27	ETC通行料金	☆	1440	1回払	1	1440 ETC	富山 朝日 普通車
18.8.28	ETC通行料金	☆	1440	1回払	1	1440 ETC	朝日 富山 普通車
18.8.28	ETC通行料金	☆	1440	1回払	1	1440 ETC	富山 朝日 普通車
18.8.30	ETC通行料金	☆	1210	1回払	1	1210 ETC	黒部 富山 普通車
18.8.30	ETC通行料金	☆	1440	1回払	1	1440 ETC	富山 朝日 普通車
	今回ご利用金額合計		35280				
	今回ご請求金額合計					35280	

※ポイント・今回ポイント獲得対象のご利用に☆等を表示、※お支払方法(お支払方法またはお支払回数)を表示(※1-ボーナス1回払い・※2-ボーナス2回払い)、※今回支払った金額が何円かを表示、※異なるボーナス払いのお支払い月ごと一算のご利用についてのご説明(※1-現金・※2-現金・※3-クレジット)を表示、○は支払方法を変更でありますが、ただし一律ご実質にお応えできない場合がございます。



報告番号	1347	使途項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年8月1日 から 平成 年 月 日 まで	活動の概要	調査活動等	
場所	県議会	1. 小水力発電による売電益に関する新たな会計処理について南農村整備課長からヒヤリングを行う。2. 平成30年度富山県日中友好団体連合会総会に出席し、県担当部局より、富山県と中国との最近の経済交流、観光交流、航空路線の利用状況等についてヒヤリングをし、意見交換を行う。	自宅-黒部IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC -自宅	
経費の内容	金額	経費の内容	金額	
鉄道・バス		宿泊料		
タクシー		食事代		
航空機		会費		
自家用車 @37 × 120 km =	4440			
リース車 @18 × km =	0			
有料道				
駐車場		計	4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を枚し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
 (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
 (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年9月25日
 決裁 平成30年9月27日
 処理 平成30年9月27日

報告者* 

管理番号	1348	使途項目	01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年8月2日 から 平成 年 月 日 まで	活動の概要	調査活動等 8月27日に知事等に行う、新川地域推進協議会の平成31年度要望に係る事項について、とりまとめをする新川広域圏事務所のスタッフと協議検討を行った。
実施所	新川広域圏事務所		自宅ー黒部ICー魚津ICー新川広域圏事務所ー自宅
経費の内容	金額	経費の内容	金額
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 52 km =	1924		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場		計	1924
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年9月25日
 決裁 平成30年9月27日
 処理 平成30年9月27日

1349		実施項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年8月3日 から	活動の概要	講演	
	平成 年 月 日 まで		日中平和友好条約締結40周年記念講演会&祝賀会において、講師のNHK解説委員、加藤青延氏より「中国一帯一路構想と東アジア」のテーマで講演を聴く。別紙	自宅-朝日IC-富山IC-ホテルグランテラス-富山IC-朝日IC-自宅
場所	ホテルグランテラス			
経費の内容		金額	経費の内容	
鉄道・バス			宿泊料	
タクシー			食事代	
航空機			会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440		
リース車	@18 × km =	0		
有料道				
駐車場			計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 9 月 25 日
 決裁 平成 30 年 9 月 27 日
 処理 平成 30 年 9 月 27 日

管理番号	1350		使途項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年8月5日	から	活動の概要	視察	
	平成30年8月8日	まで		日中友好富山県地方議員連盟は、日中平和友好条約締結40周年を記念して中国遼寧省を訪問した。その報告は別紙により報告済み。	
場所	遼寧省、瀋陽及び大連		自宅-黒部IC-富山IC-富山空港-中国-富山空港-富山IC-朝日IC-自宅(富山空港発から同空港着までの運賃等は別に精算)		
経費の内容		金額	経費の内容		金額
鉄道・バス			宿泊料		
タクシー			食事代		
航空機			会費		
自家用車	@37 ×	115 km =	4255		
リース車	@18 ×	km =	0		
有料道					
駐車場		2400	計		6655
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					
<p>□□□□□□□□□□□□□□□□□□ 富山空港有料駐車場</p> <p>富山空港管理事務所 076-495-3055 □□□□□□□□□□□□□□□□□□</p> <h2 style="text-align: center;">領 収 証</h2> <p>入庫日時 2018年08月05日 05時59分 精算日時 2018年08月08日 11時33分 No.04-000312 券No.01-012790</p> <p>駐車料金(一般) 2400円</p> <p>料金計 2,400円</p> <p>投入現金 2,500円 釣銭額 100円</p>					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
 (注2) 自家用車は利用距離数(Km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
 (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年9月25日
 決裁 平成30年9月27日
 処理 平成30年9月27日



申請番号	1857	使途項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
期	平成30年8月9日 から	活動の概要	調査活動、講演	
期	平成 年 月 日 まで	1. 高校再編の実施計画策定に関し、校名や校歌、教育方針等についてどのような手続きで決めていくのか、当局からヒヤリングを行う。2. シアターオリम्ピックスに関する勉強会を行い、劇団SCOT主宰の鈴木忠志氏の講演を聴く。別紙	自宅-黒部IC-富山IC-県議会-ホテルグランテラス-自宅	
場所	県議会、ホテルグランテラス			
経費の内容		金額	経費の内容	
鉄道・バス			宿泊料	
タクシー			食事代	
航空機			会費	
自家用車	@37 × .120 km =	4440		
リース車	@18 × km =	0		
有料道				
駐車場			計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年 9 月 25 日
 決裁 平成30年 9 月 27 日
 処理 平成30年 9 月 27 日



報告番号	1352	経費項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年8月10日 から まで	活動の概要	調査活動	
開催場所	県議会、県民会館	1. 中山間地域振興対策推進本部会議を開催し、条例制定PTのこれまでの検討状況について報告を受け意見交換を行う。 2. 自民党農業問題調査会と富山県農業法人協会等との意見交換会を行う。	自宅-県議会-県民会館-富山IC-朝日IC-自宅	
経費の内容	金額	経費の内容	金額	
鉄道・バス		宿泊料		
タクシー		食事代		
航空機		会費		
自家用車 @37 × 120 km =	4440			
リース車 @18 × km =	0			
有料道				
駐車場		計	4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を枚し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年9月25日
 決裁 平成30年9月27日
 処理 平成30年9月27日



整理番号 1058		使金項目 01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成30年8月13日 から		活動の概要 調査活動			
県議会		まで		N T T光回線の県内における整備状況並びに未整備の際に整備するための必要な要検討について調査する。その目的は、サテライトオフィスの誘致やスマート農業実践のためにはN T T光回線の整備が必要であり、実態等を調査した。	
経費の内容		金額		経費の内容	
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車 @37 × 120 km =		4440			
リース車 @18 × km =		0			
有料道					
駐車場				計 4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 9 月 25 日
 決裁 平成 30 年 9 月 27 日
 処理 平成 30 年 9 月 27 日

管理番号	1357	経費科目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年8月24日 から まで	活動の概要	調査活動	
場所	県議会	9月補正予算に関する企画委員会(8月30日)に向けて役員会を開催し、政調会のヒヤリング結果を基に折衝項目について検討する。	自宅-黒部IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC- 自宅	
経費の内容	金額	経費の内容	金額	
鉄道・バス		宿泊料		
タクシー		食事代		
航空機		会費		
自家用車 @37 × 120 km =	4440			
リース車 @18 × km =	0			
有料道				
駐車場		計	4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を枚し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数(Km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成30年9月25日
 決裁 平成30年9月27日
 処理 平成30年9月27日



管理番号	1858		経費項目	04_要請陳情等活動費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
期	平成30年8月27日	から	活動の概要	要請活動	
場所	県議会	まで	新川地域推進協議会が知事等に対し、平成31年度予算・事業の要望活動を行う。別紙。	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC- 自宅	
経費の内容		金額	経費の内容		金額
鉄道・バス			宿泊料		
タクシー			食事代		
航空機			会費		
自家用車	@37 × 120 km =	4440			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場			計		4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 9 月 25 日
 決裁 平成 30 年 9 月 27 日
 処理 平成 30 年 9 月 27 日

経費番号	1369	経費項目	01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年8月28日 から まで	活動の概要	調査活動
場所	県議会	1. 9月補正予算に関する企画委員会(8月30日)に向け、役員会を開催し県単独事業の重点項目等について意見交換を行う。2. 交通安全施設業協会役員と自民党役員と意見交換を行う。3. 富山県における大学合宿誘致の現状と助成策について担当よりヒヤリングを行う。	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC- 自宅
経費の内容	金額	経費の内容	金額
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 120 km =	4440		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年9月25日
 決裁 平成30年9月27日
 処理 平成30年9月27日



管理番号	1360	使途項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年8月30日 から	活動の概要	調査活動	
	まで	1. 9月補正予算に関する企画委員会を開催し、石井知事に自民党議員会の重要政策について提言し、県単独予算について折衝を行う。	自宅-黒部IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC -自宅	
開催場所	県議会			
経費の内訳	金額	経費の内訳	金額	
鉄道・バス		宿泊料		
タクシー		食事代		
航空機		会費		
自家用車 @37 × 120 km =	4440			
リース車 @18 × km =	0			
有料道				
駐車場		計		4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成30年9月25日
 決裁 平成30年9月27日
 処理 平成30年9月27日



経費総額	1640	使途項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年9月4日 平成 年 月 日 まで	活動の概要	調査活動	
場所	魚津市役所 新川農林振興センター	1. 魚津市役所で石倉魚津市議会議長と、新川地域の諸課題一国道8号4車線化、県立高校に福祉科の設置、魚津断層帯の調査促進等一の取組みについて意見交換を行う。 2. 新川農林振興センターで、管内の土地改良事業の進捗と今後の計画について調査する。	自宅一朝日IC-魚津IC-魚津市役所-新川農林振興センター-魚津IC-朝日IC-自宅	
経費の内容	金額	経費の内容	金額	
鉄道・バス		宿泊料		
タクシー		食事代		
航空機		会費		
自家用車 @37 × 56 km =	2072			
リース車 @18 × km =	0			
有料道				
駐車場		計	2072	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 10 月 29 日
 決裁 平成 30 年 10 月 30 日
 処理 平成 30 年 10 月 31 日



管理番号	1641	使途項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年9月5日	活動の概要	調査活動	
	平成 年 月 日 まで	1. 国並びに富山県におけるヘルスケア産業の育成の取組みの現状について調査する。 2. 県庁における障害者雇用の実態について調査する。	自宅-黒部IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC- 自宅	
場所	県議会			
経費の内容	金額	経費の内容	金額	
鉄道・バス		宿泊料		
タクシー		食事代		
航空機		会費		
自家用車 @37 × 120 km =	4440			
リース車 @18 × km =	0			
有料道				
駐車場		計	4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 10 月 29 日
 決裁 平成 30 年 10 月 30 日
 処理 平成 30 年 10 月 31 日



整理番号	1642	使途項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年9月7日 平成 年 月 日 まで	活動の概要	調査活動、講演会	
場所	県議会 新川文化ホール	1. 県議会において、常任委員会の質問のため、キャッシュレス社会に向けた国の動き等について調査する。 2. 新川文化ホールにおいて、サイエンスライター森山和道氏の講演、テーマ「ロボットによる第四次産業革命」を聴く。別紙。	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-魚津IC- 新川文化ホール-魚津IC-朝日IC-自宅	
経費の内容	金額	経費の内容	金額	
鉄道・バス		宿泊料		
タクシー		食事代		
航空機		会費		
自家用車 @37 × 125 km =	4625			
リース車 @18 × km =	0			
有料道				
駐車場		計	4625	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年10月29日
 決裁 平成30年10月30日
 処理 平成30年10月31日

創立四十周年記念式典及びポリテックビジョンin新川 ご招待

謹啓 初夏の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます

さて、本校は昭和五十三年に富山職業訓練短期大学校として開校以来四十年の歩みを続けて参りました。これもひとえに皆さまのご支援とご協力の賜と感謝申し上げます

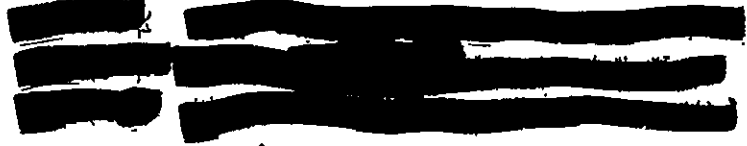
つきましては、左記のとおり創立四十周年記念式典を挙行し、今後一層の発展を目指してまいります

ご多用のこととは存じますが、なにとぞご臨席の栄を賜りますよう謹んでご招待申し上げます

謹白

平成三十年六月吉日

北陸職業能力開発大学校 創立四十周年記念事業実行委員会



校長 野瀬 正照 (北陸職業能力開発大学校)

記

・記念式典 平成三十年九月七日(金) 開式十三時三十分(受付十三時より)
会場 新川文化ホール 大ホール (富山県魚津市宮津一一〇)

・記念講演 平成三十年九月七日(金) 十五時
会場 新川文化ホール 大ホール
演題 「ロボットによる第4次産業革命」
講演者 森山 和道 氏(サイエンスライター)

・パネルディスカッション
演題 「ロボットの進化でものづくりはどう変わるのか？」
ー未来を切り拓くエンジニアのためにー
コーディネーター 森山 和道 氏
パネリスト

- 富山大学 工学部 機械知能システム工学科 教授 神代 充 氏
- 株式会社不二越 上席執行役員 ロボットシステム担当 国崎 晃 氏
- YKK株式会社 執行役員 工機技術本部 製造技術開発部 APグループ長 澤田 喜和 氏

・記念祝賀会 平成三十年九月七日(金) 十七時十五分
会場 新川文化ホール 展示ホール

追伸

- ・お手数ながらご出欠の連絡を同封のはがきにて七月十七日(火)までにお知らせくださいますようお願いいたします
- ・当日は十三時二十分までに二入場ください。なお、ご出席の際は本状封筒を受付にて提示くださいますようお願いいたします



NOKAIDAI
北陸職業能力開発大学校・同窓会
HOKURIKU POLYTECHNIC COLLEGE

ポリテックビジョン in 新川

創立40周年記念講演

平成30年 **9月7日[金]** 13:30~17:00

新川文化ホール・大ホール

40th

15:00
から

16:00
から

記念講演

テーマ「ロボットによる第4次産業革命」



サイエンスライター
講師 **森山 和道氏**
(もりやま・かずみち)

パネルディスカッション

テーマ「ロボットの進化で、ものづくりはどう変わるのか？」
—未来を切り拓くエンジニアのために—

コーディネーター

森山 和道氏
サイエンスライター

パネリスト

神代 亮氏
富山大学工学部
機械知能システム工学科教授

パネリスト

国崎 晃氏
株式会社不二越上席執行役員
ロボットシステム担当

パネリスト

澤田 喜和氏
YKK株式会社執行役員工機技術本部
製造技術開発部APグループ長

タイムスケジュール

- 13:30~14:45 創立40周年記念式典
- 15:00~16:00 記念講演
- 16:00~17:00 パネルディスカッション
- 13:00~17:00 総合制作・開発課題実習等展示

参加
無料

主催 北陸職業能力開発大学校・同窓会
後援 富山労働局、富山県、富山県商工労働政策センター、富山県商工会議所、
富山商工会議所、黒部商工会議所、(一社)富山県経営者協会、
(公財)富山県新世紀産業機構、(一社)富山県機械工業会、
(一社)富山県情報産業協会、富山県ガラス工業会、
(一社)富山県アルミ産業協会、(公財)富山放送局、(株)日本放送協
(株)チューリップテレビ、富山テレビ放送局、
(株)新川インフォメーションセンター(NIGE-TV)

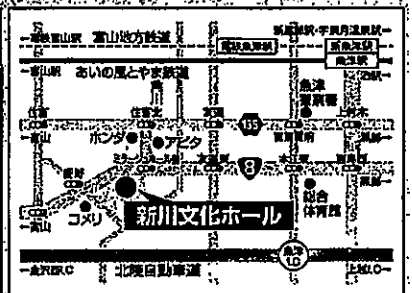
お問い合わせ先 北陸職業能力開発大学校 TEL:0765-24-2205
学務課 FAX:0765-24-2205

北陸能研大 検索
facebook にて検索可能!!



魚津駅から新川文化ホール
までの魚津市民バス時刻表

●市街地巡回ルート (24回)	●市街地巡回ルート (24回)
魚津駅前 12:50 13:50	魚津駅前 13:20 14:20
新川文化ホール 13:21 14:21	新川文化ホール 13:43 14:43
●坪野ルート	●坪野ルート
魚津駅前 14:27	魚津駅前 14:27
新川文化ホール 14:43	新川文化ホール 14:43





報告番号	1643	実施項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間	平成30年9月11日	活動の概要	調査活動		
	平成 年 月 日 まで	1. 学力向上に関する勉強会に出席する。別紙。 2. 農協中央会及びLPガス協会役員と自民党議員会役員との意見交換会を行う。	自宅-黒部IC-滑川IC- 県議会-富山IC-朝日IC -自宅		
場所	県議会				
経費の内容		金額	経費の内容		金額
鉄道・バス			宿泊料		
タクシー			食事代		
航空機			会費		
自家用車	@37 × 120 km =	4440			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場			計		4440
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年10月29日
 決裁 平成30年10月30日
 処理 平成30年10月31日

平成30年7月26日

自由民主党富山県議会議員会
所属議員各位

自由民主党富山県議会議員会
文教公安部会長 平木 柳太郎

学力向上に関する自民党勉強会の開催について

このことについて、下記のとおり開催しますので、ご案内します。
記

- 日時 平成30年9月11日(火) 午後1時から
- 場所 議事堂2階 大会議室
- 内容 「埼玉県学力・学習状況調査を活用した学力向上」
～ 教育ビッグデータと最新技術がもたらす変革 ～

	埼玉県 (独自調査)	全国
調査対象	小4から中3までの継続調査 同一の児童生徒	特定の学年のみ (小6、中3) 毎年度異なる児童生徒
わかること	一人ひとりの学力の経年変化 ・学級、教員ごとの1年間の成果 ・その児童がどれだけ伸びたか 非認知能力 (自己効力感etc.) 学力の決定要因	平均正答数等の分布等 ・教育委員会、学校ごと ・その児童の全体の中での位置 児童生徒、学校との相関関係
実施地域	埼玉県、郡山市、福山市など 2019年度から福島県全域	全国

- 講師 埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課
参事兼課長 石井 宏明 氏



整理番号	1344	使途項目	01_調査研究費 02_研修費 03_広聴広報費 04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年9月13日 平成 年 月 日 まで	活動の概要	調査活動 政調5部会と友好団体との意見交換会があり、経済建設部会に出席する。
場所	県議会		自宅ー黒部ICー富山ICー 県議会ー滑川ICー黒部IC ー自宅
経費の内容	金額	経費の内容	金額
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 120 km =	4440		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年10月29日
 決裁 平成30年10月30日
 処理 平成30年10月31日

平成30年8月21日

経済建設部会 所属議員 殿

自由民主党富山県支部連合会
政務調査会長 武田 慎一

自民党県連政務調査5部会の開催について
(友好団体からの31年度予算要望説明)

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます
さて、標記の件に関し、下記のとおり開催いたしますので、万障お繰合せのうえご出席下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 日 時 平成30年 9月13日(木) 10:00 ~
2. 場 所 **富山県議会議事堂 4階 第2委員会室**

※ 欠席の場合は、控室へ連絡願います。(TEL.076-431-5244)



整理番号	1645	使途項目	01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間	平成30年9月15日 平成 年 月 日 まで	活動の概要	調査活動	
場所	新川文化ホール	県民芸術文化祭2018「オープニングフェスティバル」に出席し、文化分野の部門功労表彰受賞者の活動について認識するとともに、県民の文化活動についての理解を深める。	自宅-新川文化ホール-自宅	
経費の内容		金額	経費の内容	金額
鉄道・バス			宿泊料	
タクシー			食事代	
航空機			会費	
自家用車	@37 × 43 km =	1591		
リース車	@18 × km =	0		
有料道				
駐車場			計	1591
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年10月29日

決裁 平成30年10月30日

処理 平成30年10月31日

平成30年9月7日

富山県議会
議員 鹿熊 正一 殿

富山県民芸術文化祭実行委員会
会長 石井 隆一

県民芸術文化祭2018「オープニングフェスティバル」へのご招待について

日頃から、本県の芸術文化の振興に格別のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
このたびは、ご多用にもかかわらず、県民芸術文化祭2018「オープニングフェスティバル」
へのご出席のお返事をいただき、ありがとうございます。
当日は、新川文化ホールで素敵な時間をお過ごしください。ご来場をお待ちしております。

記

- (1) 日 時 平成30年9月15日(土) 14時開演
※受付開始は13時30分から
- (2) 会 場 新川文化ホール 大ホール
- (3) 受付場所 正面入口(別紙のとおり)

※ご来場の際は本状を受付にご提示ください。

〈事務担当〉

〒930-8501 (住所は記載不要です)

富山県庁文化振興課内

富山県民芸術文化祭実行委員会事務局 内橋、竹島、清水

TEL 076-444-9616 (直) FAX 076-444-4438

E-mail

管理番号	1646	使途項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間	平成30年9月18日 平成 年 月 日 まで	活動の概要	調査活動		
場所	県議会 ANAクラウンプラザホテル	1. 県議会で、常任委員会の質問に関して、県内企業における人手不足の現状について調査する。 2. 「富山ー羽田便」利用促進キックオフ大会に出席し、富山羽田便の現状と利用促進等について調査する。	自宅ー県議会・ANAクラウンプラザホテルー自宅		
経費の内容		金額	経費の内容		金額
鉄道・バス			宿泊料		
タクシー			食事代		
航空機			会費		
自家用車	@37 × 120 km =	4440			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場			計		4440
<p>(領収書貼付枠) (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年10月29日
 決裁 平成30年10月30日
 処理 平成30年10月31日

「富山ー羽田便」利用促進キックオフ大会 次第

日時：平成30年9月18日（火）13:30～14:30

場所：ANAクラウンプラザホテル富山3階「鳳」

1. 開 会

2. 開会挨拶

富山県知事 石井 隆一

富山空港を発展させる会会長 高木 繁雄

3. 来賓挨拶

富山県議会議長 高野 行雄

4. 県利用促進施策説明

5. 活用事例紹介

6. 富山きときと空港 マイエアポート55宣言

7. 閉会挨拶

富山空港国際路線利用促進協議会会長 永原 功

平成30年8月吉日

富山空港国際路線利用促進協議会 会員
日中友好富山県地方議員連盟
会長 鹿熊 正一 殿

富山空港国際路線利用促進協議会
会長 [REDACTED]
富山空港を発展させる会
会長 [REDACTED]

「富山ー羽田便」利用促進キックオフ大会の開催ご案内について

残暑の候、貴台にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より、本県の航空政策にご理解・ご支援を賜りますとともに、富山空港国際路線利用促進協議会、富山空港を発展させる会及び富山きときと空港サポーターズクラブの運営等にご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

富山きときと空港の基幹路線である「富山ー羽田便」の利用状況は、旅客数の減少が継続化しており、特に昨年度の冬季就航率の低迷により、今季冬季利用への影響が危惧されるところです。一方、本県を含む国内・海外ネットワークを担う当路線は、開業から三年半を経過した北陸新幹線の開業効果を活かした共存モデルの構築、2020年オリンピック・パラリンピックの開催を控えた羽田空港乗継利便性などを活用した訪日外国人観光客の取り込みなど、新たな航空需要の高まりに期待が寄せられています。

こうした中、富山空港国際路線利用促進協議会、富山空港を発展させる会及び富山きときと空港サポーターズクラブ会員並びに関係の皆様方に富山ー羽田便の利用状況や利用促進に向けた県事業等をご説明させていただくとともに、同路線の一層の利用促進をお願いいたしたく、標記大会を下記のとおり開催いたしますので、ご多用の折とは存じますが、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

なお、ご出欠を別紙のFAX送信票にて、9月7日（金）までご返信いただきますようお願い申し上げます。

記

1. 日 時 平成30年9月18日（火） 13:30～14:30
2. 場 所 ANAクラウンプラザホテル「鳳」
（富山市大手町2-3）
3. 内 容 ・富山ー羽田便の利用状況
・新たな利用促進策
・活用事例紹介等

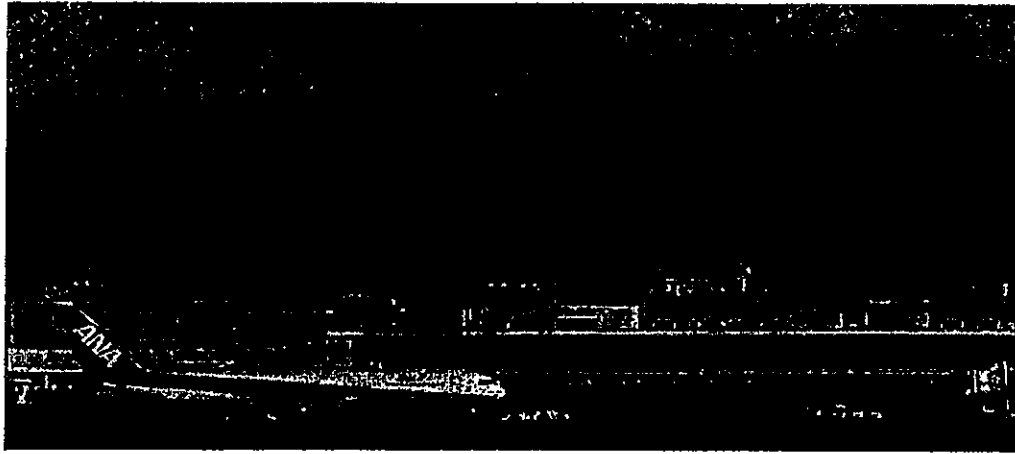
〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号
富山県観光・交通・地域振興局総合交通政策室
奥田、小川、高木

TEL 076 (444) 9601

FAX 076 (444) 3464

E-mail: [REDACTED]

「富山ー羽田便」の現状と利用促進について

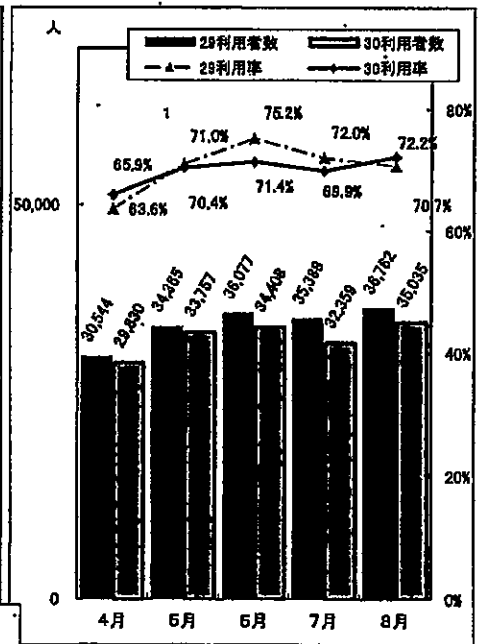
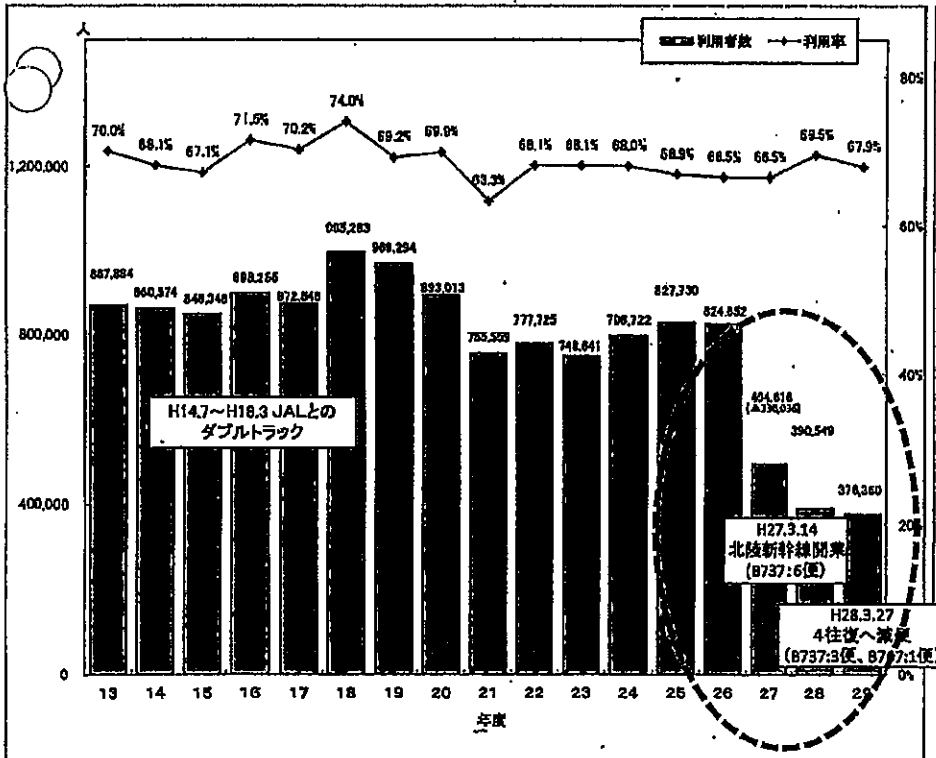


平成30年9月18日



北陸新幹線開業後の「富山ー羽田便」の現状と取組み実績

1. 運航開始日 昭和38年8月20日
2. 運航会社 全日本空輸(ANA)
3. 運航機種 B737-800(166席)、B767-300(269席)
4. 運航便数 4往復/日(～H28.3.26:6往復/日)
5. 利用状況
 - 年度別(H13～H29)
 - 富山きとぎと空港開港及び富山ー東京就航55周年の節目の年
 - 直近の状況(4～8月)



○利用者数と利用率(4月～8月累計)

H29年度 173,136人(70.5%)

H30年度 165,389人(70.0%)



整理番号	1647	使途項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年9月20日	活動の概要	調査活動	
場所	平成 年 月 日 まで 県議会	民主党議員会中山間地域振興対策本部及びPTが検討中の中山間地域振興策の提言案について、そのポイントや構成等を調査検討する。	自宅ー県議会ー富山ICー朝日ICー自宅	
経費の内容	金額	経費の内容	金額	
鉄道・バス		宿泊料		
タクシー		食事代		
航空機		会費		
自家用車 @37 × 120 km =	4440			
リース車 @18 × km =	0			
有料道				
駐車場		計	4440	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>				

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

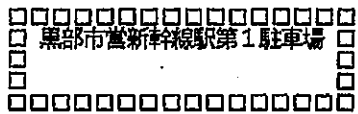
收受 平成 30 年 10 月 29 日
 決裁 平成 30 年 10 月 30 日
 処理 平成 30 年 10 月 31 日



管理番号	1348	使途項目	01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期	平成30年9月23日 平成 年 月 日 まで	活動の内容	調査活動
場所	砂防会館		全拉致被害者の即時一括帰国を！国民大集会に「北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出する富山県地方議員連盟」副会長として出席する。別紙。 自宅ー黒部宇奈月温泉駅ー東京駅ー砂防会館ー東京駅ー黒部宇奈月温泉駅ー自宅

経費の内容	金額	経費の内容	金額
鉄道・バス	23720	宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 30 km =	1110		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場	500	計	25330

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)



領 収 証

入庫日時 2018年09月23日 07時26分
 出庫日時 2018年09月23日 20時46分
 No.01-000126 券No.01-039214

駐車料金(一般) 500円
 料金計 500円
 投入現金 500円
 釣銭額 0円

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数(Km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年10月29日
 決裁 平成30年10月30日
 処理 平成30年10月31日

領 収 書 藤 正 一 様

Receipt
領 収 年 月 日 2018.-9.23

金 額 ¥5,920

上記金額確かに領収いたしました

購入商品 JR乗車券類 JR tickets

(50691 1枚)
東日本旅客鉄道株式会社

東京駅
東京駅D67発行 60692-02

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 大 淀
税 務 署 承 認 済

領 収 書 藤 正 一 様

Receipt
領 収 年 月 日 2018.-9.23

金 額 ¥17,800 (消費税等込み)

上記金額確かに領収いたしました

購入商品 JR乗車券類 JR tickets

(20268 3枚)
西日本旅客鉄道株式会社

黒部宇奈月温泉駅
黒部宇奈月MK2発行 30269-01

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 大 淀
税 務 署 承 認 済

県外・海外政務活動報告書

平成 30 年 9 月 25 日

整理番号	1647	会派・議員名	鹿熊
活動名称			
目的	全拉致被害者の即時一括帰国を！国民大集会 に出席		
日程	平成 30 年 9 月 22 日 (日) ~ 平成 年 月 日 ()		
場所 [国名・都市名、施設名、訪問先等]	砂防会館		
相手方等 [主催者、対応者、参加者、同行者等]	主催者：拉致議連会長 衆議院議員 古屋圭司		
行程・活動内容			
自走 (車) ~ 黒部宇奈月温泉駅 (北陸新幹線) ~ 東京駅 (地下鉄) ~ 砂防会館 (地下鉄) 東京駅 (北陸新幹線) ~ 黒部宇奈月温泉駅 (車) ~ 自走 別紙参照			

※日帰りの政務活動を含む。

決議案

私たちは本日「全拉致被害者の即時一括帰国を！」国民大集会を開いた。

6月の米朝首脳会談でトランプ米国大統領は金正恩委員長に、「全拉致被害者を返せ」という安倍晋三総理のメッセージを伝えた。安倍総理は、日本が北朝鮮と直接向き合っ
て拉致問題を解決していくとの決意を明らかにしている。

北朝鮮は、濃縮ウラン工場やミサイル製造工場は温存したまま、役割を終えた核実験場やミサイル発射場の一部の解体ショーをみせた以外に非核化に向けた実質的な行動をとらないままである。拉致問題に対しても真剣に対応する気配を見せないまま、「拉致は解決済み、過去の清算が終わっていない」という宣伝を続けている。

日本国内では一部の人物が、経済支援や国交正常化を先行させよとか、日朝合同調査委員会や平壤連絡事務所の設置などを求め、拉致問題の解決を歪曲しようとしている。

日本は、米国や国際社会と共に、北朝鮮の謀略や国内の様々な妄言には毅然として対抗し、拉致問題が解決するまで対北制裁を緩めず、経済支援も行ってはならない。全拉致被害者の即時一括帰国こそが解決の定義だという姿勢からぶれてはならない。

同時に、日本人拉致問題を解決するには、これが最後のチャンスであることを北朝鮮は強く認識すべきである。

我々が要求しているのは連絡事務所の設置でも、報告書や偽の証拠でもない。認定、未認定にかかわらず全拉致被害者が笑顔で家族のもとに帰ってくることだ。だからこそ、金正恩政権に全拉致被害者の即時一括帰国を決断させるという一点に全勢力を注ぐことが求められている。その声を上げるため、本日私たちはここに集まった。

以下決議する。

- 1 北朝鮮は早急に全拉致被害者を返せ。そのための日本との実質的協議に応ぜよ。
- 2 日本政府は全拉致被害者の即時一括帰国という要求を絶対に下げるな。その実現のため全力で取り組み。
- 3 国民は、ブルーリボンを身につけ全拉致被害者救出への意思を示そう。アニメ「めぐみ」の学校上映拡大等を通じて拉致問題啓発活動を続けよう。

平成30年9月23日

「全拉致被害者の即時一括帰国を！」国民大集会参加者一同

1. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100.

拉致問題地方議会全国協議会幹事会次第

平成 30 年 9 月 23 日 (日曜)

砂防会館別館会議室「霧島」

1 開 会

上: 流石な準備。 (砂防会館別館)

2 会長あいさつ

心算経過。 報徳 同根異行

山田 国治 → 行政と一体で取り組む
佐木 幸士 → 行政と一体で取り組む

3 議 事

- (1) これまでの活動について
- (2) 会計報告について
- (3) 新規加盟団体について
- (4) 今後の活動について

経本 → 経費報告と一緒に、協議者に行き渡らせる。
2019年10月1日 60%後半

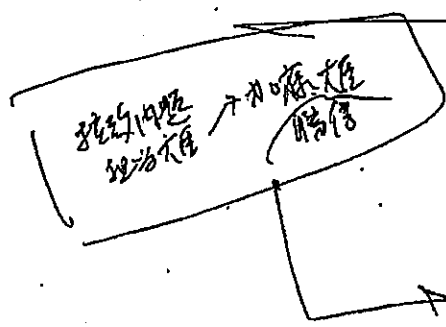
4 情報交換・意見交換

大阪 → 経費報告の進捗を、知事以外に、これだけ進んでいる。
東京 → 経費報告の進捗 → 国紀時分

5 その他

香取 → 経費報告の進捗を、知事以外に、これだけ進んでいる。
長岡 → 経費報告の進捗を、知事以外に、これだけ進んでいる。

6 閉 会



経費報告の進捗を、知事以外に、これだけ進んでいる。
経費報告の進捗を、知事以外に、これだけ進んでいる。
経費報告の進捗を、知事以外に、これだけ進んでいる。



| 整理番号 | 1649 | 使途項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
|---|-------------|---|-------------------------------|---|
| 活動期間 | 平成30年9月25日 | 活動の概要 | 調査活動 | |
| | 平成 年 月 日 まで | 1. 常任委員会での質問に関して、9月補正予算案にある「富山県ヘルスケア産業創出事業」について調査する。
2. 県LPガス協会が普及を進めるGHP(ガスヒートポンプ)について調査する。 | 自宅-黒部IC-富山IC-県議会-富山IC-朝日IC-自宅 | |
| 場所 | 県議会 | | | |
| 経費の内容 | 金額 | 経費の内容 | 金額 | |
| 鉄道・バス | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | 食事代 | | |
| 航空機 | | 会費 | | |
| 自家用車 @37 × 120 km = | 4440 | | | |
| リース車 @18 × km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | 計 | 4440 | |
| <p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p> | | | | |

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 10 月 27 日
 決裁 平成 30 年 10 月 30 日
 処理 平成 30 年 10 月 31 日



| | | | |
|------|-------------------|----------------------|--|
| 経理番号 | 1650 | 事業計画 | |
| 経費項目 | 03_広聴広報費 | 01_調査研究費
06_資料作成費 | 02_研修費
07_資料購入費
03_広聴広報費
08_事務所費
04_要請陳情等活動費
09_事務費
05_会議費
10_人件費 |
| 内容 | ホームページホスティング料 9月分 | | |
| 内訳 | 経費の内容 | 金額(円) | 備考 |
| | ホームページホスティング料9月 | 8467 | 80% |
| | | | |
| | | | |
| | (合 計) | 8467 | |

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領 収 証 005621

鹿能 正一 様 平成 30 年 10 月 12 日

¥ 10,584 -

但し HPホスティング料(9月分)
上記の金額正に領収いたしました。

| | | |
|---|-------|---|
| 内 | 印刷物代金 | ¥ |
| 取 | 消 費 税 | ¥ |

株式会社 印刷

代表取締役 寛

〒838-0802 廣島県尾道市本町2-1-10 電話 083-654-0121

取 入
印 紙

取 扱 者 印

收受 平成 30 年 10 月 29 日
 決裁 平成 30 年 10 月 30 日
 処理 平成 30 年 10 月 31 日

| 整理番号 | 1651 | 事業概要 | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|---|----------------------|--|-------|-------|----|------------|------|--|------|------|--|------|------|--|----|-------|
| 使途項目 | 07_資料購入費 | 01_調査研究費
06_資料作成費 | 02_研修費
07_資料購入費
03_広聴広報費
08_事務所費
04_要請陳情等活動費
09_事務費
05_会議費
10_人件費 | | | | | | | | | | | | | | |
| 内容 | 新聞代金 9月 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <thead> <tr> <th>経費の内容</th> <th>金額(円)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北日本新聞、日経新聞</td> <td>7072</td> <td></td> </tr> <tr> <td>富山新聞</td> <td>3060</td> <td></td> </tr> <tr> <td>読売新聞</td> <td>3093</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>13225</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | | | 経費の内容 | 金額(円) | 備考 | 北日本新聞、日経新聞 | 7072 | | 富山新聞 | 3060 | | 読売新聞 | 3093 | | 合計 | 13225 |
| 経費の内容 | 金額(円) | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 北日本新聞、日経新聞 | 7072 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 富山新聞 | 3060 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 読売新聞 | 3093 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 13225 | | | | | | | | | | | | | | | | |

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

| | | | |
|-------------|------|--------|---------|
| 12 30-10-01 | 新聞代金 | *7,072 | |
| 13 30-10-02 | | *3,060 | トヤマシヅカン |



領収書

| 区 域 | 全 戸 数 | お問い合わせNo |
|-----|-------|----------|
| 34 | 85.00 | 1899 |

お名前 鹿熊 正一様

殿町1495

30年 9 月分

| 路 柄 | 部 数 | 金 額 |
|--------|-----|---------|
| 1 読売新聞 | 1 | 3,093 |
| 2 | | |
| 3 | | |
| 合計 | | 3,093 円 |

84-8305
◇左記の通り領収しました

領収日 30年10月2日

便利な自動振替受付中！手数料はいりません

Y C 泊

富山県下新川郡朝日町泊 3 1 8



*裏面もあわせて内容を十分お読みください。

收受 平成 30 年 10 月 29 日
 決裁 平成 30 年 10 月 30 日
 処理 平成 30 年 10 月 31 日

| | | | | | | | | | | | | |
|--|------------------------|----------|--------|----------|-------------|--------|----------|----------|---------|--------|--------|--|
| 管理番号 | 1652 | | 事業年度 | | | | | | | | | |
| 使途項目 | 08_事務所費 | 01_調査研究費 | 02_研修費 | 03_広聴広報費 | 04_要請陳情等活動費 | 05_会議費 | 06_資料作成費 | 07_資料購入費 | 08_事務所費 | 09_事務費 | 10_人件費 | |
| 内容 | 電気料金 9月分
事務所賃借料10月分 | | | | | | | | | | | |
| 経費の内訳 | 経費の内容 | 金額(円) | | | | | | | | | | |
| | 電気料金 9月分 | 1660 | / | 50% | | | | | | | | |
| | 事務所賃借料 | 15000 | / | 50% | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | 《合計》 | 16660 | | | | | | | | | | |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | | | | | | | | | |

收受 平成 30年 10月 29日
 決裁 平成 30年 10月 30日
 処理 平成 30年 10月 31日

しんきんオンライン

ネットキャッシュサービス取扱票
(ご利用明細票)

| | | | |
|-----------------------------------|-------|----------------|----|
| お取扱日 | 取扱金額 | 店番 | 通番 |
| 30-10-03 | | | |
| 口座番号 | | | |
| *****-*****-***** | | | |
| 万 | 千 | 百 | 円 |
| 003000000000 | お取引金額 | | |
| お取扱内容 | | お取引後の金額 | |
| お振込 | | ¥0 | |
| 手数料 | ¥0 | ページ | 硬貨 |
| 時刻 | 10:25 | おつり | |
| カクマサカス コウイソカイ様
TEL0765-82-1333 | | | |
| 印紙税申告納 | | ご利用ありがとうございました | |
| *付込おき厳禁 | | *残務請求厳禁 | |
| ***** | | | |

ご利用明細票をお取引金額をお確かめください。お取引金額と異なる場合はご確認をお願いします。

三井住友銀行 信用金庫

家賃

報告者* 

| | | | |
|--|----------------|----------------------|--|
| 報告番号 | 1653 | 事業概要 | |
| 経費項目 | 09_事務費 | 01_調査研究費
06_資料作成費 | 02_研修費
07_資料購入費
03_広聴広報費
08_事務所費
04_要請陳情等活動費
09_事務費
05_会議費
10_人件費 |
| 内容 | インク代
コピー用紙代 | | |
| 上記の経費に該当した経費 | 経費の内容 | 金額(円) | 割合 |
| | インク代 | 1380 | 50% |
| | コピー用紙代 | 1266 | 50% |
| | | | |
| | (合 計) | 2646 | |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | |

收受 平成 30 年 10 月 29 日
 決裁 平成 30 年 10 月 30 日
 処理 平成 30 年 10 月 31 日

領収証

いつもそばに、ずっと。



コメリホームセンター黒部店
電話 (0765) 54-9222
本日のご来店誠に有難うございます。
<パート・アルバイト募集中！>
一緒に働いてみませんか？

初心者も大歓迎!!
お気軽にお問い合わせください。
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
返品交換は7日以内※送料必要
2018年 8月26日(日)15:04 1049-0006

28 イアツ イカ ICB80L ¥1,380

小計 ¥1,380
(内消費税 8% ¥102)
商品計 1点

合計 ¥1,380
お預り ¥10,400*
お釣り ¥9,020

領収証

近くて便利の、その先へ



コメリハードアンドグリーン宇奈月店
0765-65-9512
誠にありがとうございます。
2018年 8月26日(日)15:19 0877-0002

28 イアツ イカ ICB80L ¥1,380

小計 ¥1,380
(内消費税 8% ¥102)
商品計 1点

合計 ¥1,380
お預り ¥1,380
お釣り ¥0

$1,380 \times 2 = 2,760 \times 0.5$

領収証

近くて便利の、その先へ



コメリハードアンドグリーン朝日店
0765-83-9025
2018年 9月19日(水)10:45 0832-0001

28 北用紙 A4 ¥1,788

(6個 x @298)

28 北用紙 B5 ¥744

(3個 x @248)


小計 ¥2,532
(内消費税 8% ¥187)
商品計 9点

合計 ¥2,532
お預り ¥2,532
お釣り ¥0



政務活動費対象事業実績報告書

報告日* 平成 30年10月29日

報告者* 

| | | | | | |
|--|---------|----------------------|--------------------|---------------------|-----------------------|
| 管理番号 | 1654 | 事業概要 | | | |
| 使途項目 | 10_人件費 | 01_調査研究費
06_資料作成費 | 02_研修費
07_資料購入費 | 03_広報広報費
08_事務所費 | 04_要請陳情等活動費
09_事務費 |
| 内容 | 人件費9月分: | | | | |
| | | | | | |
| 市議会事務局
議事課 | 経費の内容 | 金額(円) | | 備 考 | |
| | 人件費9月分 | 21375 | | 50% | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | (合 計) | 21375 | | | |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | | |

收受 平成 30年10月29日
 決裁 平成 30年10月30日
 処理 平成 30年10月31日

給料計算書 (●)

平成30年

| 月 | 日 | 曜日 | 就業時間 | 実勤h | 月 | 日 | 曜日 | 就業時間 | 実勤h | | | | | | | | | |
|---|------|--------|------------|-----|---|----|----|------------|-----|------|------|------|-----|----|--------|---|----|---|
| 9 | 1 | 土 | | | 9 | 16 | 日 | | | | | | | | | | | |
| | 2 | 日 | | | | 17 | 月 | | | | | | | | | | | |
| | 3 | 月 | 8:30~14:30 | 5 | | 18 | 火 | | | | | | | | | | | |
| | 4 | 火 | | | | 19 | 水 | 8:30~14:30 | 5 | | | | | | | | | |
| | 5 | 水 | 8:30~14:30 | 5 | | 20 | 木 | | | | | | | | | | | |
| | 6 | 木 | | | | 21 | 金 | 8:30~14:30 | 5 | | | | | | | | | |
| | 7 | 金 | 8:30~14:30 | 5 | | 22 | 土 | | | | | | | | | | | |
| | 8 | 土 | | | | 23 | 日 | | | | | | | | | | | |
| | 9 | 日 | | | | 24 | 月 | | | | | | | | | | | |
| | 10 | 月 | 8:30~14:30 | 5 | | 25 | 火 | | | | | | | | | | | |
| | 11 | 火 | | | | 26 | 水 | 8:30~14:30 | 5 | | | | | | | | | |
| | 12 | 水 | | | | 27 | 木 | | | | | | | | | | | |
| | 13 | 木 | | | | 28 | 金 | 8:30~14:30 | 5 | | | | | | | | | |
| | 14 | 金 | 8:30~14:30 | 5 | | 29 | 土 | | | | | | | | | | | |
| | 15 | 土 | | | | 30 | 日 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 小 計 | 25 | | | | 小 計 | 20 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 合 計 | 45 | | | | | | | | | |
| <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="text-align: center;">(時給)</td> <td style="text-align: center;">(時間)</td> <td style="text-align: right;">(給与)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">950</td> <td style="text-align: center;">45</td> <td style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 5px;">42,750</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">円</td> <td style="text-align: center;">時間</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> </table> | | | | | | | | | | (時給) | (時間) | (給与) | 950 | 45 | 42,750 | 円 | 時間 | 円 |
| (時給) | (時間) | (給与) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 950 | 45 | 42,750 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 円 | 時間 | 円 | | | | | | | | | | | | | | | | |

領 収 証

自由民主党富山県議会議員
鹿熊正一様

21,375円

平成30年 10月 / 日

上記金額正に領収いたしました

全拉致被害者の即時一括帰国を！国民大集会 進行表 (30.09.23、於 シエーンパツハ・サポー)

| | 氏名 | 原書・氏名 |
|------|----------------|---|
| 1400 | 櫻井よしこ | 総合司会、ジャーナリスト |
| 1408 | 飯塚 繁雄 | 家族会代表 |
| 1413 | 古屋 圭司 | 拉致議連会長、元拉致問題担当大臣、衆議院議員 |
| 1418 | 安倍 晋三 | 内閣総理大臣、政府拉致問題対策本部長 |
| 1428 | 加藤 勝信 | 拉致問題担当大臣、衆議院議員 |
| 1433 | 山谷えり子 | 自由民主党拉致問題対策本部長、元拉致問題担当大臣、参議院議員 |
| 1436 | 村上 史好 | 立憲民主党拉致問題対策本部長、衆議院議員 |
| 1439 | 渡辺 周 | 国民民主党拉致問題対策本部長、衆議院議員 |
| 1442 | 竹内 譲 | 公明党拉致問題対策委員長、衆議院議員 |
| 1445 | 高木かおり | 日本維新の会拉致対策本部事務局次長、参議院議員 |
| 1448 | 中山 恭子 | 希望の党拉致問題対策本部長、元拉致問題担当大臣、参議院議員 |
| 1451 | 黒岩 祐治 | 北朝鮮による拉致被害者を救出する知事の会長、神奈川県知事 |
| 1456 | 花角 英世 | 北朝鮮による拉致被害者を救出する知事の会長代行、新潟県知事 |
| 1458 | 松田 良昭 | 拉致問題地方議会全国協議会会長、神奈川県議会議員 |
| 1503 | 西岡 力 | (43都道府県が加盟 34都道府県から82名が参加) 画像で紹介
国会議員、平井伸治鳥取県知事、奥野立埼玉県副知事、多羅尾光陸東京都副知事
(知事の会は47都道府県加盟、47都道府県から参加)
その他の登壇者、各地救う会、全国の市区町村議員 |
| 1505 | 訴え 家族会 | 曾我ひとみ、横田早紀江、横田拓也、横田哲也、飯塚耕一郎、本間勝、有本明弘、増元照明、斉藤文代、松木信宏、松本 孟、寺越昭男、北野政男、浜本七郎 |
| 1558 | 挨拶、参加者紹介 大澤 昭一 | 特定失踪者家族会会長 |
| 1604 | 挨拶 荒木 和博 | 特定失踪者問題調査会代表 |
| 1607 | 報告 西岡 力 | 救う会会長 |
| 1622 | 決議案朗読 松原 仁 | 拉致議連幹事長、元拉致問題担当大臣、衆議院議員 |
| 1624 | 閉会 櫻井よしこ | 総合司会 |

| | | | | |
|--|------------|-------|--------------|---|
| 経費報告書番号 | 1879 | 経費項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
| 開始日 | 平成30年9月1日 | から | | |
| 終了日 | 平成30年9月30日 | まで | 経費の概要
高速代 | |
| 経費の内容 | 金額 | 経費の内容 | 金額 | |
| 鉄道・バス | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | 食事代 | | |
| 航空機 | | 会費 | | |
| 自家用車 @37 × km = | 0 | | | |
| リース車 @18 × km = | 0 | | | |
| 有料道 | 10960 | | | |
| 駐車場 | | 計 | 10960 | |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。
枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | |

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
 (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
 (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年11月26日
 決裁 平成30年11月27日
 処理 平成30年11月27日

| ご利用年月日 | ご利用店名 | ポイント | ご利用金額(円) | お支払方法 | 回数 | 今回ご利用金額(円) | 摘要 |
|-----------------|---------|------|----------|-------|----|------------|-----------|
| | | | 鹿鹿 正一様 | | | | |
| 18.9.4 | ETC通行料金 | ☆ | 650 | 1回払 | 1 | 650 ETC | 朝日 魚津 普通車 |
| 18.9.4 | ETC通行料金 | ☆ | 650 | 1回払 | 1 | 650 ETC | 魚津 朝日 普通車 |
| 18.9.5 | ETC通行料金 | ☆ | 1440 | 1回払 | 1 | 1440 ETC | 高山 朝日 普通車 |
| 18.9.9 | ETC通行料金 | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 高山 普通車 |
| 18.9.7 | ETC通行料金 | ☆ | 1440 | 1回払 | 1 | 1440 ETC | 朝日 高山 普通車 |
| 18.9.7 | ETC通行料金 | ☆ | 650 | 1回払 | 1 | 650 ETC | 魚津 朝日 普通車 |
| 18.9.7 | ETC通行料金 | ☆ | 950 | 1回払 | 1 | 950 ETC | 高山 魚津 普通車 |
| 18.9.11 | ETC通行料金 | ☆ | 1440 | 1回払 | 1 | 1440 ETC | 高山 朝日 普通車 |
| 18.9.11 | ETC通行料金 | ☆ | 660 | 1回払 | 1 | 660 ETC | 黒部 清川 普通車 |
| 18.9.13 | ETC通行料金 | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 高山 普通車 |
| 18.9.13 | ETC通行料金 | ☆ | 660 | 1回払 | 1 | 660 ETC | 清川 黒部 普通車 |
| ** 今回ご利用金額合計 ** | | | 20580 | | | | |
| ** ご請求金額合計 ** | | | | | | 20580 | |

※ポイント:今回ポイント獲得対象のご利用に☆等を表示、お支払方法:お支払方法またはお支払回数を表示(ホー1-ボーナス1回払い、ホー2-ボーナス2回払い)、※今回回数:今回のお支払いが何回目かを表示。
 ※摘要:ボーナス払いのお支払い月など一部のご利用についてのご説明(除外でのご利用には現金・通貨・通貨・通貨・通貨・通貨)を表示、○は支払方法を指定できません。ただし一部ご変更にお応えできない場合がございます。

ご案内

カードの紛失、盗難時の不正利用が起きています!



| 管理番号 | 1640 | 使途項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
|--|---------------------|-------|---|---|
| 活動期間 | 平成30年9月4日 | 活動の概要 | 調査活動 | |
| | 平成 年 月 日 まで | | | |
| 場所 | 魚津市役所
新川農林振興センター | | 1. 魚津市役所で石倉魚津市議会議長と、新川地域の諸課題—国道8号4車線化、県立高校に福祉科の設置、魚津断層帯の調査促進等—の取組みについて意見交換を行う。 2. 新川農林振興センターで、管内の土地改良事業の進捗と今後の計画について調査する。 | |
| | | | 自宅—朝日IC—魚津IC—魚津市役所—新川農林振興センター—魚津IC—朝日IC—自宅 | |
| 経費の内容 | 金額 | 経費の内容 | 金額 | |
| 鉄道・バス | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | 食事代 | | |
| 航空機 | | 会費 | | |
| 自家用車 @37 × 56 km = | 2072 | | | |
| リース車 @18 × km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | 計 | | 2072 |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | |

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 10 月 29 日
 決裁 平成 30 年 10 月 30 日
 処理 平成 30 年 10 月 31 日



| 1641 | | 実施項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
|---|--------------------|---|---------------------------------------|---|
| 実施期間 | 平成30年9月5日 | 活動の概要 | 調査活動 | |
| 実施場所 | 平成 年 月 日 まで
県議会 | 1. 国並びに富山県におけるヘルスケア産業の育成の取組みの現状について調査する。 2. 県庁における障害者雇用の実態について調査する。 | 自宅ー黒部ICー富山ICー
県議会ー富山ICー朝日IC
ー自宅 | |
| 経費の内容 | 金額 | 経費の内容 | 金額 | |
| 鉄道・バス | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | 食事代 | | |
| 航空機 | | 会費 | | |
| 自家用車 @37 × 120 km = | 4440 | | | |
| リース車 @18 × km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | 計 | 4440 | |
| <p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p> | | | | |

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されず。

收受 平成30年10月29日
 決裁 平成30年10月30日
 処理 平成30年10月31日



| 管理番号 | 1642 | | 使用項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 | |
|---|----------------|----------|---|--|---|------|
| 活動期間 | 平成30年9月7日 | | 活動の概要 | 調査活動、講演会 | | |
| | 平成 年 月 日 まで | | 1. 県議会において、常任委員会の質問のため、キャッシュレス社会に向けた国の動き等について調査する。
2. 新川文化ホールにおいて、サイエンスライター森山和道氏の講演、テーマ「ロボットによる第四次産業革命」を聴く。別紙。 | 自宅-朝日IC-富山IC-魚津IC-新川文化ホール-魚津IC-朝日IC-自宅 | | |
| 場所 | 県議会
新川文化ホール | | | | | |
| 経費の内容 | | | 金額 | 経費の内容 | | 金額 |
| 鉄道・バス | | | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | | | 食事代 | | |
| 航空機 | | | | 会費 | | |
| 自家用車 | @37 × | 125 km = | 4625 | | | |
| リース車 | @18 × | km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | | | |
| 駐車場 | | | | 計 | | 4625 |
| <p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p> | | | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年10月29日
 決裁 平成30年10月30日
 処理 平成30年10月31日



| 1643 | | 経費科目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
|--|----------------|---|----------|---|
| 平成30年9月11日 | | 活動の概要 | 調査活動 | |
| 平成 年 月 日 まで | | 1. 学力向上に関する勉強会に出席する。別紙。
2. 農協中央会及びLPガス協会役員と自民党議員会役員との意見交換会を行う。 | | 自宅-黒部IC-滑川IC-
県議会-富山IC-朝日IC
-自宅 |
| 県議会 | | | | |
| 時間 | | | | |
| 経費の内容 | | 金額 | 経費の内容 | |
| 鉄道・バス | | | 宿泊料 | |
| タクシー | | | 食事代 | |
| 航空機 | | | 会費 | |
| 自家用車 | @37 × 120 km = | 4440 | | |
| リース車 | @18 × km = | 0 | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | | 計 | |
| | | | 4440 | |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年10月29日
 決裁 平成30年10月30日
 処理 平成30年10月31日



| 整理番号 | 1844 | 経費項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
|--|-------------|-----------------------------------|---------------------------------------|---|
| 活動期間 | 平成30年9月13日 | 活動の概要 | 調査活動 | |
| | 平成 年 月 日 まで | 政調5部会と友好団体との意見交換会があり、経済建設部会に出席する。 | 自宅ー黒部ICー富山ICー
県議会ー滑川ICー黒部IC
ー自宅 | |
| 場所 | 県議会 | | | |
| 経費の内容 | 金額 | 経費の内容 | 金額 | |
| 鉄道・バス | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | 食事代 | | |
| 航空機 | | 会費 | | |
| 自家用車 @37 × 120 km = | 4440 | | | |
| リース車 @18 × km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | 計 | | 4440 |
| <p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。
枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p> | | | | |

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年10月29日

決裁 平成30年10月30日

処理 平成30年10月31日



| 管理番号 | 1880 | 使途項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
|--|------------------------------|--|--|---|
| 実行期間 | 平成30年10月4日 から
平成 年 月 日 まで | 活動の概要 | 意見交換 | |
| 場所 | ホテルグランミラージュ
県連会館 | ブロック政調会長会議の中で、議員会
役員として、各市町村の課題等につい
てヒヤリングを行い、また意見交換を
行う。 | 自宅-ホテルグランミラ
ージュ-魚津IC-富山IC-県連
会館-富山IC-朝日IC-自
宅 | |
| 経費の内容 | 金額 | 経費の内容 | 金額 | |
| 鉄道・バス | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | 食事代 | | |
| 航空機 | | 会費 | | |
| 自家用車 @37 × 125 km = | 4625 | | | |
| リース車 @18 × km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | 計 | 4625 | |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。
枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | |

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は
主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成30年11月26日

決裁 平成30年11月27日

処理 平成30年11月27日

平成30年9月5日

県連政務調査会 各位

自由民主党富山県支部連合会
政務調査会長 武田 慎一

自民党富山県連 政務調査会長「地域ブロック」別会議の開催について

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より自民党県連政務調査会活動にご理解を賜わり深く感謝申し上げます。

さて、標記の件に関し、下記日程のとおり開催いたしますので、万障お繰合せのうえ、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

また、お手数ですが、下記の出席者名簿を 9月18日(火) までに、県連事務局まで FAX 下さいますようお願いいたします。

(報告用紙)

自由民主党富山県支部連合会 FAX. 076-433-7010

| 氏名: | | |
|-------------------|---------------------------------|-----------|
| 日時 | ブロック | 出欠 |
| 上田 辰雄
10月4日(木) | 10:00 新川ブロック
「ホテルグランミラージュ」 | ご出席 ・ ご欠席 |
| | 13:00 滑川・中新川ブロック
「富山県自由民主会館」 | ご出席 ・ ご欠席 |
| | 15:30 富山ブロック 官本
「富山県自由民主会館」 | ご出席 ・ ご欠席 |
| 官本
10月5日(金) | 10:30 砺波ブロック
「TONAMI 翔凜館」 | ご出席 ・ ご欠席 |
| | 13:30 射水ブロック
「第一イン新湊」 | ご出席 ・ ご欠席 |
| | 16:00 高岡ブロック
「高岡商エビル」 | ご出席 ・ ご欠席 |

政調会
(加身(附))

| 申請番号 | 1881 | 経費項目 | 01_調査研究費 02_研修費
03_広聴広報費 04_要請陳情等活動費 |
|--|-------------------------------|-------|---|
| 実施期間 | 平成30年10月11日 から
平成 年 月 日 まで | 活動の概要 | 検討会議
中山間地域振興対策推進本部・中山間地域振興条例（仮称）検討PT合同会議を開催し、「中山間地域の新たな対策」について協議する。
自宅-朝日IC-富山IC-県議会-富山IC-朝日IC-自宅 |
| 実施場所 | 県議会 | | |
| 経費の内容 | 金額 | 経費の内容 | 金額 |
| 鉄道・バス | | 宿泊料 | |
| タクシー | | 食事代 | |
| 航空機 | | 会費 | |
| 自家用車 @37 × 120 km = | 4440 | | |
| リース車 @18 × km = | 0 | | |
| 有料道 | | | |
| 駐車場 | | 計 | 4440 |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を枚し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成30年11月26日
 決裁 平成30年11月27日
 処理 平成30年11月27日

平成30年10月1日

自由民主党
中山間地域振興対策推進本部員 及び
中山間地域振興条例（仮称）検討
プロジェクトチームメンバー 各位

中山間地域振興対策推進本部
本部長 鹿熊 正一

中山間地域振興条例（仮称）検討プロジェクトチーム
座長 宮本 光明

第5回中山間地域振興対策推進本部・第11回中山間
地域振興条例（仮称）検討プロジェクトチーム
合同会議の開催について

このことについて、下記のとおり開催しますので、ご出席願います。

記

- 1 日 時 平成30年10月11日（木）午前11時から
【昼食を用意します】
- 2 場 所 議事堂2階 大会議室
- 3 協議事項 (1) 中山間地域の新たな対策（骨子案）について
(2) 市町村長意見聴取の進め方について
(3) その他

※ご欠席の場合は控室へ連絡願います。(TEL 076-431-5244)

(参考) 当日のスケジュール

11:00 第5回中山間地域振興対策推進本部・第11回中山間地域
振興条例（仮称）検討プロジェクトチーム 合同会議
（議事堂大会議室）

午後 企画財務部会 県外視察



| 管理番号 | 1882 | 活動項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
|---|---------------------|-------|--|---|
| 活動期間 | 平成 30年10月12日 から | 活動の名称 | 意見交換、講演 | |
| 活動場所 | 平成 年 月 日 まで | 活動の内容 | 1. 新川農林振興センターで、土地改良法改正項目並びに管内の土地改良事業の現状について意見交換を行う。2. 国際会議場で開催の「3R推進全国大会」に出席し、基調講演や事例発表を聴く。別紙。 | |
| 活動場所 | 新川農林振興センター
国際会議場 | 経費の内容 | 自宅-朝日IC-富山IC-県議会-富山IC-朝日IC-自宅 | |
| 経費の内容 | 金額 | 経費の内容 | 金額 | |
| 鉄道・バス | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | 食事代 | | |
| 航空機 | | 会費 | | |
| 自家用車 @37 × 128 km = | 4736 | | | |
| リース車 @18 × km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | 計 | | 4736 |
| <p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p> | | | | |

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
 (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
 (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 30年 11月 26日
 決裁 平成 30年 11月 27日
 処理 平成 30年 11月 27日

平成30年10月1日

富山県議会議員 鹿熊 正一 様

第13回3R推進全国大会実行委員会

委員長 須河 弘美 (公印省略)

(富山県生活環境文化部長)

第13回3R推進全国大会への出席について (依頼)

初秋の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃から、本県の環境行政の推進に格別のご支援、ご協力をいただいております、心から感謝申し上げます。

さて、環境省、環境省中部地方環境事務所、富山県及び3R活動推進フォーラムでは、3Rの推進に関する理解を深め、循環型社会の形成に向けた取組を推進するため、標記イベントを下記のとおり開催します。

つきましては、ご多用のところ恐縮ではございますが、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

記


- 1 開催日時 : 平成30年10月12日 (金) 13:00~17:00
- 2 場 所 : 富山国際会議場メインホール (富山市大手町1-2)
- 3 内 容 : 別添ちらしをご参照ください。

(事務担当)

富山県生活環境文化部環境政策課 八田、鳥山

TEL 076-444-3140 (直通)、県庁内線2685

FAX 076-444-3480

E-mail 

10月は3R推進月間です。

『富山から世界に！みんなの力で3Rの未来』

平成30年

第13回 富山 3R推進全国大会

10/12(金)

13:00~17:00

(会場内12:00)

会場

富山国際会議場
大手町フォーラム

入場無料

定員500名

※会場の都合上、できる限り
事前申込みにご協力願います

お申し込みは大会実行委員会事務局へ。

第I部 13:00▶14:05 式典 ■循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰
■3R促進ポスターコンクール最優秀賞表彰

第II部 14:15▶16:55 記念シンポジウム

■基調講演1 「富山県における3Rの取組み」
富山県知事 石井 隆一 氏

■事例発表1 3Rに取り組む富山県内の団体・事業者

■事例発表2 沖縄県環境部環境整備課長 松田 了 氏

■基調講演2 「SDGs時代の改正循環計画と3Rの推進」

慶應義塾大学経済学部教授・3R活動推進フォーラム会長 細田 衛士 氏



石井 隆一 氏



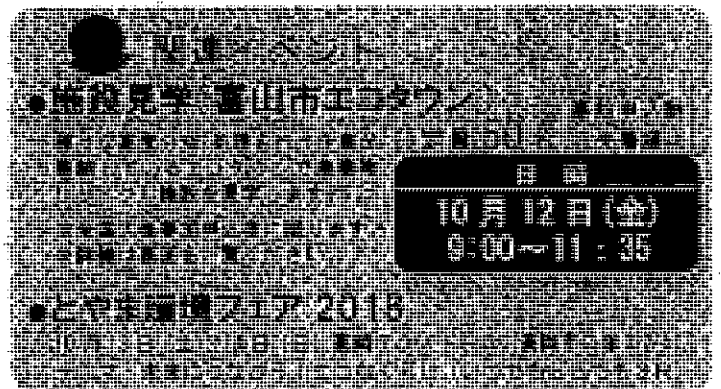
細田 衛士 氏

パネルディスカッション ～資源効率性を高めた地域循環共生圏の形成～

コーディネーター：NPO 法人持続可能な社会をつくる元気ネット理事長 崎田 裕子 氏
パネリスト：環境省、富山県、富山県婦人会、富山県消費者協会、ハリタ金属㈱

当日の催し

- 3R推進展示コーナー (10:00~18:00)
 - 平成30年度3R促進ポスターコンクール入賞作品
 - 富山県
 - 環境省中部地方環境事務所
 - 3R推進団体連絡会 (ペットボトル等容器包装リサイクル法関連8団体)
 - 3R活動推進フォーラム
 - リデュース・リユース・リサイクル推進協議会
 - その他富山県内のNPO・企業団体
 - 富山県内の自治体 ほか



『都市鉱山からつくる！
みんなのメダル！』
プロジェクト

あなたの携帯電話・デジカメなどがメダルに生まれ変わります！

富山県・富山市は、東京2020組織委員会が主催する「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」に協力しています。会場内に回収ボックスを設置いたしますので、皆様のご協力をお願いいたします。

主催 第13回3R推進全国大会実行委員会
(環境省、環境省中部地方環境事務所、富山県、3R活動推進フォーラム)

お問い合わせ先 実行委員会事務局 (3R活動推進フォーラム内) TEL: 03-6908-7311





| 経理番号 | 1883 | 経費項目 | 01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 | |
|--|----------------|--|--|--|
| 発起期間 | 平成30年10月14日 から | 活動の概要 | 意見交換 | |
| | 平成 年 月 日 まで | 北方四島交流受入事業「夕食交流会」
に出席し、富山県に訪問中の北方領土
在住ロシア人と意見交換を行う。別
紙。 | 自宅-宇奈月セレネ-自宅 | |
| | 宇奈月セレネ | | | |
| 経費の内容 | 金額 | 経費の内容 | 金額 | |
| 鉄道・バス | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | 食事代 | | |
| 航空機 | | 会費 | | |
| 自家用車 @37 × 45 km = | 1665 | | | |
| リース車 @18 × km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | 計 | 1665 | |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。
枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は
主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 年 月 日
 決裁 平成30年11月27日
 処理 平成30年11月27日

平成30年度 北方四島交流「富山県」受入れ事業
お別れ夕食交流会 次第(案)

日 時 平成30年10月14日(日) 17:00~19:00

場 所 黒部市宇奈月国際会館セレネ「小ホール」

(司 会=北対協: [REDACTED])

1. 開会挨拶 17:00~17:06
北方領土返還要求運動富山県民会議会長 [REDACTED] 氏
2. 訪問団挨拶 17:06~17:12
訪問団団長 [REDACTED] 氏
3. 来賓挨拶 17:12~17:27
内閣府特命担当大臣(沖縄及び北方対策担当) 宮腰光寛 氏
衆議院議員 田畑裕明 氏
4. 乾杯 17:27~17:31
北方領土返還要求運動富山県民会議副会長 [REDACTED] 氏

<歓 談> 17:31~17:46
5. アトラクション 17:46~18:16
マジックショー (YKKマジシャンズ部)
富山県民謡 せり込み蝶六 (魚津せり込み蝶六保存会)

<歓 談> 18:16~18:44
6. 記念品の交換 18:44~18:54
北方領土返還要求運動富山県民会議副会長 [REDACTED] 氏
訪問団団長 [REDACTED] 氏
7. 閉会挨拶 18:54~19:00
独立行政法人北方領土問題対策協会理事長 諸星 衛

平成 30 年 9 月 21 日

富山県議会議員各位

北方領土返還要求運動富山県民会議
会 長

北方四島交流受入事業「夕食交流会」のご臨席について（ご招待）

清秋の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は北方領土返還要求運動富山県民会議の各種事業について格別のご理解をいただき、厚くお礼申し上げます。

このたび、独立行政法人北方領土問題対策協会からの要請を受け、10月12日（金）から14日（日）の日程で、北方四島在住ロシア人約60名（成人）を富山県民会議が受け入れることになりました。

この事業は、北方四島に在住するロシア人との相互理解の増進を図り、北方領土問題の解決に寄与することを目的として全国的に展開されており、富山県での受入れは、平成7年度（成年）、平成14年度（青少年）、平成16年度（成年）、平成19年度（成年）、平成21年度（青少年）に次いで、今回が6度目となります。

つきましては、今回の受入事業の締めくくりといたしまして、「夕食交流会」を下記により開催いたします。ご多忙のところ恐縮に存じますが、ご臨席を賜りますようご案内申し上げます。

記

- 1 開催日時 平成30年10月14日（日）午後5時から7時まで
- 2 会 場 黒部市宇奈月国際会館「セレネ」3階 小ホール
〒938-0282 黒部市宇奈月温泉 6-3 TEL 0765-62-2000

※ 大変お手数ですが、ご出席の場合は別紙により10月1日（月）までに、回答いただきますようお願い申し上げます。（ご欠席の場合は回答は不要です）

【事務担当】北方領土返還要求運動富山県民会議事務局 鍋島
（富山県総合政策局 企画調整室内）
〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号
TEL 076-444-3948 FAX 076-444-3473

| 管理番号 | 1884 | | 活動項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
|--|-------------|-------|-------|--|---|
| 実施期間 | 平成30年10月24日 | から | 活動の名称 | 検討会議 | |
| | 平成 年 月 日 | まで | 実施場所 | 県議会 | |
| 実施内容 | 県議会 | | 実施内容 | 中山間地域振興対策推進本部・中山間地域振興条例（仮称）検討PT合同会議を開催し、「中山間地域の新たな対策」に関する知事への提言について協議する。 | |
| 経費の内容 | 金額 | 経費の内容 | 金額 | | |
| 鉄道・バス | | 宿泊料 | | | |
| タクシー | | 食事代 | | | |
| 航空機 | | 会費 | | | |
| 自家用車 @37 × 120 km = | 4440 | | | | |
| リース車 @18 × km = | 0 | | | | |
| 有料道 | | | | | |
| 駐車場 | | 計 | | 4440 | |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | | |

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年11月26日
 決裁 平成30年11月27日
 処理 平成30年11月27日

平成30年10月2日

自由民主党
中山間地域振興対策推進本部員 及び
中山間地域振興条例（仮称）検討
プロジェクトチームメンバー 各位

中山間地域振興対策推進本部
本部長 鹿熊 正一

中山間地域振興条例（仮称）検討プロジェクトチーム
座長 宮本 光明

第6回中山間地域振興対策推進本部・第12回中山間
地域振興条例（仮称）検討プロジェクトチーム
合同会議の開催について

このことについて、下記のとおり開催しますので、ご出席願います。

記

- 1 日 時 平成30年10月24日（水）午前8時45分から
- 2 場 所 議事堂2階 大会議室
- 3 協議事項 (1) 「中山間地域における集落の生活状況等に関する実態
調査」結果の中間報告素案説明（地域振興課）
(2) その他

※ご欠席の場合は控室へ連絡願います。(TEL 076-431-5244)



| 整理番号 | 1885 | 使途項目* | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
|--|-------------------------------|---|-----------|---|
| 活動期間 | 平成30年10月25日 から
平成 年 月 日 まで | 活動の概要* | | |
| 場所 | 県議会 | (内容)
自民党議員会として検討中の「中山間地域振興テーマ」と「富山湾の総合的な活用テーマ」について意見交換 | 自宅-県議会-自宅 | |
| 経費の内容* | | 金額* | 経費の内容* | |
| 鉄道・バス | | | 宿泊料 | |
| タクシー | | | 食事代 | |
| 航空機 | | | 会費 | |
| 自家用車 | @37 × 120 km = | 4440 | | |
| リース車 | @18 × km = | 0 | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | | 計 | 4440 |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 11 月 26 日
 決裁 平成 30 年 11 月 27 日
 処理 平成 30 年 11 月 27 日



| 整理番号 | 1886 | | 経途項目* | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 | |
|--|-------------|----------|---------------------------------------|--|---|------|
| 系別 | 平成30年10月29日 | から | 活動の概要* | 意見交換 | | |
| | 平成 年 月 日 | まで | | 自民党生活衛生議員と生活衛生同業組合役員との懇談会に出席し、各組合から課題や来年度の予算要望についてヒヤリングを行い意見交換をした。 | | |
| 所属 | 県議会 | | 自宅—黒部IC—富山IC—
県議会—富山IC—朝日
IC—自宅 | | | |
| 経費の内容* | | | 金額* | 経費の内容* | | 金額* |
| 鉄道・バス | | | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | | | 食事代 | | |
| 航空機 | | | | 会費 | | |
| 自家用車 | @37 × | 120 km = | 4440 | | | |
| リース車 | @18 × | km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | | | |
| 駐車場 | | | | 計 | | 4440 |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。
枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年11月26日
 決裁 平成30年11月27日
 処理 平成30年11月27日

平成30年10月1日

自由民主党 生活衛生議員 各位

自由民主党 生活衛生議員協議会
代表世話人 四方 正治

自由民主党 生活衛生議員と生活衛生同業組合
役員等との懇談会の開催について

標記の懇談会を下記のとおり開催しますので、ご出席くださるようご案内申し上げます。

つきましては、参加の有無について、別紙により10月15日(月)までに自民党 控室にご連絡くださるようお願いいたします。

記

- 1 日 時 平成30年10月29日(月) 午前10時から
- 2 場 所 富山県議会 議事堂2階 大会議室
- 3 出席者 自由民主党 生活衛生議員
富山県生活衛生同業組合 各理事長及び副理事長等
- 4 内 容 来年度 予算要望等について

- 5 相手方 生活衛生同業組合 役員 (理容、クリーニング、ホテル旅館、公衆浴場業、鮎商、麺類飲食業、中華料理、喫茶飲食、飲食業、社交飲食、食肉)



| | | | |
|--|--|----------------------|-----------------------|
| 管理番号 | 1887 | 事業種別 | |
| 使途項目 | 03_広聴広報費 | 01_調査研究費
06_資料作成費 | 02_研修費
07_資料購入費 |
| | | 03_広聴広報費
08_事務所費 | 04_要請陳情等活動費
09_事務費 |
| | | 05_会議費
10_人件費 | |
| 内容 | 鹿熊正一県政報告会と堂故茂氏記念講演会
日時 平成30年10月23日(火)午後7時
会場 アゼリアホール | | |
| | （費の内容） | 金額（円） | 比率 |
| | 施設使用料 | 16049 | 50% |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | （合 計） | 16049 | |
| 《領収書貼付枠》 （原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。） | | | |

收受 平成 30 年 11 月 26 日
 決裁 平成 30 年 11 月 27 日
 処理 平成 30 年 11 月 27 日

御請求書

平成30年10月29日

鹿熊正一後援会 様

下記の通りご請求申し上げます。
(10月23日 施設使用料)

下新川郡朝日町平柳
朝日商業開発株式会社
あさひコミュニティホール
アゼリア

合計金額 ￥32,098

| 摘要 | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|----|----|----|----|----|----|
|----|----|----|----|----|----|

領 収 書

下記の納入金額を領収致しました。

平成 30年 10月 29日

申請番号

| | | | | | | |
|------------------|------------------|------|------|--------|-----|-------------------------------|
| 納
入
者 | 住所 〒 () | | | | | |
| | 団体名 朝日町鹿熊正一後援会 様 | | | | | 領収
30.10.29
朝日商業
開発株 |
| | 代表者 様 | | | | | |
| 納
入
金
額 | 基本使用料金 | 割増料金 | 割引料金 | 附属設備料金 | 消費税 | 合計金額 |
| | 別紙(アゼリア) | | | | | 432,098円 |

富山県下新川郡朝日町平柳
朝日商業開発株式会社 TEL (0765) 83-2000
朝日コミュニティホール FAX (0765) 82-2060

| | | |
|----------------------------------|-----|--------|
| 【振込先】
富山第一銀行 泊支店
(普)145612 | 小計 | 29,720 |
| | 消費税 | 2,378 |
| | 合計 | 32,098 |

※送金手数料は、ご負担ください。

鹿熊正一後援会臨時総会(H30.10.23) 県政報告の概要

1. 私の政治活動の5つの柱

- ・課題に挑戦 ・政策を磨く ・現場を走る ・知事に迫る
- ・国に申す 県全体予算の確保が大前提、そこで国にしっかり要望する

この柱は変えずに、邁進したい

2. 政治活動の重点

- ・地元の今の課題前進に全力であたる

安全対策 防災対策 農業基盤整備 有害鳥獣対策

残念なこともある 泊高校存続 高校福祉課設置など 他は、着実に前進している

- ・社会の変化をとらえ、手を打つ

人口減少 自治体財政にも地域の活力にも影響する

中央対地方

富山県における中央と地方

薬の富山、ものづくり富山、立山黒部の世界ブランド化といったところで、朝日や入善、氷見や南砺が発展しなくてどうして富山の発展といえるのか。どうして県民の幸せと言えるのか。

朝日や新川のためにやるべきことが山積

3. これから取り組むべきテーマをあげる。

(1)自治体による戦略的エネルギー政策構想

- ・税収以外の収益源を獲得する
- ・自家消費エネルギーの地産地消により富を逃さない
- ・地域産業を育成し成長と雇用増大を図る

(2)人口減少化における持続可能な社会の形成(中山間地域対策の目標)

- ・地域コミュニティの再生

- 地域経済の活性化、若者等の所得増大

- 生活に直結するサービスの確保

⇒そのために

- 県の組織・体制の強化

- 中山間地域創生推進交付金の創設

- 富山県中山間地域創生総合戦略の策定 等

(3)人口減少であるが故に子供を大事にした施策を推進

- 教育環境 いじめ対策、不登校対策

- 児童虐待対策

- 地域で育てる お祭りの継承

- 食育

(4)朝日町、入善町、新川の種々の課題前進に全力を注ぐ

- 社会資本整備 安全対策、防災対策、農業基盤整備

- 教育環境整備

- 医療福祉環境の整備

朝日町 鹿熊正一後援会 臨時総会のご案内

かくま正一

朝日町、新川、富山を熱く語る !!

※ 日 時 : 10月23日 (火) 午後7時～


※ 会 場 : アゼリアホール

※ 記念講演 : 堂故 茂 参議院議員

演 題「ふるさとに根っこがある
人づくり、国づくり」

お誘い合わせてご参加下さいますよう
お願い申し上げます。

朝日町鹿熊正一後援会

報告者* 

| | | |
|--------------------|--------------------|--|
| 年度 | 1888 | |
| 経費項目 | 03_広聴広報費 | 01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費
06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費 |
| 内容 | ホームページホスティング料 10月分 | |
| 経費内容 | 金額 (円) | 割合 |
| ホームページホスティング料 10月分 | 8,467 | 80% |
| (合 計) | 8467 | |

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を複数、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)



領 収 証 005622

鹿熊正一 様 平成 30 年 11 月 12 日

¥ 10,584-

但し、HPホスティング料(10月分)
上記の金額正に領収いたしました。

| | | |
|---|-------|---|
| 内 | 印刷物代金 | ¥ |
| 取 | 消 費 税 | ¥ |

株式会社  印刷
代表取締役 
〒08-002 札幌市南區南一条 5-1-1 (066)54-0128

取 入
印 紙

取 扱 書 印

收受 平成 30 年 11 月 26 日
 決裁 平成 30 年 11 月 27 日
 処理 平成 30 年 11 月 27 日



| 1889 | | |
|----------|----------------------|------------------------|
| 03_広聴広報費 | 01_調査研究費
06_資料作成費 | 02_研修費
07_資料購入費 |
| | 03_広聴広報費 | 04_要請陳情等活動費
08_事務所費 |
| | 05_会議費 | 09_事務費
10_人件費 |
| かくま正一通信 | N035 制作・印刷代 | 850部 |
| かくま正一通信 | N035 郵送費 | 315通 |
| 種別 | 金額(円) | 備考 |
| 制作費 | 30000 | / |
| 印刷代 | 78500 | / |
| 消費税 | 8680 | / |
| 郵送費 | 25830 | 82円×315通 / |
| (合 計) | 143010 | |

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を撤し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領 収 証 007088

鹿熊後援会事務所様 平成30年11月9日

¥ 117,180 -

但しかくま通信印刷費
上記の金額正に領収いたしました。

| | | |
|---|-------|---|
| 内 | 印刷物代金 | ¥ |
| 取 | 消費税 | ¥ |

株式会社 鹿熊の印刷
代表取締役 寛 印
〒738-0012 鹿熊市(鹿熊町)54-0

収入印紙 200円

取扱者印

收受 平成30年11月26日
 決裁 平成30年11月27日
 処理 平成30年11月27日

領収書

様

| | | |
|-----------|-------|---------|
| [別納引受] | | |
| 区内特別基 (定) | 26.0g | |
| 082 | 233通 | ¥19,106 |
| 小計 | | ¥19,106 |
| ----- | | |
| 第一種定形 | 22.5g | |
| 082 | 43通 | ¥3,526 |
| 小計 | | ¥3,526 |
| ----- | | |
| 第一種定形 | 32.5g | |
| 092 | 39通 | ¥3,588 |
| 小計 | | ¥3,588 |
| ----- | | |
| 郵便物引受合計通数 | 315通 | |
| 課税計 | | ¥26,220 |
| (内消費税等) | | ¥1,942 |
| 非課税計 | | ¥0 |
| △計 | | ¥26,220 |
| お預り金額 | | ¥26,220 |

→ 他の資料も
あり。92月と
あてあはす

〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時：2018年10月12日 15:29
担当：[REDACTED]
発行No. 181012A5234 端N15箱01
連絡先：泊郵便局
TEL:0765-83-0910

939-0742

富山県下新川郡朝日町沼保977-1

鹿熊後援会事務所

御中

002114

納品書

平成30年10月11日

伝票No. 123542



HeartFull Communication

株式会社すかの印刷

〒938-0802 富山県黒部市若栗2630

TEL (0765) 54-0112(代) FAX (0765) 54-4073

| 区分 | 商品コード | 商品名 | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|----|-------|-------------------|-----|----|----|---------|---------------|
| 売上 | 0214 | かくま正一通信 NO.35 印刷代 | 850 | 部 | | 78,500 | 消費税率：8.0% |
| 売上 | 059 | 制作費 | 1 | 式 | | 30,000 | 消費税率：8.0% |
| * | | 上記の取引の消費税等 | | | | 8,680 | 外税品計 108,500円 |
| 摘要 | | | | | 合計 | 117,180 | |

担当

トピックス

7/13 県政・町政報告会

5月から7月までの間に9会場で開催。



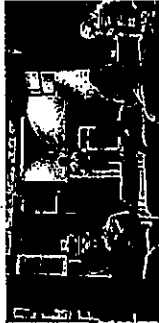
7/10 あさひ野小学校 ICT教育視察

教育現場の大きな変革を体験。



7/16 第6回寺子屋カレッジ

若手工場で実践したい若者を来しんが館に集約発表。



9/6 朝日町再学生会議に出席

若者達の町再生の熱意が伝わってきます。



9/23 全拉致被害者の即時一括帰国を！

国民大集會に出席



北朝鮮情勢急変化の中での熱気ある集會

私は今後、次のテーマにしっかりと取り組みます

- ◆朝日町・入善町の地方創生施策を支援 (少子化対策、産業振興策、移住定住策等)
- ◆持続可能な中山間地域・集落の形成のための施策の推進
- ◆油高校跡地対策と新高校の敷地確保の整備
- ◆安全・安心対策
 - ・国道8号の安全対策
 - ・(雄山トンネル・積屑トンネル・親不知区画等)のインフラ整備促進
- ◆有害菌対策の強化等
- ◆不登校・ひきこもり対策の充実
- ◆障害児・者の教育や雇用等障害者福祉の充実
- ◆食育の推進等による健康寿命の延伸対策の充実

かくま正一の役職

- ◆**役職**
 - 経済建設常任委員会所属
 - 次世代人材育成・確保特別委員会所属
- ◆**自民党**
 - 議員会派 (自民党連立会派)
 - 中山間地域振興対策推進本部員
 - 医療問題委員会
 - 経済建設委員会・農業問題委員会
 - 水産問題委員会・教育問題委員会などに所属
 - 自民党朝日町支部長
- ◆**所属団体**
 - 山村振興議員連盟会長
 - 自民民主党連立議員連盟会長
 - 日中友好中山間地域振興議員連盟会長
 - 北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出する中山間地域振興議員連盟副会長
 - MOA議員連盟
 - 観光振興議員連盟
 - スポーツ振興議員連盟
 - 若工会議議員連盟
 - 自治体交流議員連盟 など
- ◆**他の団体**
 - 新川地産地消協議会
 - 下新川海洋漁業関係協議連盟会長
 - 重山県立いわかわ総合支援学校教育委員会副委員長
 - 重山県土改問題関係団体連合会副会長
 - (公財)重山県消防協会副会長
 - 重山県宝生会会長
 - 朝日町消防団長
 - 朝日町サッカー協会名誉会長 など

かくま正一 通信

今どあしたに責任を持つ政策

〈発行日〉平成30年10月 (発行所) 自由民主党重山県議員会議員会
 〈郵便所〉〒939-0742 下新川郡朝日町岩尾977-1
 (TEL) 0765-82-1333 (FAX) 0765-82-2113
 (URL) http://kakuma-masakazu.jp (Eメール) masakazu@kakuma.net

こあいさつ

皆様こんにちは。平素より皆様の温かいご指導、ご支援を賜わり、元気に充実した議員活動ができております。ここにあらためて心より感謝申し上げます。当通信35号では、この春以降の私の活動状況を、《課題に挑む》《政策を語る》《現場を走る》《知事を目指す》の観点から報告させて頂きたいと存じます。

そして、4ページには、今後、私が力を入れて取り組みたいテーマを記させて頂きました。何卒、引き続き皆様のご指導と叱咤激励を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年秋 鹿熊 正一

Good News!

宮腰 光寛氏 入閣

10月2日に発足した第4次安倍内閣において、宮腰光寛衆議院議員が、沖縄北方・一徳総務副大臣に就任されました。宮腰大臣は、これまで北方領土問題や沖縄振興に精力的に取り組んでこられただけに大活躍が期待されます。また、重山県の課題の前進にも実力を発揮されることを期待します。翌3日に、大臣登壇を訪問し祝意を伝え喜びました。宮腰大臣の重責に願わぬ決意が伝わってきました。



認識を共有

中山間地域の振興

中山間地域振興に関する勉強会
 持続可能な地域社会総合研究所長 藤山 浩氏
 演題「人口・所得の1%改善し町民、田舎回帰を支える社会システム」 系府産研の検討に当たり参考になった。

4/9



5/24

安心・安全を確保するインフラ整備が基本
 中山間地域である旭川地区の県土木・県森林振興センターへの視察活動に付する。集落内には、集落集約地域危険区域の安全対策等。

講演する重山浩氏

政策を磨く

5/21 5/29

自民党友好団体及び自民党市町村支部政策責任者との意見交換会
東海のリアルな声をお聞きし政策提言に活かす。



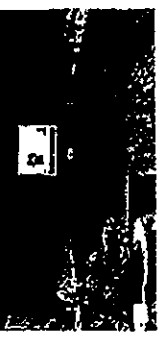
友好団体との意見交換

6/1

新川地域経済産業懇談会
新川2市3町の商工会連合、商工会の会派、会派等と
懇談し新川地域の課題についての認識を共有する。



友好団体との意見交換



友好団体との意見交換

8/10

富山県農林法人協会、富山県企業振興協会の役員
との意見交換
◎スマート農業普及のためにはNIT光回線の県内一円の敷設が先決課題
◎畑の石を取り除くストーンピッカー購入支援の必要性
◎農業の6次産業化の推進とHACCP導入の課題等



富山県農林法人協会の富田法政会会長のあいさつ

この他にも、県医師会、県農協中央会等多くの組織と意見交換を行う。

現場を走る

◎道路潤滑整備の
リフレッシュ事業

生徒や高齢者の歩行安全
確保のために整備を急がね
ばならない。



不眠症〜排水体の整備

上今江町内の整備

香洲に整備された遊歩道の姿
(新川市内)

◎農業用ため池
改修事業の促進

美濃橋ため池と福山西ため池の耐震化に対
応及び、老朽化対策が必要。



福山西ため池

知事政略

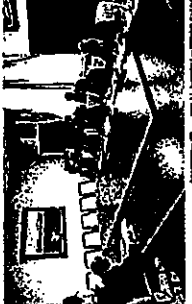
◎代表質問 6/13



入づくり、地方再生の深化に向けた取組み、地域経済の活性化、安
全・安心な暮らしの実現の4項目で255問の質問をいたしました。特に、次の
3点に力点を置きました。知事の答弁の要旨は、富山県議会のHPに掲載
されていますが、質問の趣旨を理解した要約的な答弁でありました。

- ◎高校再編統合対象校の生徒に対する学びの保証について
- ◎黒部川ダム運送機材の供出と乗客等の不安解消と影響調査の充
実にについて (深瀬湖産など)
- ◎居住外国人との共生への取組みについて

◎朝日町要望 7/17



朝日町長 石井真樹に要望説明

- ◎県立柏崎高校の再編統合に係る諸支援について
- ◎サテライトオフィス誘致の進捗に関する財政的支援や光回線の町内全域
展開への支援について
- ◎富山県文化芸術振興の導入事業に対する一般コミュニケーション助成事業
の採択について
- ◎小中学校へのスクールカウンセラー等の配置の充実並びに教員支援
スタッフ (スタディメイト、副活動指導員、英語専科教員等) の採用
に対する支援について
- ◎住民の安全安心確保のための土木部及び農林水産部関係のインフラ
整備の促進について

◎新川地域
推進協議会要望 8/27



石井知事との対話の様子

- ◎子育て関連対策の推進について
- ◎県議会の県立高校における専任専門科新設による介護人材の養成・
確保について
- ◎国道8号入道町門山〜上野の環状区間の整備促進等道路関係の整備促
進について
- ◎産地対策や漁業・海産物関係等海産物関係の促進について
- ◎医師・看護師関係や病院改善関係等医療関係の促進につ
いて

国政在中

◎自民党議員会
国土交通省北陸地方
整備局 (新潟市) に要望 6/29




小嶋局長 (出陣) 幹事部の皆様は

◎自民党議員会
党本部、農林水産省、国土交通省、
文部科学省に要望 8/22



二階幹事長に

- ◎北陸新幹線の大阪までの
早期の延伸
- ◎地方産出物と県土強固
化のためのインフラ整備
の促進
- ◎小中学校・中高校に汚染地
盤浄入を促進するための
支援 等

報告者* 

| | |
|------------|--|
| 1890 | |
| 07_資料購入費 | 01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費
08_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費 |
| 新聞代金 10月分 | |
| 北日本新聞、日経新聞 | 7,072 |
| 富山新聞 | 3060 |
| 読売新聞 | 3093 |
| | 13225 |

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)



領収書

| 区 域 | 全 戸 数 | お問い合わせ先 |
|-----|-------|---------|
| 34 | 85.00 | 1899 |

お名前 鹿熊 正一様

殿町1495

30年 10月分

84-8305

◇左記の通り領収しました

| 銘 柄 | 部 数 | 金 額 |
|--------|-----|---------|
| 1 読売新聞 | 1 | 3,093 |
| 2 | | |
| 3 | | |
| 合 計 | | 3,093 円 |

領収日 20年 10月 29日

便利な自動振替受付中！手数料はいりません

Y C 泊

富山県下新川郡朝日町泊 3 1 8

0765-82-0971



※裏面もあわせて内容を十分お読みください。

| | | | |
|-------------|------|--------|---------|
| 21 30-10-31 | 新聞代金 | *7,072 | |
| 22 30-11-02 | | *3,060 | トヤマシンブン |

收受 平成 30年 11月 26日
 決裁 平成 30年 11月 27日
 処理 平成 30年 11月 27日



| | | |
|------|-------------------------|--|
| 経理科目 | 1891 | |
| 代表科目 | 08_事務所費 | 01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広報広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費
06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費 |
| 内容 | 電気料金 10月分
事務所賃借料11月分 | |
| 経理科目 | | |
| 内容 | 電気料金 10月分 | 1,795 50% |
| 内容 | 事務所賃借料 11月分 | 15000 50% |
| 合計 | | 16795 |

《領》 D30-11-7 電気料金 3,591 ネットキャッシング (ご利用すること。)

しんきんポライ

ネットキャッシュサービス取扱票
(ご利用明細票)

| | | | | | | | |
|------------------------------------|--------------|------|----|----|-------|-----|--|
| お取引日 | 30-11-02 | 取扱金額 | | 店番 | | 通番 | |
| 口座番号 | | | | | | | |
| *****-*****-***** | | | | | | | |
| お取引金額 | 003000000000 | | | | | | |
| お取引後の金額 | ¥30,000* | | | | | | |
| お振込 | ¥0 | | | | | | |
| 手数料 | ¥0 | ページ | 09 | 時刻 | 09:30 | おつり | |
| カクマサカス コウエイカイ様
TEL0765-82-1333 | | | | | | | |
| 印刷税申告納
*持つきき戻
*税務申告
***** | | | | | | | |
| ご利用ありがとうございました。 | | | | | | | |

にいかお信用金庫

收受 平成 30 年 11 月 26 日
 決裁 平成 30 年 11 月 27 日
 処理 平成 30 年 11 月 27 日

| | | |
|---|--|--------|
| 管理番号 | 189Z | |
| 交付項目 | 10_人件費 | |
| | 01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費
06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費 | |
| 内容 | 人件費 10月分 | |
| | 経費の内訳 | 金額(円) |
| | 人件費 10月分 | 25,412 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | (合 計) | 25412 |
| <p>【領収書貼付枠】 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p> | | |

收受 平成 30 年 11 月 26 日
 決裁 平成 30 年 11 月 27 日
 処理 平成 30 年 11 月 27 日

給料計算書(書)

平成30年

| 月 | 日 | 曜日 | 就業時間 | 実勤h | 月 | 日 | 曜日 | 就業時間 | 実勤h |
|----|----|----|-------------|------|---|----|----|------------|------|
| 10 | 1 | 月 | 8:30~14:30 | 5 | 9 | 16 | 火 | | |
| | 2 | 火 | | | | 17 | 水 | 8:30~14:30 | 5 |
| | 3 | 水 | 8:30~14:30 | 5 | | 18 | 木 | | |
| | 4 | 木 | | | | 19 | 金 | 8:30~14:30 | 5 |
| | 5 | 金 | | | | 20 | 土 | | |
| | 6 | 土 | | | | 21 | 日 | | |
| | 7 | 日 | | | | 22 | 月 | 8:30~14:30 | 5 |
| | 8 | 月 | | | | 23 | 火 | | |
| | 9 | 火 | | | | 24 | 水 | 8:30~14:30 | 5 |
| | 10 | 水 | 8:30~14:30 | 5 | | 25 | 木 | | |
| | 11 | 木 | | | | 26 | 金 | 8:30~14:30 | 5 |
| | 12 | 金 | | | | 27 | 土 | | |
| | 13 | 土 | | | | 28 | 日 | | |
| | 14 | 日 | | | | 29 | 月 | 8:30~14:30 | 5 |
| | 15 | 月 | 10:00~14:30 | 3.5 | | 30 | 火 | | |
| | | | | | | 31 | 水 | 8:30~14:30 | 5 |
| | | | 小 計 | 18.5 | | | | 小 計 | 35 |
| | | | | | | | | 合 計 | 53.5 |

| | | | | |
|--|------|------|--|--------|
| | (時給) | (時間) | | (給与) |
| | 950 | 53.5 | | 50,825 |
| | 円 | 時間 | | 円 |

領 収 証

自由民主党富山県議会議員
鹿熊正一様

25,412 円

平成30年 11月 2日

上記金額正に領収いたしました





| | | | | | |
|---|-------------|----|-------|---|--|
| 管理番号 | 2188 | | 経費項目 | 01_調査研究費
01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 | |
| 活動期間 | 平成30年10月1日 | から | 活動の概要 | 高速代 | |
| | 平成30年10月31日 | まで | | | |
| 経費 | | | | | |
| 経費の内容 | | | 金額 | 金額 | |
| 鉄道・バス | | | | 宿泊料 | |
| タクシー | | | | 食事代 | |
| 航空機 | | | | 会費 | |
| 自家用車 @37 × km = | | | 0 | | |
| リース車 @18 × km = | | | 0 | | |
| 有料道 | | | 5,300 | | |
| 駐車場 | | | | 計 | |
| | | | | 5300 | |
| <p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p> | | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年12月26日
 決裁 平成30年12月28日
 処理 平成30年12月28日

| ご利用年月日 | ご利用店名 | ポイント | ご利用金額(円) | お支払方法 | 回数 | 今回ご請求金額(円) | 概要 |
|-----------------|-------------|------|----------|-------|----|------------|-----------|
| 181004 | ETC前払・マイル超過 | ☆ | 1060 | 1回払 | 1 | 1060 ETC | 富山 朝日 普通車 |
| 181011 | ETC通行料金 | ☆ | 420 | 1回払 | 1 | 420 ETC | 魚津 黒部 普通車 |
| 181011 | ETC通行料金 | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 富山 普通車 |
| 181012 | ETC通行料金 | ☆ | 650 | 1回払 | 1 | 650 ETC | 朝日 魚津 普通車 |
| 181012 | ETC通行料金 | ☆ | 950 | 1回払 | 1 | 950 ETC | 魚津 富山 普通車 |
| 181012 | ETC通行料金 | ☆ | 1010 | 1回払 | 1 | 1010 ETC | 富山 朝日 普通車 |
| ** 今回ご利用金額合計 ** | | | 11860 | | | | |
| ** ご請求金額合計 ** | | | | | | 11860 | |

※ポイント:今回ポイント獲得対象のご利用に☆等を表示、※お支払方法:お支払方法はお支払回数を表示(※1-ボーナス1回払い※2-ボーナス2回払い)、※今回回数:今回のお支払いが何回目かを表示、※摘要:ボーナス払いのお支払い月など一部のご利用についてのご説明(海外でのご利用には現地通貨・通貨略称・換算レート)を表示、○は支払方法を変更できます。ただし一部要望にお応えできない場合がございます。



| 管理番号 | 1880 | 経費項目 | 01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 | |
|--|------------------------------|--|--|--|
| 活動期間 | 平成30年10月4日 から
平成 年 月 日 まで | 活動の概要 | 意見交換 | |
| 場所 | ホテルグランミラージュ
県連会館 | ブロック政調会長会議の中で、議員会
役員として、各市町村の課題等につい
てヒヤリングを行い、また意見交換を
行う。 | 自宅-ホテルグランミラ
ージュ-魚津IC-富山IC-県連
会館-富山IC-朝日IC-自
宅 | |
| 経費の内容 | 金額 | 経費の内容 | 金額 | |
| 鉄道・バス | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | 食事代 | | |
| 航空機 | | 会費 | | |
| 自家用車 @37 × 125 km = | 4625 | | | |
| リース車 @18 × km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | 計 | 4625 | |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を撤し、重ならないように貼付すること。
枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は
主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年11月26日
 決裁 平成30年11月27日
 処理 平成30年11月27日

| 管理番号 | 1881 | 経費科目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
|--|----------------|--|-------------------------------|---|
| 活動期間 | 平成30年10月11日 から | 活動の概要 | 検討会議 | |
| | 平成 年 月 日 まで | 中山間地域振興対策推進本部・中山間地域振興条例（仮称）検討PT合同会議を開催し、「中山間地域の新たな対策」について協議する。 | 自宅-黒部IC-富山IC-県議会-魚津IC-黒部IC-自宅 | |
| 開催地 | 県議会 | | | |
| 経費の内容 | 金額 | 経費の内容 | 金額 | |
| 鉄道・バス | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | 食事代 | | |
| 航空機 | | 会費 | | |
| 自家用車 @37 × 120 km = | 4440 | | | |
| リース車 @18 × km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | 計 | 4440 | |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年11月26日
 決裁 平成30年11月27日
 処理 平成30年11月27日

| 活動番号 | 1882 | 使用経費 | 01_調査研究費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 | |
|--|-------------------------------|--|--|------|
| 活動期間 | 平成30年10月12日 から
平成 年 月 日 まで | 活動内容 | 意見交換、講演 | |
| 開催場所 | 新川農林振興センター
国際会議場 | 1. 新川農林振興センターで、土地改良法改正項目並びに管内の土地改良事業の現状について意見交換を行う。2. 国際会議場で開催の「3R推進全国大会」に出席し、基調講演や事例発表を聴く。別紙。 | 自宅-朝日IC-魚津IC-新川農林-魚津IC-富山IC-県議会-富山IC-朝日IC-自宅 | |
| 経費の内容 | | 金額 | 経費の内容 | 金額 |
| 鉄道・バス | | | 宿泊料 | |
| タクシー | | | 食事代 | |
| 航空機 | | | 会費 | |
| 自家用車 | @37 × 128 km = | 4736 | | |
| リース車 | @18 × km = | 0 | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | | 計 | 4736 |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | |

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数・(km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成30年11月26日
 決裁 平成30年11月27日
 処理 平成30年11月27日

報告者* 

| 管理番号 | 2189 | 経費項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
|--|---------------|---|-----------|---|
| 活動期間 | 平成30年11月2日 から | 活動の概要 | 調査活動 | |
| | 平成 年 月 日 まで | 中山間地域対策に関する提言案について検討する。特に、①中山間地域の課題をどのように整理するか。②その課題に対する対策・施策をどのように体系づけるか。この2点について検討する。 | 自宅ー県議会ー自宅 | |
| 開催場所 | 県議会 | | | |
| 経費の内容 | 金額 | 経費の内容 | 金額 | |
| 鉄道・バス | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | 食事代 | | |
| 航空機 | | 会費 | | |
| 自家用車 @37 × 120 km = | 4440 | | | |
| リース車 @18 × km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | 計 | 4440 | |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を枚し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年12月26日
 決裁 平成30年12月28日
 処理 平成30年12月28日



| | | | | | |
|--|------------|----------|---------------------------------------|---|---|
| 整理番号 | 2190 | | 経費項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
| 活動期間 | 平成30年11月6日 | から | 活動の概要 | 調査活動 | |
| | 平成 年 月 日 | まで | | 1. 中山間地域対策に関する提言案について検討する。特に、中山間地域においてどのような産業が成り立つか。またそのための必要条件は何か、この点について検討する。2. 県内の居住外国人の抱える課題について調査する。 | |
| 公研 | 県議会 | | 自宅ー黒部ICー富山ICー
県議会ー富山ICー朝日IC
ー自宅 | | |
| 経費の内容 | | | 金額 | 経費の内容 | |
| 鉄道・バス | | | | 宿泊料 | |
| タクシー | | | | 食事代 | |
| 航空機 | | | | 会費 | |
| 自家用車 | @37 × | 120 km = | 4440 | | |
| リース車 | @18 × | km = | 0 | | |
| 有料道 | | | | | |
| 駐車場 | | | | 計 | 4440 |
| <p>（領収書貼付枠）（原則、領収書を枚し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。）</p> | | | | | |

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年12月26日
 決裁 平成30年12月28日
 処理 平成30年12月28日

| | | | | |
|---|------------------------------|---|---------------------------------------|---|
| 経費番号 | 2191 | 経費項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
| 活動期間 | 平成30年11月8日 から
平成 年 月 日 まで | 活動の概要 | 調査活動 | |
| 開催 | 県議会 | 中山間地域対策推進本部と中山間地域対策推進条例制定PTとの合同会議を開催し、知事への提言内容について検討する。特に、新技術を活用した振興策や定期的な中山間地域実態調査の必要性等が焦点となる。 | 自宅ー入善ICー富山ICー
県議会ー魚津ICー朝日IC
ー自宅 | |
| 経費の内容 | | 金額 | 経費の内容 | |
| 鉄道・バス | | | 宿泊料 | |
| タクシー | | | 食事代 | |
| 航空機 | | | 会費 | |
| 自家用車 | @37 × 120 km = | 4440 | | |
| リース車 | @18 × km = | 0 | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | | 計 | |
| | | | 4440 | |
| <p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p> | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年12月26日
 決裁 平成30年12月28日
 処理 平成30年12月28日

平成30年11月8日

自由民主党
中山間地域振興対策推進本部員 及び
中山間地域振興条例（仮称）検討
プロジェクトチームメンバー 各位

中山間地域振興対策推進本部
本部長 鹿熊 正一

中山間地域振興条例（仮称）検討プロジェクトチーム
座長 宮本 光明

第7回中山間地域振興対策推進本部・第13回中山間
地域振興条例（仮称）検討プロジェクトチーム
合同会議の開催について

このことについて、下記のとおり開催しますので、ご出席願います。

記

- 1 日 時 平成30年11月8日（木）正午から
【昼食を用意します】
- 2 場 所 議事堂2階 大会議室
- 3 協議事項 (1) 市町村長意見聴取結果について
(2) 「中山間地域の新たな対策」（案）について
(3) 条例の構成（案）について
(4) その他

※ご欠席の場合は控室へ連絡願います。(TEL 076-431-5244)

(参考) 当日のスケジュール

- | | |
|-------|--|
| 11:00 | 決算特別委員会理事会（議事堂第5委員会室） |
| 12:00 | <u>第7回中山間地域振興対策推進本部・第13回中山間地域
振興条例（仮称）検討プロジェクトチーム 合同会議
（議事堂大会議室）</u> |
| 14:00 | 北陸3県議会議長会議・議員研修会（ANAクラウン ラザ ホテル金沢） |



| 整理番号 | 2192 | 使用項目 | 01_調査研究費
01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
|---|------------------------------|-------|--|
| 活動期間 | 平成30年11月9日 から
平成 年 月 日 まで | 活動の概要 | 調査活動
1. 山村振興議連の知事に対する平成31年度予算要望について調査検討する。
2. 平成29年度決算審査に関連して、県地方創生戦略に掲げる指標に対する達成度合いを調査する。 |
| 実施場所 | 県議会 | | 自宅ー黒部ICー富山ICー
県議会ー富山ICー朝日IC
ー自宅 |
| 経費の内容 | 金額 | 経費の内容 | 金額 |
| 鉄道・バス | | 宿泊料 | |
| タクシー | | 食事代 | |
| 航空機 | | 会費 | |
| 自家用車 @37 × 120 km = | 4440 | | |
| リース車 @18 × km = | 0 | | |
| 有料道 | | | |
| 駐車場 | | 計 | 4440 |
| <p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p> | | | |

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年12月26日
 決裁 平成30年12月28日
 処理 平成30年12月29日



| 整理番号 | 2193 | 経費項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
|--|------------------------------|--|---------------------------------------|---|
| 活動期間 | 平成30年11月2日 から
平成 年 月 日 まで | 活動の概要 | 調査活動 | |
| 場所 | 県議会 | 1. 県政報告会のための調査として、朝日町の都市計画道路停車場東草野線と2級河川寺川の暫定的工事の進捗状況を調べる。2. 自民党議員会の提言である「富山湾が未来を拓く」の多岐に亘る論点について調査・勉強する。 | 自宅-黒部IC-富山IC-
県議会-富山IC-朝日IC
-自宅 | |
| 経費の内容 | 金額 | 経費の内容 | 金額 | |
| 鉄道・バス | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | 食事代 | | |
| 航空機 | | 会費 | | |
| 自家用車 @37 × 120 km = | 4440 | | | |
| リース車 @18 × km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | 計 | 4440 | |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を枚し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年12月26日
 決裁 平成30年12月28日
 処理 平成30年12月28日

| 整理番号
2194 | | 経費項目
04_要請陳情等活動費 | | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 | |
|---|------------------------|---------------------|---|---|--|
| 活動期間 | 平成30年11月13日 から | 活動の概要 | 要請活動 | | |
| | 平成30年11月14日 まで | | ・自民党議員会としての要請活動
・下新川海岸整備事業促進議員連盟としての要請活動 | | |
| 活動 | 自民党本部 財務省 国土交通省 農林水産省等 | | | | 自宅ー黒部宇奈月温泉駅
ー東京駅ー自民党本部、国土交通省、農林水産省、財務省ー東京駅ー黒部宇奈月温泉駅ー自宅(黒部宇奈月温泉駅・東京往復については、別途旅費支給) |
| | | | | | |
| 活動の内容 | | 金額 | | 金額 | |
| 鉄道・バス | | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | | 食事代 | | |
| 航空機 | | | 会費 | | |
| 自家用車 | @37 × 30 km = | 1110 | | | |
| リース車 | @18 × km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | | |
| 駐車場 | | 900 | 計 | | 2010 |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | | |
| <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 黒部市宮新幹線駅第1駐車場 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
領 収 証
入庫日時 2018年11月13日 07時46分
出庫日時 2018年11月14日 22時49分
No.01-000252 券No.01-040895
駐車料金(一般) 900円
料金計 900円
投入現金 1,000円
釣銭額 100円 | | | | | |

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
 (注2) 自家用車は利用距離数(Km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
 (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年12月26日
 決裁 平成30年12月28日
 処理 平成30年12月28日

県外・海外政務活動報告書

平成30年12月26日

| | | | |
|---|--|--------|----|
| 整理番号 | 2194 | 会派・議員名 | 鹿熊 |
| 活動名称 | | | |
| 目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・富山県の重要要望事項について党本部他に要請等。 ・下新川海岸の整備促進について関係府庁に要請等。 | | |
| 日程 | 平成30年11月13日(火)～平成30年11月14日(水) | | |
| 場所
[国名・都市名、施設名、訪問先等] | <ul style="list-style-type: none"> ・自民党本部 ・国土交通省 ・財務省 ・農林水産省 | | |
| 相手方等
[主催者、対応者、参加者、同行者等] | <ul style="list-style-type: none"> ・二階幹事長他自民党役員 ・麻生財務大臣 ・農林水産省木下新川漁港漁場整備部長他 | | |
| <p>行程・活動内容</p> <p>自宅 — 黒部朝温泉駅 — 新駅 — 党本部・財務省</p> <p>・国土交通省・農林水産省 — 新駅 — 黒部朝温泉駅 — 自宅</p> | | | |

※日帰りの政務活動を含む。

要 望 書

平成 30 年 11 月 14 日

自由民主党富山県議会議員会

要 望 書



下新川海岸整備事業促進議員連盟



| | | | | |
|--|--|--|--|---|
| 管理番号 | 2195 | 使途項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
| 活動期日 | 平成30年11月19日 から | 活動の総題 | 要請活動、調査活動 | |
| 場所 | 県議会
とやま自遊館(ヤングジョブ
とやま、富山県若者サポート
ステーション) | 1. 自民党議員会として、知事に対し、「中山間地域の新たな対策」に関する提言を行う。2. 自民党議員会役員と富山県建築士事務所協会役員との意見交換会を行う。3. ヤングジョブとやま及び富山県若者サポートステーションを訪問し、若者の就業状況や若者無業者の現状等について意見交換を行う。」 | 自宅-黒部IC-富山IC-
県議会-とやま自遊館-富
山IC-朝日IC-自宅 | |
| 経費の内容 | | 金額 | 金額 | |
| 鉄道・バス | | | 宿泊料 | |
| タクシー | | | 食事代 | |
| 航空機 | | | 会費 | |
| 自家用車 | @37 × 127 km = | 4699 | | |
| リース車 | @18 × km = | 0 | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | | 計 | 4699 |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | |

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
 (注2) 自家用車は利用距離数(Km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
 (注3) 総費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年12月26日
 決裁 平成30年12月28日
 処理 平成30年12月28日

「中山間地域の新たな対策」に関する提言申入れについて

平成30年11月19日
自由民主党富山県議会議員会

1 提言手交

2 鹿熊本部長 挨拶

3 宮本本部事務局長・PT座長 提言説明

4 知事コメント・意見交換

富山県若者就業支援センター (ヤングジョブとやま)
富山県若者サポートステーション

所 長

〒930-0805
富山県富山市湊入船町 9-1 とやま自遊館 2 階
T E L : 076-445-1996
F A X : 076-445-1997
E-mail : [\[REDACTED\]](mailto:)
<http://www.youngjob-tym.jp>

ヤングジョブとやま
富山県若者就業支援センター / 富山県若者サポートステーション

コーディネーター
主任キャリアカウンセラー

〒930-0805
富山県富山市湊入船町 9-1 とやま自遊館 2 階
T E L : 076-445-1996
F A X : 076-445-1997
E-mail : [\[REDACTED\]](mailto:)
<http://www.youngjob-tym.jp>

| 整理番号 | 2196 | | 実施項目 | 04_要請陳情等活動費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
|--|-------------|----------|--|-------------------------------|---|
| 活動期間 | 平成30年11月20日 | から | 活動の概要 | 要請活動 | |
| | | まで | 自民党議員会医療問題調査会・同看護議員連盟として、これまでの県医師会、県歯科医師会、県看護連盟等との意見交換会を踏まえて、知事に対し、「平成31年度富山県医療施策に関する要望」を行う。 | 自宅-朝日IC-富山IC-県議会-富山IC-黒部IC-自宅 | |
| 場所 | 県議会 | | | | |
| 経費の内容 | | | 金額 | 金額 | |
| 鉄道・バス | | | | 宿泊料 | |
| タクシー | | | | 食事代 | |
| 航空機 | | | | 会費 | |
| 自家用車 | @37 × | 120 km = | 4440 | | |
| リース車 | @18 × | km = | 0 | | |
| 有料道 | | | | | |
| 駐車場 | | | | 計 | |
| | | | | 4440 | |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | | |

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年12月26日
 決裁 平成30年12月28日
 処理 平成30年12月28日



| 管理番号 | 2197 | 使途項目 | 01_調査研究費
01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
|--|----------------|---|---|
| 活動期間 | 平成30年11月27日 から | 活動の経緯 | 要請活動、調査活動 |
| | まで | 1. 自民党議員会として、これまでの種々の調査活動を踏まえて、「平成31年度重要事項提言並びに予算要望」を行う。
2. 中山間地域対策推進条例素案について検討する。 | 自宅-黒部IC-富山IC-
県議会-富山IC-朝日IC
-自宅 |
| 活動場所 | 県議会 | | |
| 経費の内容 | 金額 | 金額 | 金額 |
| 鉄道・バス | | 宿泊料 | |
| タクシー | | 食事代 | |
| 航空機 | | 会費 | |
| 自家用車 @37 × 120 km = | 4440 | | |
| リース車 @18 × km = | 0 | | |
| 有料道 | | | |
| 駐車場 | | 計 | 4440 |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を枚し、重ならないように貼付すること。
枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年12月26日
 決裁 平成30年12月28日
 処理 平成30年12月28日



| 管理番号 | 2198 | | 使途項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
|--|-------------|----------|--|---------------------------------------|---|
| 活動期間 | 平成30年11月29日 | から | 活動の概要 | 調査活動 | |
| | | まで | 1. 建設交通部会を開催し、意見書の検討等を行う。
2. 山村振興議員連盟を開催し、執行部から平成31年度山村振興関係予算案についてヒヤリングを行う。 | 自宅-黒部IC-富山IC-
県議会-富山IC-朝日IC
-自宅 | |
| 場所 | 県議会 | | | | |
| 経費の内容 | | | 金額 | | |
| 鉄道・バス | | | | 宿泊料 | |
| タクシー | | | | 食事代 | |
| 航空機 | | | | 会費 | |
| 自家用車 | @37 × | 120 km = | 4440 | | |
| リース車 | @18 × | km = | 0 | | |
| 有料道 | | | | | |
| 駐車場 | | | | 計 | 4440 |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | | |

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年12月26日

決裁 平成30年12月28日

処理 平成30年12月28日

平成30年11月9日

自由民主党政務調査会
経済建設部会会員各位

自由民主党政務調査会
経済建設部会長 永森 直人

経済建設部会の開催について

このことについて、下記のとおり開催しますので、ご出席願います。

記

- 1 日 時 平成30年11月29日(木) 12:00~
(昼食付き)
- 2 場 所 議事堂 2階 自民党議員控室内会議室
- 3 協議事項
 - (1) 11月定例会意見書について(予定)
※今のところ当部会に係る意見書提出はありません
 - (2) 県外視察(12/19~20)について
 - (3) その他

※欠席される場合は、自民党控室(076-431-5244)へご連絡願います。

《参考》当日(11/29)の日程

- | | |
|-------|-------------------|
| 12:00 | 自民党経済建設部会(控室内会議室) |
| 13:00 | 山村振興議員連盟総会 |
| 13:45 | 山村振興議員連盟役員会 |

平成30年10月12日

役員各位
会員各位

富山県議会山村振興議員連盟
会長 鹿熊 正

富山県議会山村振興議員連盟 役員会・予算概要説明会の開催について

山村振興施策の推進につきましては、日頃から格別のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

つきましては、下記のとおり役員会及び予算概要説明会を開催いたしますので、ご多忙中とは存じますが、ご出席くださるようご案内いたします。

記

○ 予算概要説明会

- 1 日時 平成30年11月29日（木）（議案調査日）
午後1時から午後1時45分まで
- 2 場所 議事堂2階 大会議室
- 3 付議事項
 - (1) 平成31年度山村振興関係予算要求の概要について
 - (2) 平成31年度富山県予算に対する重点要望事項について
 - (3) その他

○ 役員会

- 1 日時 平成30年11月29日（木）（議案調査日）
午後1時45分頃から（予算概要説明会終了後）
- 2 場所 議事堂2階 大会議室
- 3 付議事項
 - (1) 平成31年度富山県予算に対する重点要望事項について
 - (2) その他

（事務担当 議事課議事係 増山 内線2235）

| | | | | | | | |
|-------|--------------------|----------|----------------------|--------------------|---------------------|-----------------------|------------------|
| 経費項目 | 2199 | 03_広聴広報費 | 01_調査研究費
06_資料作成費 | 02_研修費
07_資料購入費 | 03_広聴広報費
08_事務所費 | 04_要請陳情等活動費
09_事務費 | 05_会議費
10_人件費 |
| 内容 | ホームページホスティング料・11月分 | | | | | | |
| 経費の内容 | 金額(円) | 備考 | | | | | |
| 11月分 | 8467 | 80% | | | | | |
| 《合計》 | 8467 | | | | | | |

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を撤し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領 収 証

005623

鹿熊 正一 様

平成 30 年 12 月 12 日

10,584-

但し、HPホスティング料(11月分)
上記の金額正に領収いたしました。

株式会社 鹿熊印刷


代表取締役 寛

〒930-0021 福井県福井市本町1-1-1 (075)54-0128

取扱書印

| | | |
|---|-------|---|
| 内 | 印刷物代金 | ¥ |
| 取 | 消費税 | ¥ |

収受 平成 30 年 12 月 16 日
 決裁 平成 30 年 12 月 28 日
 処理 平成 30 年 12 月 28 日

報告者* 

| | | |
|-------|------------|--|
| 整理番号 | 2200 | |
| 用途項目 | 07_資料購入費 | 01_調査研究費
02_研修費
03_広聴広報費
04_要請陳情等活動費
05_会議費
06_資料作成費
07_資料購入費
08_事務所費
09_事務費
10_人件費 |
| 内容 | 新聞代金 11月分 | |
| | 区 域 | 金額(円) |
| | 北日本新聞、日経新聞 | 7,072 |
| | 富山新聞 | 3,060 |
| | 読売新聞 | 3,093 |
| (合 計) | 13225 | |

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を微し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)



領 収 書

| | | |
|-----|-------|---------|
| 区 域 | 全 戸 数 | お問い合わせ先 |
| 34 | 85.00 | 1899 |

お名前 鹿熊 正一様

〒1495

30 年 11 月分

84-8305

| 品 名 | 部 数 | 金 額 |
|--------|-----|---------|
| 1 読売新聞 | 1 | 3,093 |
| 2 | | |
| 3 | | |
| 合 計 | | 3,093 円 |

◇左記の通り領収しました

領収日 30年12月2日

便利な自動振替受付中！手数料はいりません

Y C 泊

富山県下新川郡朝日町泊 318



*裏面もあわせて内容を十分お読みください。

| | | | |
|------------|------|--------|---------|
| 4 30-11-30 | 新聞代金 | *7,072 | 北日本、日経 |
| 5 | | | |
| 6 30-12-03 | | *3,060 | トヤマシンパン |

收受 平成 30 年 12 月 26 日
 決裁 平成 30 年 12 月 28 日
 処理 平成 30 年 12 月 28 日



| | | |
|--|-------------------------|--|
| 経路番号 | ZZD1 | |
| 用途区分 | 08_事務所費 | 01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費
06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費 |
| 内容 | 電気料金 11月分
事務所賃借料12月分 | |
| 上掲の用途区分に属する経費 | 経費の内容 | 金額(円) |
| | 電気料金 11月分 | 2,563 |
| | 事務所賃借料12月分 | 15,000 / |
| | | |
| | (合 計) | 17563 / |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を枚し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | |

收受 平成 30年 12月 26日
 決裁 平成 30年 12月 28日
 処理 平成 30年 12月 28日

13 D30-12-10 電気料金

5,127 枚リクテ*フヨク

しんきんオンライン

ネットキャッシュサービス取扱票
(ご利用明細票)

| | | | |
|-------------------|----------|-----------------|----|
| お取扱日 | 取扱金庫 | 店番 | 通番 |
| 30-12-03 | | | |
| 口座番号 | | | |
| *****-*****-***** | | | |
| お取引金額 | | | |
| 003000000000 | ¥30,000* | | |
| お取扱内容 | お取引後の金額 | | |
| お振込 | ¥0 | | |
| 手数料 | ¥0 | ページ | 硬貨 |
| 時刻 | 13:16 | おつり | |
| カクマサカス"コインukai様 | | | |
| 印紙税申告納 | | TEL0765-82-1333 | |
| *借込み差金 | | ご利用ありがとうございました | |
| *繰上り金 | | | |

この取扱票は、お取引金額をお確かめください。お振込がでない場合は、お振込口座を確認してください。印刷後、お振込口座に振込が完了するまで有効です。

にいかち信用金庫

家賃

報告者*



| | | | |
|------|---|----------------------|-----------------------|
| 事業番号 | 2202 | | |
| 事業種別 | 09_事務費 | 01_調査研究費
06_資料作成費 | 02_研修費
07_資料購入費 |
| | | 03_広聴広報費
08_事務所費 | 04_要請陳情等活動費
09_事務費 |
| | | 05_会議費
10_人件費 | |
| 内容 | コピー代金
インクカートリッジ代金
コピー用紙代金
クリヤブックウェブカット代金 | | |
| | 経費の内訳 | 金額(円) | 比率 |
| | コピー代金 | 9,255 | / 50% |
| | インクカートリッジ代金 | 2,770 | / 50% |
| | コピー用紙代金 | 389 | / 50% |
| | クリヤブックウェブカット代金 | 1,901 | / 50% |
| | 合計 | 14315 | |

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を微し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

22 D30-11-26

18,510 SMBC(セ"ロツクス



收受 平成30年12月26日
 決裁 平成30年12月28日
 処理 平成30年12月28日

領収証

近くて便利の、その先へ



Comeri Hard & Green 朝日店
0765-83-9025
2018年12月20日(木)10:01 0832-0001
28 キャンインカートリッジ BC-340 ¥1,780

小計 ¥1,780
(内消費税 8% ¥131)
商品計 1点

合計 ¥1,780
お預り ¥2,080
お釣り ¥300

8P



領収証

近くて便利の、その先へ



Comeri Hard & Green 朝日店
0765-83-9025
2018年11月28日(水)16:43 0832-0001
28 キャンインカートリッジ BC-340 ¥1,780
28 キャンインカートリッジ BC-341 ¥1,980

小計 ¥3,760
(内消費税 8% ¥278)
商品計 2点

合計 ¥3,760
お預り ¥5,760
お釣り ¥2,000

17P



インカートリッジ
5,540 x 0.5

MEIBUNDO

MEIBUNDO

明文堂書店 新入善店
Tel : 0765-74-1930
2018/12/24(月) 14:29
担当: [redacted]

明文堂書店 新入善店
Tel : 0765-74-1930
2018/12/23(日) 16:27
担当: [redacted]

領収証

領収証

クリップ用紙 A3- 1,901
4901480530574

クリップ用紙 A3- 1,901
4901480530574

合計 ¥1,901
お預り ¥2,001
(消費税等 ¥141)
(お買上げ点数 1)

合計 ¥1,901
お預り ¥2,001
(消費税等 ¥141)
(お買上げ点数 1)

お釣り ¥100

お釣り ¥100

レシートNo. 00540434 店 4212-01

レシートNo. 00540146 店 4212-01



クリップ用紙
3,802 x 0.5

MEIBUNDO

明文堂書店 朝日店
Tel : 0765-83-3223
2018/12/24(月) 14:11
担当: [redacted]

領収証

文具用品 454
4985653011213
北和紙20枚P 324
4902850121811

合計 ¥778
お預り ¥778
(消費税等 ¥58)
(お買上げ点数 2)

レシートNo. 00191571 店 4213-01



778 x 0.5

報告者* 

| | | | |
|--|----------|--|-----|
| 管理番号 | 2203 | | |
| 経費項目 | 10_人件費 | 01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費
06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費 | |
| 内容 | 人件費 11月分 | | |
| | 経費の内容 | 金額(円) | 備 考 |
| | 人件費 11月分 | 26,125 | 50% |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | (合 計) | 26125 | |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | |

收受 平成 30 年 12月26 日
 決裁 平成 30 年 12月28 日
 処理 平成 30 年 12月28 日

給料計算書(島)

平成30年

| 月 | 日 | 曜日 | 就業時間 | 実勤h | 月 | 日 | 曜日 | 就業時間 | 実勤h |
|----|----|----|------------|-----|----|----|----|------------|-----|
| 11 | 1 | 木 | | | 11 | 16 | 金 | 8:30~14:30 | 5 |
| | 2 | 金 | 8:30~14:30 | 5 | | 17 | 土 | | |
| | 3 | 土 | | | | 18 | 日 | | |
| | 4 | 日 | | | | 19 | 月 | 8:30~14:30 | 5 |
| | 5 | 月 | 8:30~14:30 | 5 | | 20 | 火 | | |
| | 6 | 火 | | | | 21 | 水 | 8:30~14:30 | 5 |
| | 7 | 水 | | | | 22 | 木 | | |
| | 8 | 木 | | | | 23 | 金 | | |
| | 9 | 金 | 8:30~14:30 | 5 | | 24 | 土 | | |
| | 10 | 土 | | | | 25 | 日 | | |
| | 11 | 日 | | | | 26 | 月 | 8:30~14:30 | 5 |
| | 12 | 月 | 8:30~14:30 | 5 | | 27 | 火 | | |
| | 13 | 火 | | | | 28 | 水 | 8:30~14:30 | 5 |
| | 14 | 水 | 8:30~14:30 | 5 | | 29 | 木 | | |
| | 15 | 木 | | | | 30 | 金 | 8:30~14:30 | 5 |
| | | | | | | | | | |
| | | | 小 計 | 25 | | | | 小 計 | 30 |
| | | | | | | | | 合 計 | 55 |

| | | |
|--|------|--------|
| | (時給) | (給与) |
| | 950 | 52,250 |
| | 円 | 円 |

領 収 証

自由民主党富山県議会議員
鹿 熊 正 一 様

26,125 円

平成30年 12月 3 日

上記金額正に領収いたしました





24/2

01_調査研究費

01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費

平成30年11月1日 から

平成30年11月30日 まで

(内容)
高速代

(備考)

鉄道・バス

宿泊料

タクシー

食事代

航空機

会費

自家用車 @37 × km = 0

リース車 @18 × km = 0

有料道 18110-19550

駐車場

計

18110-19550

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。
枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は
主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成31年1月28日
決裁 平成31年1月30日
処理 平成31年1月30日

鹿熊 正一 様

| | | | | | | | | | |
|-------------|---|---|------|-----|---|----------|-------|----|-----|
| | ☆ | | | | | | | | |
| | ☆ | | | | | | | | |
| 17 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 18 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1330 | 1回払 | 1 | 1330 ETC | 入善スマー | 富山 | 普通車 |
| 19 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 20 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 21 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 22 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1440 | 1回払 | 1 | 1440 ETC | 朝日 | 富山 | 普通車 |
| 23 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 24 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 25 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 26 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 27 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 28 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 29 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 30 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 31 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 32 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 33 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 34 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 35 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 36 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 37 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 38 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 39 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 40 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 41 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 42 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 43 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 44 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 45 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 46 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 47 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 48 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 49 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 50 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 51 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 52 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 53 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 54 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 55 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 56 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 57 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 58 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 59 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 60 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 61 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 62 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 63 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 64 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 65 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 66 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 67 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 68 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 69 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 70 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 71 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 72 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 73 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 74 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 75 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 76 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 77 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 78 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 79 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 80 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 81 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 82 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 83 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 84 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 85 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 86 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 87 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 88 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 89 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 90 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 91 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 92 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 93 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 94 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 95 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 96 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 97 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 98 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 99 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| 100 ETC通行料金 | ○ | ☆ | 1210 | 1回払 | 1 | 1210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |

☆は今回ポイント獲得対象のご利用に☆等を表示、※お支払方法:お支払方法またはお支払回数を表示(※1-ボーナス1回払い、※2-ボーナス2回払い)、※今回回数:今回のお支払いが何回目を表示、
 ○はボーナス払いのお支払い月など一部のご利用についてのご説明(海外でのご利用には現地通貨額・通貨単位・換算レート)を表示、○は支払方法を変更できます。ただし一部ご要望にお応えできない場合がございます。

3 CARDは各種サービスなど特典が満載のカードです。
 の詳細はご入会時にお送りした「総合ガイド」または「活用BOOK」やTS3CARDモール
<http://ts3card.com>、でご確認ください。
 部のカードはTS3CARDモールの提供サービス内容が異なる場合もございます。

翌月一括払いを除き、商品の瑕疵や役務の未提供、
 理由に支払を停止することができる場合があります。

| 管理番号 | 2190 | 経費項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
|--|---------------|-------|---|---|
| 活動期間 | 平成30年11月6日 から | 活動の種類 | 調査活動 | |
| 実施場所 | 県議会 | 活動の内容 | 1. 中山間地域対策に関する提言案について検討する。特に、中山間地域においてどのような産業が成り立つか。またそのための必要条件は何か、この点について検討する。2. 県内の居住外国人の抱える課題について調査する。 | |
| | 平成 年 月 日 まで | | 自宅-黒部IC-富山IC-
県議会-富山IC-朝日IC
-自宅 | |
| 経費の内容 | 金額 | 経費の内容 | 金額 | |
| 鉄道・バス | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | 食事代 | | |
| 航空機 | | 会費 | | |
| 自家用車 @37 × 120 km = | 4440 | | | |
| リース車 @18 × km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | 計 | 4440 | |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | |

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
 (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
 (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年12月26日
 決裁 平成30年12月28日
 処理 平成30年12月28日



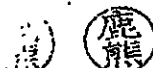
| 連番 | 2191 | 使途項目 | 01_調査研究費
02_研修費
03_広聴広報費
04_要請陳情等活動費 |
|--|------------------------------|---|---|
| 活動期間 | 平成30年11月8日 から
平成 年 月 日 まで | 活動の概要 | 調査活動 |
| 場所 | 県議会 | 中山間地域対策推進本部と中山間地域対策推進条例制定PTとの合同会議を開催し、知事への提言内容について検討する。特に、新技術を活用した振興策や定期的な中山間地域実態調査の必要性等が焦点となる。 | 自宅-入善IC-富山IC-
県議会-魚津IC-朝日IC-
自宅 |
| 経費の内容 | 金額 | 経費の内容 | 金額 |
| 鉄道・バス | | 宿泊料 | |
| タクシー | | 食事代 | |
| 航空機 | | 会費 | |
| 自家用車 @37 × 120 km = | 4440 | | |
| リース車 @18 × km = | 0 | | |
| 有料道 | | | |
| 駐車場 | | 計 | 4440 |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | |

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数(Km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成30年12月26日
 決裁 平成30年12月28日
 処理 平成30年12月28日



| | | | | |
|--|----------------|--|---------------------------------------|---|
| 2192 | | 活動項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
| 活動期間 | 平成30年11月9日 から | 活動の概要 | 調査活動 | |
| | 平成 年 月 日 まで | 1. 山村振興議連の知事に対する平成31年度予算要望について調査検討する。
2. 平成29年度決算審査に関連して、県地方創生戦略に掲げる指標に対する達成度合いを調査する。 | 自宅ー黒部ICー富山ICー
県議会ー富山ICー朝日IC
ー自宅 | |
| 場所 | 県議会 | | | |
| 経費の内容 | | 金額 | 経費の内容 | |
| 鉄道・バス | | | 宿泊料 | |
| タクシー | | | 食事代 | |
| 航空機 | | | 会費 | |
| 自家用車 | @37 × 120 km = | 4440 | | |
| リース車 | @18 × km = | 0 | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | | 計 | 4440 |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。
枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

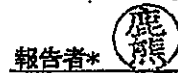
收受 平成30年12月26日
 決裁 平成30年12月28日
 処理 平成30年12月28日



| | | | | |
|---|------------------------------|--|--|------|
| 管理番号 | 2193 | 経費項目 | 01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 | |
| 活動期間 | 平成30年11月2日 から
平成 年 月 日 まで | 活動の概要 | 調査活動 | |
| 研修 | 県議会 | 1. 県政報告会のための調査として、朝日町の都市計画道路停車場東草野線と2級河川寺川の暫定的工事の進捗状況を調べる。2. 自民党議員会の提言である「富山湾が未来を拓く」の多岐に亘る論点について調査・勉強する。 | 自宅-黒部IC-富山IC-
県議会-富山IC-朝日IC
-自宅 | |
| 経費の内容 | | 金額 | 経費の内容 | 金額 |
| 鉄道・バス | | | 宿泊料 | |
| タクシー | | | 食事代 | |
| 航空機 | | | 会費 | |
| 自家用車 | @37 × 120 km = | 4440 | | |
| リース車 | @18 × km = | 0 | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | | 計 | 4440 |
| <p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p> | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数(Km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年12月26日
 決裁 平成30年12月28日
 処理 平成30年12月28日



| | | | | | |
|---|--|----------|--|--|---|
| 案番号 | 2195 | | 経費項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
| 活動期間 | 平成30年11月19日 | から | 活動の概要 | 要請活動、調査活動 | |
| | | まで | 1. 自民党議員会として、知事に対し、「中山間地域の新たな対策」に関する提言を行う。2. 自民党議員会役員と富山県建築士事務所協会役員との意見交換会を行う。3. ヤングジョブとやま及び富山県若者サポートステーションを訪問し、若者の就業状況や若者無業者の現状等について意見交換を行う。」 | 自宅ー黒部ICー富山ICー富山県議会ーとやま自遊館ー富山ICー朝日ICー自宅 | |
| 場所 | 県議会
とやま自遊館（ヤングジョブとやま、富山県若者サポートステーション） | | | | |
| 経費の内容 | | | 金額 | 金額 | |
| 鉄道・バス | | | | 宿泊料 | |
| タクシー | | | | 食事代 | |
| 航空機 | | | | 会費 | |
| 自家用車 | @37 × | 127 km = | 4699 | | |
| リース車 | @18 × | km = | 0 | | |
| 有料道 | | | | | |
| 駐車場 | | | | 計 | 4699 |
| 《領収書貼付枠》（原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。） | | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年12月26日
 決裁 平成30年12月28日
 処理 平成30年12月28日

| 案内番号 | 2197 | 経費項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
|--|----------------|---|-------------------------------|---|
| 活動期間 | 平成30年11月27日 から | 活動の概要 | 要請活動、調査活動 | |
| | まで | 1. 自民党議員会として、これまでの種々の調査活動を踏まえて、「平成31年度重要事項提言並びに予算要望」を行う。
2. 中山間地域対策推進条例素案について検討する。 | 自宅-朝日IC-富山IC-県議会-富山IC-朝日IC-自宅 | |
| 場所 | 県議会 | | | |
| 経費の内容 | | 金額 | 金額 | |
| 鉄道・バス | | | 宿泊料 | |
| タクシー | | | 食事代 | |
| 航空機 | | | 会費 | |
| 自家用車 | @37 × 120 km = | 4440 | | |
| リース車 | @18 × km = | 0 | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | | 計 | 4440 |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | |

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成30年12月26日
 決裁 平成30年12月28日
 処理 平成30年12月28日



| 整理番号 | 2198 | 用途項目 | 01_調査研究費 02_研修費
03_広聴広報費 04_要請陳情等活動費 |
|---|----------------------|--|---|
| 活動期間 | 平成30年11月29日 から
まで | 活動の種類 | 調査活動 |
| 場所 | 県議会 | 1. 建設交通部会を開催し、意見書の検討等を行う。
2. 山村振興議員連盟を開催し、執行部から平成31年度山村振興関係予算案についてヒヤリングを行う。 | 自宅-黒部IC-富山IC-
県議会-富山IC-朝日IC-
自宅 |
| 経費の内容 | 金額 | 経費の内容 | 金額 |
| 鉄道・バス | | 宿泊料 | |
| タクシー | | 食事代 | |
| 航空機 | | 会費 | |
| 自家用車 @37 × 120 km = | 4440 | | |
| リース車 @18 × km = | 0 | | |
| 有料道 | | | |
| 駐車場 | | 計 | 4440 |
| <p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p> | | | |

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年12月26日
 決裁 平成30年12月28日
 処理 平成30年12月28日



| 整理番号 | 2413 | 経費項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 | |
|--|------------------------------|---|--------------------------------------|---|------|
| 活動期間 | 平成30年12月3日 から
平成 年 月 日 まで | 活動の概要 | 調査活動 | | |
| 場所 | 新川農林振興センター | 新川農林振興センターにおいて、管内の「富富富」の品質と来年の生産の見込みについて調査する。また、管内における、園芸作物の取組み状況と課題について調査する。 | 自宅-朝日IC-魚津IC-新川農林振興センター-魚津IC-朝日IC-自宅 | | |
| 経費の内容 | | 金額 | 経費の内容 | | 金額 |
| 鉄道・バス | | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | | 食事代 | | |
| 航空機 | | | 会費 | | |
| 自家用車 | @37 × 55 km = | 2035 | | | |
| リース車 | @18 × km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | | |
| 駐車場 | | | 計 | | 2035 |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 31 年 / 月 28 日
 決裁 平成 31 年 / 月 30 日
 処理 平成 31 年 / 月 30 日

| | | | | | |
|--|------------|----------|---------------------------------------|---|---|
| 管理番号 | Z414 | | 経費項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
| 活動期間 | 平成30年12月5日 | から | 活動の概要 | 調査活動 | |
| | 平成 年 月 日 | まで | | 1. 中山間地域対策推進条例案について内部検討を行う。2. 平成31年度の県立高校における空調設備の設置方針について当局と意見交換を行う。 | |
| 場所 | 県議会 | | 自宅-魚津IC-富山IC-
県議会-富山IC-朝日IC-
自宅 | | |
| | | | 金額 | 経費の内容 | 金額 |
| 鉄道・バス | | | | 宿泊料 | |
| タクシー | | | | 食事代 | |
| 航空機 | | | | 会費 | |
| 自家用車 | @37 × | 120 km = | 4440 | | |
| リース車 | @18 × | km = | 0 | | |
| 有料道 | | | | | |
| 駐車場 | | | | 計 | 4440 |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | | |

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成31年1月28日
 決裁 平成31年1月30日
 処理 平成31年1月30日



| | | | |
|---|----------------|--|--------|
| 整理番号
<p style="font-size: 2em; text-align: center;">2415</p> | | 使途項目
01_調査研究費
01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 | |
| 活動期間
平成30年12月7日 から
平成 年 月 日 まで | 活動の概要
意見交換会 | | |
| | 県議会 | 1. 自民党議員会役員と石油販売関係団体とが、業界の現状や政策提言について意見交換を行う。2. 武道館の建設について関係団体から要請を受け、意見交換を行う。 | |
| 場所
県議会 | | 自宅→朝日IC→富山IC→県議会→富山IC→朝日IC→自宅
魚澤 | |
| | | 金額 | 金額 |
| 鉄道・バス | | | 宿泊料 |
| タクシー | | | 食事代 |
| 航空機 | | | 会費 |
| 自家用車 | @37 × 120 km = | 4440 | |
| リース車 | @18 × km = | 0 | |
| 有料道 | | | |
| 駐車場 | | | 計 4440 |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | |

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間；自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成31年1月28日

決裁 平成31年1月30日

処理 平成31年1月30日

農業農村整備の今後の展開方向

講師 都道府県土地改良事業団体連合会会長会議
顧問 宮崎 まさお

1. 宮崎まさおのプロフィール

- S38年12月、神戸市北区山田町の農家の二男として生まれる
- 国営東播用水事業で造ったダムの池敷の大半は通学した中学校の校区内
- S62年3月 神戸大学農学部農業工学科卒業
- S62年4月 農林水産省入省
- H29年12月 農林水産省地域整備課長で退職

2. 土地改良は未来への礎

- 日本では、先人たちが築き上げた疎水が現在もその役割を果たし、農業農村の支え。
- 土地改良は、現在の農業農村だけでなく、将来の世代の礎を築くもの。
- 農業は国の大本。

3. 3つの大きな方向

- 大切な農地と水を守る。(守るためには攻めも必要。現代技術の活用も。)
- 農山漁村を災害から守る。(農地と水を守ることも大きな要素。多面的機能。)
- 美しい農山漁村を守る。(美しさは人間(農家)が創り出すもの。)

4. それを実現するための7つの項目

- ① 土地改良の安定的な予算確保
(当初予算は、3/4の水準。全国から一番の要望。「闘う土地改良」は続く。)
- ② 災害に強い農山漁村づくり
(計画的な更新整備+耐震・豪雨対策。ため池に留意。)
- ③ 農地や水を守り育てる体制強化
(土地改良区の体制・運営の強化。国土保全の観点も。コミュニティーの維持・発展が重要、多面的機能支払の活動組織の皆さんも大いに期待。)
- ④ 自然豊かな美しい農山漁村の継承
- ⑤ 世界に日本の農林水産業と農山漁村の素晴らしさの発信
- ⑥ 女性の視点を大切にした農山漁村政策の展開
- ⑦ 農林水産業と農山漁村への国民の理解づくり

5. おわりに

- 土地改良は現場主義。地域主義。更に地域の皆さんの声を聴かせていただく予定。
- 地域の皆さんからの温かいご指導とご鞭撻をお願いいたします。

| | | | |
|--|-------------------------------|--|---|
| 整理番号 | 2417 | 経費項目 | 01_調査研究費
02_研修費
03_広聴広報費
04_要請陳情等活動費 |
| 活動期間 | 平成30年12月10日 から
平成 年 月 日 まで | 活動の概要 | 調査活動、意見交換会 |
| 場所 | 国際会議場 | 1. 中山間地域対策推進条例について内部検討を行う。2. 自民党議員会役員と富山県自動車整備振興会役員と意見交換を行う。別紙 | 自宅-朝日IC-富山IC-
県議会-ANAクラウンプラザ
ホテル-富山IC-朝日IC-
自宅 |
| | | 金額 | 経費の内容 |
| 鉄道・バス | | | 宿泊料 |
| タクシー | | | 食事代 |
| 航空機 | | | 会費 |
| 自家用車 | @37 × 120 km = | 4440 | |
| リース車 | @18 × km = | 0 | |
| 有料道 | | | |
| 駐車場 | | | 計 4440 |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数(km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 31 年 1 月 28 日
 決裁 平成 31 年 1 月 30 日
 処理 平成 31 年 1 月 30 日

要 望 書

一般社団法人

富山県自動車整備振興会

つきましては、この間のご尽力に改めて感謝申し上げますと共に、平成30年の要望とい
たしまして、当会として下記のとおりお願いいたしますので、格段のご理解とご高配を賜
りますようよろしくお願い申し上げます。

記

1. 自動車に課せられている複雑・過重な自動車関係諸税の簡素化・負担軽 減のため、自動車税制の抜本的な見直しの早急な実現について

(国・県・市町村に対する要望)

自動車には、欧米諸国に比べて極めて重い税負担が課せられており、自動車重量税など
関係諸税は、納税者にとって複雑で分かり難く理解も得難いものとなっています。

また、自動車重量税について、永久抹消時には残額が還付されますが、一時的に自動車
を使用しなくなる一時抹消時には還付されないこと。また、軽自動車税については還付制
度がないことも、自動車ユーザーの理解を得られないところです。

ここにおいて、消費税率10%への引上げが来年の10月1日に予定されており、自動
車税制の抜本的な見直しが図られなければ、自動車ユーザーの負担は耐え難いものとな
ります。

特に地方においては、高齢化と人口減少の進行に伴い、公共交通機関の利用が困難にな
りつつあり、一世帯に複数の自動車を保有せざるを得ない状況となっていることから、自
動車ユーザーにとって自動車諸税の負担は極めて大きなものとなっており、安全運行の確
保に必要な点検整備の実施にも影響をもたらしております。

さらに、都市部においても、負担軽減が図られなければクルマ離れが進み、我が国の基
幹産業である自動車産業に多大な影響を及ぼすこととなります。

このため、自動車に課せられている複雑・過重な自動車関係諸税の簡素化・負担軽減の
ため、自動車税制の抜本的な見直しを早急に実現するようお願いいたします。

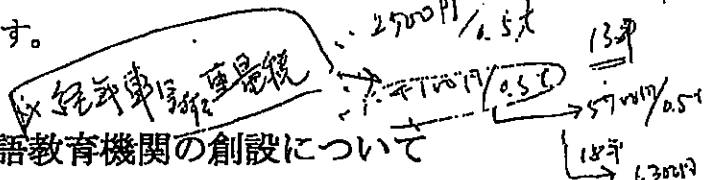
2. 経年車に自動車関係諸税を重課する制度の廃止について

(国・県に対する要望)

新車新規登録から一定年数を経過したガソリン車等には、年数に応じて高い税率が課せ

られております。

これらは、やむを得ず年式の古い自動車を保有しなければならない経済的弱者に対して重い負担を強いているものであり、経年車であっても、定期点検整備の実施等、日頃の管理を適正に行えば安全に使用でき、且つ、車に使われる資源を大切に長く利用できることにもなることから、年数を経ていることをもって過度な負担を求める不公正な税制については、早期に廃止して頂くようお願いします。



3. 外国人技能実習生に対する日本語教育機関の創設について

(国・県に対する要望)

高松国際学院

平成28年4月1日の「外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律」の一部改正により、自動車整備職種（自動車整備作業）においても、外国人技能実習生を受入れる事が出来るようになりました。

さらに、新たな法改正により、技能実習生の受入期間が最長3年から5年に延長され、一年目に行う「評価試験（初級）」に加え、3年目には「2号技能実習（専門級の学科・実技）試験」、5年目には「上級試験」を受けることができるようになりました。

近年、日本企業においては人手不足などの問題に加え、政府による外国人労働者受け入れ拡大策とあいまって、外国人技能実習生が働いており、実習生の多くは上級取得のための研修を受けています。

当初、自動車整備業界においては、整備作業に従事する実習生の受け入れについては、それほど多くないものと推測されていましたが、全国的な整備士不足等から、この制度を活用し、多くの技能実習生が受け入れられるようになっていきます。

当県においても、一年目に行う「評価試験（初級）」を昨年6月から実施し、本年10月までの間に、7事業者・28名がこの試験を受け、新たな「2号技能実習（専門級の学科・実技）」も開始されたところです。

技能実習を開始した日から16ヶ月以上実務経験を有すれば「学科試験」を受けることとなりますが、その際には、日本語や整備に必要な専門用語などの語力・読解力が試されることとなります。

自動車整備業界に於いて、技能実習生が「2号技能実習（専門級の学科・実技）試験」、「上級試験」に合格できずに強制送還となった場合、事業者は、実習生に対して行う技能の伝承ができなくなるばかりか、車の安全・安心及び環境保全の確保も困難になる恐れ

があります。

富山県におかれては、「多文化共生支援」が行われていますが、各種専門学校などの教育機関において、技能支援するための助成のほか、各種専門用語集などの作成等に取り組んで頂くようお願いします。

(参 考)

外国人自動車整備技能実習評価試験レベル一覧表（初級・専門級・上級）

| 名 称 | | 外国人自動車整備技能
評価試験
初級 | 外国人自動車整備技能
評価試験
専門級 | 外国人自動車整備技能
評価試験
上級 |
|---------------|----------|---|--|--|
| 活用目的 | | 技能実習1年目の習得
技能等の評価 | 技能実習3年目の習得
技能等の評価 | 技能実習5年目の習得
技能等の評価 |
| 学科
試験 | 言 語 | 日本語（ひらがな分か
ち書き＋へボン式ロー
マ字） | 日本語（漢字かな交じり＋漢字にルビ） | |
| | 解答
方法 | 真偽法
(○×式) | 真偽法
(○×式) | 多肢択一法 |
| | 問題数 | 20問 | 30問 | 40問 |
| | 試験
時間 | 60分 | | 80分 |
| 実技
試験 | 試験
方法 | 初級、専門級：製作等作業試験
上 級：製作等作業試験＋判断等試験 | | |
| | 試験
時間 | 30分 | 33分 | 47分 |
| 合格基準 | | 【学科試験】初 級：60%以上の正解数
専門級、上級：65%以上の正解数
【実技試験】初級、専門級：60%以上の得点
上 級：60%以上の得点
ただし、上級の場合にあっては、製作等作業試験、判断等試験のい
ずれかの得点が40%未満の場合は不合格とする。 | | |
| 判定期間 | | 試験後3～7日 | | |
| 受験資格 | | 実務経験2ヶ月以上 | 第2号技能実習の開始
日から実務経験16ヶ
月以上 | 第3号技能実習の開始
日から実務経験12ヶ
月以上 |
| 評価する技能
レベル | | 職種ごとの基本的な業
務を遂行するために必
要な基礎的な技能及び
これに関する知識のレ
ベル

(技能検定基礎級相
当) | 職種ごとの初級の技能
労働者が通常有すべき
技能及びこれに関する
知識のレベル

(技能検定3級相当) | 職種ごとの中級の技能
労働者が通常有すべき
技能及びこれに関する
知識のレベル

(技能検定2級相当) |




| | | | |
|--|-------|---|-------|
| 申請番号
<h1 style="text-align: center;">2418</h1> | | 申請内容
01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 | |
| 活動期間
平成30年12月17日 から | | 活動内容
調査活動 | |
| 活動場所
平成 年 月 日 まで
文部科学省 | | 活動内容
文科省初等中等教育局を訪問し、「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」並びに「高校生のための学びの基礎診断」制度について、ヒヤリングと意見交換を行う。
自宅ー黒部宇奈月温泉駅ー東京駅ー文科省ー東京駅ー黒部宇奈月温泉駅ー自宅 | |
| | | 金額* | 金額* |
| 鉄道・バス | 18640 | 宿泊料 | |
| タクシー | | 食事代 | |
| 航空機 | | 会費 | |
| 自家用車 @37 × 30 km = | 1110 | | |
| リース車 @18 × km = | 0 | | |
| 有料道 | | | |
| 駐車場 | 500 | 計 | 20250 |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を微し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | |
| 領収書
Receipt
領収年月日 2018.12.17
金額 ¥18,640 (消費税等込み)
上記金額雑かに領収いたしました
購入商品 JR乗車券類 JR tickets
(60188 4枚)
西日本旅客鉄道株式会社
黒部宇奈月温泉駅
黒部宇奈月F11発行 00189-01 | | 領収証
入庫日時 2018年12月17日 08時34分
出庫日時 2018年12月17日 22時49分
No.01-000176 券No.01-042009
駐車料金(一般) 500円
料金計 500円
投入現金 500円
釣銭額 0円 | |

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
 (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
 (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 31 年 1 月 28 日
 決裁 平成 31 年 1 月 30 日
 処理 平成 31 年 1 月 30 日

県外・海外政務活動報告書

平成 37 年 / 月 28 日

| | | | |
|---|--|--------|---|
| 整理番号 | 2418 | 会派・議員名 |  |
| 活動名称 | 調査活動 | | |
| 目的 | 高校教育改革について調査する | | |
| 日程 | 平成 30 年 12 月 17 日 (月) ~ 平成 年 月 日 () | | |
| 場所
<small>〔国名・都市名、施設名、訪問先等〕</small> | 文部科学省 | | |
| 相手方等
<small>〔主催者、対応者、参加者、同行者等〕</small> | 初等中等教育局 参事官 菅谷 匠 氏
" 高校教育改革係長 川西 理枝 氏 | | |
| 行程・活動内容 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 自宅 ²⁴¹⁸ — 墨部温泉温泉駅 <u>新幹線</u> 東京駅 — 文部科学省
— 東京駅 <u>新幹線</u> 墨部温泉温泉駅 ²⁴¹⁸ — 自宅 ● 文部科学省において、菅谷氏からは「地域の協働による高等学校教育改革推進事業」について、又川西氏からは「高校生のための学習基礎診断」について、セミナーを行い、質疑応答をした。 | | | |

※日帰りの政務活動を含む。



文部科学省

文部科学省
初等中等教育局
参事官(高等学校担当)付 専門官

菅谷 匠

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2
TEL: 03-5253-4111 [内線2349]
03-6734-2022 [直通]
FAX: 03-6734-3727
E-mail: [REDACTED]



文部科学省

文部科学省 初等中等教育局
参事官(高等学校担当)付
高校教育改革係長



川西 理枝

〒100-8959
東京都千代田区霞が関3-2-2
TEL: 03-5253-4111 [内線3482]
03-6734-3482 [直通]
FAX: 03-6734-3727
E-mail: [REDACTED]

地域との協働による高等学校教育改革推進事業

(新規)

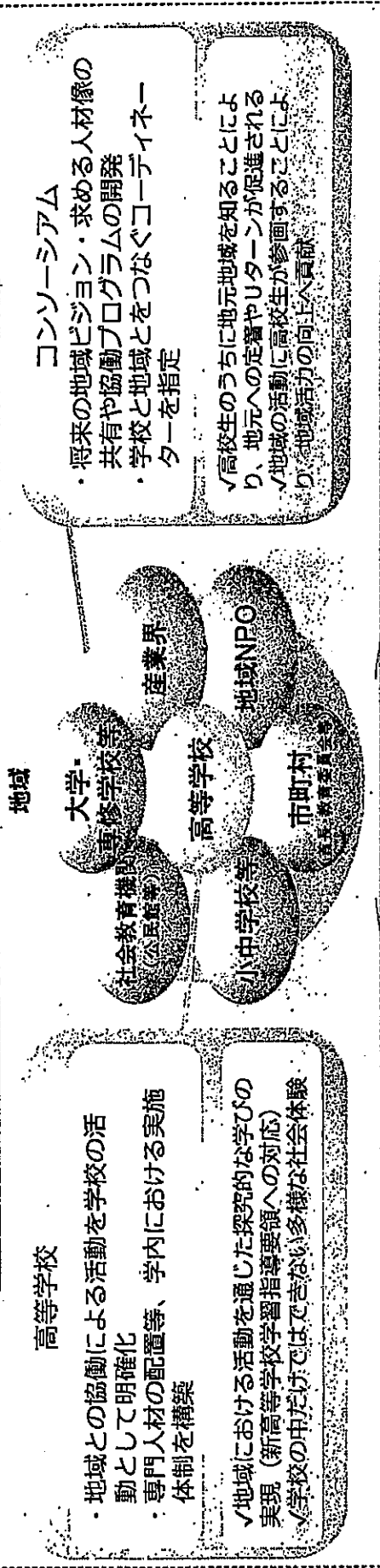
2019年度要求・要望額 400百万円



文部科学省

新高等学校学習指導要領を踏まえ、Society5.0を地域から分厚く支える人材の育成に向けた教育改革を推進するため、「経済財政運営と改革の基本方針2018」や「まち・ひと・しごと創生基本方針2018」に基づき、高等学校が自治体、高等教育機関、産業界等と協働してコンソーシアムを構築し、地域課題の解決等の探究的な学びを実現する取組を推進することで、地域振興の核としての高等学校の機能強化を図る。

高校生と地域課題のマッチングを効果的に行うためのコンソーシアムを構築



高等学校

- ・地域との協働による活動を学校の活動として明確化
- ・専門人材の配置等、学内における実施体制を構築

✓地域における活動を通じた探究的な学びの実現（新高等学校学習指導要領への対応）
 ✓学校の中だけではできない多様な社会体験

コンソーシアム

- ・将来の地域ビジョン・求める人材像の共有や協働プログラムの開発
- ・学校と地域とをつなぐコーディネーターを指定

✓高校生のうちに地元地域を知ることにより、地元への定着やリターンが促進される
 ✓地域の活動に高校生が参加することにより、地域活動の向上へ貢献

【プロフェッショナル型】 （専門学科中心10校程度）

地域の産業界等との連携・協働による実践的な職業教育を推進し、地域に求められる人材を育成

- ～特徴・取組例～
- ・地域の特産物の付加価値を高めた安定的な食料生産により地域の発展を担う人材を育成
 - ・ものづくりに関する専門的な技術を身に付け、現場産業を支える人材を育成 など

【地域魅力化型】 （普通科中心20校程度）

地域課題の解決等を通じた学習を各教科・科目や学校設定科目等において体系的に実施するためのカリキュラムを構築し、地域ならではの新しい価値を創造する人材を育成

- ～特徴・取組例～
- ・地域との連携に係る教科横断的な単位を設定
 - ・衰退しつつある地域の振興方策を地域との連携により研究・実践 など

【グローバル型】 （学科共通20校程度）

グローバルな視点を持ってコミュニケーションを支える地域のリーダーを育成。

- ～特徴・取組例～
- ・グローバルな社会課題研究のカリキュラム研究開発
 - ・海外研修等を加入したカリキュラムの中に体系的に位置づけ
 - ・海外からの留学生を受け入れるなど外国人生徒と一緒に授業・探究活動等を履修
 - ・コミュニケーション能力を重視した外国語（複数外国語含む）の先進的な授業を実践 など

標準スキームを踏まえつつ、地域の実情や人材ニーズに応じた取組を展開

「高校生のための学びの基礎診断」制度について

- 平成28年3月の高大接続システム改革会議「最終報告」を踏まえ、有識者による検討・準備グループ等において具体的な検討を推進。同グループによる「論点整理」（平成29年3月）や試行調査（平成29年1～3月）の結果を踏まえ、平成29年7月に「高校生のための学びの基礎診断」実施方針を策定。
- 「高校生に求められる基礎学力の確実な習得」と「学習意欲の喚起」を図るため、文部科学省が一定の要件を示し、民間の試験等を認定する制度を創設し、多様な民間の試験等（測定ツール）の開発・提供、その利活用を促進。それにより、高校生の基礎学力の定着に向けたPDCAサイクルの取組を促進。
- 「高校生のための学びの基礎診断」検討ワーキング・グループにおける専門的な検討を加え、高校・教育委員会等の関係者、民間事業者等の意見やパブリック・コメントによって得られた意見等を考慮しつつ、平成30年3月に「『高校生のための学びの基礎診断』の認定基準・手続等に関する規程」を策定。
- 平成30年度から本制度の運用を開始（※）し、平成31年度から本格的に利活用開始。

※6月末申請締切、7～9月頃審査、10～11月頃認定・情報提供。学校や教育委員会等において選択・利活用について検討し、次年度の年間指導計画等に反映。以後毎年度同様。

国

高等学校における基礎学力の定着に向けたPDCAサイクルの構築

測定ツールの充実

高校

社会で自立するために必要な基礎学力について、各学校がそれぞれの実情を踏まえて目標を設定し、教育課程を編成。多様な測定ツールを活用しながら生徒の学習状況を多面的に評価し、指導の工夫・充実を図っていく。

指導・学習改善
学習成果・課題の分析・把握

教育目標、教育課程、指導計画の見直し等



同に応じた多様な学習活動の実施



教育委員会等

教育委員会等による学校の支援

- 高校の魅力づくりとともに、質の確保のための体制強化や再編整備
- 学校支援のための人材配置や予算措置、教員研修等の取組

「高校生のための学びの基礎診断」制度の創設

（一定の要件に則して民間の試験等を認定する制度を創設）

認定基準等の設定 審査・事後チェック体制の整備

仕組みの構築と運用を通じて、民間事業者等から高等学校の実態に応じた選択可能な多様な測定ツールが開発・提供され、その利活用が促進されることが期待。

認定基準

（出題）

- ・学習指導要領を踏まえた出題の基本方針に基づく問題設計
- ・対象教科は国・数・英（共通必修科目中心、義務教育段階含む）
- ・主として知識・技能を問う問題に加え、主として思考力・判断力・表現力等を問う問題の出題
- ・記述式問題の出題
- ・英語4技能測定

（結果提供）

- ・学習成果や課題が確認でき、事後の学習改善や教師による指導の工夫・充実に資する結果提供等

（認定の有効期限）

- ・認定の有効期限は認定をしたときから3年後の年度末まで



各学校の実情等を踏まえ、適切な測定ツールを必要に応じて組み合わせながら選択・活用



| | | | | |
|--|-------------------------------|---|---------------------------------------|---|
| 整理番号 | 2419 | 使途項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
| 活動期間 | 平成30年12月18日 から
平成 年 月 日 まで | 活動の概要 | 調査活動 | |
| 場所 | 県議会 | 1. 中山間地域対策推進条例について内部検討を行う。2. 県内のマイクロ発電事業の現状と課題について調査する。 | 自宅ー魚津ICー富山ICー
県議会ー滑川ICー入膳IC
ー自宅 | |
| | | 金額 | 経費の内容 | 金額 |
| 鉄道・バス | | | 宿泊料 | |
| タクシー | | | 食事代 | |
| 航空機 | | | 会費 | |
| 自家用車 | @37 × 120 km = | 4440 | | |
| リース車 | @18 × km = | 0 | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | | 計 | 4440 |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 31 年 / 月 28 日
 決裁 平成 31 年 / 月 30 日
 処理 平成 31 年 / 月 30 日



| | | | |
|--|-------------------------------|----------------------------|----------------------------------|
| 整理番号 | 2420 | 使途項目 | 01_調査研究費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
| 活動期間 | 平成30年12月19日 から
平成 年 月 日 まで | 活動の概要 | 視察調査活動 |
| 場所 | 福井県恐竜溪谷ふくい勝山ジオパークなど | 立山黒部を愛する会(愛称)主催の現地視察を行う。別紙 | 自宅ー黒部IC 富山ICー借り上げバスー黒部ICー自宅 |
| | | 金額 | 経費の内容 |
| 鉄道・バス | | | 宿泊料 |
| タクシー | | | 食事代 |
| 航空機 | | | 会費 |
| 自家用車 @37 × 26 km = | | 962 | |
| リース車 @18 × km = | | 0 | |
| 有料道 | | | |
| 駐車場 | | | 計 962 |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数(Km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成31年1月28日
 決裁 平成31年1月30日
 処理 平成31年1月30日

| | | | |
|---|---|--------|--|
| 整理番号 | 2420 | 会派・議員名 | |
| 活動名称 | 視察・調査活動 | | |
| 目的 | 玄室郡 球心1の世界球心1認定を推進するための先進地視察 | | |
| 日程 | 平成30年12月19日(水)～平成 年 月 日() | | |
| 場所
<small>〔国名・都市名、施設名、訪問先等〕</small> | ・福井県 勝山市役所
・福井県立恐竜博物館
・ホテルエトワ 他 | | |
| 相手方等
<small>〔主催者、対応者、参加者、同行者等〕</small> | ・勝山市商工観光部 部長 水上 実喜夫氏
・ 球心1推進課 球心1専門員 町澤 彬氏 | | |
| 行程・活動内容 | | | |
| ・ 自宅 24時 - 豊原 12時 - 勝山12時(12) - 福井県勝山市内 - 勝山12時(12) - 豊原 24時 - 自宅
(豊原12時 - 豊原12時 12時: 豊原12時) | | | |
| ・ 水上氏並に町氏から、勝山球心1の特徴並びに球心1推進の取り組み等について説明を聴く。又、県立恐竜博物館等を視察する。 | | | |

※日帰りの政務活動を含む。

黒部自然環境保全・国際観光促進協議会現地視察 日程

日程：平成30年12月19日(水)

視察先：恐竜溪谷ふくい勝山ジオパーク(福井県)

| スケジュール | | 交通手段 | 備考 |
|---------------------|---|------|--|
| 7:40 | 黒部市国際文化センター コラーレ発 | バス | ・黒部 IC 乗車(7:50)
・呉羽 PA 乗車(8:25)
・高岡砺波スマート IC 乗車(8:40) |
| 7:50 | 黒部インターチェンジ | | |
| 10:45 | 勝山市役所着 | | |
| 10:50
～
11:50 | 恐竜溪谷ふくい勝山ジオパーク推進協議会
・取組説明(60分程度)
・質疑・意見交換 | | 勝山市ジオパーク
まちづくり課 |
| 12:00
～
12:45 | 昼食・休憩(45分) | バス | 福彩り食堂 のむら屋 |
| 12:50
～
13:20 | 現地視察
・ゆめおーれ勝山 | バス | |
| 13:35
～
14:35 | ・福井県立恐竜博物館 | バス | ※現地の進行状況により、時間
が変更になる可能性があります |
| 14:45
～
15:10 | ・ジオパーク拠点施設
「ジオターミナル」 | 徒歩 | |
| 15:15 | 勝山市内発 | バス | ・高岡砺波スマート IC 下車(17:15)
・呉羽 PA 下車(17:30)
・黒部 IC 下車(18:05) |
| 18:05 | 黒部インターチェンジ | | |
| 18:15 | 黒部市国際文化センター コラーレ着 | | |

太古の咆哮



恐竜溪谷勝山
KATSUYAMA'S DINOSAUR VALLEY

勝山市商工観光部
部長 水上 実喜夫
MIKIO MIZUKAMI

福井県勝山市役所

〒911-8501
福井県勝山市元町1丁目1番1号
TEL : (0779)88-8105
FAX : (0779)88-1119
MOBIL :
E-mail:
<http://hisca.jp>



<http://hisca.jp>



恐竜溪谷ふくい勝山ジオパーク推進協議会事務局
勝山市商工観光部ジオパークまちづくり課
エコ・ジオパーク推進グループ
ジオパーク専門員

まち ずみ あき
博士 (理学) 町 澄 秋

〒911-8501 福井県勝山市元町1丁目1番1号
TEL/FAX: 0779-88-8126 (直通) / 1119
<http://www.city.katsuyama.fukui.jp>
E-mail:
info@hisca.jp

| | | | |
|--|----------------|---|---------------------------------------|
| 整理番号 | 2421 | 経途項目 | 01_調査研究費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
| 活動期間 | 平成30年12月21日 から | 活動の概要 | 調査活動 |
| | 平成 年 月 日 まで | | |
| 場所 | 県議会 | 中山間地域対策推進条例案について、
当局からの意見に対し、どのように対応するか検討する。 | 自宅-朝日IC-富山IC-
県議会-富山IC-朝日IC
-自宅 |
| | | 金額 | 経費の内容 |
| 鉄道・バス | | | 宿泊料 |
| タクシー | | | 食事代 |
| 航空機 | | | 会費 |
| 自家用車 | @37 × 120 km = | 4440 | |
| リース車 | @18 × km = | 0 | |
| 有料道 | | | |
| 駐車場 | | | 計 4440 |
| <p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。
枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p> | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 31 / 年 / 月 28 日
 決裁 平成 31 / 年 / 月 30 日
 処理 平成 31 / 年 / 月 30 日

| | | | | |
|--|-------------------------------|-------|--|---|
| 整理番号 | 2422 | 係名 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
| 活動期間 | 平成30年12月26日 から
平成 年 月 日 まで | 活動の種別 | 調査活動 | |
| 場所 | 県議会 | 活動の内容 | 1. 青少年保護条例の改正について、当局からヒヤリングをし意見交換を行う。2. 朝日岳周辺の山岳遭難の現状並びに新潟県警との連携のあり方について、警察当局からヒヤリングをし意見交換を行う。 | |
| | | 金額 | 経費の内容 | 金額 |
| | | | 宿泊料 | |
| | | | 食事代 | |
| | | | 会費 | |
| | 自家用車 @37 × 120 km = | 4440 | | |
| | リース車 @18 × km = | 0 | | |
| | 有料道 | | | |
| | 駐車場 | | 計 | 4440 |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | |

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成31年1月28日

決裁 平成31年1月30日

処理 平成31年1月30日



| | | |
|------|--|-------|
| 整理番号 | 2423 | |
| 依頼項目 | 03_広聴広報費 | |
| | 01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費
06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費 | |
| 内容 | ホームページホスティング料12月分 | |
| | 総額の内訳 | 金額(円) |
| | 12月分 | 8467 |
| | | 80% |
| | 《合 計》 | 8467 |

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を一枚、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領 収 証

005626

鹿熊 正一 様

平成 31 年 / 1 月 15 日

10584-

但し、HPホスティング料(12月分)
上記の金額正に領収いたしました。

株式会社 印刷
代表取締役
〒38-002 東京都荒川区西日暮里 1-1-1 03-5654-0128

取入印紙

取扱者印

| | | |
|---|-------|---|
| 内 | 印刷物代金 | ¥ |
| 取 | 消費税 | ¥ |

收受 平成 31 年 / 月 28 日
 決裁 平成 31 年 / 月 30 日
 処理 平成 31 年 / 月 30 日

報告者* 

| | | | |
|------|---|----------------------|---------------------------------|
| 整理番号 | 7424 | 事業概要 | |
| 使途項目 | 03_広聴広報費 | 01_調査研究費
06_資料作成費 | 02_研修費
07_資料購入費 |
| | | 03_広聴広報費
08_事務所費 | 04_要請陳情等活動費
09_事務費 |
| | | 05_会議費
10_人件費 | |
| 内容 | かくま正一討議資料 印刷代
かくま正一討議資料 郵送代

印刷代は10000部作成の内 対象額を80%
討議参加者予想 1000名とし .10%を計上

郵送代は253通 対象額を80% | | |
| | 上記事業に要した経費 | 経費の内容 | 金額(円) |
| | 印刷代 | 31104 | 388800×80%=311040円×10%=31104円 / |
| | 郵送代 | 17028 | 21286×80%=17028円 |
| | 《合計》 | 48132 | |

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を微し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領 収 証 007557

鹿熊正一後援会事務所様 平成 31 年 1 月 21 日

¥ 388,800 -

但し言議資料印刷代として
上記の金額正に領収いたしました。

株式会社 鹿熊の印刷
代表取締役 鹿熊 寛
〒538-0802 東京都中央区新富町1-1-1 TEL:03-54-01210

収入印紙 2010円
取扱番印

收受 平成 31 年 1 月 28 日
 決裁 平成 31 年 1 月 30 日
 処理 平成 31 年 1 月 30 日

939-0742
富山県下新川郡朝日町沼保977-1

鹿熊後援会事務所

御中

002114

納品書

平成30年12月25日 伝票No. 124754



Heartfull Communication

株式会社すがの印刷

〒938-0802 富山県黒部市若栗2630

TEL (0765) 54-0112(代) FAX (0765) 54-4073

| 区分 | 商品コード | 商品名 | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|----|-------|-------------|--------|----|----|---------|---------------|
| 売上 | 0123 | 討議資料
4+4 | 10,000 | 部 | | 360,000 | 消費税率: 8.0% |
| * | | 上記の取引の消費税等 | | | | 28,800 | 外税品計 360,000円 |
| 摘要 | | | | 合計 | | 388,800 | |

担当

領収書

鹿熊後援会事務所様

[別納引受]
区内特別基(定) 31.0g
082 199通 ¥16,318

小計 ¥16,318

第一種定形 31.0g
092 54通 ¥4,968

小計 ¥4,968

郵便物引受合計通数 253通
課税計 ¥21,286
(内消費税等 ¥1,576)
非課税計 ¥0

合計 ¥21,286
お預り金額 ¥21,300
おつり ¥14

〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時: 2019年1月7日 15:05
担当: [Redacted]
発行No. 190107A7809 端N15箱01
連絡先: 泊郵便局
TEL: 0765-83-0910

みなさまの明日に全力

まさかす

かくま

みなさまのご意見をお寄せください。▶

プロフィール

■経歴 昭和28年 富山県朝日町殿町に生まれる
 昭和52年 東京大学法学部卒業
 平成3年 新幹線・航空交通対策特別委員長、宇野特別委員長、建設企業常任委員長、富山県議会議員初当選以来連続7期当選し現在に至るこの間、<議会>では、建設企業常任委員長、新幹線・航空交通対策特別委員長、宇野特別委員長、議会運営委員長、県議会議長を歴任
 <自民党県連>では、政務調査会長、幹事長を歴任

- 現職 (国会) 経済建設常任委員会所属
 (自民党) 次世代人材育成・確保特別委員会所属
 議員会長(自民党県連副会長)
 中山間地域振興対策推進本部長
 医療問題調査会長
 経済建設部会・農業問題調査会
 水産問題調査会・私学教育調査会などに所属
 (所属議員連) 山村振興議員連盟会長
 自由民主党福井県議員連盟会長
 日中友好富山県地方議員連盟会長
 北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出する富山地方議員連盟副会長
 MOA議員連盟
 観光振興議員連盟
 スポーツ振興議員連盟
 商工会議議員連盟
 自衛隊支援議員連盟 などに所属

- 他の主な役職
- 新川地域推進協議会長
 富山県地域産業活性化議員協議会長
 下新川海岸漁業振興議員連盟会長
 富山県立いわいかわ総合支援学校教育振興会顧問
 富山県高等学校定時制通信制教育振興会副会長
 (一財)富山県消防設備保守協会理事長
 富山県土地改良事業団体連合会副会長
 (公財)富山県消防協会副会長
 富山県宝生会会長 朝日町土地改良区理事長
 朝日町消防団長 朝日町サッカー協会名誉会長

かくま正一 通称 朝日号(通称資料)
かくま正一・自由民主党富山県議会議員会
 事務所/〒939-0742 富山県下新川郡朝日町沼保977-1
TEL: 0765-82-1333 - FAX: 0765-82-2113

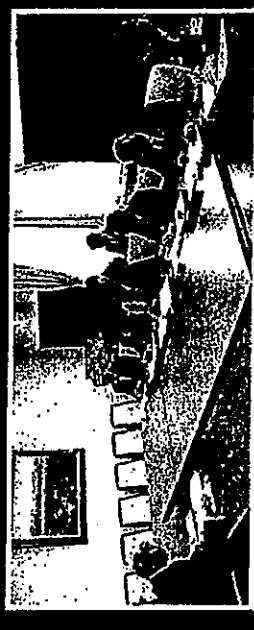
新川地域の重点課題を県に要望



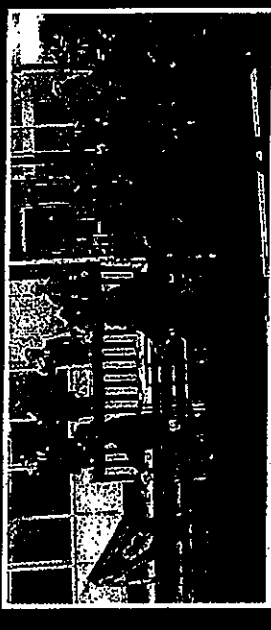
富山県の重点課題を自民党本部に要望



朝日町の重点課題を県に要望



消防出初式



E-mail: masakazu@kakuma.net
 URL http://www.kakuma-masakazu.jp/

— 今と明日に責任をもつかくま正一の政策 —

私の2つの重点政策

policy 1. インフラ整備(基盤整備)に全力

- 防災・減災のインフラ整備
- 一河川、海岸、急傾斜地等の整備
- 生活・産業のインフラ整備
- 一道路、公共交通、情報通信基盤等の整備
- 医療・福祉・教育のインフラ整備
- 一人材確保

policy 2.

私の3つの基本政策

活力と魅力ある地域づくり

- 農林水産業の振興と土地改良事業の推進
- 中小小規模企業の振興と産産者対策・起業支援の充実
- 人手不足対策の強化
- 地元が潤う観光施策の推進
- あいの風とやま鉄道の利便性向上
- 戦略的移住施策の推進と関係人口の活用
- 再生可能エネルギーの有効活用

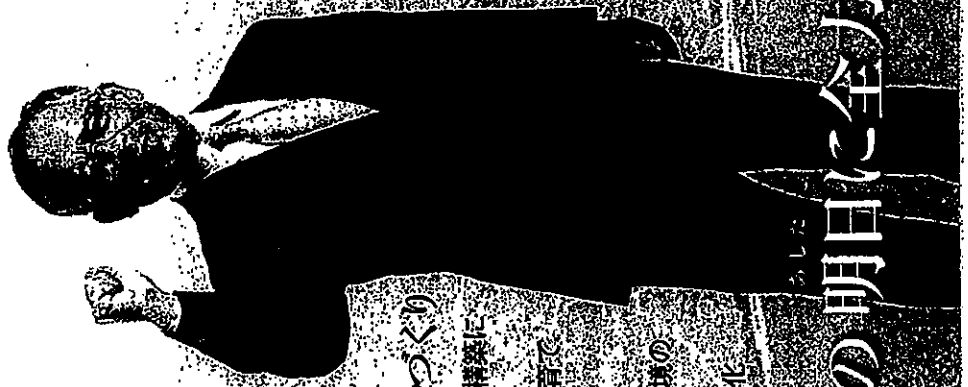
policy 3.

地域を担い、未来を担う人づくり

- 児童虐待・いじめ、不登校ゼロへの取り組み強化
- 挑戦する心や職業観、コミュニケーション力を養う教育の推進
- 助地対策等高校再編に伴う諸課題に取り組む
- 7卒の進路等による地域ぐるみの生活と教育の再評価
- ふるさと教育と夕陽（ふら）教育との並行的推進

policy 2. 持続可能な中山間地域づくりに全力

- 地域コミュニティの再生と災害に強い地域づくり
- 地域資源を活かした産業活性化による所得の増大
- 生活に必要な不可欠なサービスの確保



ふるさとを明日に全力

自民党議員会、知事との予算折衝

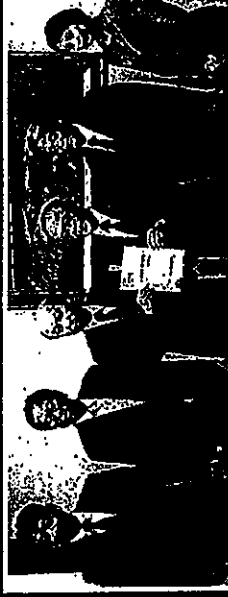
かくま正一の活動報告



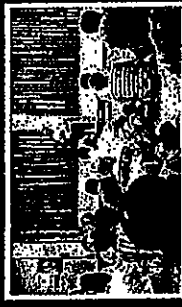
自民党代表質問に立つ



抜本的な中山間地域対策を知事に提言



各地区で県政報告会





| | | | |
|------------|-----------|--|--|
| 経費番号 | 2425 | 事業名称 | |
| 経費項目 | 07_資料購入費 | 01_調査研究費
02_研修費
03_広聴広報費
04_要請陳情等活動費
05_会議費
06_資料作成費
07_資料購入費
08_事務所費
09_事務費
10_人件費 | |
| 内容 | 新聞代金 11月分 | | |
| 経行の内訳* | 金額(円) | 備考 | |
| 北日本新聞、日経新聞 | 7072 | / | |
| 富山新聞 | 3060 | / | |
| 読売新聞 | 3093 | / | |
| | | | |
| | | | |
| 《合 計》 | 13225 | | |

《領収書貼付枠》



領収書

| | | |
|-----|-------|---------|
| 区 域 | 全 戸 数 | お問い合わせ先 |
| 34 | 85.00 | 1899 |

※は、別紙に整理すること。)

お名前 鹿熊 正一様
殿町1495

30 年 12 月分

84-8305

| 銘 柄 | 部 数 | 金 額 |
|--------|-----|-------|
| 1 読売新聞 | 1 | 3,093 |
| 2 | | |
| 3 | | |

◇左記の通り領収しました

合 計 3,093 円

領収日 30年 12月 28日

便利な自動振替受付中！手数料はいりません

Y C 泊

富山県下新川郡朝日町泊318



※区画もあわせて内容を十分ご確認ください。

| | | | |
|-------------|------|--------|-------|
| 13 31-01-04 | 新聞代金 | *7,072 | |
| 5 31-01-04 | | *3,060 | トヤマシブ |

收受 平成 31 年 / 月 28 日
 決裁 平成 31 年 / 月 30 日
 処理 平成 31 年 / 月 30 日



| | | | |
|-----------|-----------------------|----------|-------------|
| 経理番号 | 2426 | 事業計画番号 | |
| 債権の項目 | 09_事務費 | 01_調査研究費 | 02_研修費 |
| | | 03_広報広報費 | 04_要請陳情等活動費 |
| | | 05_会議費 | 06_資料作成費 |
| | | 07_資料購入費 | 08_事務所費 |
| | | 09_事務費 | 10_人件費 |
| 内容 | 電気料金12月分
事務所賃借料1月分 | | |
| 債権の内容 | 金額(円) | 比率 | |
| 電気料金12月分 | 2563 | / | 50% |
| 事務所賃借料1月分 | 15000 | / | 50% |
| (合 計) | 17563 | | |

領事 13 D30-12-10 電気料金 5,127 ホリクテ`ソリヨ

別紙に整理すること。)

しんきんオンライン

ネットキャッシュサービス取扱票
(ご利用明細票)


| | | | | |
|--|--------------|------|----|----|
| お取扱日 | 31-01-04 | 取扱金庫 | 店番 | 通番 |
| 口座番号 | | | | |
| *****-*****-***** | | | | |
| お取引金額 | 003000000000 | | | |
| お取引後の金額 | ¥30,000* | | | |
| お振込 | ¥0 | | | |
| 手数料 | ¥0 | ペーシ | 硬貨 | |
| 時刻 | 09:31 | おつり | | |
| カクマサカス`コウソク`カク`様
TEL0765-82-1333 | | | | |
| 印紙税申告納
*印紙税申告済
*印紙税申告済
*印紙税申告済
*印紙税申告済 | | | | |
| ご利用ありがとうございました。 | | | | |

この取扱金庫とお取引金額をお確かめください。お間違いのないようご注意ください。お取扱金庫の取扱時間にはご注意ください。

にいかお信用金庫

家賃

收受 平成31年1月28日
決裁 平成31年1月30日
処理 平成31年1月30日

報告者* 

| | | | | | |
|---|------------------------|----------------------|--------------------|---------------------|---|
| 経理番号 | 2427 | | | 事業概要 | |
| 使途項目 | 09_事務費 | 01_調査研究費
06_資料作成費 | 02_研修費
07_資料購入費 | 03_広聴広報費
08_事務所費 | 04_要請陳情等活動費
09_事務費
05_会議費
10_人件費 |
| 内容 | コピー用紙代金
インクカートリッジ代金 | | | | |
| 上記の項目を
実行した
経費 | 経費の内容* | 金額 (円) * | 備 考 | | |
| | コピー用紙代金 | 944 | / | 50% | |
| | インクカートリッジ代金 | 2330 | / | 50% | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | (合 計) * | 3274 | | | |
| <p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p> | | | | | |

收受 平成 31 年 / 月 28 日
 決裁 平成 31 年 / 月 30 日
 処理 平成 31 年 / 月 30 日

9171

領収証

鹿熊正一事務所様

000017215号

¥1,888.

(消費税 ¥139を含みます。)但しエビ一用紙
内訳 プリペイド ¥1,888

扱者印



2018年12月14日 上記正に領収しました。
株式会社コメリ 朝日店
新潟県新潟市南区清水4501-1
TEL 0765-83-9025

◇◇印刷面を内側に折って保管して下さい。◇◇

FORM 1

領収証

近くて便利の、その先へ



コメリハードアンドグリーン朝日店
0765-83-9025
2019年 1月16日(水)14:30 0832-0001

28 キャンクカートリッジ BC-340XL ¥2,680

28 キャンクカートリッジ BC-341 ¥1,980

小計 ¥4,660
(内消費税 8% ¥345)
商品計 2点

合計 ¥4,660
お預り ¥6,700
お釣り ¥1,040

21P



報告者* 

| | | | |
|--|---------|----------------------|-----------------------|
| 管理番号 | 2428 | | |
| 債権項目 | 10_人件費 | 01_調査研究費
08_資料作成費 | 02_研修費
07_資料購入費 |
| | | 03_広聴広報費
08_事務所費 | 04_要請陳情等活動費
09_事務費 |
| | | 05_会議費
10_人件費 | |
| 内容 | 人件費12月分 | | |
| 上記の金額に
おとした
経費 | 債権の内容* | 金額(円)* | 備 考 |
| | 人件費12月分 | 23987 | 50% |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | 《合 計》* | 23987 | |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | |

收受 平成 31 年 1 月 28 日
 決裁 平成 31 年 1 月 30 日
 処理 平成 31 年 1 月 30 日

給料計算書(調)

平成30年

| 月 | 日 | 曜日 | 就業時間 | 実勤h | 月 | 日 | 曜日 | 就業時間 | 実勤h |
|----|----|----|-------------|------|----|----|----|------------|------|
| 12 | 1 | 土 | | | 12 | 16 | 日 | | |
| | 2 | 日 | | | | 17 | 月 | 8:30~14:30 | 5 |
| | 3 | 月 | 8:30~14:30 | 5 | | 18 | 火 | | |
| | 4 | 火 | | | | 19 | 水 | 8:30~14:00 | 4.5 |
| | 5 | 水 | 8:30~14:30 | 5 | | 20 | 木 | | |
| | 6 | 木 | | | | 21 | 金 | 8:30~14:30 | 5 |
| | 7 | 金 | 8:30~14:30 | 5 | | 22 | 土 | | |
| | 8 | 土 | | | | 23 | 日 | | |
| | 9 | 日 | | | | 24 | 月 | | |
| | 10 | 月 | 8:30~12:00- | 3.5 | | 25 | 火 | | |
| | 11 | 火 | | | | 26 | 水 | 8:30~14:30 | 5 |
| | 12 | 水 | 8:30~14:30 | 5 | | 27 | 木 | | |
| | 13 | 木 | | | | 28 | 金 | 8:30~11:00 | 2.5 |
| | 14 | 金 | 8:30~14:30 | 5 | | 29 | 土 | | |
| | 15 | 土 | | | | 30 | 日 | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | 小 計 | 28.5 | | | | 小 計 | 22 |
| | | | | | | | | 合 計 | 50.5 |

| | | | | |
|--|------|------|--|--------|
| | (時給) | (時間) | | (給与) |
| | 950 | 50.5 | | 47,975 |
| | 円 | 時間 | | 円 |

領 収 証

自由民主党富山県議会議員

鹿 熊 正 一 様

23,987 円

平成31年 1月7日

上記金額正に領収いたしました

[Redacted Signature]
[Redacted Stamp]



| | | | | |
|--|------------------|---|--------------|--------------------------------------|
| 申請番号
2413 | | 経費項目
01_調査研究費
02_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 | | |
| 活動期間
平成30年12月3日 から
平成 年 月 日 まで | 活動の概要
調査活動 | | | |
| | 場所
新川農林振興センター | 新川農林振興センターにおいて、管内の「富富富」の品質と来年の生産の見込みについて調査する。また、管内における、園芸作物の取組み状況と課題について調査する。 | | 自宅ー朝日ICー魚津ICー新川農林振興センターー魚津ICー朝日ICー自宅 |
| 経費の内容
鉄道・バス | | 金額 | 経費の内容
宿泊料 | 金額 |
| タクシー | | | 食事代 | |
| 航空機 | | | 会費 | |
| 自家用車 @37 × 55 km = | | 2035 | | |
| リース車 @18 × km = | | 0 | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | | 計 | 2035 |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 31 年 / 1 月 28 日
 決裁 平成 31 年 / 1 月 30 日
 処理 平成 31 年 / 1 月 30 日



| | | | |
|------|------------------------------|-------|--|
| 整理番号 | 2416 | 経費項目 | 01_調査研究費
01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
| 活動期間 | 平成30年12月9日 から
平成 年 月 日 まで | 活動の概要 | 講演会
全国水土里ネット会長会議顧問の宮崎まさお氏から「農業農村整備の今後の展開方向」と題する講演を聴く。別紙 |
| 活動 | 国際会議場 | | 自宅-朝日IC-富山IC-国際会議場-富山IC-朝日IC-自宅 |

| | 金額 | 経費の内容 | 金額 |
|---------------------|------|-------|------|
| 鉄道・バス | | 宿泊料 | |
| タクシー | | 食事代 | |
| 航空機 | | 会費 | |
| 自家用車 @37 × 120 km = | 4440 | | |
| リース車 @18 × km = | 0 | | |
| 有料道 | | | |
| 駐車場 | 800 | 計 | 5240 |

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

□□□□□□□□□□□□□□□□
 □ テクノパーク24大手町 □
 □ TEL 439-6957 □
 □□□□□□□□□□□□□□□□

領 収 証

入庫日時 2018年12月09日 12時26分
 出庫日時 2018年12月09日 16時15分
 No.01-000188 車室21-000002

駐車料金(一般) 800円

料金計 800円

投入現金 1,000円

釣銭額 200円

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数(Km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成31年1月28日
 決裁 平成31年1月30日
 処理 平成31年1月30日



| | | | | |
|--|-------------------------------|--|---|---|
| 案内番号 | 2417 | 経費項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
| 実施期間 | 平成30年12月10日 から
平成 年 月 日 まで | 活動の概要 | 調査活動、意見交換会 | |
| 開催場所 | 国際会議場 | 1. 中山間地域対策推進条例について内部検討を行う。2. 自民党議員会役員と富山県自動車整備振興会役員と意見交換を行う。別紙 | 自宅-朝日IC-富山IC-
県議会-ANAクラウンプラザ
ホテル-富山IC-朝日IC-
自宅 | |
| | | 金額 | 経費の内容 | 金額 |
| 鉄道・バス | | | 宿泊料 | |
| タクシー | | | 食事代 | |
| 航空機 | | | 会費 | |
| 自家用車 | @37 × 120 km = | 4440 | | |
| リース車 | @18 × km = | 0 | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | | 計 | 4440 |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を枚し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | |

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 31 年 1 月 28 日
 決裁 平成 31 年 1 月 30 日
 処理 平成 31 年 1 月 30 日



| | | | | |
|---|----------------|-------|---|---|
| 管理番号 | 2419 | 特設項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
| 活動期間 | 平成30年12月18日 から | 活動の概要 | 調査活動 | |
| | 平成 年 月 日 まで | | 1. 中山間地域対策推進条例について内部検討を行う。2. 県内のマイクロ発電事業の現状と課題について調査する。 | |
| 開催 | 県議会 | | 自宅ー魚津ICー富山ICー
県議会ー滑川ICー入膳IC
ー自宅 | |
| | | 金額 | 経費の内容 | 金額 |
| 鉄道・バス | | | 宿泊料 | |
| タクシー | | | 食事代 | |
| 航空機 | | | 会費 | |
| 自家用車 | @37 × 120 km = | 4440 | | |
| リース車 | @18 × km = | 0 | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | | 計 | 4440 |
| <p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p> | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 31 年 / 月 28 日
 決裁 平成 31 年 / 月 30 日
 処理 平成 31 年 / 月 30 日



| 管理番号 | 2652 | | 経費項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 | |
|---|-------------|------|-------|----------|---|-------|
| 期 | 平成30年12月1日 | から | 活動の形態 | 高速代 | | |
| | 平成30年12月31日 | まで | | | | |
| 活動 | | | | | | |
| 経費の内容 | | | 金額 | 経費の内容 | | 金額 |
| 鉄道・バス | | | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | | | 食事代 | | |
| 航空機 | | | | 会費 | | |
| 自家用車 | @37 × | km = | 0 | | | |
| リース車 | @18 × | km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | 10320 | | | |
| 駐車場 | | | | 計 | | 10320 |
| <p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p> | | | | | | |

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 31 年 3 月 1 日
 決裁 平成 31 年 3 月 1 日
 処理 平成 31 年 3 月 4 日

| ご利用年月日 | ご利用店名 | ※
種別 | ご利用金額(円) | お支払方法 | 金額
枚数 | 今回ご請求金額(円) | 概要 |
|-----------------|---------|---------|----------|-------|----------|-------------|-----------|
| | | | 鹿熊 正一様 | | | | |
| | | ☆ | | | | | |
| | | ☆ | | | | | |
| 18/12/3 | ETC通行料金 | ☆ | 650 | 1回払 | 1 | 650 ETC 朝日 | 魚津 普通車 |
| 18/12/3 | ETC通行料金 | ☆ | 650 | 1回払 | 1 | 650 ETC 魚津 | 朝日 普通車 |
| | | ☆ | | | | | |
| | | ☆ | | | | | |
| 18/12/7 | ETC通行料金 | ☆ | 950 | 1回払 | 1 | 950 ETC 富山 | 魚津 普通車 |
| 18/12/7 | ETC通行料金 | ☆ | 1440 | 1回払 | 1 | 1440 ETC 朝日 | 富山 普通車 |
| 18/12/9 | ETC特別割引 | ☆ | 1010 | 1回払 | 1 | 1010 ETC 富山 | 朝日 普通車 |
| 18/12/9 | ETC特別割引 | ☆ | 1010 | 1回払 | 1 | 1010 ETC 朝日 | 富山 普通車 |
| 18/12/10 | ETC通行料金 | ☆ | 1440 | 1回払 | 1 | 1440 ETC 朝日 | 富山 普通車 |
| 18/12/10 | ETC通行料金 | ☆ | 1440 | 1回払 | 1 | 1440 ETC 富山 | 朝日 普通車 |
| | | ☆ | | | | | |
| | | ☆ | | | | | |
| | | ☆ | | | | | |
| | | ☆ | | | | | |
| | | ☆ | | | | | |
| 18/12/18 | ETC通行料金 | ☆ | 780 | 1回払 | 1 | 780 ETC 清川 | 入替スマー 普通車 |
| 18/12/18 | ETC通行料金 | ☆ | 950 | 1回払 | 1 | 950 ETC 魚津 | 富山 普通車 |
| ** 今回ご利用金額合計 ** | | | 19660 | | | | |
| ** ご請求金額合計 ** | | | | | | 19660 | |

※ポイント:今回ポイント獲得対象のご利用に☆印を表示、※お支払方法:お支払方法またはお支払回数を表示(ボ-1=ボーナス1回払い、ボ-2=ボーナス2回払い)、※今回回数:今回のお支払いが何回目かを表示、※概要:ボーナス払いのお支払い月など一部のご利用についてのご説明(海外でのご利用には現地通貨・通貨略称・換算レート)を表示、○は支払方法を実見できます。ただし一部ご要望にお応えできない場合がございます。

カードの紛失、盗難時の不正利用が激増しています!



| | | | | |
|---|--------------|---|-------------------------------|---|
| 報告番号 | 2653 | 活動項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
| 活動期間 | 平成31年1月8日 から | 活動の概要 | 調査活動 | |
| 実施機関 | 県議会 | 1. 県議会山村振興議員連盟の知事要望に先立ち、当局と意見交換を行う。2. 中山間地域対策推進条例案について検討を行う | 自宅ー黒部ICー富山ICー県議会ー富山ICー朝日ICー自宅 | |
| 経費の内訳 | 金額 | 経費の内訳 | 金額 | |
| 鉄道・バス | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | 食事代 | | |
| 航空機 | | 会費 | | |
| 自家用車 @37 × 120 km = | 4440 | | | |
| リース車 @18 × km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | 計 | 4440 | |
| <p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p> | | | | |

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数(Km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成31年 2月 8日
 決裁 平成31年 3月 1日
 処理 平成31年 3月 4日



| 管理番号 | 2654 | 後援項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 | |
|--|----------------|-------|--|---|------|
| 活動期間 | 平成31年1月9日 から | 活動の概要 | 調査活動 | | |
| | 平成 年 月 日 まで | | 1. 中山間地域対策推進条例案について中山間地域対策推進本部と条例PT合同会議を開き協議する。2. 最近の企業誘致・立地の動きについて県担当者と意見交換を行う。 | | |
| 場所 | 県議会 | | 自宅-県議会-自宅 | | |
| 経費の内容 | | 金額 | 経費の内容 | | 金額 |
| 鉄道・バス | | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | | 食事代 | | |
| 航空機 | | | 会費 | | |
| 自家用車 | @37 × 120 km = | 4440 | | | |
| リース車 | @18 × km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | | |
| 駐車場 | | | 計 | | 4440 |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成27年2月1日
 決裁 平成27年3月1日
 処理 平成27年3月4日



| 管理番号 | 2655 | 経費項目 | 01_調査研究費
01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 | |
|--|------------------------------|-------|---|------|
| 活動期間 | 平成31年1月11日 から
平成 年 月 日 まで | 活動の名称 | 調査活動、要望活動 | |
| 所属 | 県議会 | 活動の概要 | 1. 県山村振興議員連盟から知事に、31年度予算要望を行う。2. 自民党都市農山漁村交流調査会とNPOグリーンツーリズムとやまとの意見交換会を開催する。3. NPOグリーンツーリズムとやま主催の「地域づくり」研究会に参加し、講演を聴く。
自宅ー黒部ICー富山ICー
県議会ー富山ICー朝日IC
ー自宅 | |
| 経費の内容 | | 金額 | 経費の内容 | 金額 |
| 鉄道・バス | | | 宿泊料 | |
| タクシー | | | 食事代 | |
| 航空機 | | | 会費 | |
| 自家用車 | @37 × 120 km | 4440 | | |
| リース車 | @18 × km = | 0 | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | | 計 | 4440 |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成31年3月1日
 決裁 平成31年3月1日
 処理 平成31年3月4日

F A X 送 信 票

平成30年11月9日

宛先

鹿熊会長 殿
宮本副会長 殿
筱岡事務局長 殿

用件

富山県議会 山村振興議員連盟
平成31年度予算に係る知事要望の日程について

本書のみ

連絡事項

いつもお世話になっております。
県議会事務局 議事課の増山です。

知事要望の日程について決定しましたので
お知らせいたします。
よろしく願いいたします。

【日時】 平成31年1月11日 (金)
10:00~10:15

【場所】 知事応接室

(担当) 富山県議会事務局 議事課 議事係 増山

住所 〒930-8501 富山市新総曲輪1-7 富山県議会事務局

TEL 076-444-3411 / FAX 076-444-3471

平成30年12月26日

各位

自民党都市農山漁村交流調査会
会長 宮本光明

自民党都市農山漁村交流調査会とNPO法人グリーンツーリズム
とやまとの意見交換会の開催について

○ 標記について、下記のとおり開催しますのでご出席願います。

記

1 日時 平成31年1月11日(金) 11:00~13:00

【昼食を用意します】

2 場所 議事堂3階 中会議室

3 出席者 自民党都市農山漁村交流調査会会員

○ (鹿熊議員、横山議員、中川議員、稗苗議員、宮本議員)

NPO法人グリーンツーリズムとやま

(長崎理事長ほか数名)

※欠席の場合は自民党控室(076-431-5244)までご連絡願います。

<参考> 当日の日程

10:00 山村振興議員連盟知事要望(知事応接室)

11:00 自民党都市農山漁村交流調査会とNPO法人

グリーンツーリズムとやまとの意見交換会

(3階中会議室)

平成 30 年 12 月吉日

関係各位

富山県指定 交流地域活性化センター
NPO 法人グリーンツーリズムとやま
理事長 長崎 喜一

「地域づくり」研究会のお知らせ

初冬の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、当法人の事業推進等に格別のご配慮、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、全国的に中山間地域の衰退が危ぶまれる中、島根県ではいち早く総合的な中山間地域対策や地域づくり支援を行い、持続可能な活力ある中山間地域づくりを推進しておられます。

そこで、「島根県中山間地域研究センター」から講師をお迎えし、下記のとおり研究会を開催する運びとなりましたので、中山間地域等で地域づくり支援に関わっている皆様はどうぞふるってご参加ください。

「次世代に引き継ぐための中山間地域づくりを考える」

講師：島根県中山間地域研究センター主席研究員 有田 昭一郎氏

○開催日：平成31年1月11日（金）

○参加対象：地域づくり活動やグリーン・ツーリズム等の活動組織に携わっている方、地域おこし協力隊、行政関係など

申込締切：1月4日（金）

参加費：無料

○プログラム

(1) 研究会

時間：15:00～17:00

会場：富山県建設会館 4 階 大会議室

参加費：無料

(2) 情報交換会

研究会終了後、有田氏を囲んでの情報交換会を開催いたします。

参加ご希望の方は併せてお申し込みください。

時間：18:00～20:00 頃

会場：いろいろ（富山県富山市新富町 2-4-23）※富山駅から徒歩 5 分

会費：5,000 円

【講師プロフィール】

有田昭一郎氏

島根県中山間地域研究センター
地域研究スタッフ 主席研究員

熊本県出身。鳥取大学農学部連合大学院、(株)関西計技術研究所(大阪市)を経て、2003年度から島根県にIターンし現職。

専門分野は地域運営組織、住民組織の経済事業、定住条件と家計・暮らし、地域経済循環。

主な著書：『循環型経済をつくる』（共著、農文協）、『中山間地域の「自立」と農商工連携』（共著、新評論）、『地域運営組織における経済事業の役割と展開条件』（都市問題）など。

事務局：NPO 法人グリーンツーリズムとやま

TEL 076-482-3161 FAX 076-482-3635

E-mail [REDACTED] 担当： [REDACTED]



| | | | | | |
|--|---------------|--|---------------------------------------|---|------|
| 2856 | | 01_調査研究費 | | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 | |
| 活動期間 | 平成31年1月15日 から | 活動の概要 | 調査活動、要望活動 | | |
| 活動場所 | 県議会 | 1. 政調会主催の朝勉強会に出席する。2. 富山県林政連盟役員と31年度予算要望に関して意見交換を行う。3. 富山県土地改良事業団体連合会役員と31年度要望に関して意見交換を行う。 | 自宅-朝日IC-富山IC-
県議会-富山IC-魚津IC-
自宅 | | |
| 経費の内容 | | 金額 | 経費の内容 | | 金額 |
| 鉄道・バス | | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | | 食事代 | | |
| 航空機 | | | 会費 | | |
| 自家用車 | @37 × 120 km | 4440 | | | |
| リース車 | @18 × km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | | |
| 駐車場 | | | 計 | | 4440 |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | | |

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成31年3月1日
 決裁 平成31年3月1日
 処理 平成31年3月4日

平成31年1月4日

自由民主党富山県議会議員会
各 位

自由民主党富山県議会議員会
幹事長 上田 英俊

朝勉強会の開催について

このことについて、下記のとおり勉強会を開催することといたしますので、議員の皆様におかれては、何かとご多用とは存じますが、ご参加をお願いします。

記

- 1 日 時 平成31年1月15日(火) 午前7時30分から8時30分
- 2 場 所 自由民主会館 3階大会議室
- 3 勉強会
テーマ 「立山～弥陀ヶ原ロープウェイ構想について」
講 師 観光・交通・地域振興局長 猪俣 明彦 氏

《参考》当日(1月15日)の日程

- 7:30 朝勉強会(自由民主会館)
- 10:00 自民党役員会(中山間条例)
- 13:00 自民党議員総会(中山間条例)

※ ご都合の悪い方は、ご連絡下さい。(自民党控室 076-431-5244)

平成 30 年 12 月 7 日

自由民主党富山県議会議員会
会長 鹿熊正一様

富山県林政連盟
会長

平成 31 年度林業関係事業の要望について

初冬の候、貴台にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より、本県の森林、林業、木材産業の振興のため、格段のご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成 31 年度の予算編成にあたり、林業行政に係る諸問題についてのご高見を拝聴いたしたく下記にて懇談会を開催しますので、ご多用中のところ誠に恐縮に存じますがご出席方よろしくお願い申し上げます。

記

- 1 日時 平成 31 年 1 月 15 日 (火)
午前 11 時 50 分～12 時 50 分
- 2 場所 富山県民会館 8 階バンケットホール
(電話 076-432-3111 代)

昼食を準備しています。

なお、出欠のご返事を別紙の FAX 用紙でいただきたくお願いいたします。

(事務担当 富山県山林協会 Tel 076-441-5737

Fax. 076-441-5714、メール

富士改連第211号
平成30年12月7日

自由民主党
富山県議会議員会 会長
鹿 熊 正 一 様

富山県土地改良事業団体連合会
会 長 堂 故 茂

平成31年度土地改良事業予算に関する要請について

師走の候 益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より、本県土地改良事業の推進ならびに本会の業務運営に
対しまして多大なご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

つきましては、平成31年度土地改良事業予算に関する要請を下
記のとおり行いたく、公務ご多忙の折とは存じますが何卒ご出席
賜りますよう、お願いいたします。

記

- | | | |
|------------|---|--------------------------------|
| 1. 日 | 時 | 平成31年1月15日(火) 14:00~15:30 |
| 2. 場 | 所 | 富山県議会棟 3階会議室 |
| 3. 要 請 | 先 | 富山県議会自民党役員等 |
| 4. 要 請 | 者 | 富山県土地改良事業団体連合会
会長 堂故 茂ほか役職員 |
| 5. 要 望 事 項 | | 「平成31年度土地改良事業予算の確保について」 |

(担当：総務部 076-424-3300)

農業農村整備事業に関する要請活動について

1. 日 時 平成31年1月15日(火)
14:00~15:30

2. 要 請 先

| | |
|------------|-------|
| 富山県知事 | 石井隆一 |
| 自民党県議会役員 | |
| 常任顧問 | 米原 蕃 |
| 常任顧問 | 四方正治 |
| 議員会長 | 鹿熊正一 |
| 幹事長 | 上田英俊 |
| 総務会長 | 宮本光明 |
| 政調会長 | 武田慎一 |
| 県議会農林水産委員長 | 瘡師富士夫 |
| 県議会議員 | 井上 学 |

3. 要 請 者 富山県土地改良事業団体連合会
会長、副会長、理事、監事、事務局

4. 行動予定

※議会棟3階会議室に直接お越し下さい

14:00 自民党県議会役員に要請 〈 県議会棟3階会議室 〉

14:30 終了

15:15 知事に要請 〈 知事応接室 〉

15:30 終了(予定)

5. 要請項目

1. 農業農村整備事業関係予算の十分な確保
2. 大区画化ほ場整事業の推進
3. 農業水利施設の耐震・安全対策の推進
4. 農家負担の軽減対策の充実
5. 日本型直接支払制度の充実
6. 中山間地域を守るための事業の充実
7. 土地改良区運営への支援
8. 農業用水路安全対策関連予算の充実
9. 農事用電力の経過措置の継続、または同等の料金体系の存続



| | | | | | |
|--|----------------------|-------------------------|---|---|-----------|
| 案番号
2657 | | 依頼項目
01_調査研究費 | | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 | |
| 発着日
平成31年1月16日 から
平成 年 月 日 まで | 活動の概要
調査活動 | | 県農林振興センター林次長と中山間地域の農業振興策（朝日町花房集落の薬草栽培等）について意見交換を行う。 | | |
| | 新川農林振興センター黒部庁舎 | | | | |
| 経費の内容 | | 金額 | 経費の内容 | | 金額 |
| 鉄道・バス | | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | | 食事代 | | |
| 航空機 | | | 会費 | | |
| 自家用車 | @37 × 36 km = | 1332 | | | |
| リース車 | @18 × km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | | |
| 駐車場 | | | 計 | | 1332 |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 31 年 3 月 1 日
 決裁 平成 31 年 3 月 1 日
 処理 平成 31 年 3 月 4 日



| 管理番号 | 2658 | 使途科目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
|--|------------------------------|---|---------------------------------------|---|
| 活動期間 | 平成31年1月17日 から
平成 年 月 日 まで | 活動の概要 | 調査活動 | |
| 所属 | 県議会 | 1. 外国人材及びその家族の富山県受入れ体制の整備。方針について調査する。2. 富山県の肥満予防に関する対策について調査する。 | 自宅-朝日IC-富山IC-
県議会-魚津IC-朝日IC-
自宅 | |
| 経費の内容 | 金額 | 経費の内容 | 金額 | |
| 鉄道・バス | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | 食事代 | | |
| 航空機 | | 会費 | | |
| 自家用車 @37 × 120 km = | 4440 | | | |
| リース車 @18 × km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | 計 | 4440 | |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 31 年 2 月 / 日
 決裁 平成 31 年 3 月 / 日
 処理 平成 31 年 3 月 4 日



| 整理番号 | 2659 | 使途項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
|--|------------------------------|--|---------------------------------------|---|
| 活動期間 | 平成31年1月21日 から
平成 年 月 日 まで | 活動の概要 | 調査活動 | |
| 実施所 | 県議会 | 1. とやま未来創生戦略2018に基づき、人口の社会動態の状況、合計特殊出生率の変化の状況について調査する。2. 県内における介護人材の外国人採用の状況を調査する。 | 自宅-朝日IC-富山IC-
県議会-富山IC-朝日IC-
自宅 | |
| 経費の内容 | 金額 | 経費の内容 | 金額 | |
| 鉄道・バス | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | 食事代 | | |
| 航空機 | | 会費 | | |
| 自家用車 @37 × 120 km = | 4440 | | | |
| リース車 @18 × km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | 計 | 4440 | |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成31年3月1日
 決裁 平成31年3月1日
 処理 平成31年3月4日



| 管理番号 | 2660 | 経費項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
|--|------------------------------|---|---------------------------------------|---|
| 活動期間 | 平成31年1月23日 から
平成 年 月 日 まで | 活動の概要 | 調査活動、勉強会 | |
| 所属 | 県議会 | 1. 経済建設部会を開催し代表質問項目について協議する。2. 政調会主催の勉強会に出席する。3. 自民党消防調査会が知事に予算要望を行う。 | 自宅-朝日IC-富山IC-
県議会-富山IC-朝日IC-
自宅 | |
| 経費の内容 | 金額 | 経費の内容 | 金額 | |
| 鉄道・バス | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | 食事代 | | |
| 航空機 | | 会費 | | |
| 自家用車 @37 × 120 km = | 4440 | | | |
| リース車 @18 × km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | 計 | 4440 | |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 31 年 3 月 1 日
 決裁 平成 31 年 3 月 1 日
 処理 平成 31 年 3 月 4 日

平成30年12月12日

自由民主党政務調査会
経済建設部会員各位

自由民主党政務調査会
経済建設部会長 永森 直人

経済建設部会の開催について

このことについて、下記のとおり開催しますので、ご出席願います。

記

1 日 時 平成31年1月23日(水) 12:00~
(昼食付き)

2 場 所 議事堂 2階 自民党控室内会議室

3 協議事項

- (1) 平成31年度県予算に関する要望について
(企画委員会・党折衝に向け、政府予算案、11/27知事要望書提出後の状況を踏まえての検討)
- (2) 2月定例会代表・総括質問項目について
- (3) その他

※ 欠席の場合は、自民党控室へご連絡願います。(TEL076-431-5244)

(参考) 当日のスケジュール

| | | |
|--------------|---------------------|--------------------|
| 10:00 | 自民党政調会 | (議事堂特別室) |
| <u>12:00</u> | <u>経済建設部会</u> 【昼食付】 | <u>(自民党控室内会議室)</u> |
| 13:00 | 自民党勉強会 (文教公安部会主催) | (議事堂大会議室) |
| 14:30 | 自民党正副部会長会議 | (議事堂中会議室) |

勉強会次第

日時：平成31年1月23日（水）
午後1時から2時30分まで
場所：議事堂2階大会議室

1 開 会

○
2 研 修

(1) 講 演

「戸田市の教育改革について」

講師 戸田市教育委員会教育長 戸ヶ崎 勤 氏

戸田市教育委員会事務局 副参事兼教育総務課長 栗津 典浩 氏

(2) 質疑応答

○
3 閉 会

戸田市教育委員会教育長
戸ヶ崎 勤（とがさき つとむ）氏



中学校教諭・教頭・校長、戸田市及び埼玉県教育委員会の経験を経て、2015年4月から現職。

産官学民の知のリソースを活用した戸田市 PEER カリキュラム (Programming・English・Economic Education・Reading Skills) の開発や学校現場への SEEP (STEAM・EBPM・EdTech・PBL) の浸透など攻めの教育行政を推進中。

教育再生実行会議 技術革新ワーキング・グループ有識者
中央教育審議会 教育振興基本計画部会臨時委員
文部科学省 全国的な学力調査に関する専門家会議委員
文部科学省 未来の学びコンソーシアム運営協議会委員
経済産業省 「未来の教室」と EdTech 研究会委員
第3期埼玉県教育振興基本計画策定有識者会議委員

<補足説明>

○STEAM 科学 (Science)、技術 (Technology)、工学 (Engineering)、芸術 (Arts)、数学 (Mathematics) の頭文字。米国等がイノベーションの担い手を育てるため、理数や科学技術、表現・芸術を融合した教育を推進。問題解決型の学習やプロジェクト型の学習を重視する。

○EBPM 客観的根拠に基づく政策立案 (Evidence-Based Policy Making)。この推進のため、文部科学省は30年10月の組織改編で総合教育政策局を新設。

○EdTech Education (教育) と Technology (テクノロジー) を組み合わせた造語で、教育における AI・ビッグデータ等を活用した取組をいう。「今後は個々に応じた教育が必要であり、スタディ・ログ (学習履歴) を活用するなど EdTech を積極的に進めるべきであり、公教育でどれだけ取り入れられるか、しっかりお願いしたい (H30.6.13 自民党 EdTech 推進議員連盟の文部科学大臣申し入れ)」

○PBL 課題解決型学習 (Problem Based Learning)

平成 31 年度
消防・防災関係予算の確保等に関する要望

平成 31 年 1 月 23 日
自民党消防調査会



| | | | | | |
|--|----------------|------------------|--|---|------|
| 管理番号
2661 | | 使途科目
01_調査研究費 | | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 | |
| 活動期間 | 平成31年1月24日 から | 活動の概要 | 調査活動 | | |
| | 平成 年 月 日 まで | | 1. 2月5日に開催される「次世代人材育成・確保特別委員会」の質問項目について調査する。①女性就業の状況②高齢者就業の状況③県立高校建築土木科の志願状況等。 | | |
| 場所 | 県議会 | | 自宅→朝日IC→富山IC→県議会→富山IC→朝日IC→自宅 | | |
| 経費の内容 | | 金額 | 経費の内容 | | 金額 |
| 鉄道・バス | | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | | 食事代 | | |
| 航空機 | | | 会費 | | |
| 自家用車 | @37 × 120 km = | 4440 | | | |
| リース車 | @18 × km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | | |
| 駐車場 | | | 計 | | 4440 |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成31年3月1日
 決裁 平成31年3月1日
 処理 平成31年3月4日



| 管理番号 | 2662 | 経費項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
|--|------------------------------|--|---------------------------------------|---|
| 活動期間 | 平成31年1月28日 から
平成 年 月 日 まで | 活動の概要 | 調査活動 | |
| 場所 | 県議会 | 富山大学医学部の戸邊教授他が石井知事に対し、「富山県のメタボ・糖尿、病対策」について、面談・要望するのに同行し、意見交換を行う。別紙 | 自宅-朝日IC-富山IC-
県議会-富山IC-朝日IC-
自宅 | |
| 経費の内容 | | 金額 | 経費の内容 | |
| 鉄道・バス | | | 宿泊料 | |
| タクシー | | | 食事代 | |
| 航空機 | | | 会費 | |
| 自家用車 | @37 × 120 km = | 4440 | | |
| リース車 | @18 × km = | 0 | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | | 計 | 4440 |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成31年3月1日
 決裁 平成31年3月1日
 処理 平成31年3月4日

石井知事との面談資料

富山県のメタボ・糖尿病対策について

- ① 県議会議員
- ② 富山大学第一内科教授
- ③ 富山大学疫学健康政策学講座教授
- ④ 国民健康保険団体連合会
- ⑤ 健康保険組合／大企業

鹿熊正一先生

戸邊一之

関根道和

[REDACTED]

[REDACTED]

依頼事項一原因と対策(1)

1, 特定健診で異常が見つかった方への保健指導実施率が低い

①医師会に対して:保健指導を行う「かかりつけ医」さんが、ヘモグロビンA1cをみて「軽いからまだ大丈夫」というため、患者さんが安心してしまい、保健指導を受けるモチベーションが下がる

②保健指導のスキル不足→県がイニシアティブをとった保健師さんへの体系的な教育→県は民間の健診・保健指導機関の指導機関である

③ハイリスク患者を優先的に指導するシステムの開発

2, 地域によって大きな差があるのでそれを「見える化」するとよいが地域が大きすぎる。もっと小さな区域でも保健指導実施率が分析されているのでそれを「見える化」する。(例えば、富山市は大きすぎて管理が不可能)→これは例えば富山市がやる気になれば今でもKDBシステムで可能

依頼事項一原因と対策(2)

3, 糖尿病の合併症の検査率が富山県は低いので医師会にお願いをしたい

4, 糖尿病のコントロール状況を示すヘモグロビンA1cの値が委託している検査機関の検査方法の違いによって県西部が、県東部と比較してやや高く出る(+0.2)傾向がある。

5, 特定健診・特定保健指導の向上を医療費適正化計画だけでなく、医療計画にも入れてほしい

6, 市民への啓発事業(市民公開講座等)への支援

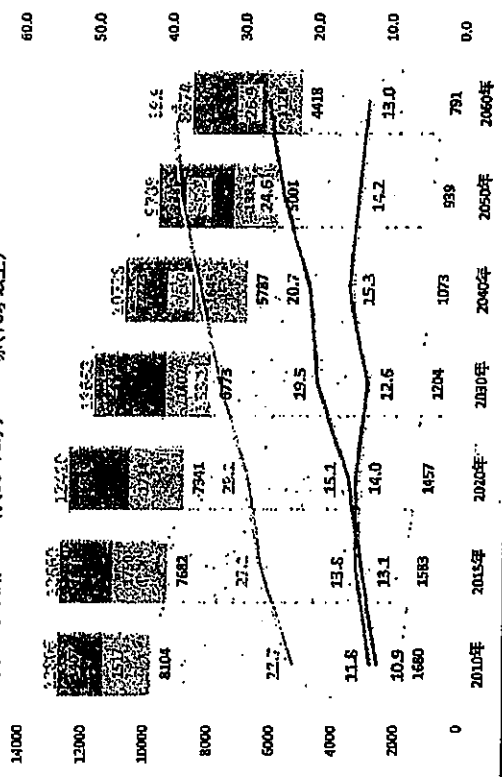
追加でテレビコマーシャル等でアピールしてほしい

糖尿病の信号のパンフレットのようなものを作成してほしい

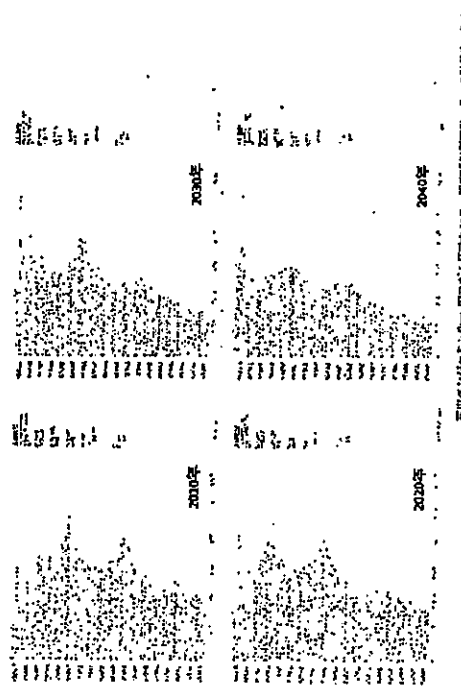
心で魚を食べても食入（DV60）に
 女性 糖尿病が多いのはなぜ？
 健康長寿の鍵は食生活にある
 富山大学大学院 医学薬学研究所 内科学(1) 教授 戸邊 隆之

超高齢化社会が進んでいる(2020年以降 75才以上>65-75才)

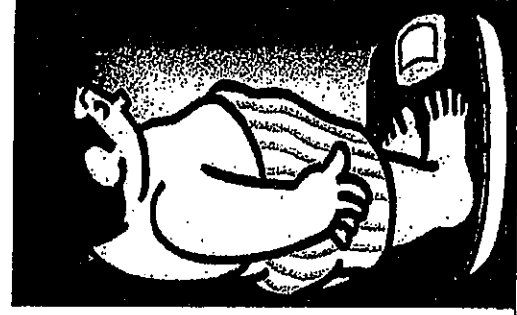
<15才 16-65才 66-75才 75才以上
 ... 貧(65才未満) 一貧(65-75才) 一赤(75才以上)



富山県人口ピラミッド
~2010年から2040年~



富山県民はメタボや糖尿病が多い
(平成27年健康増進省NDBオプンデータよりメタボ率の平均値を28年要国民健康保険中央会集計データ)



メタボ率

- 15市町村国保(約7万人)
- 全医療保険者(約26万人)
- 糖尿病率(HbA1c>6.5%)
- 全医療保険者
- 収縮期血圧
- 拡張期血圧
- 悪玉コレステロール
- 善玉コレステロール
- 肥満度
- 腹囲

- 全国第9位
- 全国第41位
- 全国第36位
- 全国第24位
- 全国第17位
- 全国第31位
- 全国第18位
- 全国男性第3位
- 全国第10位
- 女性1位

(富山県国保連作成年料に基づき作成)

健康寿命の延伸には
あと、メタボと糖尿病対策が必須



| 報告番号 | 2663 | 経費項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
|--|------------------------------|--|---------------------------------------|---|
| 活動期間 | 平成31年1月29日 から
平成 年 月 日 まで | 活動の概要 | 調査活動 | |
| 実施機関 | 県議会 | 2月5日の「次世代人材育成・確保特別委員会」における質問項目について調査する。文科省の31年度の新規事業である「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」について他。 | 自宅-朝日IC-富山IC-
県議会-魚津IC-朝日IC
-自宅 | |
| 経費の内容 | | 金額 | 経費の内容 | |
| 鉄道・バス | | | 宿泊料 | |
| タクシー | | | 食事代 | |
| 航空機 | | | 会費 | |
| 自家用車 | @37 × 120 km = | 4440 | | |
| リース車 | @18 × km = | 0 | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | | 計 | 4440 |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を枚し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 31 年 2 月 8 日
 決裁 平成 年 月 日
 処理 平成 年 月 日



| | | |
|--------|--|------|
| 管理番号 | 2664 | |
| 使途(項目) | 03_広聴広報費
01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費
06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費 | |
| 内容 | ホームページホスティング料 1月分 | |
| | 1月分 | 8467 |
| | | 80% |
| | | |
| | | |
| | | |
| (合計) | 8467 | |

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領 収 証 005627

鹿熊 正一 様

平成 31 年 2 月 12 日

10,584 -

収入
印紙

但し HPホスティング料(1H5)
上記の金額正に領収いたしました。

| | | |
|---|-------|---|
| 内 | 印刷物代金 | ¥ |
| 取 | 消費税 | ¥ |

株式会社 印刷
代表取締役 寛
〒338-0802 富山県富山市本町2-40(65)54-0124

取扱者印

收受 平成 31 年 3 月 1 日
 決裁 平成 31 年 3 月 1 日
 処理 平成 31 年 3 月 4 日



| | | | |
|------------|----------|----------------------|-----------------------|
| 管理番号 | 2665 | 管理区分 | |
| 経費科目 | 07_資料購入費 | 01_調査研究費
06_資料作成費 | 02_研修費
07_資料購入費 |
| | | 03_広報広報費
08_事務所費 | 04_要請陳情等活動費
09_事務費 |
| | | 05_会議費
10_人件費 | |
| 内容 | 新聞代金 1月分 | | |
| 品名(内容) | 金額(円) | 比率 | |
| 北日本新聞、日経新聞 | 7072 | / | 80% |
| 富山新聞 | 3060 | / | |
| 読売新聞 | 3400 | / | |
| | | | |
| | | | |
| 合計 | 13532 | | |

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を一枚、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)



領収書

| | | |
|----|-------|---------|
| 区域 | 全戸数 | お問い合わせ先 |
| 34 | 85.00 | 1899 |

お名前 鹿熊 正一様
殿町1495

31年 1 月分

84-8305

| 品名 | 部数 | 金額 |
|--------|----|---------|
| 1 読売新聞 | 1 | 3,400 |
| 2 | | |
| 3 | | |
| 合計 | | 3,400 円 |

◇左記の通り領収しました

領収日 31年 1月 3日

便利な自動振替受付中！手数料はいりません
Y C 泊
富山県下新川郡朝日町泊318



※本票も合わせて内容をご確認ください。

| | | | |
|-------------|------|--------|--------|
| 22 31-01-31 | 新聞代金 | *7,072 | |
| 23 31-02-04 | | *3,060 | トヤマシブツ |

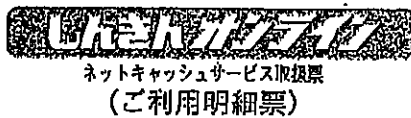
收受 平成 31 年 3 月 1 日
 決裁 平成 31 年 3 月 1 日
 処理 平成 31 年 3 月 4 日

報告者* 

| | | |
|-----------|--|-----|
| 報告番号 | 2666 | |
| 経費の区分 | 08_事務所費 | |
| 内容 | 01_調査研究費・02_研修費・03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費・05_会議費
06_資料作成費・07_資料購入費・08_事務所費・09_事務費・10_人件費 | |
| 内容 | 電気料金 1月分
事務所賃借料2月分 | |
| 経費の内容 | 金額(円) | 比率 |
| 電気料金 1月分 | 3334 | 50% |
| 事務所賃借料2月分 | 15000 | 50% |
| 《合 計》 | 18334 | |

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

D31-2-8 電気料金 6,668 株式会社リゾク



| | | | |
|-------------------|-------|-----|----------|
| お取扱日 | 取扱金庫 | 店番 | 通番 |
| 31-02-06 | | | |
| 口座番号 | | | |
| *****-*****-***** | | | |
| 万円 | 千円 | 円 | 角 |
| 003000000000 | | | ¥30,000* |
| お取扱内容 | | | |
| お振込 | | | ¥0 |
| 手数料 | ¥0 | ページ | 硬貨 |
| 時刻 | 12:47 | おつり | |
| カクマサカス コウソウカイ様 | | | |
| TEL0765-82-1333 | | | |
| ご利用ありがとうございました。 | | | |

いしかわ信用金庫

收受 平成31年2月1日
 決裁 平成31年3月1日
 処理 平成31年3月4日



| | | | | | |
|---|--------------|----------------------|--------------------|---------------------|---|
| 事業番号 | 2667 | 事業名称 | | | |
| 経費項目 | 09_事務費 | 01_調査研究費
06_資料作成費 | 02_研修費
07_資料購入費 | 03_広報広報費
08_事務所費 | 04_要請陳情等活動費
09_事務費
05_会議費
10_人件費 |
| 内容 | コピー用紙代金 | | | | |
| | 経費の名称 | 金額 (円) | 率 (%) | | |
| | コピー用紙代金 | 227 | 50% | | |
| | コピー用紙代金 | 227 | 50% | | |
| | | | | | |
| | 合 計 | 454 | | | |
| <p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p> | | | | | |

收受 平成 3 / 年 3 月 1 日
 決裁 平成 3 / 年 3 月 1 日
 処理 平成 3 / 年 3 月 4 日

MEIBUNDO

明文堂書店 朝日店
Tel : 0765-83-3223
2019/02/04(月) 11:03
担当 : XXXXXXXXXX

■ 令頁以又証正 ■

| | |
|------------------------------|-------|
| ぺんてる筆 極細
4902506141019 | 540 |
| ぺんてる筆 極細
4902506141019 | 540 |
| ぺんてる筆 極細
4902506141019 | 540 |
| ユビ-用紙文具
2002000004932 | 454 ✓ |
| フラットファイバ 3冊
4901480142401 | 292 |
| フラットファイバ 3冊
4901480142449 | 292 |
| フラットファイバ 3冊
4901480142425 | 268 |

.....
合計 ¥2,926
お預り ¥10,026
(消費税等 ¥217)
(お買上げ点数 7)

お釣り ¥7,100

MEIBUNDO

明文堂書店 朝日店
Tel : 0765-83-3223
2019/01/04(金) 09:32
担当 : XXXXXXXXXX

■ 令頁以又証正 ■

文具 454
2002000004932

.....
合計 ¥454 ✓
お預り ¥1,000
(消費税等 ¥34)
(お買上げ点数 1)

お釣り ¥546



| | | | | | |
|--|---------|--|------|--|--|
| 事業番号 | 2668 | | 事業名称 | | |
| 経費科目 | 09_事務費 | 01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費
06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費 | | | |
| 内容 | 人件費 1月分 | | | | |
| 上記に該当する経費 | 経費の内訳 | 金額(円) | 率 | | |
| | 人件費 1月分 | 23750 | 50% | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | (合計) | 23750 | | | |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | | |

收受 平成 31 年 3 月 1 日
 決裁 平成 31 年 3 月 1 日
 処理 平成 31 年 3 月 4 日

給料計算書(島)

平成31年

| 月 | 日 | 曜日 | 就業時間 | 実勤h | 月 | 日 | 曜日 | 就業時間 | 実勤h |
|---|----|----|------------|-----|---|----|----|------------|-----|
| 1 | 1 | 火 | | | 1 | 16 | 水 | 8:30~14:30 | 5 |
| | 2 | 水 | | | | 17 | 木 | | |
| | 3 | 木 | | | | 18 | 金 | 8:30~14:30 | 5 |
| | 4 | 金 | 8:30~14:30 | 5 | | 19 | 土 | | |
| | 5 | 土 | | | | 20 | 日 | | |
| | 6 | 日 | | | | 21 | 月 | 8:30~14:30 | 5 |
| | 7 | 月 | 8:30~14:30 | 5 | | 22 | 火 | | |
| | 8 | 火 | | | | 23 | 水 | 8:30~14:30 | 5 |
| | 9 | 水 | | | | 24 | 木 | | |
| | 10 | 木 | | | | 25 | 金 | 8:30~14:30 | 5 |
| | 11 | 金 | 8:30~14:30 | 5 | | 26 | 土 | | |
| | 12 | 土 | | | | 27 | 日 | | |
| | 13 | 日 | | | | 28 | 月 | 8:30~14:30 | 5 |
| | 14 | 月 | | | | 29 | 火 | | |
| | 15 | 火 | | | | 30 | 水 | 8:30~14:30 | 5 |
| | | | | | | 31 | 木 | | |
| | | | 小 計 | 15 | | | | 小 計 | 35 |
| | | | | | | | | 合 計 | 50 |

| | | | | |
|--|------|------|--|--------|
| | (時給) | (時間) | | (給与) |
| | 950 | 50 | | 47,500 |
| | 円 | 時間 | | 円 |

領 収 証

自由民主党富山県議会議員
鹿熊正一様

23,750円 /

平成31年 2月 / 日

上記金額正に領収いたしました





| 活動番号 | 2824 | | 活動項目 | 01_調査研究費
01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 | |
|--|-------------|-------|-------|---|--|
| 開始日 | 平成 31年1月1日 | から | 終了日 | | |
| 終了日 | 平成 31年1月31日 | まで | 経費の種別 | 高速代 | |
| 活動内容 | | | | | |
| 経費の内容 | 金額 | 経費の内容 | 金額 | | |
| 鉄道・バス | | 宿泊料 | | | |
| タクシー | | 食事代 | | | |
| 航空機 | | 会費 | | | |
| 自家用車 @37 × km = | 0 | | | | |
| リース車 @18 × km = | 0 | | | | |
| 有料道 | 18,330 | | | | |
| 駐車場 | | 計 | | 18,330 | |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。
枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 31 / 年 3 / 月 22 日
 決裁 平成 31 / 年 3 / 月 28 日
 処理 平成 31 / 年 3 / 月 28 日

| | | 鹿熊 正一様 | | | | | | | | |
|---|-----|-----------------|---|-------|---|---|----------|-------|----|-----|
| 9 | 108 | ETC前納料金(少額) | ★ | 1430 | 1 | 1 | 430 ETC | 富山 | 朝日 | 普通車 |
| 9 | 111 | ETC通行料金 | ★ | 1440 | 1 | 1 | 1440 ETC | 富山 | 朝日 | 普通車 |
| 9 | 111 | ETC通行料金 | ★ | 210 | 1 | 1 | 210 ETC | 黒部 | 富山 | 普通車 |
| | | | ★ | | | | | | | |
| 9 | 115 | ETC通行料金 | ★ | 1440 | 1 | 1 | 1440 ETC | 朝日 | 富山 | 普通車 |
| 9 | 115 | ETC通行料金 | ★ | 950 | 1 | 1 | 950 ETC | 富山 | 魚津 | 普通車 |
| 9 | 117 | ETC通行料金 | ★ | 650 | 1 | 1 | 650 ETC | 魚津 | 朝日 | 普通車 |
| 9 | 117 | ETC通行料金 | ★ | 1440 | 1 | 1 | 1440 ETC | 朝日 | 富山 | 普通車 |
| | | | ★ | | | | | | | |
| | | ETC前納料金(少額) | ★ | 140 | 1 | 1 | 140 ETC | 富山 | 朝日 | 普通車 |
| 9 | 120 | ETC通行料金 | ★ | 1440 | 1 | 1 | 1440 ETC | 富山 | 朝日 | 普通車 |
| 9 | 123 | ETC通行料金 | ★ | 1440 | 1 | 1 | 1440 ETC | 朝日 | 富山 | 普通車 |
| 9 | 124 | ETC通行料金 | ★ | 1440 | 1 | 1 | 1440 ETC | 富山 | 朝日 | 普通車 |
| 9 | 124 | ETC通行料金 | ★ | 1440 | 1 | 1 | 1440 ETC | 朝日 | 富山 | 普通車 |
| | | | ★ | | | | | | | |
| 9 | 128 | ETC通行料金 | ★ | 1440 | 1 | 1 | 1440 ETC | 富山 | 朝日 | 普通車 |
| 9 | 128 | ETC通行料金 | ★ | 1440 | 1 | 1 | 1440 ETC | 朝日 | 富山 | 普通車 |
| 9 | 129 | ETC通行料金 | ★ | 650 | 1 | 1 | 650 ETC | 魚津 | 朝日 | 普通車 |
| 9 | 129 | ETC通行料金 | ★ | 1440 | 1 | 1 | 1440 ETC | 朝日 | 富山 | 普通車 |
| | | ** 今回ご利用金額合計 ** | | 27490 | | | | | | |
| | | ** ご請求金額合計 ** | | | | | | 27490 | | |
| | | | | 28330 | | | | | | |

注: 今回ポイント獲得対象のご利用に★を 표시、★お支払方法: お支払方法またはお支払回数を表示(ボーナス1回払い・ボーナス2回払い)、※今回回数: 今回のお支払いが何回目かを表示、■: ボーナス払いのお支払い月など一部のご利用についてのご説明(海外でのご利用に お現地通貨・通貨単位・換算レート)を表示、○は支払方法を変更できます。ただし一部ご契約にお応えできない場合がございます。

ご案内
TS3CARDは各種サービスなど特典が満載のカードです。
特典の詳細はご入会時にお送りした「総合ガイド」または「活用BOOK」やTS3CARDモール
(<http://ts3card.com>)でご確認ください。
※一部のカードはTS3CARDモールの提供サービス内容が異なる場合もございます。

注意事項
※本カードは、ご入会時にお送りした「総合ガイド」または「活用BOOK」をご覧ください。
※本カードは、ご入会時にお送りした「総合ガイド」または「活用BOOK」をご覧ください。
※本カードは、ご入会時にお送りした「総合ガイド」または「活用BOOK」をご覧ください。

※本カードは、ご入会時にお送りした「総合ガイド」または「活用BOOK」をご覧ください。
※本カードは、ご入会時にお送りした「総合ガイド」または「活用BOOK」をご覧ください。



| 管理番号
2653 | | 使途項目
01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 | | |
|--|----------------|--|---|---------------------------------------|
| 活動期間 | 平成31年1月8日 から | 活動の概要
調査活動 | 1. 県議会山村振興議員連盟の知事要望に先立ち、当局と意見交換を行う。2. 中山間地域対策推進条例案について検討を行う | |
| | 平成 年 月 日 まで | | | 自宅-黒部IC-富山IC-
県議会-富山IC-朝日IC-
自宅 |
| 所属 | 県議会 | | | |
| 経費の内容 | | 金額 | 経費の内容 | 金額 |
| 鉄道・バス | | | 宿泊料 | |
| タクシー | | | 食事代 | |
| 航空機 | | | 会費 | |
| 自家用車 | @37 × 120 km = | 4440 | | |
| リース車 | @18 × km = | 0 | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | | 計 | 4440 |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成31年3月1日
 決裁 平成31年3月1日
 処理 平成31年3月4日



| 整理番号 | 2655 | 使途項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
|--|------------------------------|--|---------------------------------------|---|
| 活動期間 | 平成31年1月11日 から
平成 年 月 日 まで | 活動の概要 | 調査活動、要望活動 | |
| 場所 | 県議会 | 1. 県山村振興議員連盟から知事に、31年度予算要望を行う。2. 自民党都市農山漁村交流調査会とNPOグリーンツーリズムとやまとの意見交換会を開催する。3. NPOグリーンツーリズムとやま主催の「地域づくり」研究会に参加し、講演を聴く。 | 自宅-黒部IC-富山IC-
県議会-富山IC-朝日IC-
自宅 | |
| 経費の内容 | 金額 | 経費の内容 | 金額 | |
| 鉄道・バス | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | 食事代 | | |
| 航空機 | | 会費 | | |
| 自家用車 @37 × 120 km | 4440 | | | |
| リース車 @18 × km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | 計 | 4440 | |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成31年3月1日
 決裁 平成31年3月1日
 処理 平成31年3月4日



| 処理番号 | 2856 | 使途項目* | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
|--|------------------------------|--|---------------------------------------|---|
| 活動期間 | 平成31年1月15日 から
平成 年 月 日 まで | 活動の概要 | 調査活動、要望活動 | |
| 場所 | 県議会 | 1. 政調会主催の朝勉強会に出席する。2. 富山県林政連盟役員と31年度予算要望に関して意見交換を行う。3. 富山県土地改良事業団体連合会役員と31年度要望に関して意見交換を行う。 | 自宅一朝日IC-富山IC-
県議会-富山IC-魚津IC
-自宅 | |
| 経費の内容 | 金額 | 経費の内容 | 金額 | |
| 鉄道・バス | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | 食事代 | | |
| 航空機 | | 会費 | | |
| 自家用車 @37 × 120 km | 4440 | | | |
| リース車 @18 × km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | 計 | 4440 | |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | |

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成31年3月1日
 決裁 平成31年3月1日
 処理 平成31年3月4日



| 管理番号 | 2658 | 基金項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
|--|------------------------------|---|---------------------------------------|---|
| 活動期間 | 平成31年1月17日 から
平成 年 月 日 まで | 活動の概要 | 調査活動 | |
| 場所 | 県議会 | 1. 外国人材及びその家族の富山県受入れ体制の整備。方針について調査する。2. 富山県の肥満予防に関する対策について調査する。 | 自宅-朝日IC-富山IC-
県議会-魚津IC-朝日IC-
自宅 | |
| 経費の内容 | 金額 | 経費の内容 | 金額 | |
| 鉄道・バス | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | 食事代 | | |
| 航空機 | | 会費 | | |
| 自家用車 @37 × 120 km = | 4440 | | | |
| リース車 @18 × km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | 計 | 4440 | |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 31 年 2 月 / 日
 決裁 平成 31 年 3 月 / 日
 処理 平成 31 年 3 月 4 日



| | | | | | |
|---|------------|----------|---------------------------------------|--|------|
| 整理番号 | 2659 | | 使途項目 | 01_調査研究費
02_研修費
03_広聴広報費
04_要請陳情等活動費 | |
| 活動期間 | 平成31年1月21日 | から | 活動の概要 | 調査活動 | |
| | 平成 年 月 日 | まで | | 1. とやま未来創生戦略2018に基づき、人口の社会動態の状況、合計特殊出生率の変化の状況について調査する。2. 県内における介護人材の外国人採用の状況を調査する。 | |
| 場所 | 県議会 | | 自宅-朝日IC-富山IC-
県議会-富山IC-朝日IC-
自宅 | | |
| 経費の内容 | | 金額 | 経費の内容 | | 金額 |
| 鉄道・バス | | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | | 食事代 | | |
| 航空機 | | | 会費 | | |
| 自家用車 | @37. x | 120 km = | 4440 | | |
| リース車 | @18 x | km = | 0 | | |
| 有料道 | | | | | |
| 駐車場 | | | 計 | | 4440 |
| <p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p> | | | | | |

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 31 / 年 3 月 1 日
 決裁 平成 31 / 年 3 月 1 日
 処理 平成 31 / 年 3 月 4 日



| 整理番号 | 2660 | | 使途項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
|--|----------------|------|---|-------------------------------|---|
| 活動期間 | 平成31年1月23日 | から | 活動の概要 | 調査活動、勉強会 | |
| | 平成 年 月 日 | まで | 1. 経済建設部会を開催し代表質問項目について協議する。2. 政調会主催の勉強会に出席する。3. 自民党消防調査会が知事に予算要望を行う。 | 自宅-朝日IC-富山IC-県議会-富山IC-朝日IC-自宅 | |
| 場所 | 県議会 | | | | |
| 経費の内容 | | 金額 | 経費の内容 | | 金額 |
| 鉄道・バス | | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | | 食事代 | | |
| 航空機 | | | 会費 | | |
| 自家用車 | @37 × 120 km = | 4440 | | | |
| リース車 | @18 × km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | | |
| 駐車場 | | | 計 | | 4440 |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | | |

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 31 年 3 月 1 日
 決裁 平成 31 年 3 月 1 日
 処理 平成 31 年 3 月 4 日



| 整理番号 | 2561 | 使途項目 | 01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 | | |
|--|----------------|-------|--|--|------|
| 活動期間 | 平成31年1月24日 から | 活動の概要 | 調査活動 | | |
| | 平成 年 月 日 まで | | 1. 2月5日に開催される「次世代人材育成・確保特別委員会」の質問項目について調査する。①女性就業の状況②高齢者就業の状況③県立高校建築土木科の志願状況等。 | | |
| 場所 | 県議会 | | 自宅-朝日IC-富山IC-
県議会-富山IC-朝日IC-
自宅 | | |
| 経費の内容 | | 金額 | 経費の内容 | | 金額 |
| 鉄道・バス | | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | | 食事代 | | |
| 航空機 | | | 会費 | | |
| 自家用車 | @37 × 120 km = | 4440 | | | |
| リース車 | @18 × km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | | |
| 駐車場 | | | 計 | | 4440 |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数(km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成31年3月1日
 決裁 平成31年3月1日
 処理 平成31年3月4日



| 整理番号 | 2662 | 使途項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
|--|------------------------------|--|---------------------------------------|---|
| 活動期間 | 平成31年1月28日 から
平成 年 月 日 まで | 活動の概要 | 調査活動 | |
| 場所 | 県議会 | 富山大学医学部の戸邊教授他が石井知事に対し、「富山県のメタボ・糖尿、病対策」について、面談・要望するのに同行し、意見交換を行う。別紙 | 自宅-朝日IC-富山IC-
県議会-富山IC-朝日IC
-自宅 | |
| 経費の内容 | 金額 | 経費の内容 | 金額 | |
| 鉄道・バス | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | 食事代 | | |
| 航空機 | | 会費 | | |
| 自家用車 @37 × 120 km = | 4440 | | | |
| リース車 @18 × km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | 計 | 4440 | |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成31年3月1日
 決裁 平成31年3月1日
 処理 平成31年3月4日



| 整理番号 | 2663 | 使途項目 | 01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 | |
|--|---------------|--|--|--|
| 活動期間 | 平成31年1月29日 から | 活動の概要 | 調査活動 | |
| | 平成 年 月 日 まで | 2月5日の「次世代人材育成・確保特別委員会」における質問項目について調査する。文科省の31年度の新規事業である「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」について他。 | 自宅-朝日IC-富山IC-
県議会-魚津IC-朝日IC
-自宅 | |
| 場所 | 県議会 | | | |
| 経費の内容 | 金額 | 経費の内容 | 金額 | |
| 鉄道・バス | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | 食事代 | | |
| 航空機 | | 会費 | | |
| 自家用車 @37 × 120 km = | 4440 | | | |
| リース車 @18 × km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | 計 | 4440 | |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成31年 2 月 1 日
 決裁 平成31年 3 月 28 日
 処理 平成31年 3 月 28 日



| 整理番号 | 2825 | | 経費項目 | 01_調査研究費 02_研修費
03_広聴広報費 04_要請陳情等活動費 | |
|---|-----------|----------|-------------------------------|---|------|
| 活動期間 | 平成31年2月4日 | から | 活動の概要 | 調査活動 | |
| | 平成 年 月 日 | まで | | 2月5日開催の次世代人材育成・確保特別委員会の質問について調査する。①女性活躍の現状②高齢者活躍の現状など | |
| 場所 | 県議会 | | 自宅一朝日IC-富山IC-県議会-富山IC-朝日IC-自宅 | | |
| 経費の内容 | | 金額 | 経費の内容 | | 金額 |
| 鉄道・バス | | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | | 食事代 | | |
| 航空機 | | | 会費 | | |
| 自家用車 | @37 × | 120 km = | 4440 | | |
| リース車 | @18 × | km = | 0 | | |
| 有料道 | | | | | |
| 駐車場 | | | 計 | | 4440 |
| <p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p> | | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 31 年 3 月 22 日
 決裁 平成 31 年 3 月 28 日
 処理 平成 31 年 3 月 28 日



| | | | | | | | |
|---|-----------|----------|-------|--|--|---|------|
| 経理番号 | 2826 | | 債権項目 | 01_調査研究費 | | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 | |
| 活動期間 | 平成31年2月6日 | から | 活動の内容 | 調査活動 | | | |
| | 平成 年 月 日 | まで | | 県立高校へのクーラー設置の考え方について、教育委員会の担当課長と意見交換を行う。 | | 自宅-朝日IC-富山IC-県議会-富山IC-黒部IC-自宅 | |
| 所属 | 県議会 | | | | | | |
| 経費の内訳 | | | 金額 | 経費の内訳 | | | 金額 |
| 鉄道・バス | | | | 宿泊料 | | | |
| タクシー | | | | 食毒代 | | | |
| 航空機 | | | | 会費 | | | |
| 自家用車 | @37 × | 120 km = | 4440 | | | | |
| リース車 | @18 × | km = | 0 | | | | |
| 有料道 | | | | | | | |
| 駐車場 | | | | 計 | | | 4440 |
| <p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p> | | | | | | | |

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成31年3月22日
 決裁 平成31年3月28日
 処理 平成31年3月28日



| 整理番号 | 2827 | 経費項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
|--|--------------------|--|---------------------------------------|---|
| 活動期間 | 平成31年2月12日 から | 活動の概要 | 調査活動 | |
| 場所 | 平成 年 月 日 まで
県議会 | 外国人との共生社会づくりの一環として、新年度事業である「ワンストップの相談センター」設置の考え方について、担当課長と意見交換を行う。 | 自宅-朝日IC-富山IC-
県議会-富山IC-朝日IC
-自宅 | |
| 経費の内容* | 金額* | 経費の内容* | 金額* | |
| 鉄道・バス | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | 食事代 | | |
| 航空機 | | 会費 | | |
| 自家用車 @37 × 120 km = | 4440 | | | |
| リース車 @18 × km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | 計 | 4440 | |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。
枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | |

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成31年3月22日
 決裁 平成31年3月28日
 処理 平成31年3月28日

| 経理番号 | 2828 | 経費項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
|--|----------------|---|---------------------------------------|---|
| 活動期間 | 平成31年2月14日 から | 活動の概要 | 調査活動 | |
| | 平成 年 月 日 まで | 中山間地域対策推進本部と条例策定PTとの合同会議を開催し、パブリックコメントの報告の後、代表者会議に提案する、中山間地域対策推進条例案を審議し、原案通り決定した。 | 自宅-黒部IC-富山IC-
県議会-富山IC-黒部IC
-自宅 | |
| 所属 | 県議会 | | | |
| 経費の内容* | | 金額* | 経費の内容* | |
| 鉄道・バス | | | 宿泊料 | |
| タクシー | | | 食事代 | |
| 航空機 | | | 会費 | |
| 自家用車 | @37 × 120 km = | 4440 | | |
| リース車 | @18 × km = | 0 | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | | 計 | 4440 |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を微し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | |

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 31 年 3 月 22 日
 決裁 平成 31 年 2 月 28 日
 処理 平成 31 年 3 月 28 日



| | | | | | |
|---|------------|----------|---------------------------------------|--|------|
| 登録番号 | 2829 | | 使途項目 | 01_調査研究費
01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 | |
| 活動期間 | 平成31年2月15日 | から | 活動の概要 | 意見交換 | |
| | 平成 年 月 日 | まで | | 平成30年度富山県行政書士会との懇談会を開催し、別紙4項目について調査結果を各議員から報告し、意見交換を行った。 | |
| 会場 | 富山第一ホテル | | 自宅ー黒部ICー富山ICー
県議会ー富山ICー入善IC
ー自宅 | | |
| 経費の内訳 | | | 金額 | 経費の内訳 | |
| 鉄道・バス | | | | 宿泊料 | |
| タクシー | | | | 食事代 | |
| 航空機 | | | | 会費 | |
| 自家用車 | @37 × | 120 km = | 4440 | | |
| リース車 | @18 × | km = | 0 | | |
| 有料道 | | | | | |
| 駐車場 | | | | 計 | 4440 |
| <p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p> | | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成31年3月22日
 決裁 平成31年3月28日
 処理 平成31年3月28日

平成30年度富山県行政書士会
顧問県議会議員の先生方との懇談会

要望又は質問事項

1. 富山県屋外広告物の適正化への取組みについて
2. 終活情報登録の取組みについて
3. 出入国管理及び難民認定法及び法務省設置法の一部改正する法律の成立に伴う、県相談窓口設置と行政書士相談員派遣について
4. 成年後見制度の利用促進について



| 整理番号 | 2830 | 用途項目 | 01_調査研究費 02_研修費
03_広聴広報費 04_要請陳情等活動費 | | |
|--|----------------|-------|---|--------------------------|------|
| 活動期間 | 平成31年2月20日 から | 活動の概要 | 講演会 | | |
| | 平成 年 月 日 まで | | 富山県日中友好団体連合会による講演会を開催した。別紙の通り。 | 富山第一ホテルー富山IC
ー朝日ICー自宅 | |
| 場所 | 富山第一ホテル | | | | |
| 経費の内容 | | 金額 | 経費の内容 | | 金額 |
| 鉄道・バス | | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | | 食事代 | | |
| 航空機 | | | 会費 | | |
| 自家用車 | @37 × 120 km = | 4440 | | | |
| リース車 | @18 × km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | | |
| 駐車場 | | | 計 | | 4440 |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 31 年 3 月 22 日
 決裁 平成 31 年 3 月 28 日
 処理 平成 31 年 3 月 28 日

富山県日中友好団体連合会

講 演 会

と き 平成31年2月20日 (水)

午後2時から

ところ 富山第一ホテル 3階 白鳳

演 題

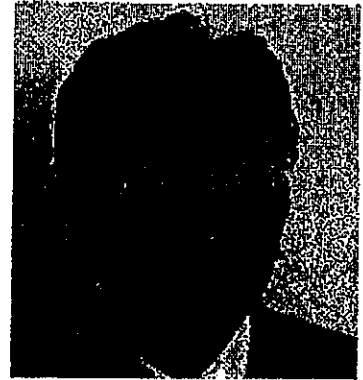
「米中ハイテク冷戦と2019年の中国経済のゆくえ」

講 師

日本国際問題研究所客員研究員

現代中国研究家

津 上 俊 哉 氏



■略 歴

1957年 愛媛県生まれ。

1980年 東京大学卒業後、通商産業省に入省、在中国日本大使館参事官、北東アジア課長、経済産業研究所上席研究員を歴任。

2004年 退官後、2011年まで東亜キャピタル(株)社長。その後文筆評論活動に入り、2018年4月から現職。

■著 書

『中国台頭』(日本経済新聞社) 2003年サントリー学芸賞受賞

『岐路に立つ中国』(日本経済新聞出版社)

『中国台頭の終焉』(日本経済新聞社)

『中国停滞の核心』(文春新書)

『巨龍の苦闘』(角川新書)

『米中貿易戦争の内実を読み解く』(PHP研究所) など

| 報告番号 | 2831 | | 事業項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 | |
|--|------------|----------|-------|---|---|------|
| 活動期間 | 平成31年2月21日 | から | 活動の種別 | 調査活動 | | |
| | 平成 年 月 日 | まで | | 予算特別委員会質問(3月8日)のための調査活動を行う。①富山県景観条例と他県の景観条例の内容を比較すること、②人口の社会移動についての統計を調査すること、等。 | | |
| 実施機関 | 県議会 | | | 自宅-朝日IC-富山IC-県議会-滑川IC-朝日IC-自宅 | | |
| 経費の内容 | | | 金額 | 経費の内容 | | 金額 |
| 鉄道・バス | | | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | | | 食事代 | | |
| 航空機 | | | | 会費 | | |
| 自家用車 | @37 × | 120 km = | 4440 | | | |
| リース車 | @18 × | km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | | | |
| 駐車場 | | | | 計 | | 4440 |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数(Km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 31年 3月 22日
 決裁 平成 31年 3月 28日
 処理 平成 31年 3月 28日

| 報告書番号 | 2832 | 便覧項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
|--|---------------|-------|---|---|
| 活動期間 | 平成31年2月22日 から | 活動の概要 | 調査活動 | |
| | 平成 年 月 日 まで | | 予算特別委員会質問(3月8日)のための調査活動を行う。①新年度の中山間地域対策予算について調査する②全天候型多目的施設の検討経緯、等。 | |
| 場所 | 県議会 | | 自宅-朝日IC-富山IC-
県議会-富山IC-魚津IC
-自宅 | |
| 経費の内容 | 金額 | 経費の内容 | 金額 | |
| 鉄道・バス | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | 食事代 | | |
| 航空機 | | 会費 | | |
| 自家用車 @37 × 120 km = | 4440 | | | |
| リース車 @18 × km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | 計 | 4440 | |
| (領収書貼付枠) (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数(Km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成31年3月22日
 決裁 平成31年3月28日
 処理 平成31年3月28日



| 2833 | | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|------|--|---|-------|----|-------|--|-----|--|------|--|-----|--|-----|--|----|--|---------------------|------|--|--|-----------------|---|--|--|-----|--|--|--|-----|--|---|------|---|--|
| 平成31年2月28日 | から | 調査活動 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成 年 月 日 | まで | 予算特別委員会質問(3月8日)のための調査活動を行う。①文科省の新年度事業である「地域との協働による高校教育改革」について調査する②幼児教育の充実策について調査する等。 | 自宅-朝日IC-富山IC-
県議会-富山IC-朝日IC
-自宅 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県議会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th>経費の内容</th> <th>金額</th> <th>経費の内容</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄道・バス</td> <td></td> <td>宿泊料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タクシー</td> <td></td> <td>食事代</td> <td></td> </tr> <tr> <td>航空機</td> <td></td> <td>会費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自家用車 @37 × 120 km =</td> <td>4440</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>リース車 @18 × km =</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>有料道</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>駐車場</td> <td></td> <td>計</td> <td>4440</td> </tr> </tbody> </table> | | 経費の内容 | 金額 | 経費の内容 | 金額 | 鉄道・バス | | 宿泊料 | | タクシー | | 食事代 | | 航空機 | | 会費 | | 自家用車 @37 × 120 km = | 4440 | | | リース車 @18 × km = | 0 | | | 有料道 | | | | 駐車場 | | 計 | 4440 | <p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を枚し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p> | |
| 経費の内容 | 金額 | 経費の内容 | 金額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鉄道・バス | | 宿泊料 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| タクシー | | 食事代 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 航空機 | | 会費 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自家用車 @37 × 120 km = | 4440 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| リース車 @18 × km = | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 有料道 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 駐車場 | | 計 | 4440 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数(km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成31年3月22日
 決裁 平成31年3月28日
 処理 平成31年3月28日

報告者* 

| | | |
|-------|-------------------|--|
| 報告書番号 | 2834 | |
| 報告項目 | 03_広聴広報費 | 01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費
06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費 |
| 内容 | ホームページホスティング料 2月分 | |
| | 2月分 | 8467 80% |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| (合計) | 8467 | |

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を撤し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領 収 証

005628

鹿熊正 様 平成 31 年 3 月 12 日


10,584-

収入
印 紙

但し、HPホスティング料(2月分)
上記の金額正に領収いたしました。

| | | |
|---|-------|---|
| 内 | 印刷物代金 | ¥ |
| 取 | 消費税 | ¥ |

株式会社 印刷

代表取締役 

〒338-0802 東京都江戸川区南小岩 3-10-65 54-01

取扱者印

收受 平成 31 年 3 月 22 日
 決裁 平成 31 年 3 月 28 日
 処理 平成 31 年 3 月 28 日



| | | |
|---|--|--|
| 事業番号 | 2835 | |
| 事業種別 | 03_広聴広報費 | |
| 経費項目 | 01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費
06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費 | |
| 内容 | 予算特別委員会 撮影代金 | |
| 金額 | 12960 | |
| 合計 | 12960 | |
| <p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を枚し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p> | | |

收受 平成 31年 3月 22日
 決裁 平成 31年 3月 28日
 処理 平成 31年 3月 28日

納品書

No. 00000021
PAGE 1 / 1

発上日 2019年03月08日

富山県議会
鹿熊 正一 様

930-0835 富山市上富居 2丁目19-3

フオトニクス

TEL 076-451-7413 FAX 076-451-7418

北陸銀行 越前町支店

普通 4164400 フオトニクス 横井弘幸

(615)

| 商品コード / 商品名 | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|-------------------|----|-----|--------|--------|--------|
| 001
予算特別委員会 撮影 | 1 | 件 | 12,000 | 12,000 | |
| 平成31年2月定例会 | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | 税抜額 | 12,000 | 消費税額 | 960 |
| | | | | | 12,960 |

領収証

No. 00000029

2019年3月12日

鹿熊 正一 様

金額

¥12,960-

内

消費税等

¥960-

但 平成31年2月定例会 予算特別委員会撮影

上記正に領収いたしました

現金

930-0835 富山市上富居 2丁目19-3

フオトニクス

横井 弘幸

TEL 076-451-7413

FAX 076-451-7418

印



001.jpg



002.jpg



003.jpg



004.jpg



005.jpg



006.jpg



007.jpg



008.jpg



009.jpg



010.jpg



011.jpg



012.jpg



013.jpg



014.jpg



015.jpg



016.jpg



017.jpg



018.jpg



019.jpg



020.jpg



021.jpg



022.jpg



023.jpg



024.jpg



025.jpg



026.jpg



027.jpg



028.jpg



029.jpg



030.jpg

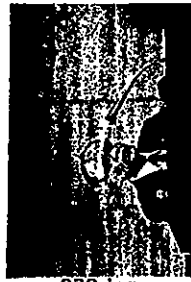




036.jpg



037.jpg



038.jpg



039.jpg



040.jpg



041.jpg



042.jpg



043.jpg



044.jpg



045.jpg



046.jpg



047.jpg



048.jpg



049.jpg



050.jpg



051.jpg



052.jpg



053.jpg



054.jpg



055.jpg



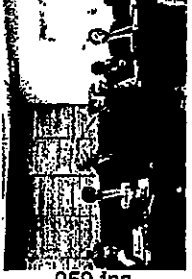
056.jpg



057.jpg



058.jpg



059.jpg



060.jpg



061.jpg



062.jpg



063.jpg



064.jpg



065.jpg





071.jpg



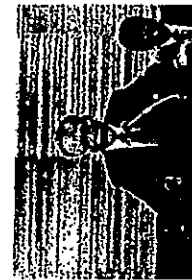
072.jpg



073.jpg



074.jpg



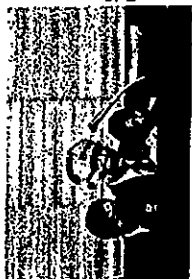
075.jpg



076.jpg



077.jpg



078.jpg



079.jpg



080.jpg



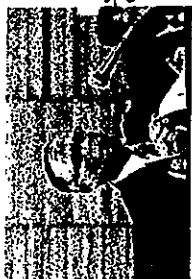
081.jpg



082.jpg



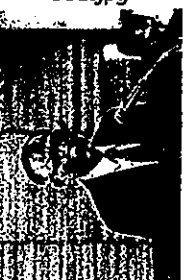
083.jpg



084.jpg



085.jpg



086.jpg



087.jpg



088.jpg



089.jpg



090.jpg



091.jpg



092.jpg



093.jpg



094.jpg



095.jpg



096.jpg



097.jpg



098.jpg



099.jpg




100.jpg



| | |
|------------|--|
| 2836 | |
| 07_資料購入費 | 01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費
06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費 |
| 新聞代金 2月分 | |
| 北日本新聞、日経新聞 | 7072 |
| 富山新聞 | 3060 |
| 読売新聞 | 3400 |
| | |
| | 13532 |

| | | | | | | |
|---------|------------|------|--------|---------|--|--------|
| 《領収書貼付枠 | B 31-02-28 | 新聞代金 | *7,072 | | | すること。) |
| | B 31-03-04 | | *3,060 | トヤマシツカン | | |

 **領収書**

| 区 域 | 全 戸 数 | お問い合わせ先 |
|-----|-------|---------|
| 34 | 85-00 | 1899 |

お名前 **鹿熊 正一様**
 殿町1495

| | | | |
|-----------|------|---|---------|
| 31 年 2 月分 | | | |
| 1 | 読売新聞 | 1 | 3,400 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |
| 合 計 | | | 3,400 円 |


84-8305
 ◇左記の通り領収しました
 領収日 31年 3月 22日

便利な自動振替受付中!手数料はいりません
 YC泊
 富山県下新川郡朝日町泊318



*裏面もあわせて内容を十分お読みください。

收受 平成 31 年 3 月 22 日
 決裁 平成 31 年 3 月 28 日
 処理 平成 31 年 3 月 28 日

報告者* 

| | | | |
|--|--|--------|--------|
| | 2837 | | |
| 08_事務所費 | 01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費
06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費 | | |
| 電気料金 2月分 | | | |
| | | | |
| 品名 (内容) | | 金額 (円) | 比率 (%) |
| 電気料金 2月分 | | 5001 | 50% |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| (合 計) | | 5001 | |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | |
| 19 D31- 3-11 電気料金 10,002 株式会社〆〆〆〆 | | | |

收受 平成 3 / 年 3 月 22 日
 決裁 平成 3 / 年 3 月 28 日
 処理 平成 3 / 年 3 月 28 日



| | | | |
|--|-----------------------|--------------------|---------------------|
| 2838 | | | |
| 09_事務費 | 01_調査研究費
06_資料作成費 | 02_研修費
07_資料購入費 | 03_広報広報費
08_事務所費 |
| | 04_要請陳情等活動費
09_事務費 | | 05_会議費
10_人件費 |
| コピー用紙代金
インクカートリッジ代金
ゼロックス代金 | | | |
| 領収書の品名 | | 金額(円) | 割合 |
| コピー用紙代金 | | 820 | / 50% |
| インクカートリッジ代金 | | 1658 | / 50% |
| ゼロックス代金 | | 14023 | / 50% |
| | | | |
| | | | |
| (合 計) | | 16501 | |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を撤し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | |

收受 平成 31 年 3 月 22 日
 決裁 平成 31 年 3 月 28 日
 処理 平成 31 年 3 月 28 日

031-2-25

28,047 SMBC(株)ロツク

領収証

近くて便利の、その先へ



コメリハードアンドグリーン朝日店
0765-83-9025
2018年2月16日(土)19:08 0832-0001

28 コピー用紙 A4 ¥1,640
(5個 x @328)

小計 ¥1,640
(内消費税 8% ¥121)
商品計 5点

合計 ¥1,640
お預り ¥1,640
お釣り ¥0

7P

MEIBUNDO

明文堂書店 朝日店
Tel : 0765-83-3223
2019/03/18(月) 16:38
担当 :

領収証

インカートリッジ プラック 3,316
4960999782287

合計 ¥3,316
お預り ¥5,316
(消費税等 ¥246)
(お買上げ点数 1)

お釣り ¥2,000

レシートNo. 00197121 店 4213-01



| | | | | | |
|---|---------|----------------------|--------------------|---------------------|---|
| | 2839 | | | | |
| 6. 経費の内訳 | 10_人件費 | 01_調査研究費
06_資料作成費 | 02_研修費
07_資料購入費 | 03_広報広報費
08_事務所費 | 04_要請陳情等活動費
09_事務費
05_会議費
10_人件費 |
| 内容 | 人件費 2月分 | | | | |
| | 経費の内訳 | 金額(円) | | | |
| | 人件費 2月分 | 28500 | 50% | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | (合 計) | 28500 | | | |
| <p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p> | | | | | |

收受 平成 31 年 3 月 22 日
 決裁 平成 31 年 3 月 28 日
 処理 平成 31 年 3 月 28 日

給料計算書 (●)

平成31年

| 月 | 日 | 曜日 | 就業時間 | 実勤h | 月 | 日 | 曜日 | 就業時間 | 実勤h |
|---|----|----|------------|------|---|----|----|------------|------|
| 2 | 1 | 金 | 8:30~14:30 | 5 | 2 | 16 | 土 | | |
| | 2 | 土 | | | | 17 | 日 | | |
| | 3 | 日 | | | | 18 | 月 | 8:30~14:30 | 5 |
| | 4 | 月 | 8:30~14:30 | 5 | | 19 | 火 | | |
| | 5 | 火 | | | | 20 | 水 | 8:30~14:30 | 5 |
| | 6 | 水 | 8:30~14:30 | 5 | | 21 | 木 | | |
| | 7 | 木 | | | | 22 | 金 | 8:30~14:30 | 5 |
| | 8 | 金 | 9:00~14:30 | 4.5 | | 23 | 土 | | |
| | 9 | 土 | | | | 24 | 日 | | |
| | 10 | 日 | | | | 25 | 月 | 9:00~12:00 | 3 |
| | 11 | 月 | | | | 26 | 火 | 9:00~12:00 | 3 |
| | 12 | 火 | | | | 27 | 水 | 8:30~14:30 | 5 |
| | 13 | 水 | 8:30~14:30 | 5 | | 28 | 木 | 9:00~14:30 | 4.5 |
| | 14 | 木 | | | | | | | |
| | 15 | 金 | 8:30~14:30 | 5 | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | 小 計 | 29.5 | | | | 小 計 | 30.5 |
| | | | | | | | | 合 計 | 60 |

| | | |
|--|------|--------|
| | (時給) | (給与) |
| | 950 | 57,000 |
| | 円 | 円 |

領 収 証

自由民主党富山県議会議員
鹿熊 正 一 様

28,500 円 /

平成31年 3 月 / 日

上記金額正に領収いたしました





| | | | | |
|--|------------|------|-------------|---|
| | 3041 | | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
| | 平成31年2月1日 | から | | |
| | 平成31年2月28日 | まで | (内容)
高速代 | (備考) |
| | | | | |
| 鉄道・バス | | | 宿泊料 | |
| タクシー | | | 食事代 | |
| 航空機 | | | 会費 | |
| 自家用車 | @37 × | km = | 0 | |
| リース車 | @18 × | km = | 0 | |
| 有料道 | | | 16250 | |
| 駐車場 | | | 計 | 16250 |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を微し、重ならないように貼付すること。
枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | |
| | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は
 主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (km) を半角数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成31年4月16日
 決裁 平成31年4月18日
 処理 平成31年4月18日



| 整理番号 | 282.5 | 経費項目 | 01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 | |
|---|--------------|---|--|--|
| 活動期 | 平成31年2月4日 から | 活動の概要 | 調査活動 | |
| | 平成 年 月 日 まで | 2月5日開催の次世代人材育成・確保特別委員会の質問について調査する。①女性活躍の現状②高齢者活躍の現状など | 自宅-朝日IC-富山IC-県議会-富山IC-朝日IC-自宅 | |
| 場所 | 県議会 | | | |
| 経費の内容 | 金額 | 経費の内容 | 金額 | |
| 鉄道・バス | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | 食事代 | | |
| 航空機 | | 会費 | | |
| 自家用車 @37 × 120 km = | 4440 | | | |
| リース車 @18 × km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | 計 | 4440 | |
| <p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を敬し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p> | | | | |

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 31 年 3 月 22 日

決裁 平成 31 年 3 月 28 日

処理 平成 31 年 3 月 28 日



| 整理番号 | 2826 | | 使途項目 | 01_調査研究費
01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 | |
|---|----------------|------|-------|---|---------------------------------------|
| 活動期間 | 平成31年2月6日 | から | 活動の概要 | 調査活動 | |
| | 平成 年 月 日 | まで | | 県立高校へのクーラー設置の考え方について、教育委員会の担当課長と意見交換を行う。 | 自宅-朝日IC-富山IC-
県議会-富山IC-黒部IC-
自宅 |
| 場所 | 県議会 | | | | |
| 経費の内容 | | 金額 | 経費の内容 | | 金額 |
| 鉄道・バス | | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | | 食事代 | | |
| 航空機 | | | 会費 | | |
| 自家用車 | @37 × 120 km = | 4440 | | | |
| リース車 | @18 × km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | | |
| 駐車場 | | | 計 | | 4440 |
| <p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p> | | | | | |

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成31年3月22日
 決裁 平成31年3月28日
 処理 平成31年3月28日



| 管理番号 | 2827 | 経費項目 | 01_調査研究費
01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 | |
|--|---------------|--|---|--|
| 活動期間 | 平成31年2月12日 から | 活動の概要 | 調査活動 | |
| | 平成 年 月 日 まで | 外国人との共生社会づくりの一環として、新年度事業である「ワンストップの相談センター」設置の考え方について、担当課長と意見交換を行う。 | 自宅—朝日IC—富山IC—
県議会—富山IC—朝日IC
—自宅 | |
| 場所 | 県議会 | | | |
| 経費の内容 | 金額 | 経費の内容 | 金額 | |
| 鉄道・バス | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | 食事代 | | |
| 航空機 | | 会費 | | |
| 自家用車 @37 × 120 km = | 4440 | | | |
| リース車 @18 × km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | 計 | 4440 | |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | |

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 31 / 年 3 月 22 日
 決裁 平成 31 年 3 月 28 日
 処理 平成 31 年 3 月 28 日

| 整理番号 | 2828 | 経費項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 | |
|--|------------------------------|---|---------------------------------------|---|------|
| 活動期間 | 平成31年2月14日 から
平成 年 月 日 まで | 活動の概要 | 調査活動 | | |
| 場所 | 県議会 | 中山間地域対策推進本部と条例策定PTとの合同会議を開催し、パブリックコメントの報告の後、代表者会議に提案する、中山間地域対策推進条例案を審議し、原案通り決定した。 | 自宅ー黒部ICー富山ICー
県議会ー富山ICー黒部IC
ー自宅 | | |
| 経費の内容 | | 金額 | 経費の内容 | | 金額 |
| 鉄道・バス | | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | | 食事代 | | |
| 航空機 | | | 会費 | | |
| 自家用車 | @37 × 120 km = | 4440 | | | |
| リース車 | @18 × km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | | |
| 駐車場 | | | 計 | | 4440 |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | | |

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 31 / 年 3 月 22 日
 決裁 平成 31 年 2 月 28 日
 処理 平成 31 年 3 月 28 日



| 報告番号 | 2829 | 経費項目 | 01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 | |
|--|---------------|--|--|--|
| 活動期間 | 平成31年2月15日 から | 活動の概要 | 意見交換 | |
| | 平成 年 月 日 まで | 平成30年度富山県行政書士会との懇談会を開催し、別紙4項目について調査結果を各議員から報告し、意見交換を行った。 | 自宅-黒部IC-富山IC-県議会-富山IC-入善IC-自宅 | |
| 場所 | 富山第一ホテル | | | |
| 経費の内容 | 金額 | 経費の内容 | 金額 | |
| 鉄道・バス | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | 食事代 | | |
| 航空機 | | 会費 | | |
| 自家用車 @37 × 120 km = | 4440 | | | |
| リース車 @18 × km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | |
| 駐車場 | | 計 | 4440 | |
| 《領収書貼付特》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成31年3月22日
 決裁 平成31年3月28日
 処理 平成31年3月28日



| 管理番号 | 2833 | | 経費項目 | 01_調査研究費 | 01_調査研究費・02_研修費
03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
|--|----------------|------|--|---------------------------------------|---|
| 活動期間 | 平成31年2月28日 | から | 活動の概要 | 調査活動 | |
| | 平成 年 月 日 | まで | 予算特別委員会質問(3月8日)のための調査活動を行う。①文科省の新年度事業である「地域との協働による高校教育改革」について調査する②幼児教育の充実策について調査する等。 | 自宅-朝日IC-富山IC-
県議会-富山IC-朝日IC-
自宅 | |
| 場所 | 県議会 | | | | |
| 経費の内容 | | 金額 | 経費の内容 | | 金額 |
| 鉄道・バス | | | 宿泊料 | | |
| タクシー | | | 食事代 | | |
| 航空機 | | | 会費 | | |
| 自家用車 | @37 × 120 km = | 4440 | | | |
| リース車 | @18 × km = | 0 | | | |
| 有料道 | | | | | |
| 駐車場 | | | 計 | | 4440 |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) | | | | | |

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成31年3月22日
 決裁 平成31年3月28日
 処理 平成31年3月28日



| 30/2 | 07_資料購入費 | 01_調査研究費
06_資料作成費 | 02_研修費
07_資料購入費 | 03_広聴広報費
08_事務所費 | 04_要請陳情等活動費
09_事務費 | 05_会議費
10_人件費 | | | | | | | | | | | | | | |
|---|----------|----------------------|--------------------|---------------------|-----------------------|------------------|----|----|------|------|------|------|------------|------|--|--|--|--|--|-------|
| 新聞代金 3月分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>読売新聞</td> <td>3400</td> </tr> <tr> <td>富山新聞</td> <td>3060</td> </tr> <tr> <td>北日本新聞、日経新聞</td> <td>7072</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>13532</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | | | 品名 | 金額 | 読売新聞 | 3400 | 富山新聞 | 3060 | 北日本新聞、日経新聞 | 7072 | | | | | | 13532 |
| 品名 | 金額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 読売新聞 | 3400 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 富山新聞 | 3060 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 北日本新聞、日経新聞 | 7072 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 13532 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)



領収書

| 区 域 | 全 戸 数 | お問い合わせ先 |
|-----|-------|---------|
| 34 | 85.00 | 1899 |

お名前 鹿熊 正一様

殿町1495

31年 3月分

84-8305

◇左記の通り領収しました

| 品 名 | 部 数 | 金 額 |
|--------|-----|---------|
| 1 読売新聞 | | 3,400 |
| 2 | | |
| 3 | | |
| 合 計 | | 3,400 円 |

領収日 31年 3月30日

便利な自動振替受付中!手数料はいりません

Y C 泊

富山県下新川郡朝日町泊318
0765-82-0971



※裏面もあわせて内容を十分お読みください。

| | | | |
|------------|------|--------|--------|
| 1631-04-01 | 新聞代金 | *7,072 | |
| 1731-04-02 | | *3,060 | トヤマシブツ |

收受 平成 31 年 4月16日
 決裁 平成 31 年 4月18日
 処理 平成 31 年 4月18日

